

令和元年度

原子力発電所周辺
環境放射能測定結果報告書

福 島 県

目次

第1 測定結果の概要	1
第2 測定項目	
2-1 空間放射線	
2-1-1 空間線量率	3
2-1-2 空間積算線量	3
2-2 環境試料	3
第3 測定方法	12
第4 測定結果	
4-1 空間放射線	
4-1-1 空間線量率	22
4-1-2 空間積算線量	37
4-2 環境試料	
4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	44
4-2-2 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種）	56
4-2-3 環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種）	58
4-2-4 環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種）	60
第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
5-1 空間放射線	
5-1-1 (1) 空間線量率	65
5-1-1 (2) 空間線量率（比較対照地点）	68
5-1-2 空間積算線量	69
5-2 環境試料	
5-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	72
5-2-2 (1) 大気浮遊じんの核種濃度	74
5-2-2 (2) 大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）	89
5-2-3 (1) 大気中水分のトリチウム濃度	92
5-2-3 (2) 大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）	95
5-2-4 (1) 降下物の核種濃度	96
5-2-4 (2) 降下物の核種濃度（比較対照地点）	100
5-2-5 (1) 環境試料中の核種濃度	101
5-2-5 (2) 環境試料中の核種濃度（比較対照地点）	108
第6 参考資料	
6-1 気象測定結果	109
6-2 空間線量率最小値及び最大値とその出現日時	131
6-3 試料採取時の付帯データ集	133
6-4 環境試料の核種濃度の検出限界について（下限値の最大）	137
6-5 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果	
6-5-1 地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリング結果	138
6-5-2 サブドレン等処理済み水の排出に伴う海水モニタリング結果	141
6-6 大熊町夫沢における大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度の上昇に係る原因等調査結果報告	144
6-7 福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会設置要綱	152
第7 グラフ集	
第8 原子力発電所の環境放射能測定結果（東京電力ホールディングス（株））	

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。
○URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>
○または、福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

この報告書は、令和2年9月16日に開催された「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会環境モニタリング評価部会」において、令和元年度の調査結果について報告し、検討された内容を取りまとめたものです。

第 1 測定結果の概要

福島県が令和元年度に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりであり、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による影響を受けた空間放射線や環境試料については、一部の項目では事故前の測定値と同程度であり、他の項目では、事故前の測定値の範囲は上回っているが、年月の経過とともに減少する傾向にある。事故前の測定値と同程度であった項目は、環境試料中の大気浮遊じん（全アルファ放射能及び全ベータ放射能）、土壌（プルトニウム-238、プルトニウム-239+240）、上水（トリチウム、ストロンチウム-90、プルトニウム-239+240）、海水（全ベータ放射能、トリチウム、ストロンチウム-90、プルトニウム-239+240）、海底土（プルトニウム-238、プルトニウム-239+240）及びほんだわら（ストロンチウム-90、プルトニウム-239+240）であった。

1 空間放射線（22～43 ページ）

（1）空間線量率

39 地点で空間線量率の常時測定を実施した。

各測定地点の年間平均値は $0.045 \mu\text{Gy/h}$ (45 nGy/h)（南相馬市萱浜）～ $4.640 \mu\text{Gy/h}$ ($4,640 \text{ nGy/h}$)（大熊町南台）、1 時間値の最大値は $0.084 \mu\text{Gy/h}$ (84 nGy/h)（いわき市小川）～ $5.190 \mu\text{Gy/h}$ ($5,190 \text{ nGy/h}$)（大熊町南台）であった。事故前から測定していた全ての地点の測定値では、事故前の測定値を上回ったが、年月の経過とともに減少する傾向にあった。

（2）空間積算線量

64 地点で空間積算線量の測定を実施した。

年間相当値は 0.63 mGy （南相馬市萱浜）～ 70 mGy （大熊町夫沢）であった。また、事故前から測定していた全ての地点で事故前の測定値の範囲を上回ったが、年月の経過とともに減少する傾向にあった。

2 環境試料（44～60 ページ）

（1）大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

大気浮遊じんについて、17 地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施した。各測定地点の年間平均値及び最大値は、事故前の測定値と同程度であった。

（2）ガンマ線放出核種

大気浮遊じん、降下物、土壌、上水、海水、海底土、松葉、ほんだわら（令和元年度より調査再開）の 8 品目について、核種濃度（ガンマ線放出核種）の測定を実施した。

事故の影響により、放射性セシウムが全品目から検出され、多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回ったが、事故後から平成 25 年度までの測定値と比較すると大幅に低下しており、概ね横ばい傾向になっている。

降下物の浪江町浪江の地点でアンチモン-125 (Sb-125) が検出された。他の測定地点での結果と総合すると原子力発電所からの新たな放出ではなく、事故の影響により家屋に沈着した放射性物質が、家屋解体により舞い上がり降下物採取用水盤に混入したことが考えられる。

土壌の双葉町郡山の地点でコバルト-60 (Co-60) が検出されたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値の範囲内であった。また、いわき市川部町の地点でアンチモン-125 (Sb-125) が検出されたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値の範囲内であった。

上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されているが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である 10Bq/kg (10Bq/L) を大きく下回っている。

ほんだわらからセシウム-134 及びセシウム-137 が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った。

(3) ベータ線放出核種

海水について、全ベータ放射能の測定を実施した。各測定地点の測定値は、事故直後の測定値と比較すると大幅に低下し、事故前の測定値の範囲内であった。

大気中水分、上水及び海水の3品目について、トリチウム濃度の測定を実施し、全3品目からトリチウムが検出された。大気中水分については、一部の試料が事故前の測定値の範囲を上回っているものの、調査を再開した平成30年度の測定値と比較すると、概ね横ばい傾向であった。上水及び海水の測定値は、事故前の測定値の範囲内であった。

土壌、上水、海水、海底土及びほんだわら（令和元年度より調査再開）の5品目について、ストロンチウム-90の測定を実施した。上水については、事故前の測定値の範囲内であった。土壌、海水及び海底土については、一部の試料が依然として事故前の測定値の範囲を上回っているものの、事故直後の値と比較すると低下している。ほんだわらについては、事故前の測定値の範囲内であった。

(4) アルファ線放出核種

土壌、上水、海水、海底土及びほんだわら（令和元年度より調査再開）の5品目について、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240の測定を実施した。また、土壌について、アメリカシウム-241、キュリウム-244の測定を実施した。

プルトニウム-238が土壌及び海底土から検出されたが、土壌は事故前の測定値と同程度であり、海底土は平成26年度から前年度までの測定値の範囲内であった。プルトニウム-239+240が土壌、海水、海底土及びほんだわらから検出されたが、事故前の測定値と同程度であった。アメリカシウム-241及びキュリウム-244が土壌から検出されたが、平成26年度から前年度までの測定値と同程度であった。

第 2 測 定 項 目

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図 2-1～図 2-5 に示す。

2-1 空間放射線

2-1-1 空間線量率

測 定 地 点				測 定 頻 度	実 施 機 関	
い	わ	き	市	4	連 続	環 境 創 造 セ ン タ ー
田		村	市	1		
広		野	町	2		
楢		葉	町	5		
富		岡	町	5		
川		内	村	1		
大		熊	町	5		
双		葉	町	4		
浪		江	町	6		
葛		尾	村	1		
南	相	馬	市	3		
飯		館	村	1		
川		俣	町	1		
※福		島	市	1		
※郡		山	市	1		
※い	わ	き	市	1		

(注) ※印は比較対照地点測定調査である。

2-1-2 空間積算線量

測 定 地 点				測 定 頻 度	実 施 機 関	
い	わ	き	市	9	3 か 月 積 算	環 境 創 造 セ ン タ ー
田		村	市	3		
広		野	町	2		
楢		葉	町	4		
富		岡	町	5		
川		内	村	4		
大		熊	町	8		
双		葉	町	3		
浪		江	町	7		
葛		尾	村	3		
南	相	馬	市	9		
飯		館	村	5		
川		俣	町	2		

2-2 環境試料

区分名	試料名 (内容)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
降下物	降下物 (雨水ちり)	いわき市 久之浜 田村市 都路 富岡町 富岡 大熊町 大野 双葉町 郡山 南相馬市 萱浜	12回/年 (1回/月)	大型水盤 (0.5 m ²) 1ヵ月分	ガンマ線放出核種濃度	環境創造センター

区分名	試料名 (内容)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
降下物	降下物 (雨水ちり)	浪江町 浪江 浪江町 津島 葛尾村 落合 川俣町 山木屋 ※福島市 方木田 ※三春町 深作	12回/年 (1回/月)	ステンレス 製採取容器 (0.085m ²) 1ヵ月分	ガンマ線放出核種濃度	環境創造 センター
大気	大気浮遊じん	いわき市 小川 田村市 都路馬洗戸 広野町 小滝平 檜葉町 木戸ダム 檜葉町 繁岡 富岡町 富岡 川内村 下川内 大熊町 大野 大熊町 夫沢 双葉町 郡山 浪江町 幾世橋 浪江町 大柿ダム 葛尾村 夏湯 南相馬市 泉沢 南相馬市 萱浜 飯館村 伊丹沢 川俣町 山木屋	連 続	約90m ³ /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	
		いわき市 久之浜 いわき市 下桶売 いわき市 川前 大熊町 向畑 双葉町 山田 双葉町 新山 双葉町 上羽鳥 浪江町 南津島 南相馬市 横川ダム 広野町 二ツ沼 檜葉町 山田岡 檜葉町 松館 檜葉町 波倉 富岡町 上郡山 富岡町 下郡山 富岡町 夜の森 大熊町 南台 浪江町 浪江 田村市 滝根 田村市 船引 田村市 上移 川内村 上川内 南相馬市 馬場 南相馬市 大木戸 南相馬市 櫓原	12回/年 (1回/月)	1ヵ月分 の集じん ろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
			12回/年 (1回/月)	1ヵ月分 の集じん ろ紙	ガンマ線放出核種濃度	

区分名	試料名 (内容)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大 気	大気浮遊じん	※福島市 方木田 ※会津若松市 追手町 ※郡山市 麓山 ※白河市 昭和町 ※相馬市 玉野 ※伊達市 富成 ※南会津町 田島	12回/年 (1回/月)	1日分の 集じんろ 紙	ガンマ線放出核種濃度	環境創造 センター
	大気中水分	檜葉町 繁岡 富岡町 富岡 大熊町 大野 大熊町 夫沢 双葉町 郡山 ※福島市 方木田	12回/年 (1回/月)	1ヵ月分 の大気中 水分	トリチウム濃度	
土 壤	土 壤 (表土0~5cm)	いわき市 久之浜 田村市 古道 広野町 下北迫 檜葉町 波倉 富岡町 小浜 川内村 上川内 大熊町 夫沢 双葉町 郡山 浪江町 北幾世橋 葛尾村 柏原	2回/年 (1回/半年) ただし、 ※地点は 1回/年	2kg	ガンマ線放出核種濃度	
		南相馬市 浦尻 南相馬市 馬場 飯舘村 蕨平 飯舘村 長泥 川俣町 山木屋 ※福島市 荒井 ※郡山市 逢瀬町 ※いわき市 川部町 ※白河市 大信隈戸 ※相馬市 中村 ※会津若松市 一箕町 ※南会津町 系沢	1回/年	2kg	ストロンチウム-90 プルトニウム-238 プルトニウム-239+240 アメリカシウム-241 キュリウム-244 ただし、 ※地点のアメリカシウム -241及びキュリウム- 244は福島市荒井のみ	
陸 水	上 水 (蛇口水)	いわき市 田村市 広野町 檜葉町 富岡町 川内村 大熊町 浪江町 葛尾村 南相馬市 飯舘村 川俣町 ※福島市 ※会津若松市	4回/年 (1回/四半期) ただし、 ※地点は 1回/年	20L	ガンマ線放出核種濃度	
				1L	トリチウム濃度	
			1回/年 ただし、 ※地点は 福島市の み	100L	ストロンチウム-90 プルトニウム-238 プルトニウム-239+240	

区分名	試料名 (内容)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
海水	表面水	第一(発)南放水口付近 第一(発)北放水口付近 第一(発)取水口付近 第一(発)沖合2km 夫沢・熊川沖2km 双葉・前田川沖2km	12回/年 (1回/月)	2L	全ベータ放射能	環境創造 センター
		40L		ガンマ線放出核種濃度		
		第二(発)南放水口 第二(発)北放水口	4回/年 (1回/四半期) ただし、 Sr、Puは 1回/年	1L	トリチウム濃度	
				60L	ストロンチウム-90	
				100L	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240	
※相馬市 松川浦沖	1回/年					
海底土	海砂または 海底土	第一(発)南放水口付近 第一(発)北放水口付近 第一(発)取水口付近 第一(発)沖合2km 夫沢・熊川沖2km 双葉・前田川沖2km 第二(発)南放水口 第二(発)北放水口	4回/年 (1回/四半期) ただし、 第二(発) 放水口2地 点のSr、P uは1回/ 年	3kg	ガンマ線放出核種濃度 ストロンチウム-90 プルトニウム-238 プルトニウム-239+240	環境創造 センター
		※相馬市 松川浦沖	1回/年			
指標 植物	松葉 (葉)	いわき市 久之浜 田村市 古道 広野町 上北迫 檜葉町 波倉 富岡町 小浜 川内村 上川内 大熊町 夫沢 大熊町 大川原 双葉町 郡山 浪江町 北幾世橋 葛尾村 柏原 南相馬市 浦尻 飯舘村 蕨平 飯舘村 長泥 川俣町 山木屋 ※福島市 杉妻町 ※郡山市 麓山 ※白河市 南登り町 ※会津若松市 城東町 ※南会津町 永田	4回/年 (1回/四半期)	200g程度	ガンマ線放出核種濃度 (ヨウ素-131を含む)	環境創造 センター
指標海 洋生物	ほんだわら	第一(発)海域 第二(発)海域	1回/年	9kg程度	ガンマ線放出核種濃度 ストロンチウム-90 プルトニウム-238 プルトニウム-239+240	

(注) ※印は比較対照地点測定調査である。

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

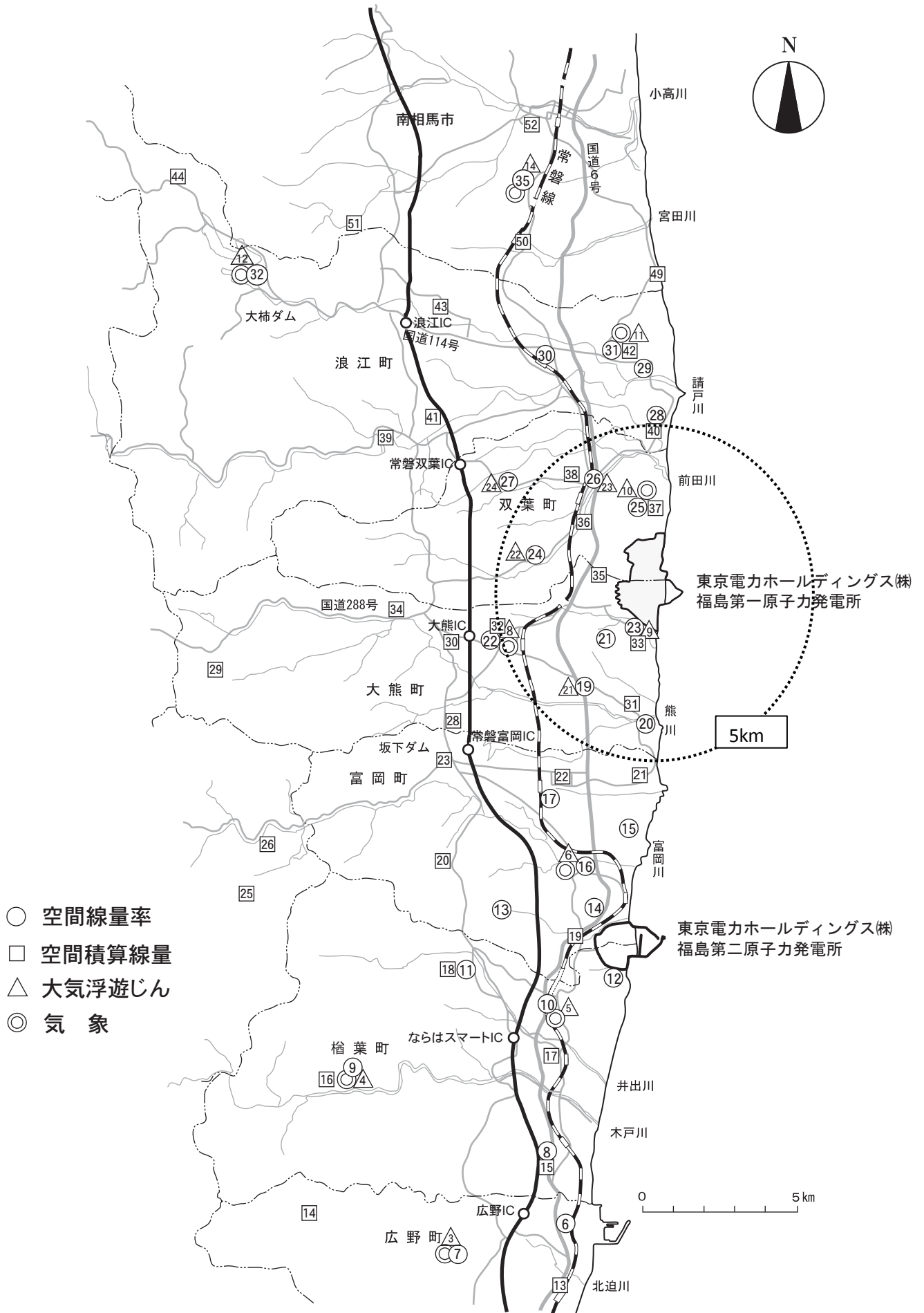
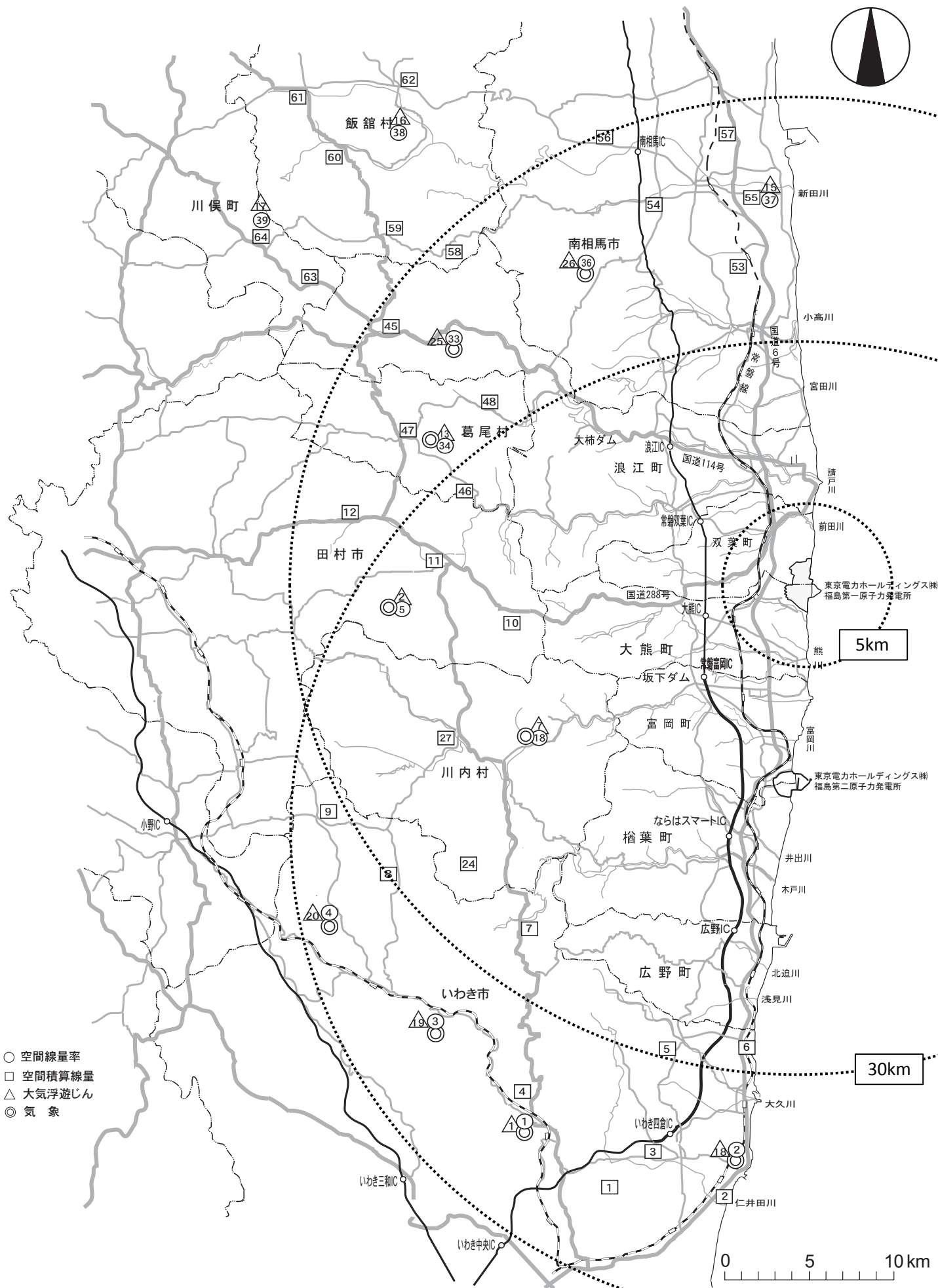
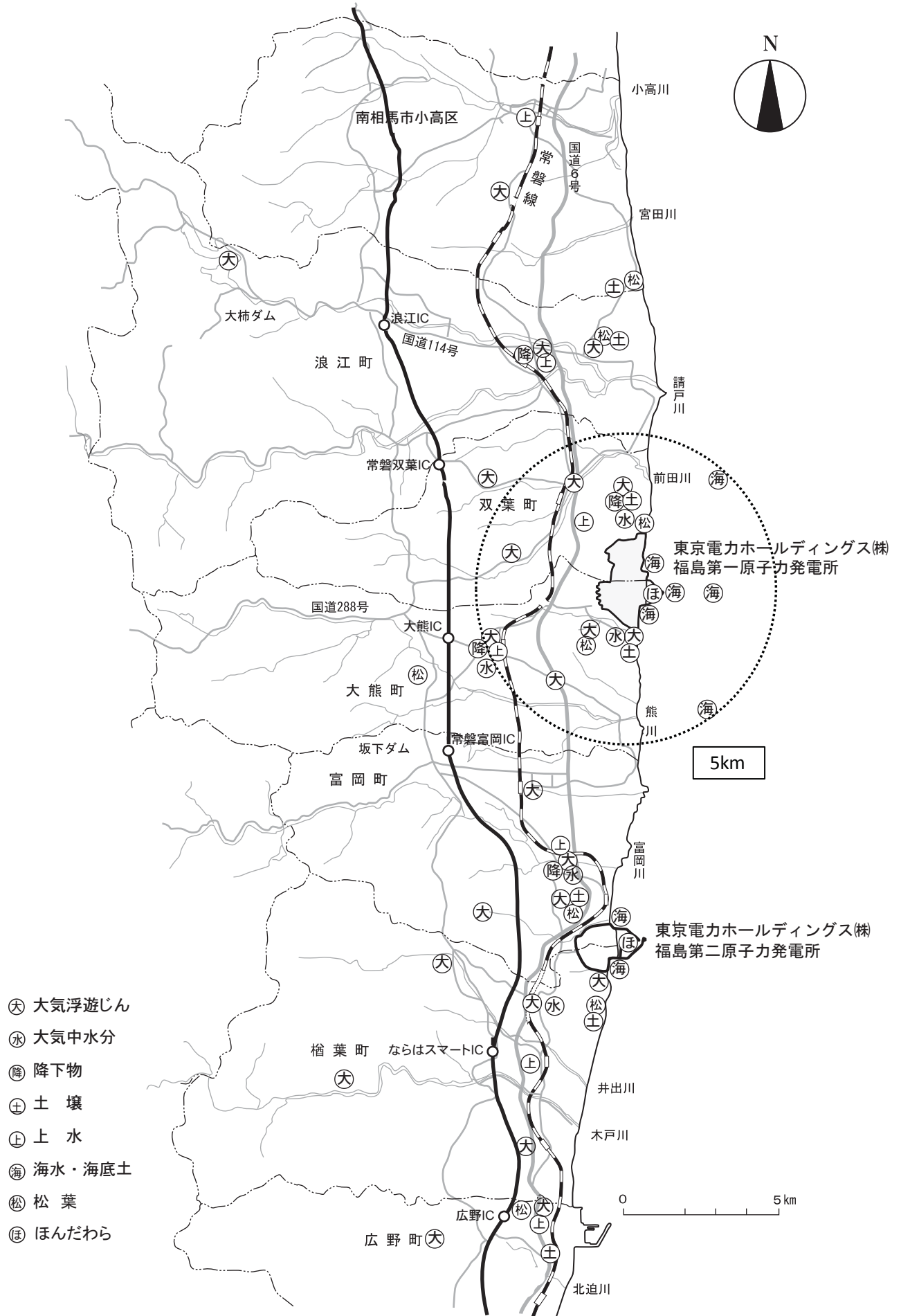


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）



- 空間線量率
- 空間積算線量
- △ 大気浮遊じん
- ◎ 気象

図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）



- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊖ 降水物
- ⊕ 土 壤
- ⊕ 上 水
- ⊖ 海水・海底土
- ⊖ 松 葉
- ⊖ ほんだわら

図2-4 環境試料採取地点（広域）

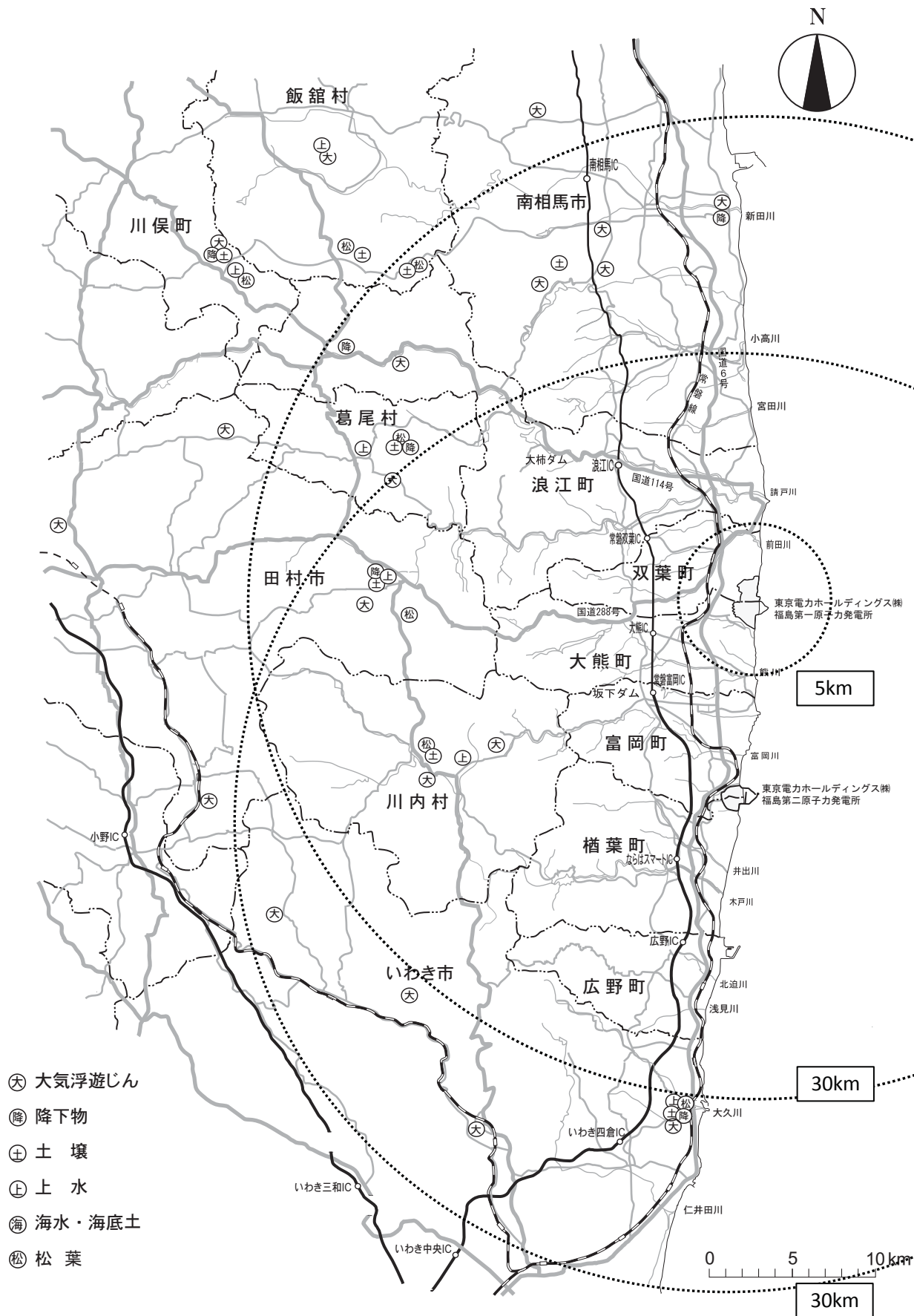
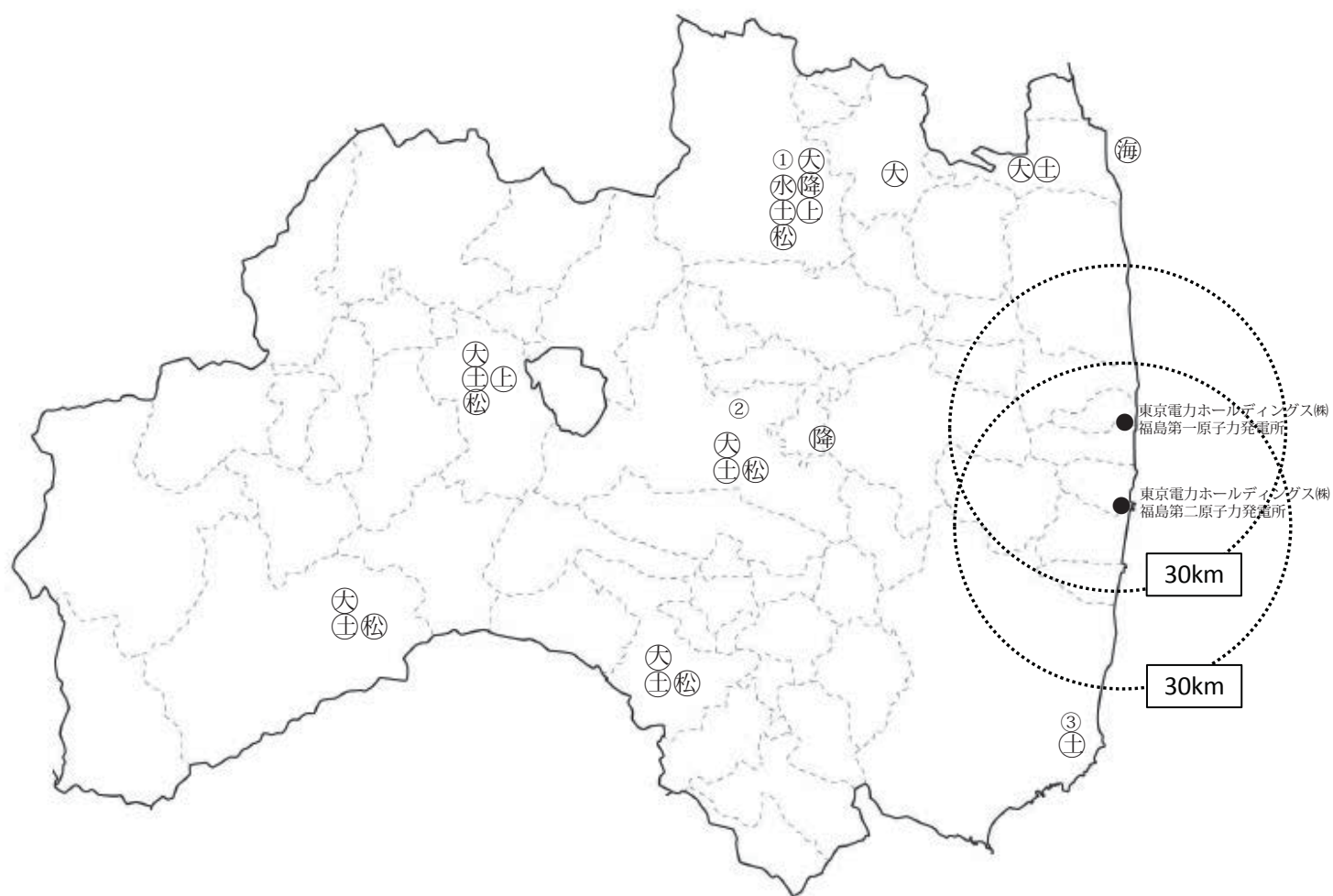


図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊙ 降水物
- ⊕ 土壌
- ⊕ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊕ 松葉

第 3 測 定 方 法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器（日立製作所製 ADP-1122型他） 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器（日立製作所製 RIC-348型他） 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： ⁶⁰ Co、 ¹³⁷ Cs及び ²²⁶ Ra
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」（平成14年制定） 線量計：蛍光ガラス線量計（AGCテクノグラス製 SC-1型） 測定器：蛍光ガラス線量計測装置（AGCテクノグラス製 FGD-202型） 測定位置：地表上約1m 校正線源： ¹³⁷ Cs
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：約90m ³ /6時間） 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器（日立製作所製 ADC-121他） 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl
		リアルタイムダストモニタ	測定法：全アルファ及び全ベータ放射能を6時間連続集じん同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：18m ³ /6時間） 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼り合わせ検出器（日立製作所製 ADC-2121） 採取位置：地表上約2m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl
		リアルタイムダストモニタ（福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内）	測定法：全アルファ及び全ベータ放射能を6時間連続集じん同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：11m ³ /6時間） 使用ろ紙：ミルポア製 FSLW型 検出器：プレーナシリコンα/β放射線検出器（キャンベラ製 CAM-2*450ASV） 採取位置：地表上約2m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl
	全ベータ放射能（海水）	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」（昭和51年改訂） 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ（日立製作所製 LBC-4202B型） 校正線源：U ₃ O ₈
	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（平成4年改訂） 測定器：ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製 GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他）
β線自動測定装置		測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」（平成14年改訂） 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置（日立製作所製 LSC-LB7型他）	

測定項目		測定装置	測定方法
環境試料	放射性ストロンチウム濃度	β 線自動測定装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ（日立製作所製 LBC-4202B型） 校正線源： ^{90}Sr
	アメリシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α 線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）及び「アメリシウム分析法」（平成2年）に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器（ORTEC製 BU-017-450型他）多波高分析器（ORTEC デジタルMCA（ソフトウェア）他） 校正線源： ^{239}Np 、 ^{241}Am 及び ^{244}Cm

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対照地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
	核種	Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリュームエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュームエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約34,500m ³	約1,150m ³	約2,000m ³	約11,000m ³
	前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	
前処理	方法	約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1週間分の集じんろ紙(203×254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を採取する。これを1ヶ月分まとめて週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめてU8容器底面に収納する。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。			・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はポリエチレンフィルムで養生して使用。 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約18,000m ³	約1,150m ³	約1,700m ³	約11,000m ³
	測定時間	12,000秒	80,000秒	15,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.03~0.04mBq/m ³	約0.03~0.1mBq/m ³	約0.005~0.01mBq/m ³
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以上			
備考	平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒) 平成28年4月:測定時間変更(20,000秒→80,000秒)	平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)、測定時間変更(21,600秒→80,000秒)	

項目	試料名	大気浮遊じん		大気中水分	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134, Cs-137		H-3	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m		シリカゲルを充填したカラムに大気を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(JCAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	シリカゲルを充填した、ガラスカラム(φ55mm×H400mm)2本	
	採取量	約2,200m ³	約1,250m ³	約4.5~45m ³	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。		シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	減圧蒸留法	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。 その後、所定量を減圧蒸留する。	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はポリエチレンフィルムで養生して使用。 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	・前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。 ・使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	
	測定試料状態	灰	生	液体シンチレータ混合物	
	測定容器	U8容器		100 mLテフロンバイアル	
	供試料量	約2,200m ³	約1,250m ³	約50.00 mL	
	測定時間	80,000秒		30,000 秒	
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m ³	約0.02~0.06mBq/m ³	約1 mBq/m ³ ~10 mBq/m ³	
	測定におけるコンタミ防止 とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。 検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88		H-3	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 (納入時) メーカーにて効率校正 (1年毎) メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		測定の都度	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	平成30年4月:測定開始		

項目	試料名	降下物	
		福島第一原子力発電所から30km 圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	採取後、降下物1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	採取試料全量を充填	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾固物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	
	測定下限値	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度	
	測定におけるコンタミ防止 とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回) Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	8地点で大型水盤、4地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月: 小型水盤による採取開始 平成27年6月: 比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月: 前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	土壌			
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	Am-241, Cm-244
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。			
	採取容器等	採土器			
	採取量	3kg程度			
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。			
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。			
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)			
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> 試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) 試料処理毎に汚染がないことを確認 U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	
	供試料量	約100g	約100g	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/kg乾土	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244	Gd-148, Am-241, Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	
備考	平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134, Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)				

項目	試料名	上水			
	核種	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取する。			
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	20L	1L	100L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			
前処理	方法	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	採取試料全量を加熱濃縮。	1Lポリビンより上澄水100mLを分取。	採取試料全量を加熱濃縮後、イオン交換法により処理。	10分程度蛇口から上水を流しつづけた後に採取する。複数の採取容器の上水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> ・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。 			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	20L	約50.00mL	100L	100L
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考	平成28年4月：前処理変更(生→加熱濃縮法)				

項目	試料名	海水				
	核種	全ベータ放射能	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。				
	採取容器等	ポリビン	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	2L	40L	1L	60L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。				
前処理	方法	鉄・バリウム共沈法	リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	2Lポリビンより上澄水1Lを分取。	20Lポリタンク2本から10Lずつ分取。	1Lポリビンより上澄水100mLを分取。	20Lポリタンク3本使用。内2本は全量使用。残る1本は10L分取。	10分程度ポンプから海水を排水した後採取する。複数の採取容器の海水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> ・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。 				
測定	測定装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	鉄・バリウム共沈物	リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	1L	20L以上	約50.00mL	50L	100L
	測定時間	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.02Bq/L	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	U ₃ O ₈	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
	線源校正頻度	測定の都度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考			平成28年4月:前処理変更(生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法)			

項目	試料名	海産土			松葉	
					福島第一原子力発電所から30km 圏内	比較対照地点
		核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	Cs-134, Cs-137
試料採取	採取方法	船上から採泥器にて採取する。			採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	採泥器			ビニール袋	
	採取量	3kg程度			200g程度	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。			採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。			95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)			乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> 試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認 U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 粉砕器は、地点専用のものを使用 U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	乾燥物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	U8容器	
	供試料量	約100g	約100g	100g	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,000秒	
	測定下限値	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/kg	約0.5~1Bq/kg生	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的Ge半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			定期的Ge半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度		月1回 80,000秒	月1回 200,000秒	
備考						平成27年7月:比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月:前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。

項目	試料名	ほんだわら		
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	採取地点付近に生息しているほんだわらの葉茎部を採取する。		
	採取容器等	ビニール袋		
	採取量	9kg程度		
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に専用の器具を使用		
前処理	方法	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いるバットは十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器	Si半導体検出装置
	測定試料状態	乾燥物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	約100g	約30~40g(生試料1kg相当の灰試料量)	約20~40g(生試料500g~1kg相当の灰試料量)
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.1~0.2Bq/kg生	約0.1~0.2Bq/kg生	約1~3 mBq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒
備考				

第 4 測定結果

4-1 空間放射線

4-1-1 空間線量率

今年度の測定結果を表4. 1に示す。

各測定地点の年間平均値は45 nGy/h (南相馬市萱浜) ~4,640 nGy/h (大熊町南台)、1時間値の最大値は84 nGy/h (いわき市小川) ~5,190 nGy/h (大熊町南台)、1時間値の最小値は32nGy/h (浪江町棚塩) ~3,730 nGy/h (大熊町南台) であった。

今年度の測定値の推移は、図4. 1に示すとおり、年間を通して緩やかな減少傾向を示しており、年間最大値の出現は一部地点を除き令和元年10月(降雨による自然の放射性物質の地表付近への降下による増加)、年間最小値の出現は令和2年3月(積雪による地表面の遮蔽による減少)となっている。

減少傾向を示している理由として、福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性核種のうち、空間線量率への寄与の大部分であるセシウム-134(半減期約2年)及びセシウム-137(半減期約30年)の放射能が減衰したことが考えられる。

今年度の年間平均値を事故前と比較すると、約2倍(檜葉町山田岡)~約120倍(大熊町南台)と依然として大きく上回っているが、事故直後における1時間値の最大値と比較すると、最大で約1/3,000(双葉町上羽鳥)にまで低下している。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の地域では自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇し、300nGy/hを超える地域では自然の放射性物質による上昇に比べ、雨水による遮へい効果が大きいため一時的に低下する傾向が見られる。

表4.1 空間線量率の測定結果

(単位 nGy/h)

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで*3	事故前*4
		平均値*1	最小値*2	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	いわき市 おがわ 小川	51	44	84	52~61 (86)	—	—
2	いわき市 ひさのはま 久之浜	74	60	107	79~119 (151)	—	—
3	いわき市 しもおけうり 下桶売	53	43	86	55~75 (101)	—	—
4	いわき市 かわまえ 川前	64	58	108	67~83 (119)	—	—
5	田村市 みやこじうまあらいど 都路馬洗戸	81	57	115	87~134 (168)	—	—
6	広野町 ふたつぬま 二ツ沼	82	75	133	89~140 (181)	176~4,672 (54,607)	40~43 (102)
7	広野町 こたきだいら 小滝平	79	71	118	85~127 (163)	—	—

(単位 nGy/h)

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで*3	事故前*4
		平均値*1	最小値*2	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
8	檜葉町 やまだおか 山田岡	63	59	107	66～106 (136)	185～3,460 (146,000)	43～45 (90)
9	檜葉町 きど 木戸ダム	95	80	139	101～157 (200)	—	—
10	檜葉町 しげおか 繁岡	173	141	227	191～342 (419)	473～3,376 (118,852)	41～51 (120)
11	檜葉町 しょうかん 松館	154	135	193	181～379 (439)	553～8,069 (49,265)	40～41 (107)
12	檜葉町 なみくら 波倉	221	202	256	245～423 (483)	153～419 (5,497)	36～42 (143)
13	富岡町 かみこおりやま 上郡山	237	196	265	273～763 (914)	37～1,911 (2,282)	35～37 (80)
14	富岡町 しもこおりやま 下郡山	162	136	212	199～478 (707)	81～2,133 (2,984)	42～43 (111)
15	富岡町 ふかや 深谷	136	106	187	153～275 (332)	37 (37)	35～39 (136)
16	富岡町 とみおか 富岡	141	121	191	158～788 (1,617)	46～4,178 (7,121)	39～44 (111)
17	富岡町 よのもり 夜の森	284	199	326	368～1,986 (2,436)	2,777～4,675 (186,000)	41～42 (106)
18	川内村 しもかわうち 下川内	126	95	171	138～363 (432)	—	—
19	大熊町 むかいわた 向畑	1,150	926	1,260	1,320～3,323 (3,913)	110～5,310 (5,840)	37～42 (99)
20	大熊町 くまがわ 熊川	1,580	1,150	1,910	1,800～2,800 (3,180)	36 (37)	36～37 (138)
21	大熊町 みなみだい 南台*5	4,640	3,730	5,190	5,141～9,745 (11,459)	301～12,120 (13,754)	38～39 (133)
22	大熊町 おおの 大野	969	789	1,069	1,110～2,356 (2,716)	3,103～20,245 (390,454)	39～44 (92)
23	大熊町 おとざわ 夫沢*5	3,970	2,390	5,130	7,260～15,944 (18,578)	624 (12,968)	36～41 (157)
24	双葉町 やまだ 山田*5	4,110	2,210	4,800	4,740～10,262 (12,564)	13,771～148,521 (1,018,174)	42～48 (105)
25	双葉町 こおりやま 郡山	347	289	381	394～826 (958)	1,042～6,822 (72,452)	40～42 (102)
26	双葉町 しんざん 新山	883	350	1,180	1,360～2,772 (3,266)	3,856～176,000 (904,000)	42～43 (89)

(単位 nGy/h)

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで*3	事故前*4
		平均値*1	最小値*2	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
27	双葉町 かみはとり 上羽鳥	453	369	516	531～1,112 (1,302)	1,475～58,454 (1,591,066)	39～40 (101)
28	浪江町 うけど 請戸	105	86	144	114～135 (194)	37 (37)	37～38 (137)
29	浪江町 たなしお 棚塩	75	32	118	79～98 (172)	51 (52)	49～52 (146)
30	浪江町 なみえ 浪江	130	102	163	148～480 (632)	705～9,380 (134,000)	44～52 (89)
31	浪江町 きよはし 幾世橋	90	78	127	96～200 (243)	265～4,920 (59,700)	39～42 (90)
32	浪江町 おおがき 大柿ダム	677	542	731	768～1,363 (1,521)	—	—
33	浪江町 みなみつしま 南津島	972	656	1100	1,080～2,217 (2,674)	—	—
34	葛尾村 なつゆ 夏湯	131	110	162	143～288 (358)	—	—
35	南相馬市 いずみさわ 泉沢	107	92	145	118～210 (256)	—	—
36	南相馬市 よこかわ 横川ダム	209	171	256	234～479 (671)	—	—
37	南相馬市 かいばま 萱浜	45	41	93	46 (80)	—	—
38	飯館村 いたみさわ 伊丹沢	145	112	178	159～206 (241)	—	—
39	川俣町 やまきや 山木屋	124	95	154	136～153 (171)	—	—

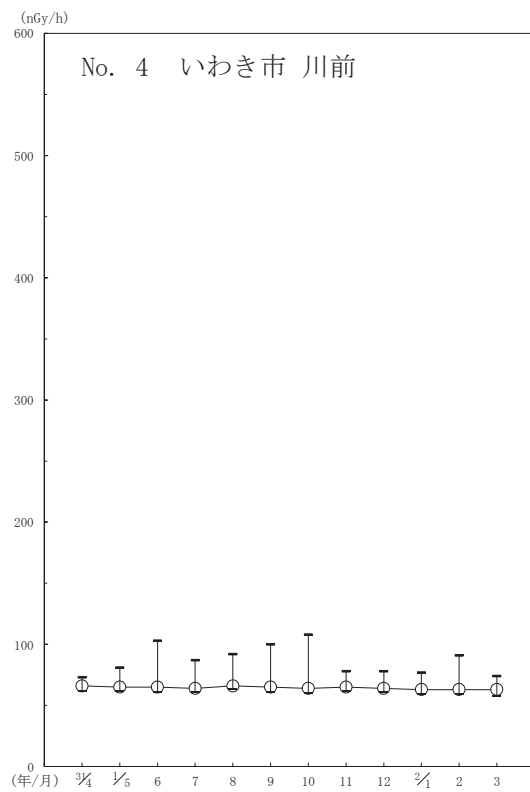
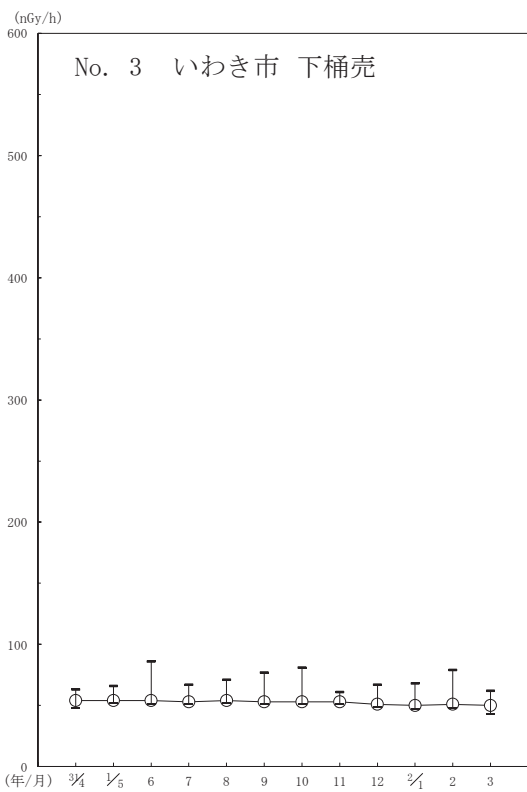
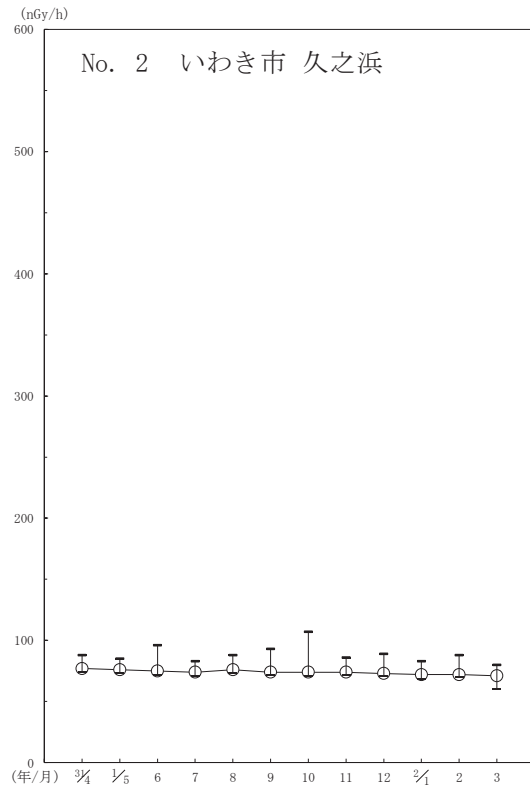
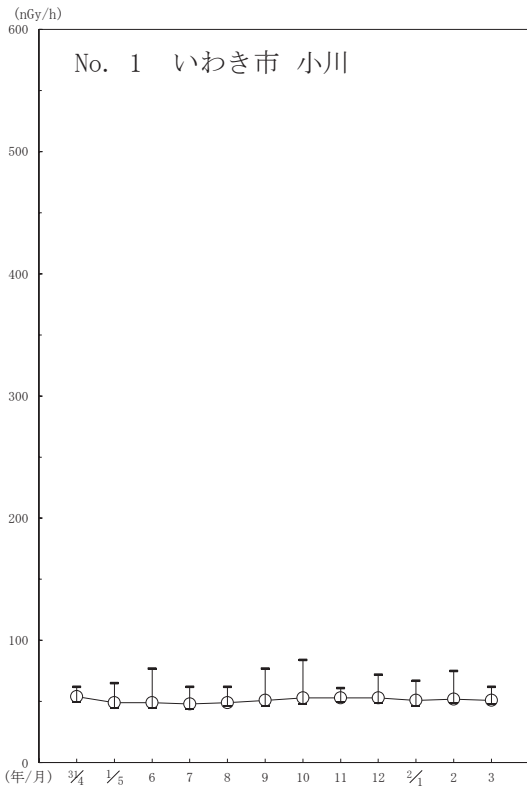
- 注) 1. No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域。
2. *1 「平均値」は、年間の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して算出。
3. *2 「最小値」及び「最大値」は、それぞれ1時間値の最小及び最大の値。
4. *3 「事故後から平成25年度まで」の適用期間について、No. 15、No. 20、No. 28及びNo. 29は、平成23年3月11日の16時まで測定し、その後津波で流失。なお、No. 15は富岡町仏浜の測定値を掲載している。
5. *4 「事故前」の適用期間は、温度補償型検出器への更新、局舎建設等の終了、局舎を移転した年度以降の期間～東日本大震災発生の前日まで。
No.12、16：昭和55年度～平成23年3月10日、
No.10：昭和56年度～平成23年3月10日、
No.19、22、23、24：昭和58年度～平成23年3月10日、
No.30、31：昭和61年度～平成23年3月10日、
No.6、8、11、14、17、21、26、27：平成13年度～平成23年3月10日、
No.25：平成16年度～平成23年3月10日、
No.13：平成19年度～平成23年3月10日
また、以下の測定地点は事故後に運用開始している。

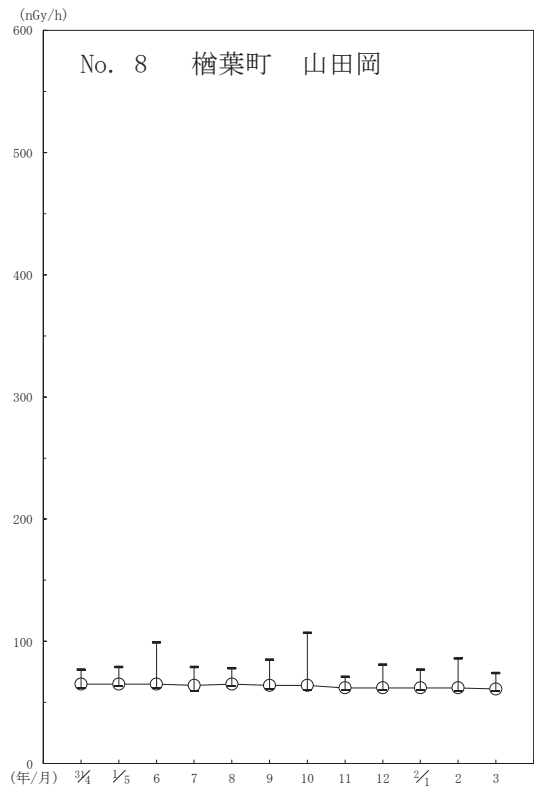
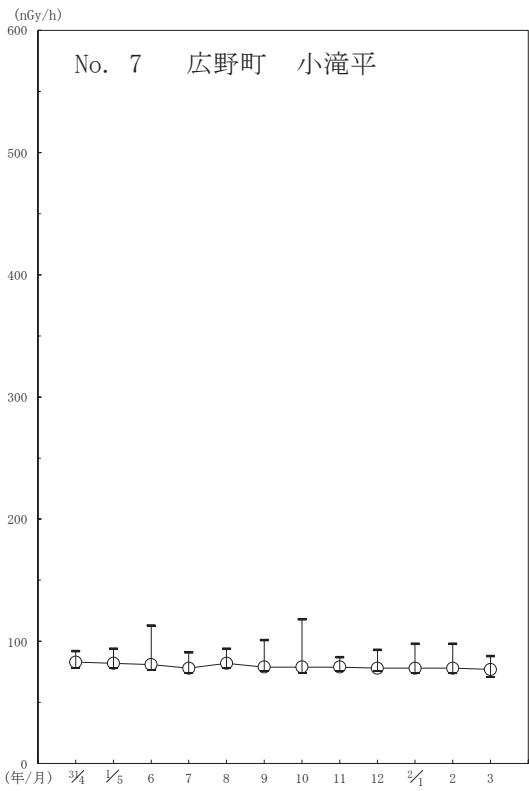
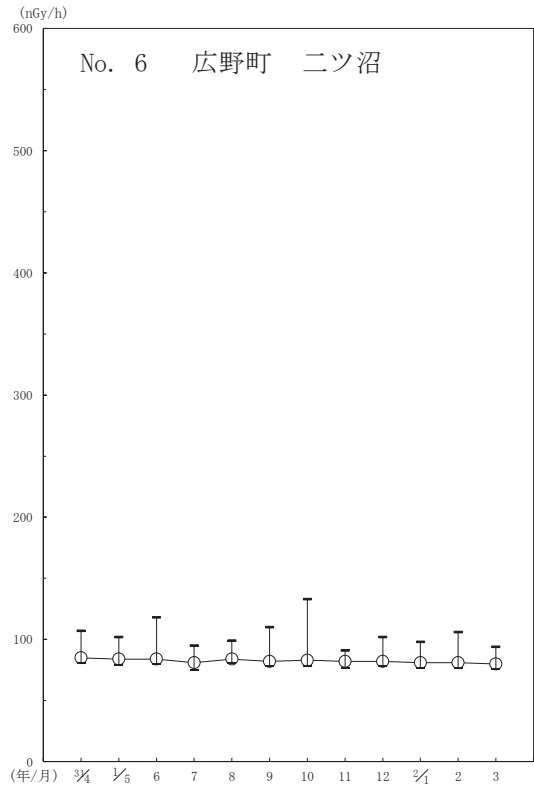
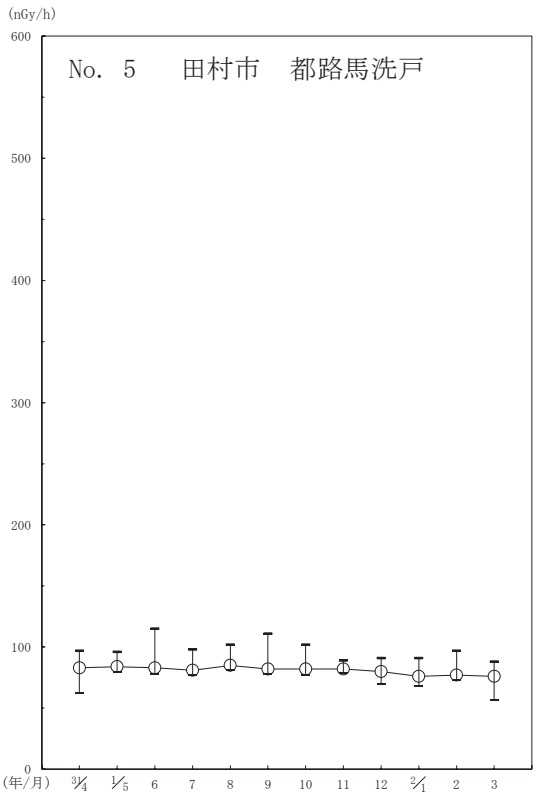
No. 1～5、7、9、18、32～36：平成26年度から運用開始。

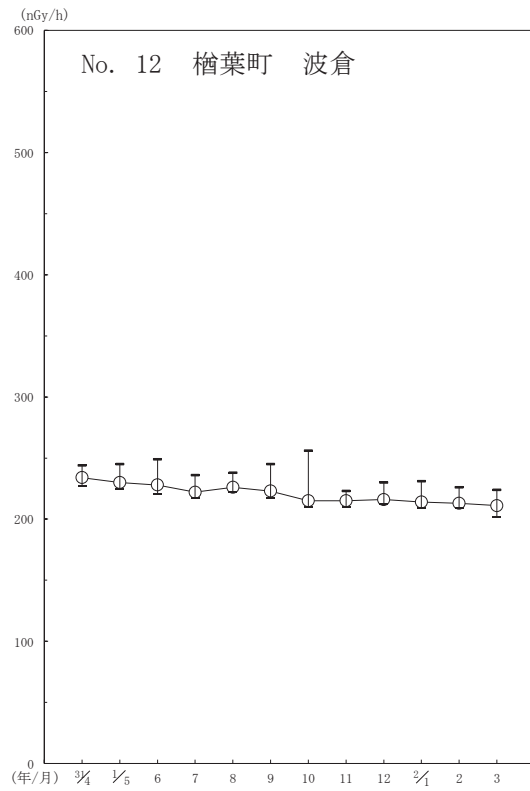
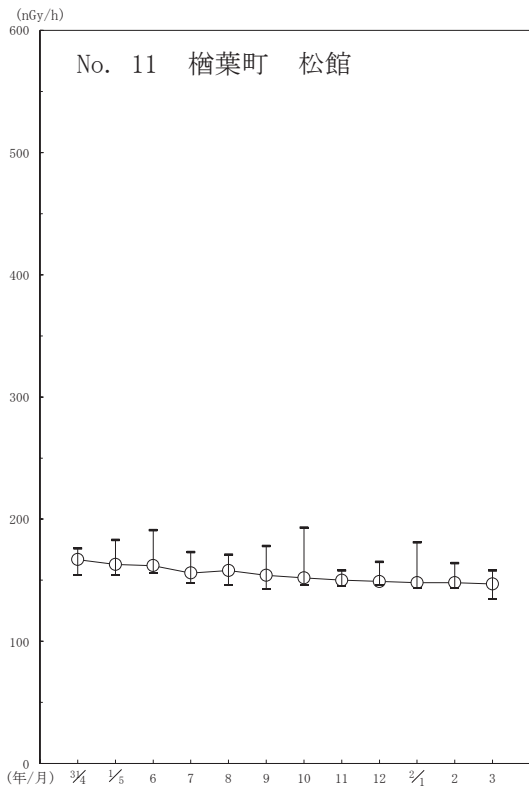
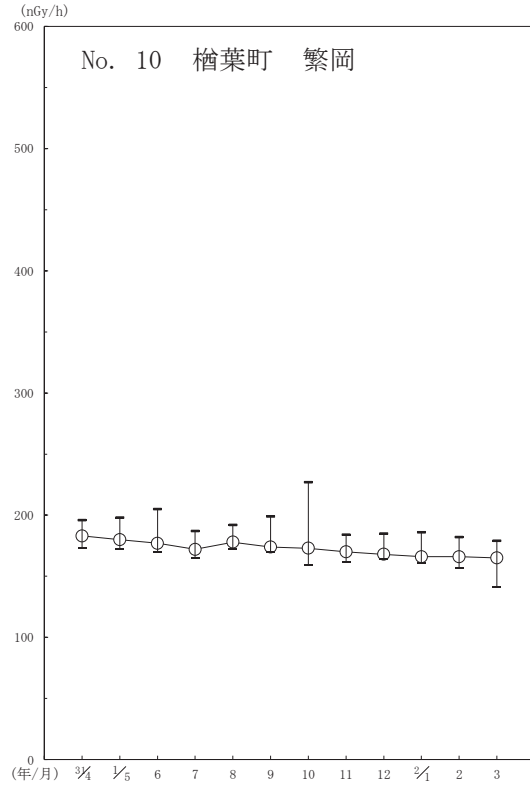
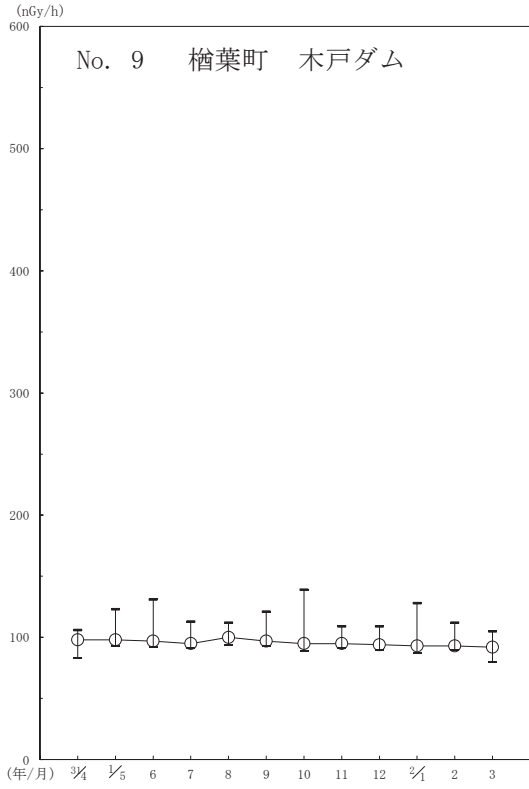
No. 15、20、28、29：平成27年度から津波で流失した局舎の代替として、可搬型モニタリングポストで測定。なお、No. 15は従来の測定地点である富岡町仏浜と異なる地点であるが、参考として富岡町仏浜の事故前の測定値を掲載している。

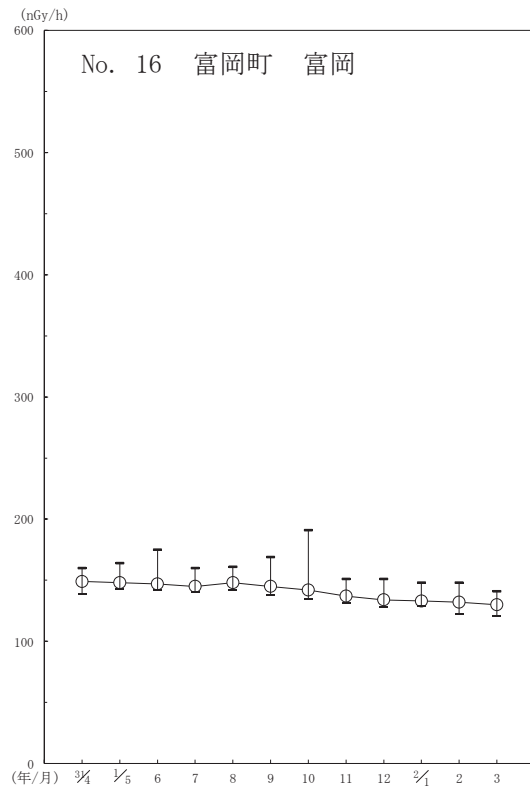
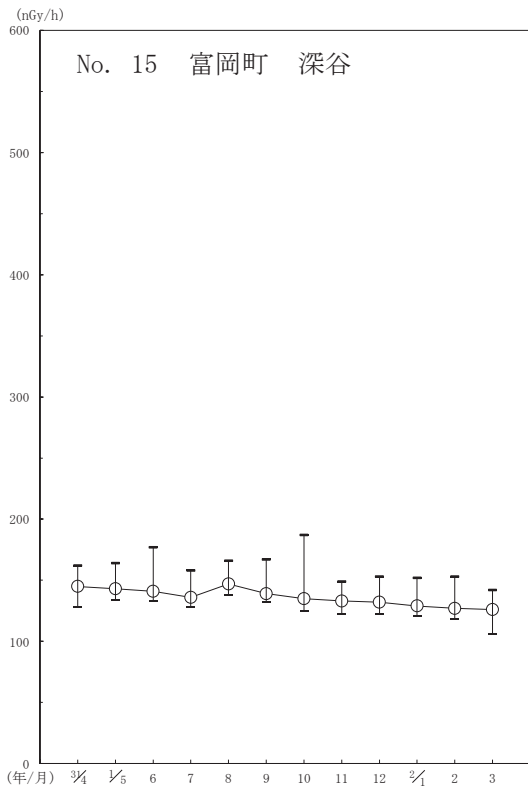
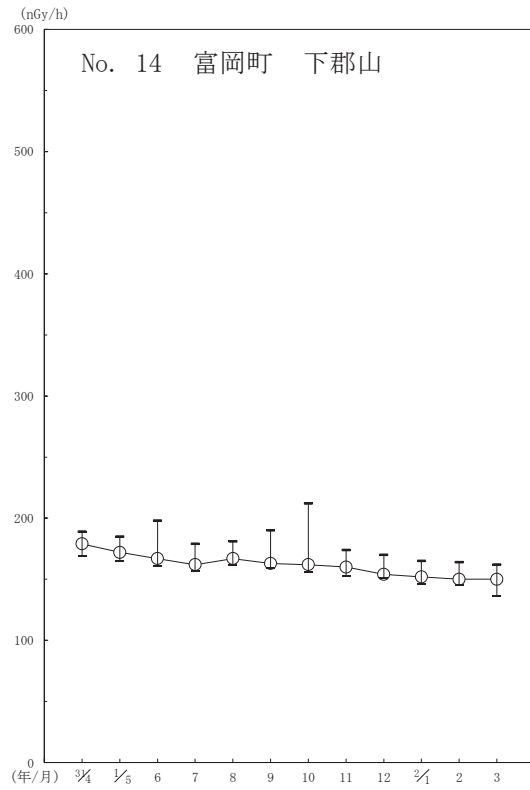
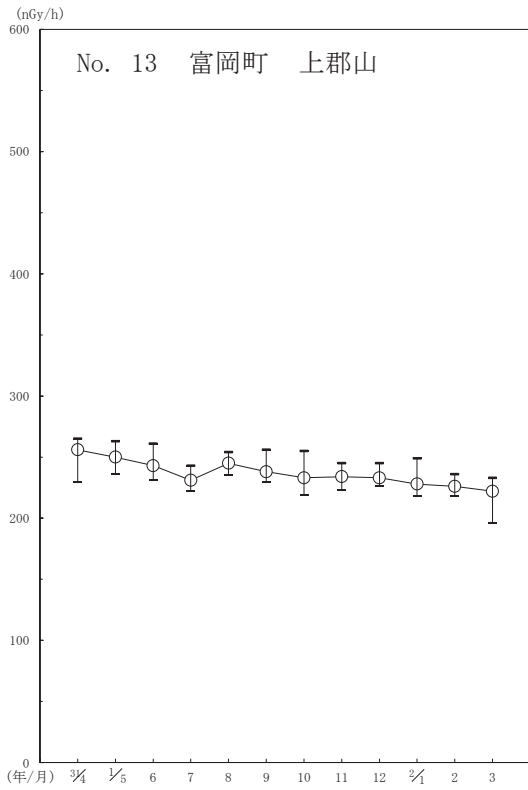
6. *5 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaI (Tl) シンチレーション検出器、単位：nGy/h) により行ったが、概ね10,000nGy/h (10 μ Gy/h) を超えた場合は、併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位：nGy/h) の測定値で補完した。

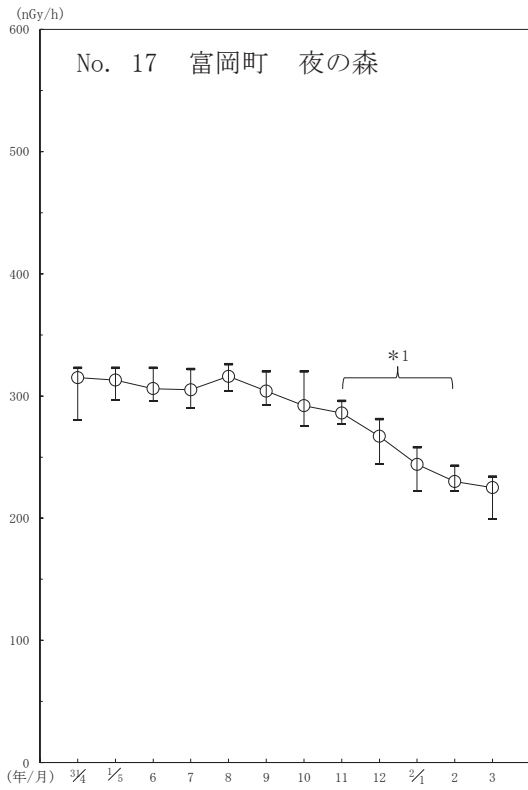
図 4. 1 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移



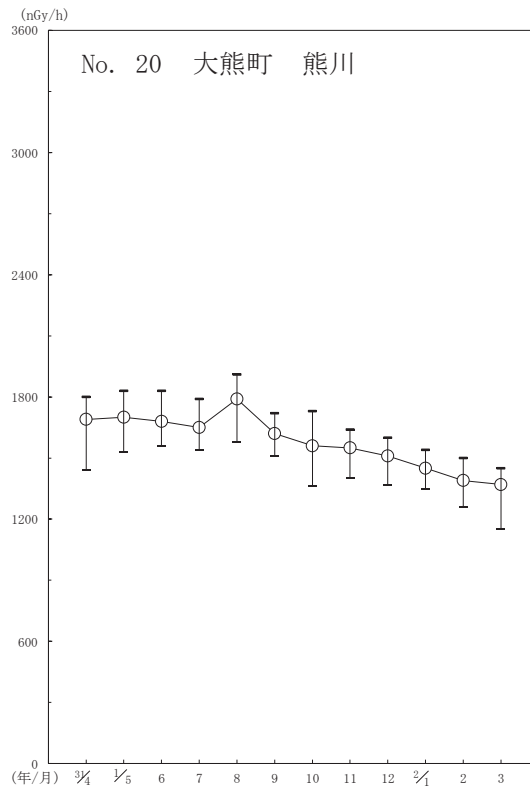
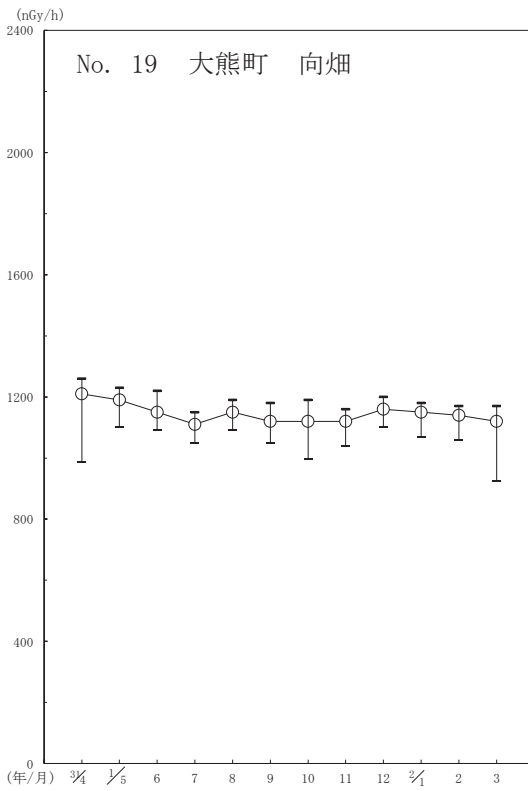
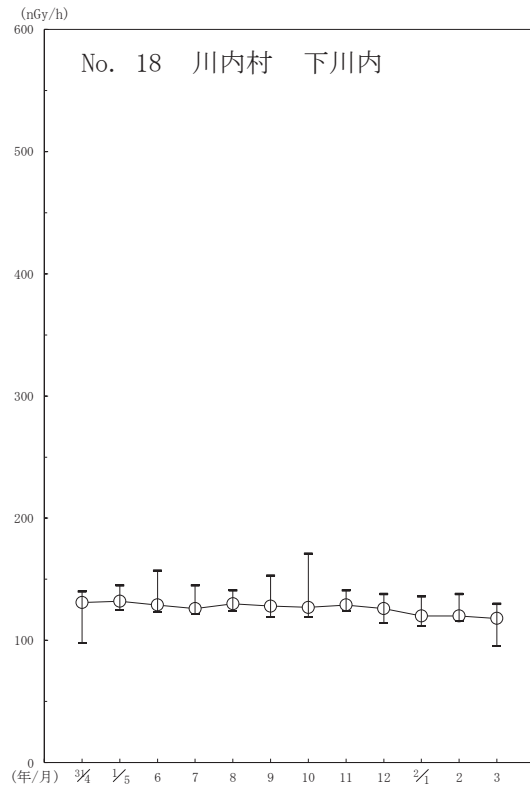


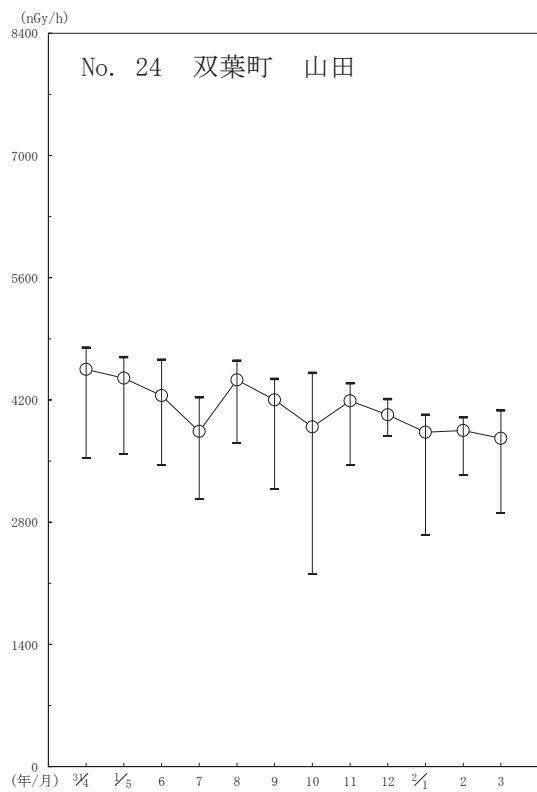
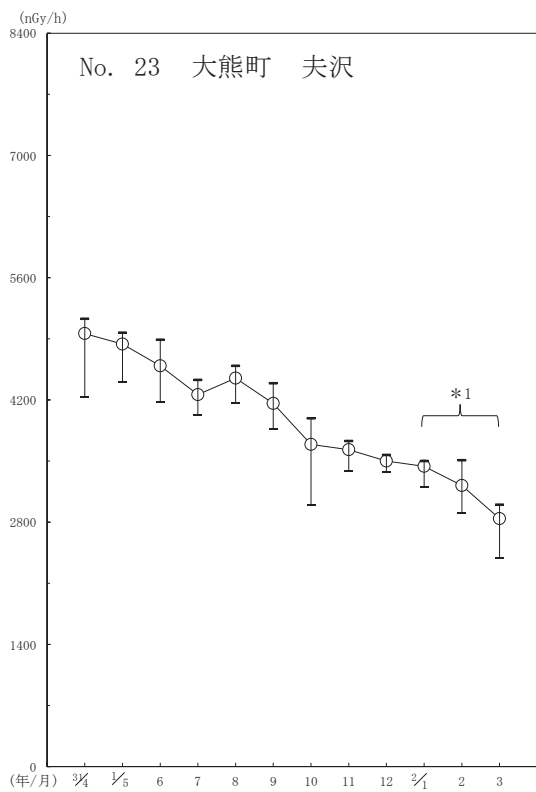
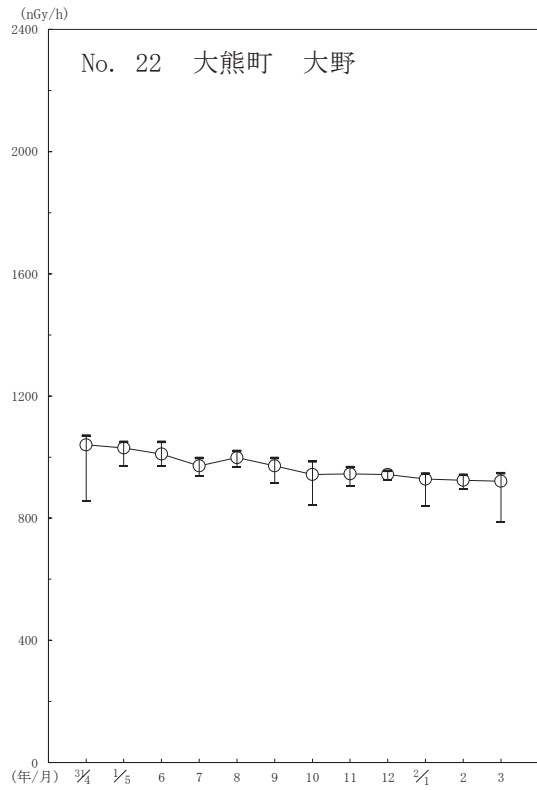
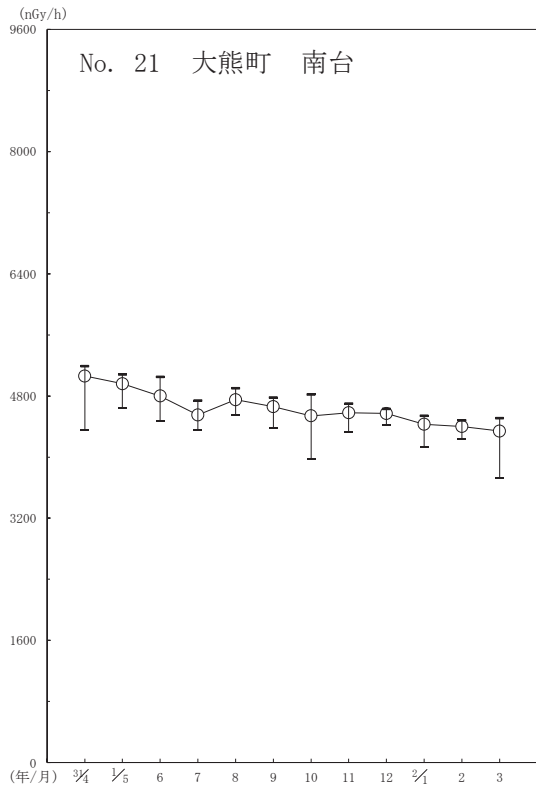


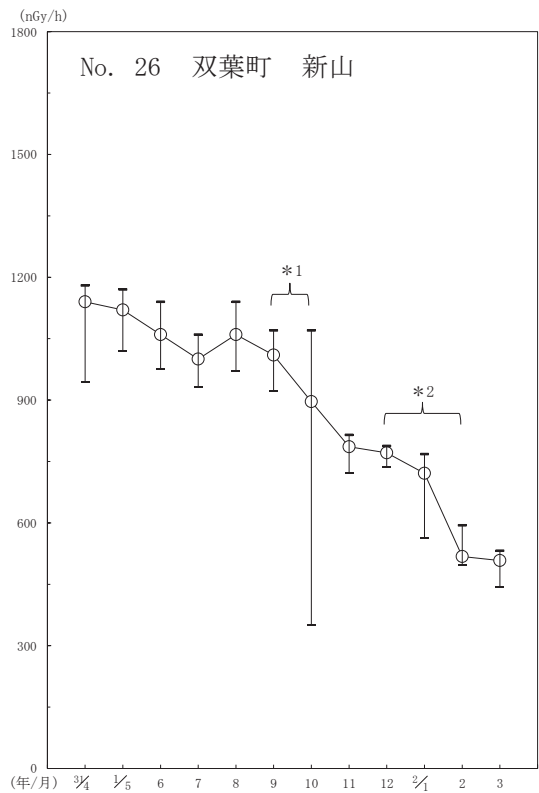
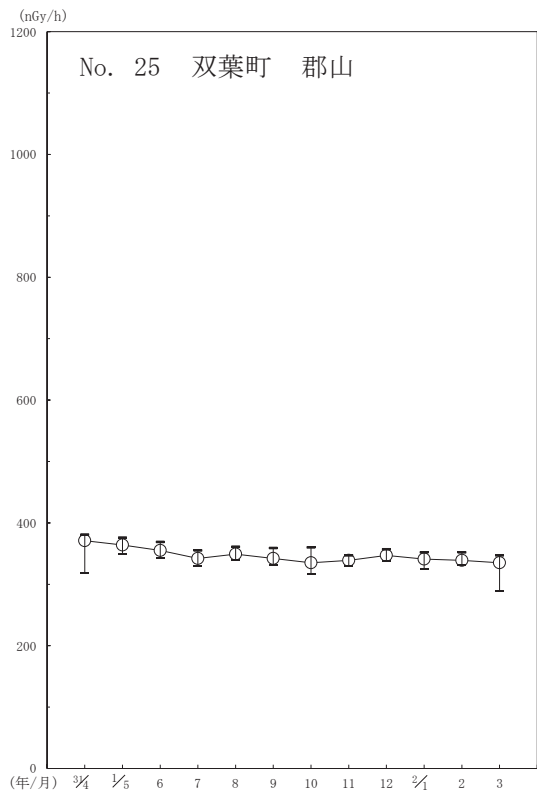




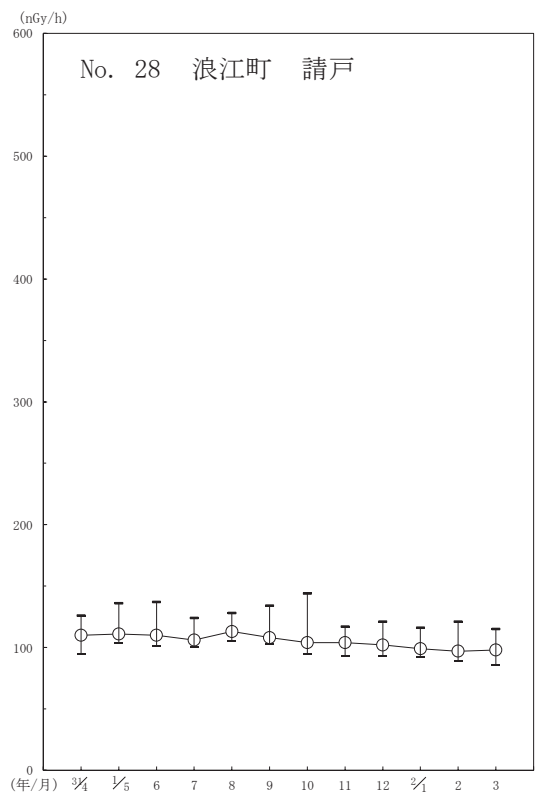
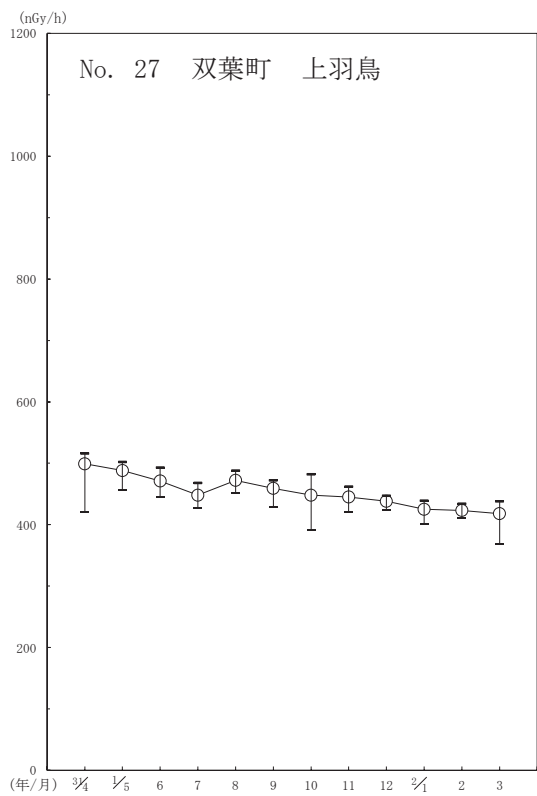
*1 局舎周辺の道路舗装工事による除染効果のため、線量率低下

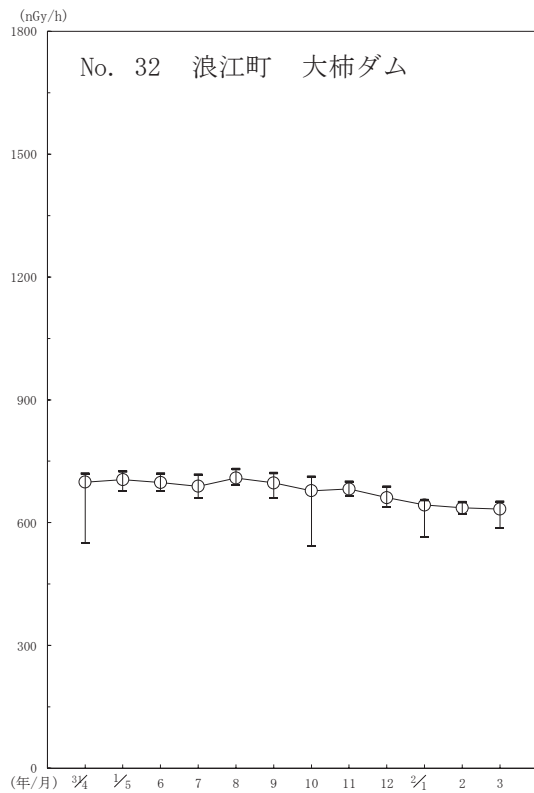
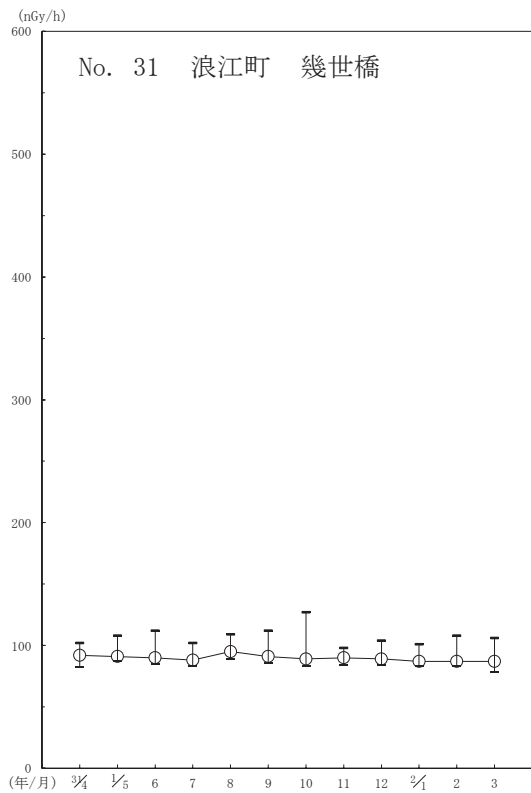
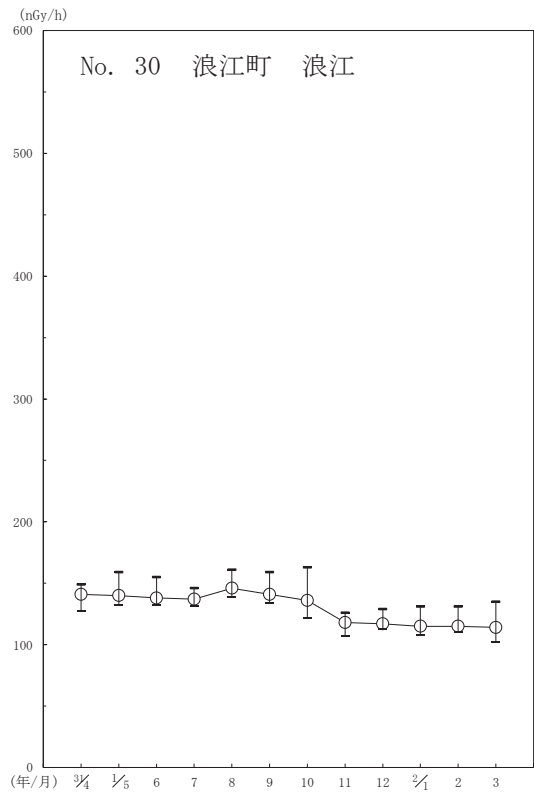
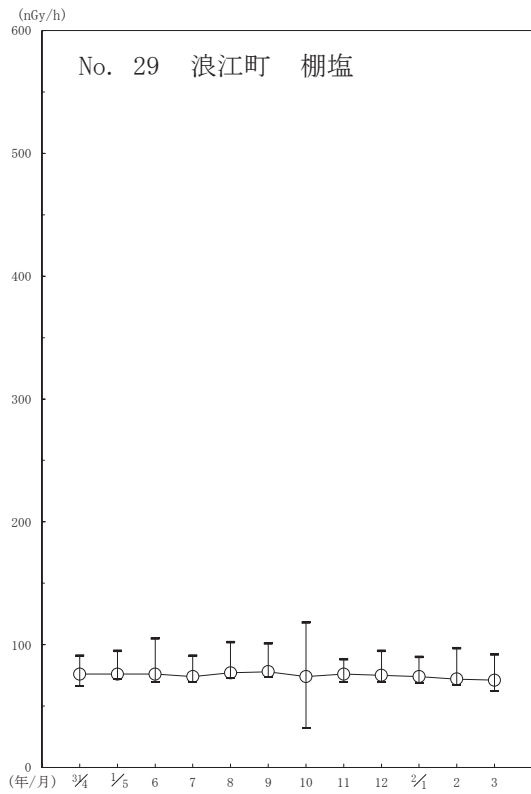


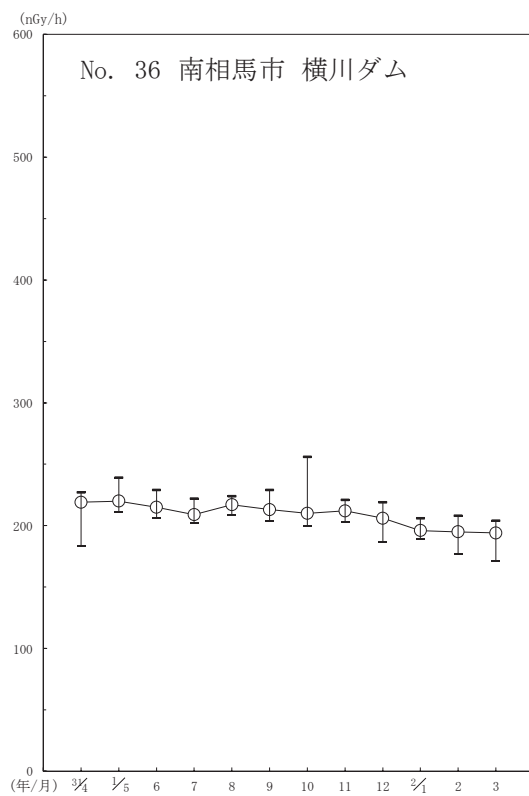
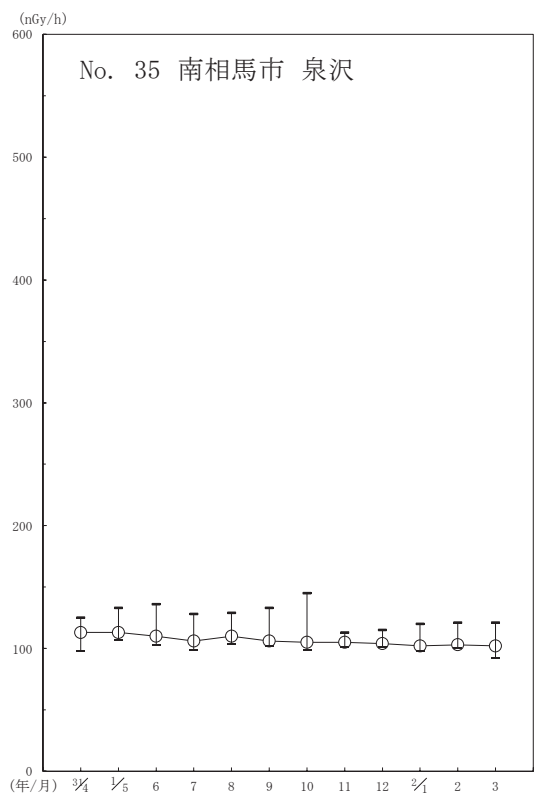
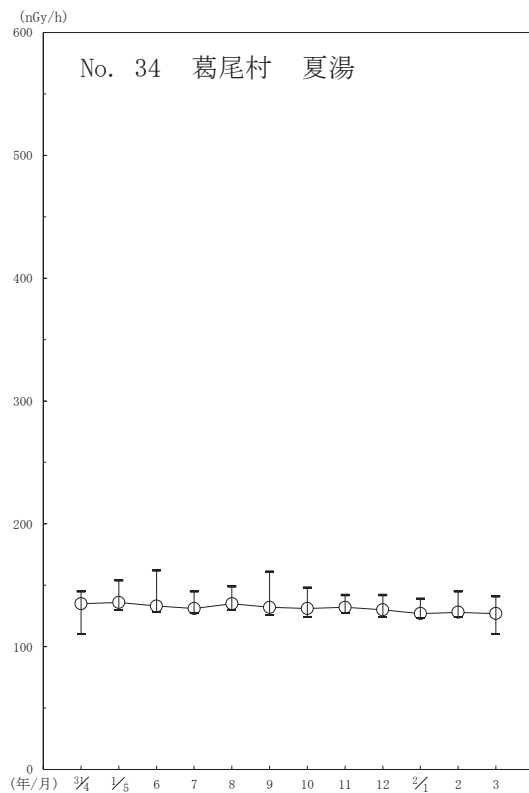
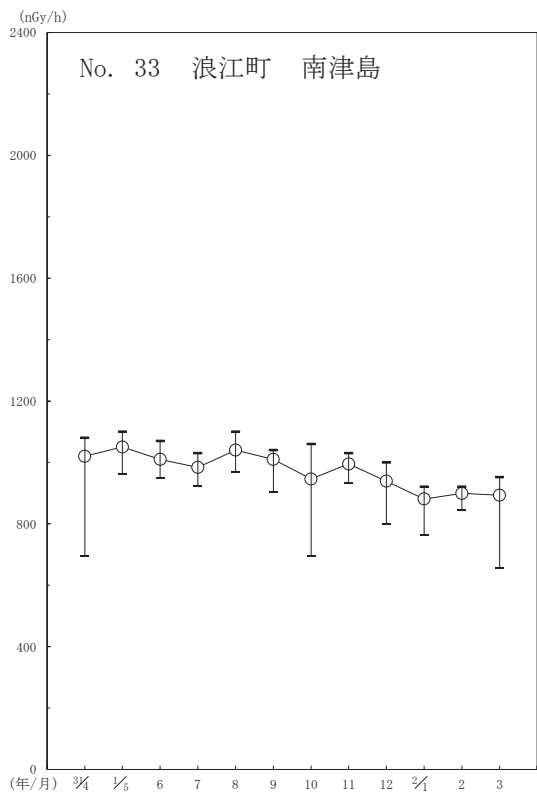


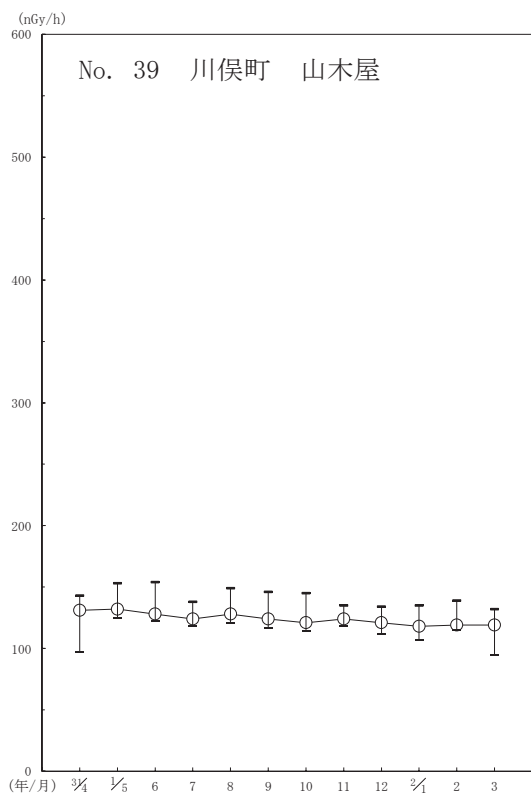
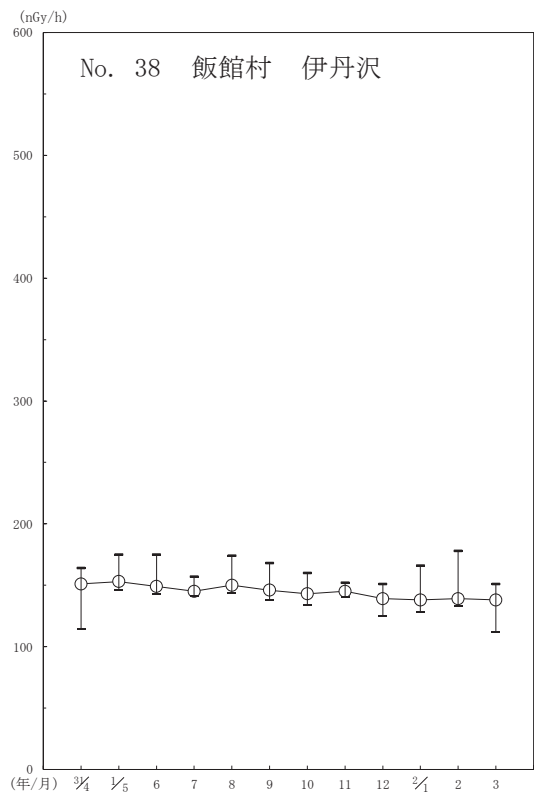
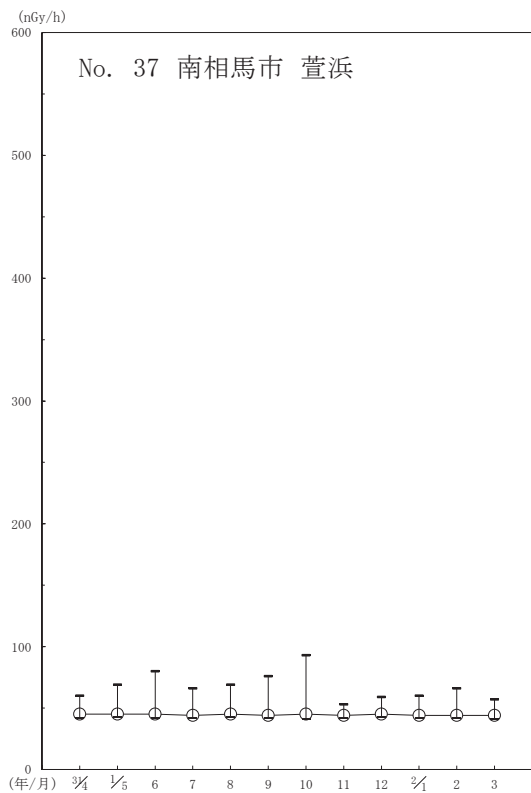


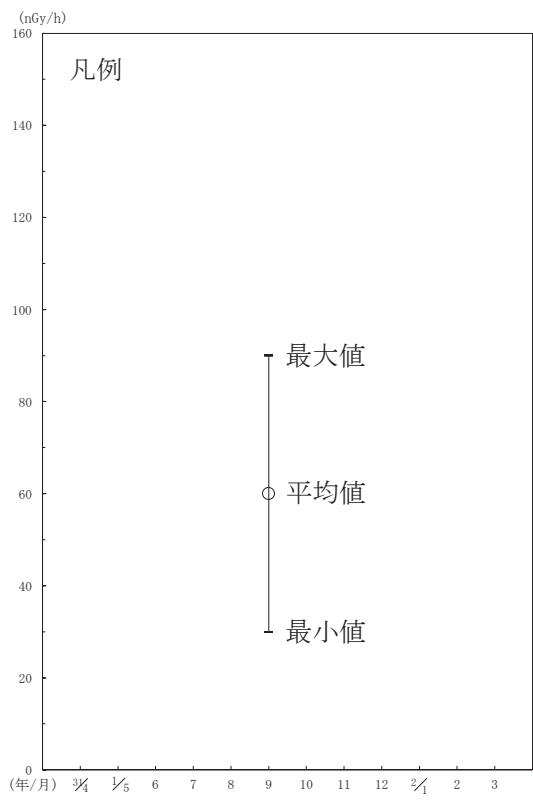
*1 局舎周辺の除染のため線量率低下
 *2 局舎周辺の土木工事により線量率低下











4-1-2 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値*1）を表4.2に示す。

最大は70 mGy（大熊町夫沢）で、最小は0.63 mGy（南相馬市萱浜）であった。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図4.2に示す。空間線量率と同様に年間を通じて緩やかな減少傾向を示している。

今年度測定値を事故前と比較すると、約1.6倍（檜葉町山田岡）～約57倍（大熊町大野、ただし事故前の測定値のない地点を除く。）と依然として大きく上回っているが、事故後の測定値と比較すると、最大で約1/21（富岡町夜の森北）にまで低下している。

表4.2 空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位 mGy/365日）

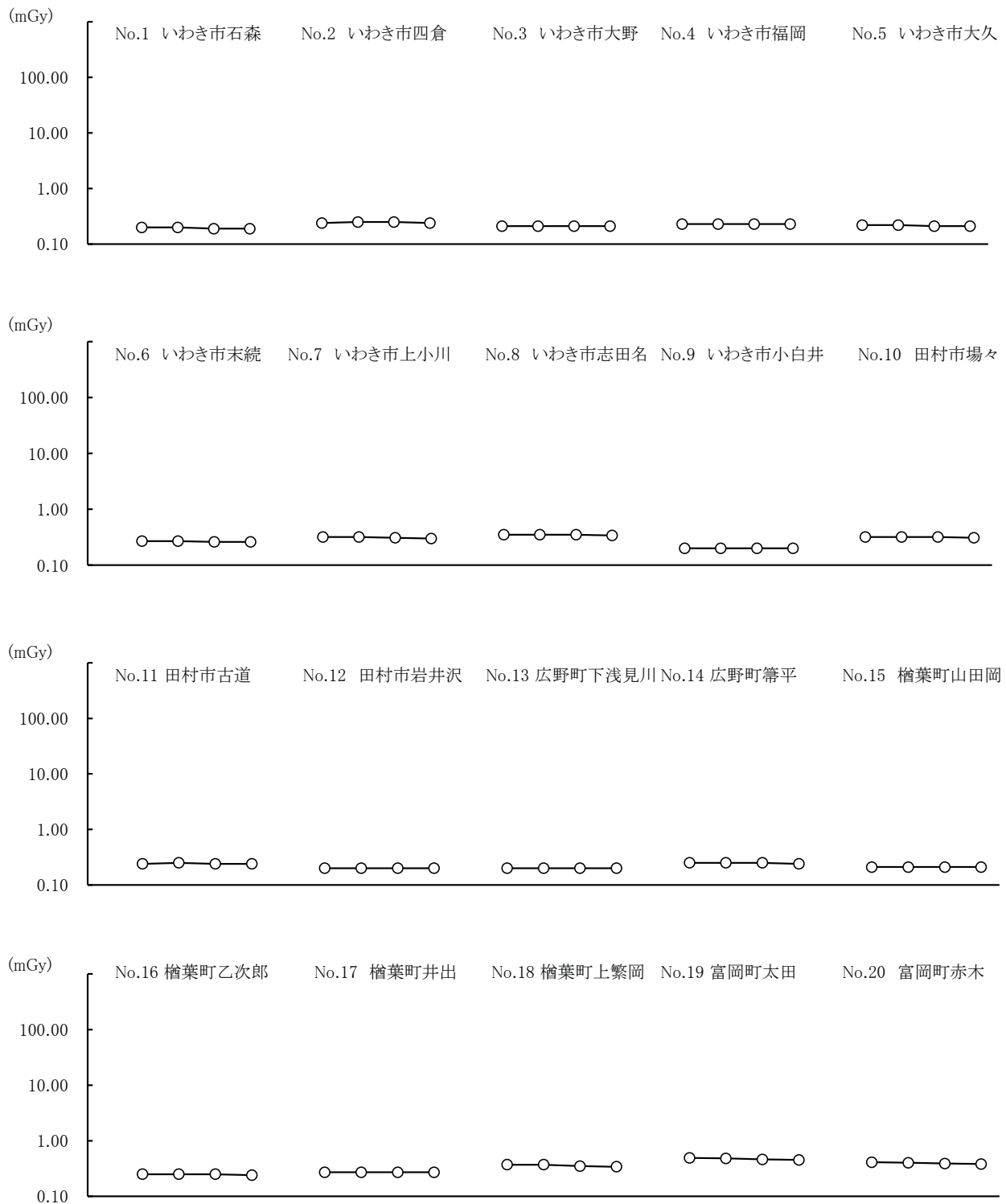
No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値		
			平成26年度から 前年度まで	平成22年度か ら 平成25年度ま で	事故前*2
1	いわき市 石森	0.79	0.84～1.2	—	—
2	いわき市 四倉	0.99	1.1～1.5	—	—
3	いわき市 大野	0.85	0.87～1.1	—	—
4	いわき市 福岡	0.92	0.95～1.1	—	—
5	いわき市 大久	0.88	0.90～1.2	—	—
6	いわき市 末続	1.1	1.1～1.8	—	—
7	いわき市 上小川	1.3	1.3～2.3	—	—
8	いわき市 志田名	1.4	1.5～2.2	—	—
9	いわき市 小白井	0.82	0.84～1.0	—	—
10	田村市 場々	1.3	1.4～2.1	—	—
11	田村市 古遣	0.98	1.0～1.1	—	—
12	田村市 岩井沢	0.81	0.83～1.0	—	—
13	広野町 下浅見川	0.83	0.87～1.1	—	—
14	広野町 帚平	1.0	1.1～1.4	—	—
15	檜葉町 山田岡	0.85	0.88～1.5	2.1～4.5	0.51～0.52
16	檜葉町 乙次郎	1.0	1.1～1.4	—	—
17	檜葉町 井出	1.1	1.2～1.5	3.5～7.3	0.53～0.55
18	檜葉町 上繁岡	1.4	1.6～2.6	3.4～14	0.50～0.52
19	富岡町 太田	1.9	2.1～5.3	6.8～17	0.48～0.51
20	富岡町 赤木	1.6	1.8～4.5	—	—
21	富岡町 小良ヶ浜	12	14～29	23～71	0.47～0.52
22	富岡町 夜の森北	2.4	2.8～12	15～51	0.47～0.48
23	富岡町 上手岡	2.3	2.6～11	—	—
24	川内村 三ツ石	2.2	2.4～4.2	—	—
25	川内村 貝ノ坂	3.2	3.6～6.6	—	—

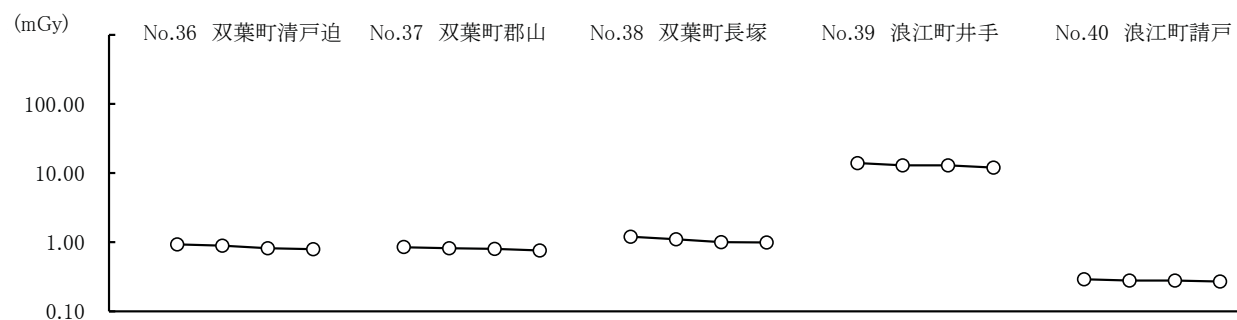
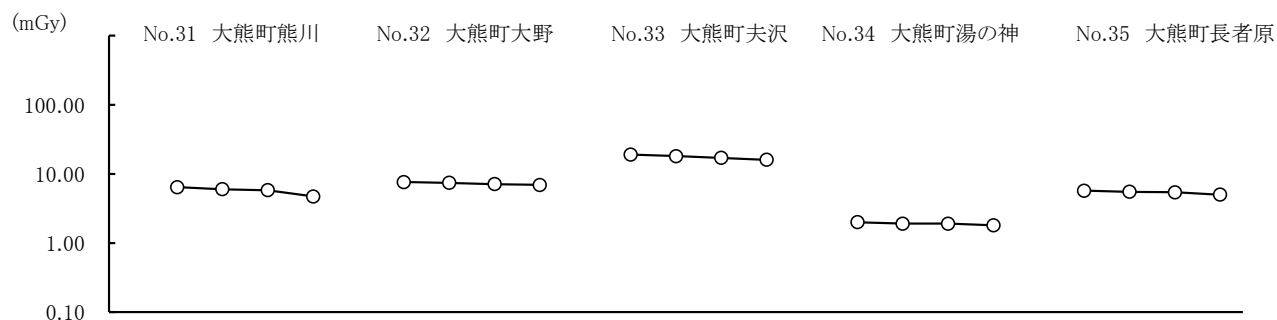
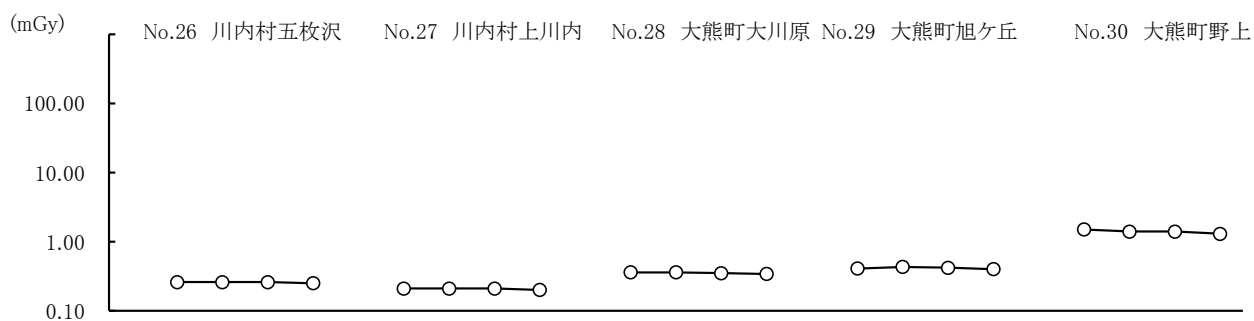
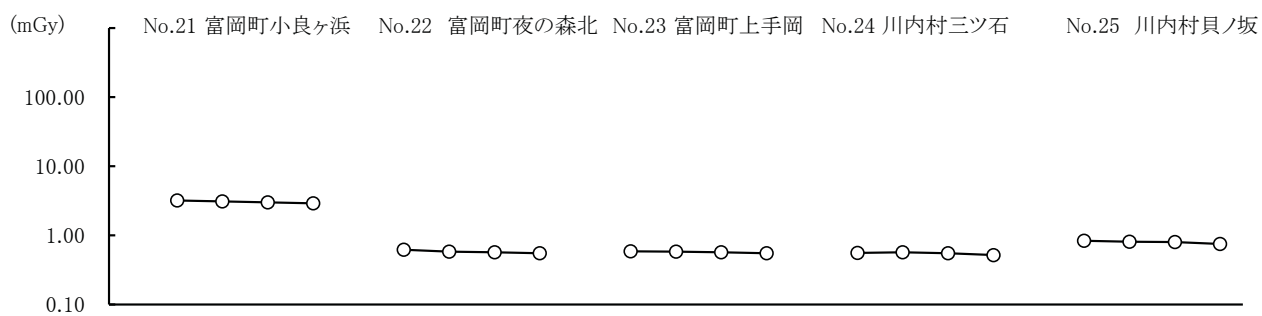
No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値		
			平成 26 年度から 前年度まで	平成 22 年度か ら 平成 25 年度ま で	事故前*2
26	川内村 五枚沢 <small>ごまいきわ</small>	1.0	1.1~2.3	—	—
27	川内村 上川内 <small>かみかわうち</small>	0.85	0.88~1.0	—	—
28	大熊町 大川原 <small>おおがわら</small>	1.4	1.5~2.6	—	—
29	大熊町 旭ヶ丘 <small>あさひがおか</small>	1.7	1.9~3.0	—	—
30	大熊町 野上 <small>のがみ</small>	5.8	10~21	17~54	0.53~0.56
31	大熊町 熊川 <small>くまがわ</small>	23	28~58	76~170	0.48~0.52*3
32	大熊町 大野 <small>おおの</small>	30	34~53	63~140	0.52~0.53
33	大熊町 夫沢 <small>おとぎわ</small>	70	85~170	200~340*4	—
34	大熊町 湯の神 <small>ゆのかみ</small>	7.8	8.9~17	—	—
35	大熊町 長者原 <small>ちやうじやほら</small>	22	25~49	60~130	0.42~0.44
36	双葉町 清戸迫 <small>きよとさく</small>	3.5	5.4~10	12~24	0.48~0.52
37	双葉町 郡山 <small>こおりやま</small>	3.3	3.7~8.1	7.8~17	0.52~0.55*5
38	双葉町 長塚 <small>ながつか</small>	4.3	6.2~21	25~49	0.48~0.51
39	浪江町 井出 <small>いで</small>	52	59~110	—	—
40	浪江町 請戸 <small>うけど</small>	1.1	1.2~1.9	2.3~3.7	0.52~0.56*6
41	浪江町 小野田 <small>おのだ</small>	3.3	4.2~18	19~43	0.52~0.53
42	浪江町 幾世橋 <small>きよせはし</small>	1.2	1.3~2.8	2.4~5.7	0.50~0.52
43	浪江町 荻宿 <small>がりやど</small>	2.6	2.7~25	—	—
44	浪江町 昼曾根 <small>ひるそね</small>	18	28~64	—	—
45	浪江町 津島 <small>つしま</small>	7.6	13~25	—	—
46	葛尾村 大放 <small>おおはなち</small>	1.5	1.6~2.7	—	—
47	葛尾村 落合 <small>おちあい</small>	1.9	2.0~3.7	—	—
48	葛尾村 野行 <small>のゆき</small>	9.1	11~28	—	—
49	南相馬市 浦尻 <small>うらじり</small>	0.93	0.99~1.4	1.7~2.3	—
50	南相馬市 耳谷 <small>みみがい</small>	1.1	1.1~1.9	2.6~5.1	0.55~0.59
51	南相馬市 川房 <small>かわふさ</small>	3.7	4.5~16	—	—
52	南相馬市 関場 <small>せきば</small>	1.9	2.2~4.4	3.6~9.2	0.51~0.56
53	南相馬市 高 <small>たか</small>	0.92	0.97~1.6	—	—
54	南相馬市 大木戸 <small>おおきど</small>	0.72	0.76~1.0	—	—
55	南相馬市 萱浜 <small>かひま</small>	0.63	0.65~0.72	—	—
56	南相馬市 大原 <small>おおはら</small>	1.4	1.5~5.0	—	—
57	南相馬市 川子 <small>かわご</small>	0.97	1.0~1.6	—	—
58	飯館村 蕨平 <small>わらびだいら</small>	3.1	3.4~13	—	—
59	飯館村 長泥 <small>ながどろ</small>	5.9	13~24	—	—

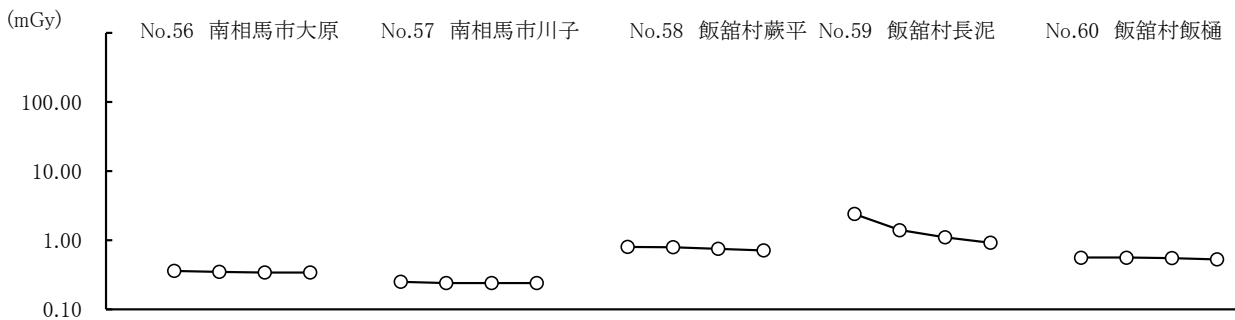
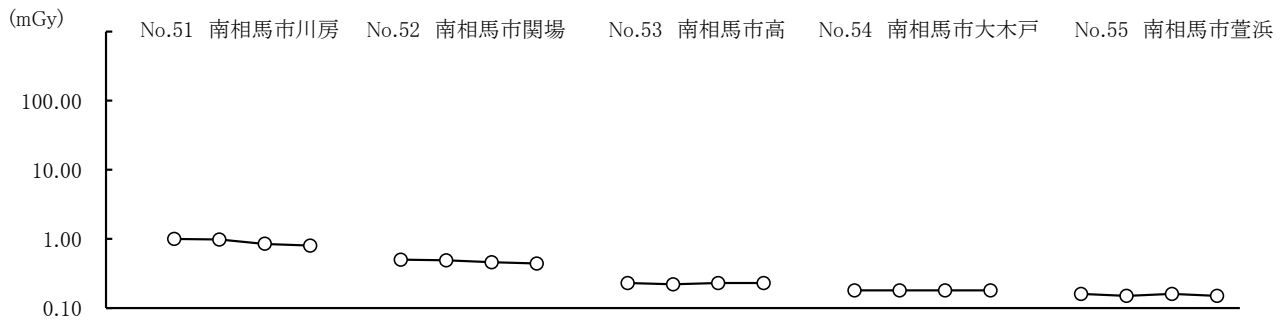
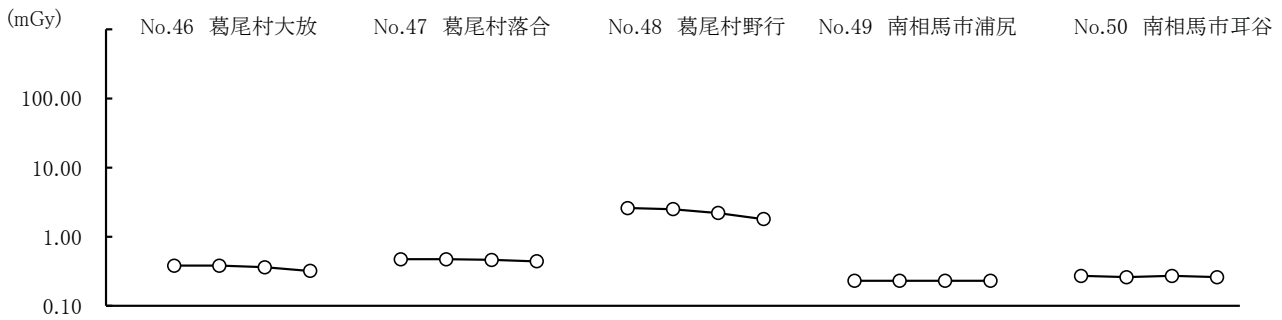
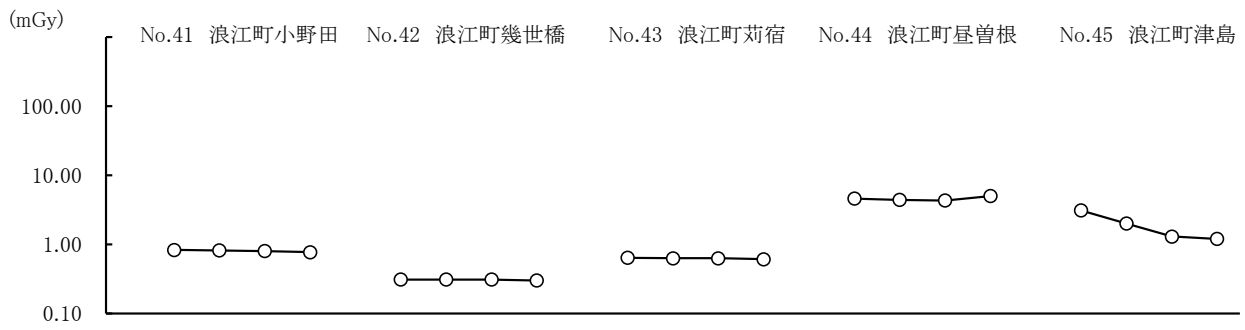
No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値		
			平成 26 年度から 前年度まで	平成 22 年度か ら 平成 25 年度ま で	事故前 ^{*2}
60	飯舘村 飯 樋	2.2	2.5～7.6	—	—
61	飯舘村 臼 石	4.0	4.3～8.3	—	—
62	飯舘村 草 野	3.4	3.8～7.3	—	—
63	川俣町 山木屋坂下	3.4	3.8～7.1	—	—
64	川俣町 山木屋	1.3	1.4～3.2	—	—

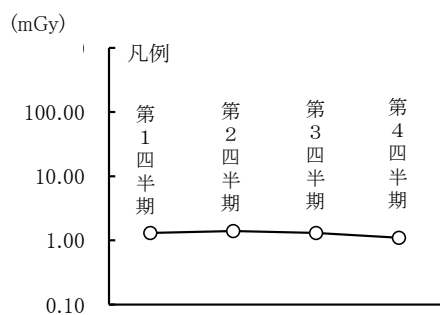
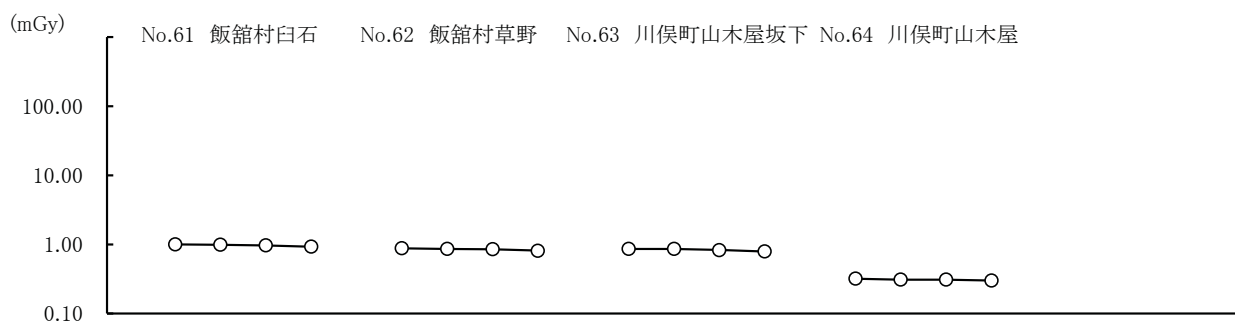
- 注) 1. No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域。
2. *1 年間相当値は、各四半期の測定値の和を 365 日相当に換算し、有効数字 2 桁で表示。
3. *2 事故前の測定値は平成 15 年度から平成 21 年度までの値。
4. *3 No. 31 大熊町熊川については、東日本大震災（津波）により素子が流失した後、平成 23 年 4 月 21 日に代替地点に再設置したため、事故前の測定値については、従前の測定地点のものを参考値としている。
5. *4 No. 33 大熊町夫沢については、東日本大震災後の平成 23 年 10 月 5 日より測定を開始したため、平成 23 年度の測定値については、平成 23 年 10 月 5 日から平成 24 年 4 月 12 日までの値を年間相当値に換算。
6. *5 No. 37 双葉町郡山については、局舎移転に伴い、平成 15 年 12 月 25 日に測定地点を移動したため、事故前の測定値は平成 16 年度から平成 21 年度までの測定値。
7. *6 No. 40 浪江町請戸については、東日本大震災（津波）により素子が流失した後、平成 23 年 5 月 19 日に代替地点に再設置したため、事故前の測定値については、従前の測定地点のものを参考値としている。

図4.2 空間積算線量(90日換算値^{*1})の推移









(注) *1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算した。

4-2 環境試料

4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表 4.3 に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の年間平均値は、0.011 Bq/m³（飯館村伊丹沢）～0.041 Bq/m³（葛尾村夏湯）、最大値は0.12 Bq/m³（飯館村伊丹沢）～0.31 Bq/m³（葛尾村夏湯）であり、共に事故前から測定していた全ての地点で事故前の測定値とほぼ同程度となっている。

全ベータ放射能についても、今年度の年間平均値が0.032 Bq/m³（双葉町郡山）～0.082 Bq/m³（大熊町夫沢）、最大値が0.19 Bq/m³（楡葉町木戸ダム）～0.71 Bq/m³（楡葉町繁岡）であり、共に事故前から測定していた全ての地点で事故前の測定値とほぼ同程度となっている。

なお、全アルファ・全ベータ放射能に強い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられる（図 4.3 全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関を参照）。

表 4.3 大気浮遊じんの全アルファ放射能・全ベータ放射能測定結果

（単位 Bq/m³）

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで*3	事故前*4
			平均値*1	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	いわき市 おがわ 小川	全アルファ放射能	0.033	0.29	0.035～0.043 (0.42)	—	—
		全ベータ放射能	0.055	0.38	0.051～0.063 (0.53)	—	—
2	田村市 みやこじょうまあらいど 都路馬洗戸	全アルファ放射能	0.013	0.13	0.012～0.015 (0.17)	—	—
		全ベータ放射能	0.034	0.20	0.028～0.037 (0.16)	—	—
3	広野町 こたきだいら 小滝平	全アルファ放射能	0.016	0.14	0.015～0.022 (0.17)	—	—
		全ベータ放射能	0.039	0.22	0.031～0.042 (0.22)	—	—
4	楡葉町 きどだむ 木戸ダム	全アルファ放射能	0.022	0.13	0.022～0.027 (0.18)	—	—
		全ベータ放射能	0.044	0.19	0.038～0.047 (0.25)	—	—
5	楡葉町 しげおか 繁岡	全アルファ放射能	0.018	0.23	0.022～0.026 (0.30)	0.019～0.025 (0.34)	0.020～0.025 (0.19)
		全ベータ放射能	0.071	0.71	0.049～0.087 (0.48)	0.050～0.14 (25)	0.042～0.054 (0.32)

No	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで*3	事故前*4
			平均値*1	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
6	富岡町 とみおか 富岡	全アルファ放射能	0.018	0.15	0.023～0.029 (0.24)	0.018～0.020 (0.24)	0.021～0.028 (0.35)
		全ベータ放射能	0.068	0.46	0.043～0.082 (0.49)	0.042～0.064 (52)	0.039～0.048 (0.48)
7	川内村 しもかわうち 下川内	全アルファ放射能	0.028	0.19	0.027～0.034 (0.25)	—	—
		全ベータ放射能	0.052	0.27	0.050～0.058 (0.30)	—	—
8	大熊町 おおの 大野	全アルファ放射能	0.014	0.12	0.013～0.019 (0.16)	0.017～0.018 (0.19)	0.020～0.026 (0.35)
		全ベータ放射能	0.064	0.40	0.044～0.069 (0.35)	0.048～0.098 (1.3)	0.039～0.049 (0.54)
9	大熊町 おつとぎわ 天沢	全アルファ放射能	0.020	0.20	0.014～0.022 (0.21)	—	0.022～0.032 (0.58)
		全ベータ放射能	0.082	0.62	0.067～0.090 (0.53)	—	0.042～0.057 (0.78)
10	双葉町 こおりやま 郡山	全アルファ放射能	0.014	0.13	0.012～0.017 (0.13)	0.012～0.015 (0.15)	0.015～0.020 (0.14)
		全ベータ放射能	0.032	0.20	0.030～0.035 (0.26)	0.037～0.039 (0.80)	0.032～0.042 (0.22)
11	浪江町 きよほし 幾世橋	全アルファ放射能	0.023	0.22	0.023～0.028 (0.29)	—	—
		全ベータ放射能	0.042	0.27	0.042～0.050 (0.37)	—	—
12	浪江町 おおがきだむ 大柿ダム	全アルファ放射能	0.031	0.20	0.032～0.045 (0.31)	—	—
		全ベータ放射能	0.073	0.35	0.067～0.089 (0.43)	—	—
13	葛尾村 なつゆ 夏湯	全アルファ放射能	0.041	0.31	0.042～0.053 (0.37)	—	—
		全ベータ放射能	0.070	0.43	0.065～0.088 (0.49)	—	—

No	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲		
					平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成 25 年度まで*3	事故前*4
			平均値*1	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
14	南相馬市 泉沢	全アルファ放射能	0.016	0.14	0.017～0.021 (0.13)	—	—
		全ベータ放射能	0.036	0.21	0.031～0.041 (0.18)	—	—
15	南相馬市 萱浜	全アルファ放射能	0.016	0.14	0.018 (0.13)	—	—
		全ベータ放射能	0.068	0.47	0.070～0.075 (0.42)	—	—
16	飯館村 伊丹沢	全アルファ放射能	0.011	0.12	0.010～0.012 (0.14)	—	—
		全ベータ放射能	0.061	0.37	0.049～0.060 (0.45)	—	—
17	川俣町 山木屋	全アルファ放射能	0.013	0.16	0.013～0.016 (0.16)	—	—
		全ベータ放射能	0.071	0.48	0.062～0.074 (0.45)	—	—

(注) 1. No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域。

2. *1 平均値は、6 時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して算出。

3. *2 最大値は、6 時間ごとの測定値の最大値。

4. *3 事故前より測定していた測定地点の事故後の最大値は、東日本大震災に伴う停電の復旧後の期間における最大値であるため、復旧時期が早いほど高い値となっている。

No.5、6 平成 23 年 4 月 14 日に採取開始

No.8 平成 23 年 6 月 10 日に採取開始

No.10 平成 23 年 9 月 16 日に採取開始

No.9 平成 26 年 4 月 23 日に採取開始

また、以下の測定地点は事故後に運用開始している。

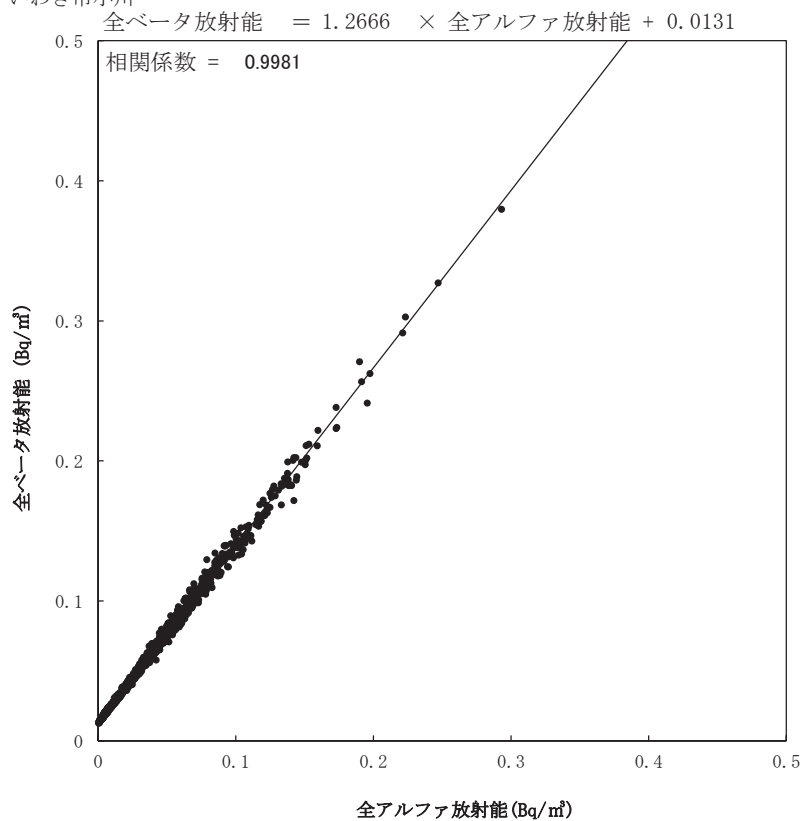
No.1～4、7、12～14 平成 26 年度から運用開始

No.11 平成 27 年度から運用開始

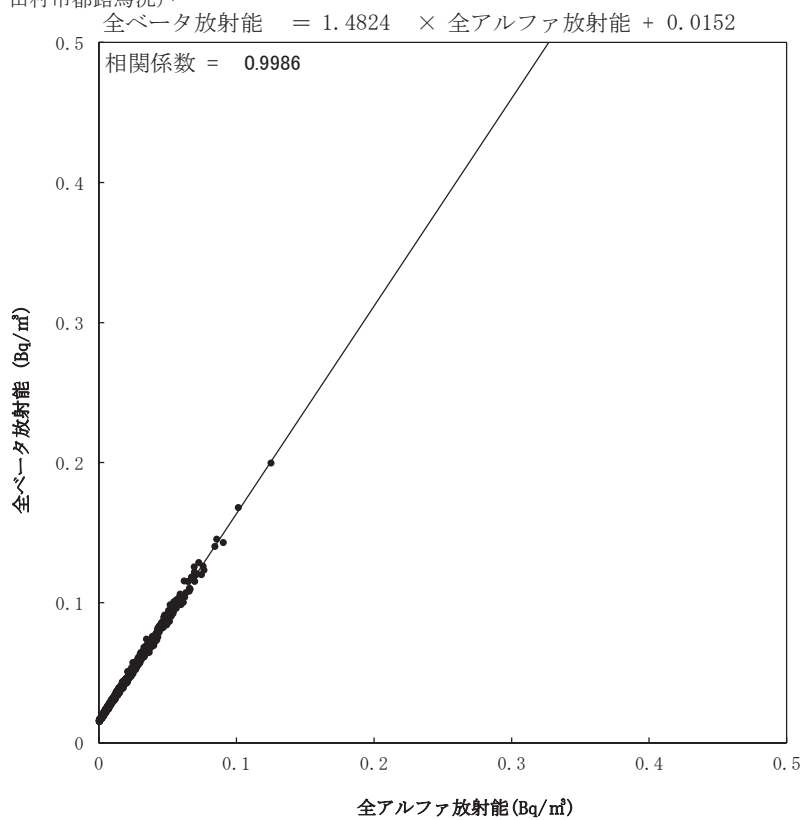
5. *4 「事故前」の適用期間は、機器更新、新たに測定機を設置、局舎を移転した年度以降の期間であり、No.5、10 は平成 20 年度から、No.6、8、9 は平成 11 年度から、東日本大震災発生の前日（平成 23 年 3 月 10 日）まで。

図4.3 全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関

No.1 いわき市小川

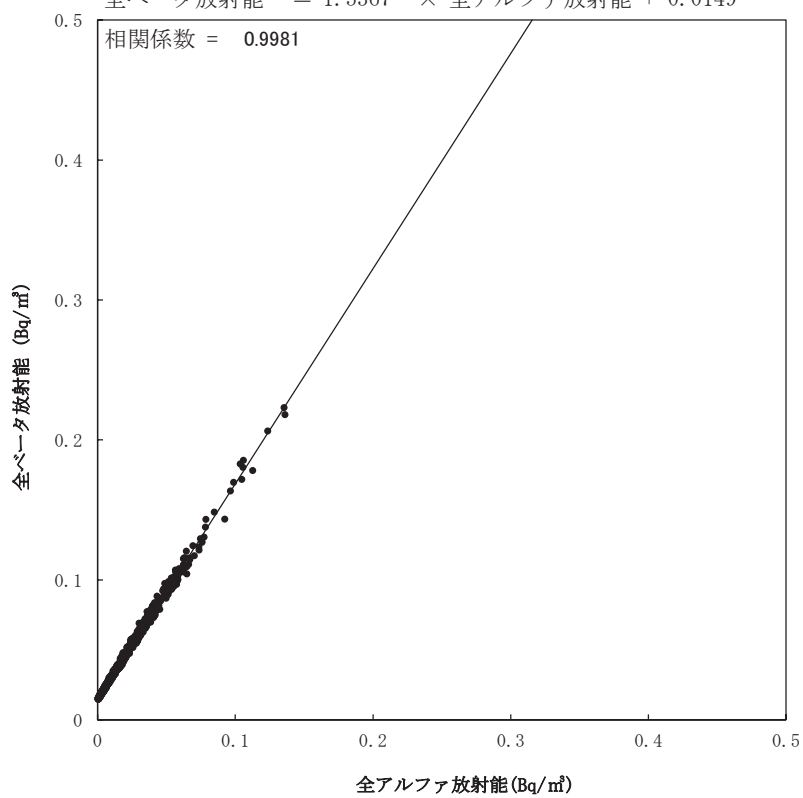


No.2 田村市都路馬洗戸



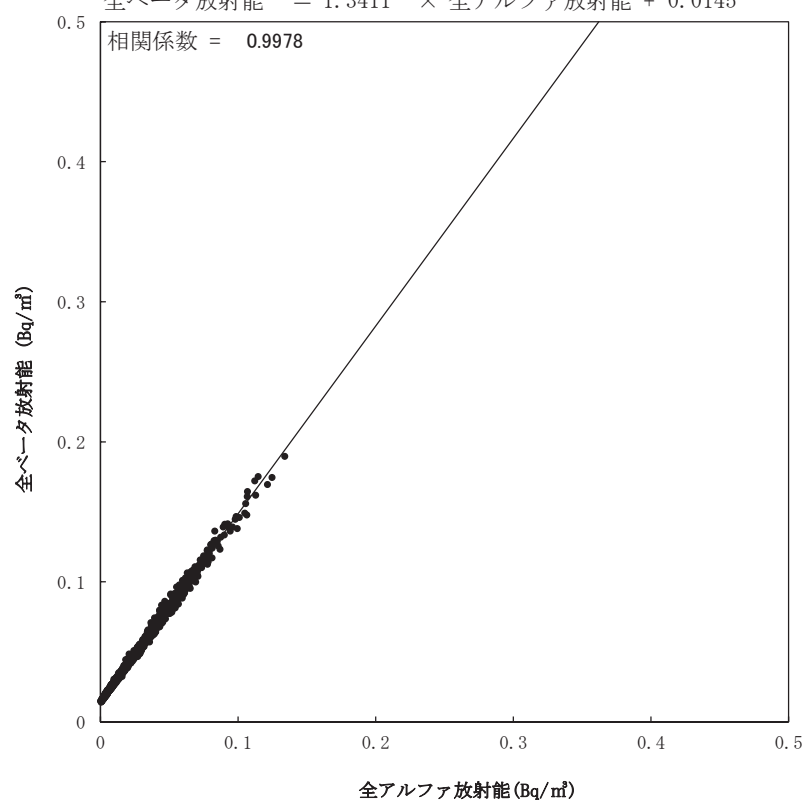
No. 3 広野町小滝平

$$\text{全ベータ放射能} = 1.5367 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0149$$



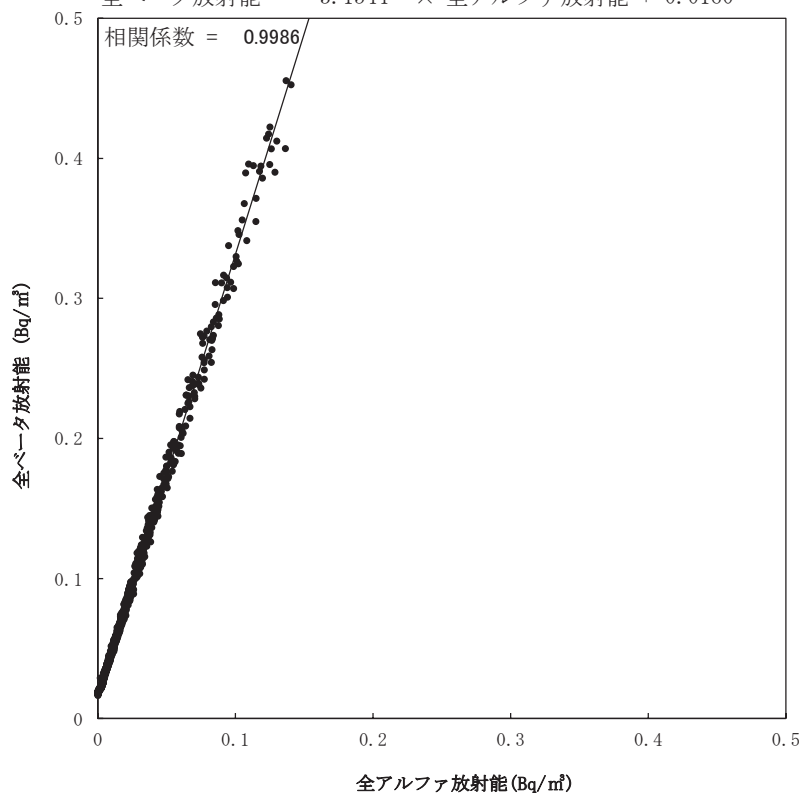
No. 4 檜葉町木戸ダム

$$\text{全ベータ放射能} = 1.3411 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0145$$



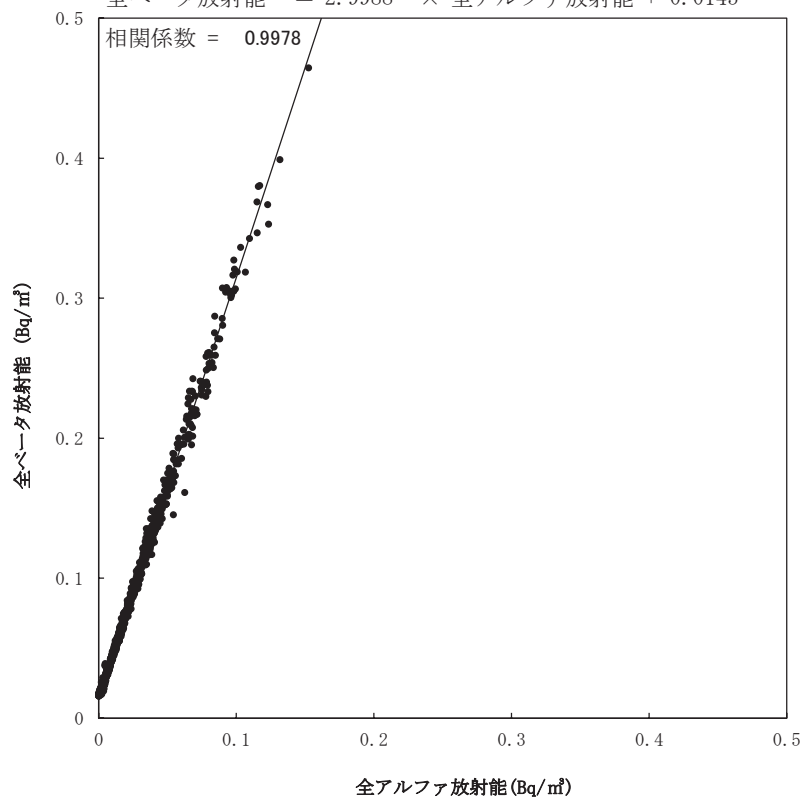
No. 5 榎葉町繁岡

$$\text{全ベータ放射能} = 3.1544 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0160$$



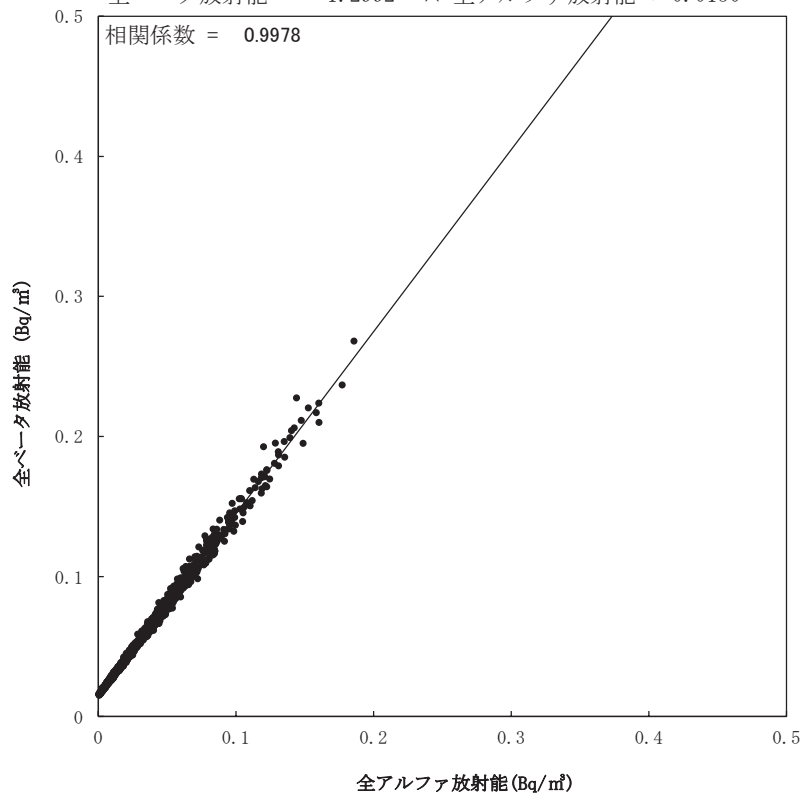
No. 6 富岡町富岡

$$\text{全ベータ放射能} = 2.9988 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0145$$



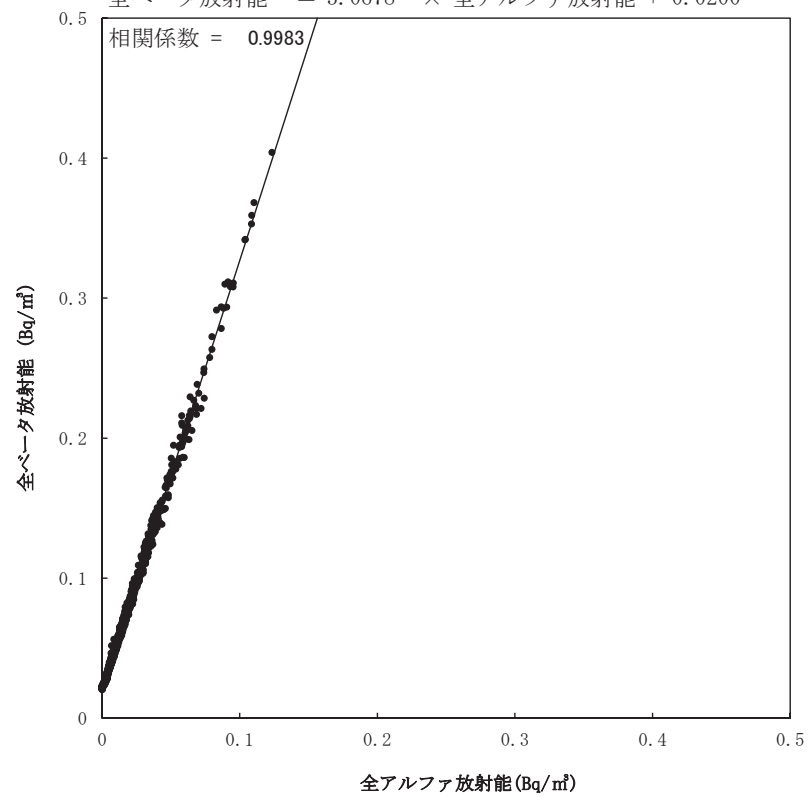
No. 7 川内村下川内

$$\text{全ベータ放射能} = 1.2992 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0150$$

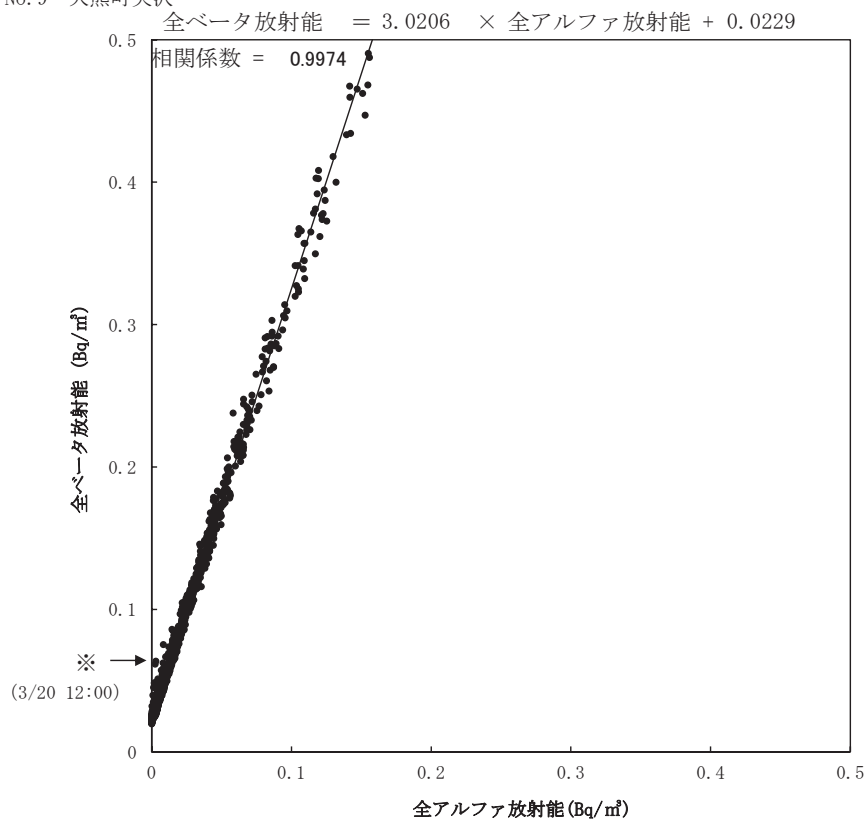


No. 8 大熊町大野

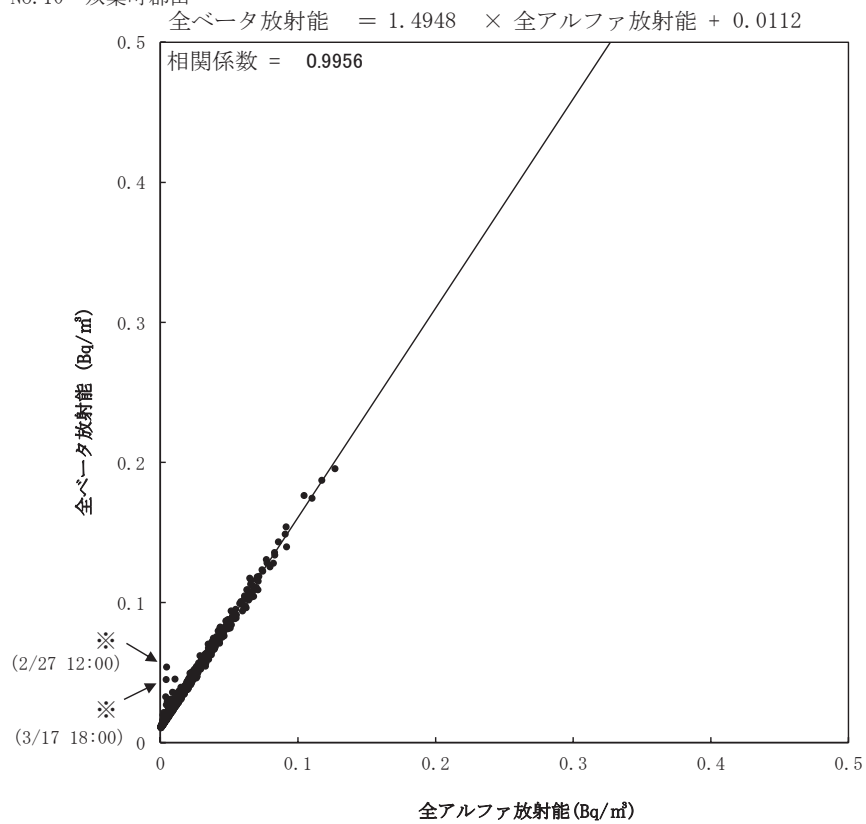
$$\text{全ベータ放射能} = 3.0678 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0200$$



No. 9 大熊町夫沢



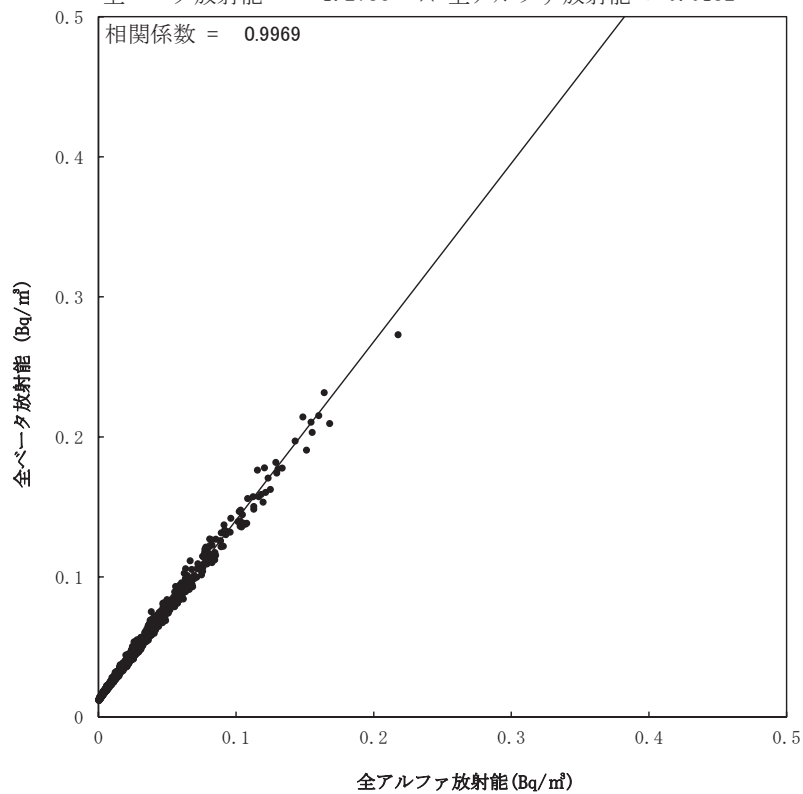
No. 10 双葉町郡山



※全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関直線から外れた試料については個別に核種濃度を測定した。
この結果、Cs-137とCs-134が検出され、その他の核種は検出されていないことを確認した。

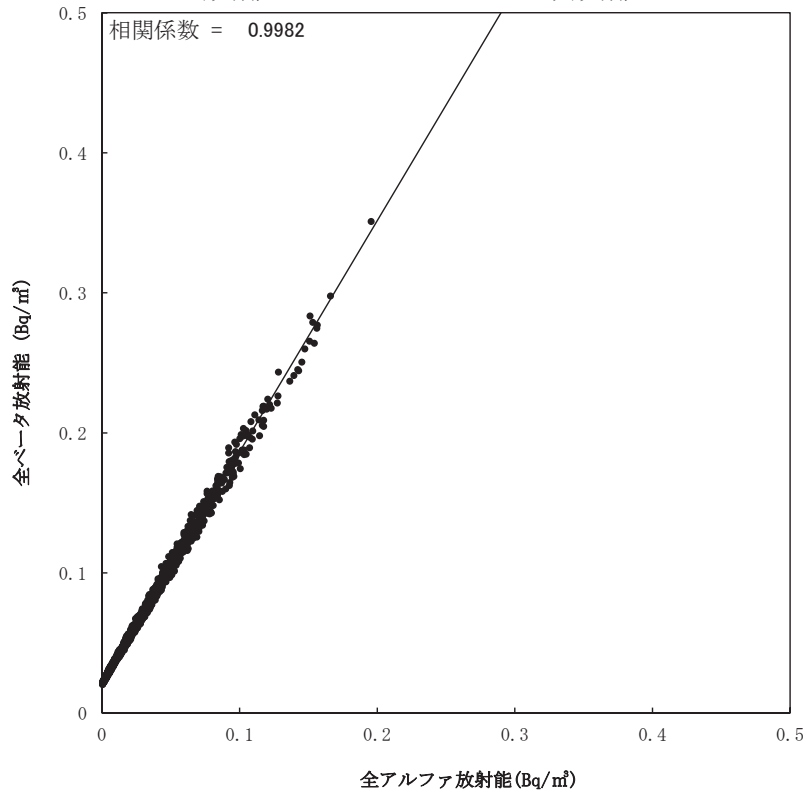
No. 11 浪江町幾世橋

$$\text{全ベータ放射能} = 1.2736 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0132$$



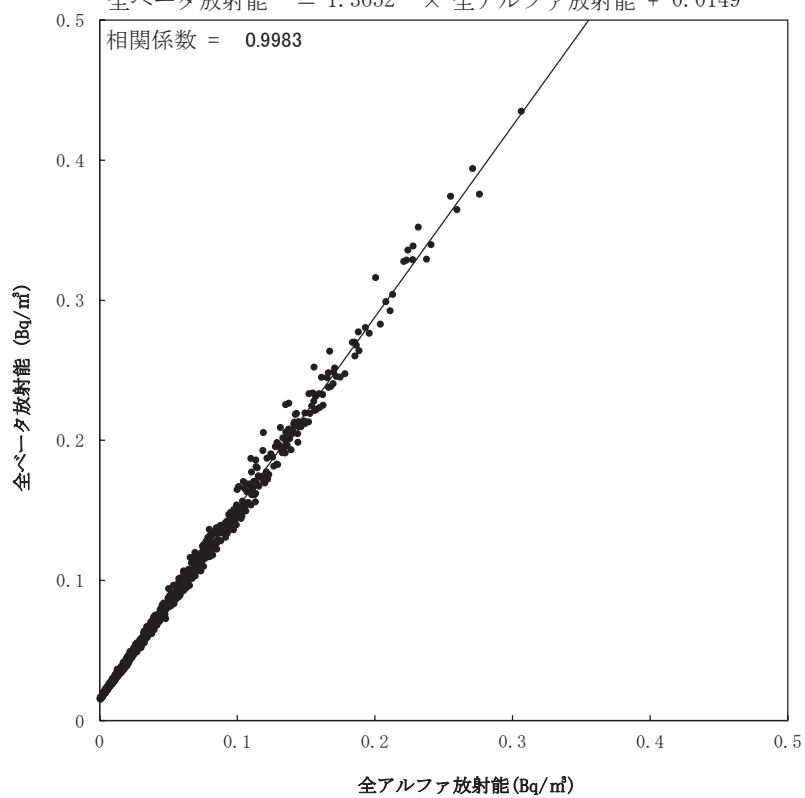
No. 12 浪江町大柿ダム

$$\text{全ベータ放射能} = 1.6508 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0214$$



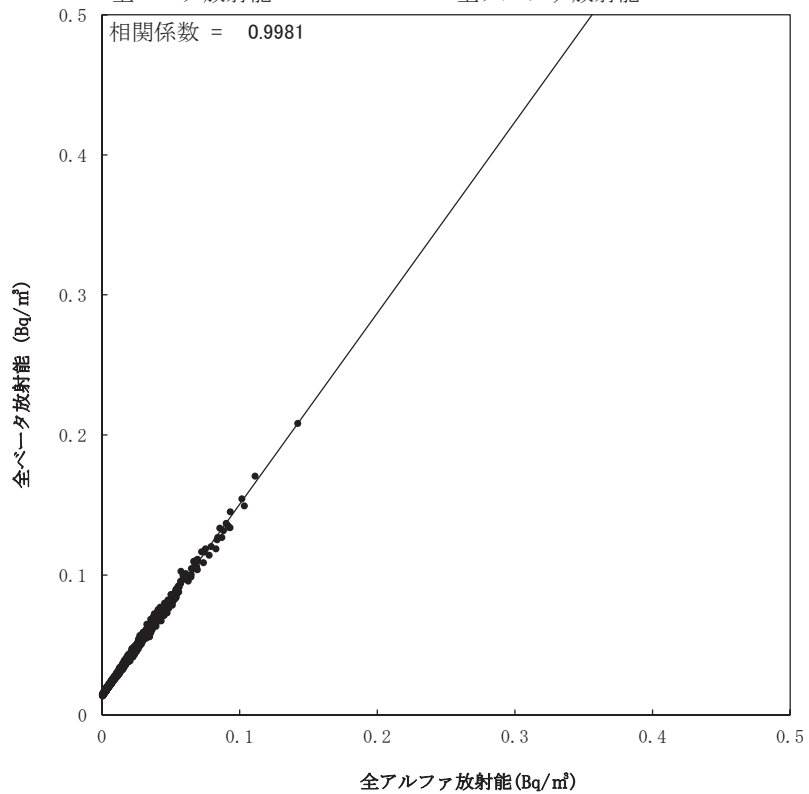
No. 13 葛尾村夏湯

$$\text{全ベータ放射能} = 1.3652 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0149$$



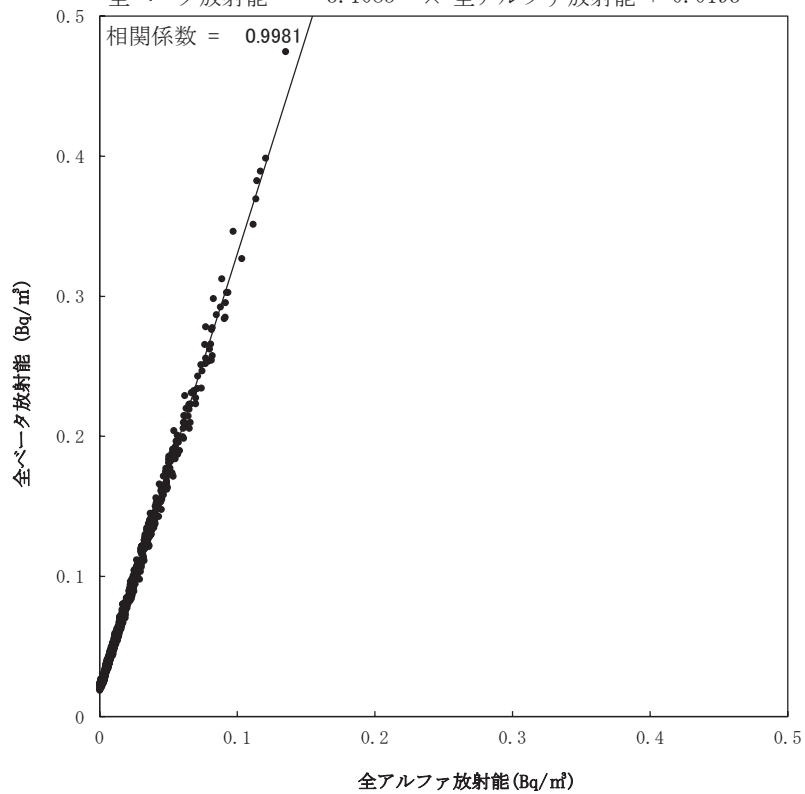
No. 14 南相馬市泉沢

$$\text{全ベータ放射能} = 1.3648 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0140$$



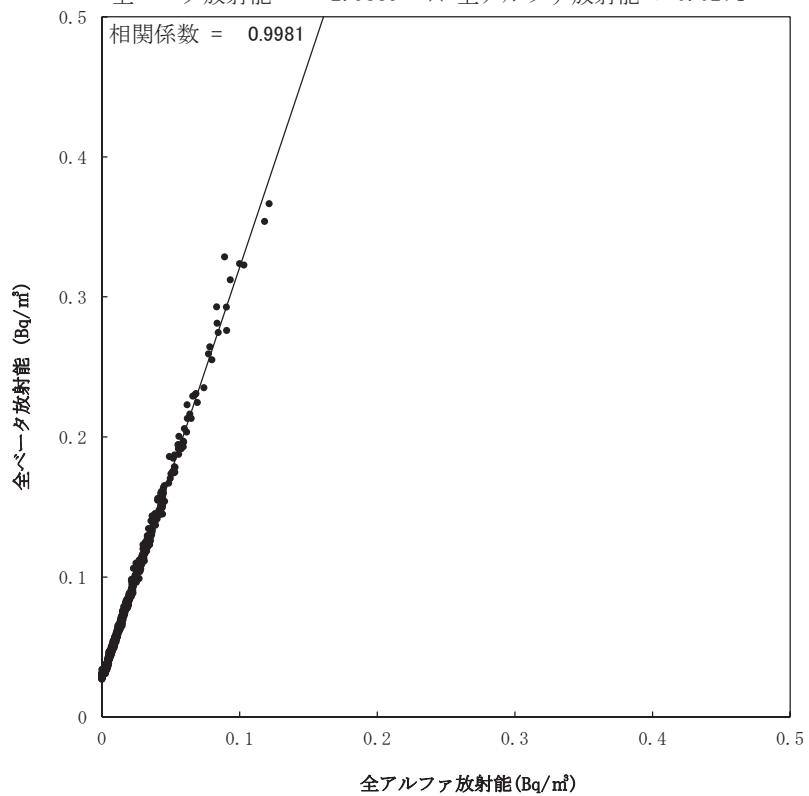
No. 15 南相馬市萱浜

$$\text{全ベータ放射能} = 3.1085 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0193$$



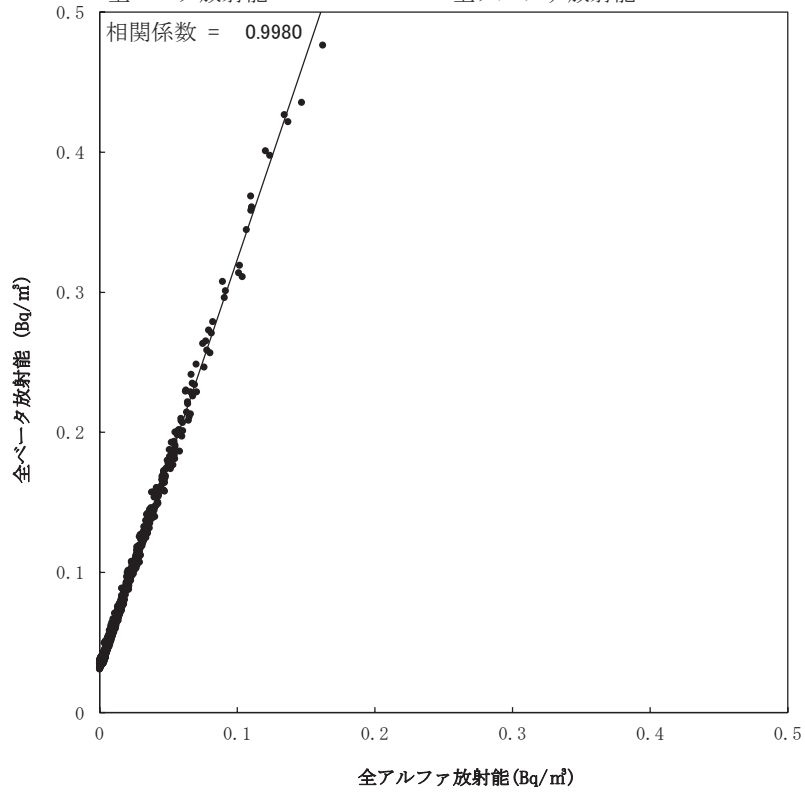
No. 16 飯館村伊丹沢

$$\text{全ベータ放射能} = 2.9339 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0274$$



No. 17 川俣町山木屋

$$\text{全ベータ放射能} = 2.9078 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0323$$



4-2-2 環境試料中の核種濃度(ガンマ線放出核種)

今年度の測定結果を表4.4に示す。

事故の影響により、依然として放射性セシウムが全品目から検出され、多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回っているが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、概ね横ばい傾向になっている。

降下物の浪江町浪江の地点でアンチモン-125 (Sb-125) が検出されたが、調査地点の周囲の土壌からアンチモン-125 は検出されなかったこと、採取期間中、調査地点の南側に隣接する家屋の解体が行われていたことから、原子力発電所からの新たな放出ではなく、事故の影響により家屋に沈着した放射性物質が、家屋解体により舞い上がり水盤に混入したことが考えられる。

上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されているが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である 10Bq/kg (10Bq/L) を大きく下回っている。

土壌の双葉町郡山の地点でコバルト-60 (Co-60) が検出されたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値の範囲内であった。また、いわき市川部町の地点でアンチモン-125 (Sb-125) が検出されたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値の範囲内であった。

ほんだわらからセシウム-134 及びセシウム-137 が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った。

表4.4 環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値		
					平成 26 年度から前年度まで	事故後から平成 25 年度まで	事故前 (平成 13 年度～)
大気浮遊じん	504 【84】	mBq/m ³	Cs-134	ND～0.16 【ND】	ND～1.8 【ND～0.13】	ND～1,100 【ND～8.2】	ND 【－】
			Cs-137	ND～2.4 【ND～0.28】	ND～5.2 【ND～0.45】	ND～990 【ND～10】	ND 【－】
降下物	120 【24】	Bq/m ² ・月 (MBq/km ² ・月)	Co-60	ND 【ND】	ND～0.54 【ND】	ND 【ND】	ND 【ND】
			Sb-125	ND～3.1 【ND】	ND～2.0 【ND】	ND 【ND】	ND 【ND】
			Cs-134	ND～49 【ND～0.99】	ND～1,200 【ND～180】	ND～5,000,000 【ND～140,000】	ND 【ND】
			Cs-137	0.71～700 【0.13～12】	ND～4,300 【ND～620】	ND～5,600,000 【ND～150,000】	ND～0.15 【ND～0.093】
土 壤	30 【7】	Bq/kg 乾	Co-60	ND～2.2 【ND】	ND～5.3 【ND】	ND 【ND】	ND 【ND】
			Sb-125	ND 【ND～12】	ND～130 【ND～28】	ND 【ND】	ND 【ND】
			Cs-134	ND～20,000 【2.9～270】	3.1～49,000 【5.0～690】	32～230,000 【14～9,200】	ND 【ND】
			Cs-137	7.7～260,000 【59～3,600】	27～330,000 【37～4,500】	75～310,000 【18～14,000】	ND～16 【ND～30】
上 水	48 【2】	Bq/L	Cs-134	ND～0.005 【ND】	ND～0.062 【ND～0.002】	ND～0.17 【ND】	ND 【ND】
			Cs-137	ND～0.053 【ND～0.005】	ND～0.18 【ND～0.011】	ND～0.29 【ND】	ND 【ND】
海 水	80 【1】	Bq/L	Cs-134	ND～0.028 【ND】	ND～0.35 【ND～0.005】	ND～2.4 【ND】	ND 【ND】
			Cs-137	0.002～0.38 【0.0086】	ND～1.1 【ND～0.028】	ND～5.0 【ND】	ND～0.003 【ND～0.002】

試料名	今年度 試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値		
					平成 26 年度から 前年度まで	事故後から 平成 25 年度まで	事故前 (平成 13 年度～)
海 底 土	32 【1】	Bq/kg 乾	Mn-54	ND 【ND】	ND～1.1 【ND】	ND～1.3 【ND】	ND 【ND】
			Co-60	ND 【ND】	ND～1.0 【ND】	ND～1.3 【ND】	ND 【ND】
			Cs-134	1.7～26 【ND】	3.1～320 【ND～4.4】	25～450 【1.3】	ND 【ND】
			Cs-137	17～390 【4.2】	18～870 【1.8～13】	61～1,000 【2.6】	ND～0.97 【ND～2.3】
松 葉	60 【20】	Bq/kg 生	Cs-134	ND～51 【ND～1.1】	ND～1,200 【ND～91】	ND～210,000 【ND～33,000】	ND 【－】
			Cs-137	0.69～770 【ND～13】	ND～6,100 【ND～290】	ND～230,000 【ND～52,000】	ND～1.2 【－】
ほんだわら	2	Bq/kg 生	Cs-134	ND～0.40 ^{*1}	－	－	ND
			Cs-137	0.47～3.5 ^{*1}	－	－	ND

- (注) 1. 「今年度試料数」は採取地点毎の年間採取回数合計。
2. 「ND」は、検出限界未満。
3. 欄中下段の【 】内は、比較対照地点の結果。
4. 上記核種その他、人工放射性核種は検出されなかった。
5. 「*1」印（ほんだわら）については、令和元年度から調査再開した試料。

4-2-3 環境試料中の核種濃度(ベータ線放出核種)

(1) 全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4.5に示す。

事故直後の測定値と比較すると大幅に低下し、事故前の測定値の範囲内であった。

表4.5 環境試料中の全ベータ放射能測定結果

試料名	今年度 試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値		
				平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで	事故前 (平成13年度～)
海水	80 【1】	Bq/L	ND～0.05 【0.06】	ND～0.38 【0.02～0.03】	ND～1.7 【0.02】	ND～0.06 【ND～0.03】

(2) トリチウム濃度

今年度の測定結果を表4.6に示す。

大気中水分、上水及び海水からトリチウムが検出された。

大気中水分については、一部の試料が事故前の測定値の範囲を上回っているものの、調査を再開した平成30年度の測定値と比較すると、概ね横ばい傾向であった。上水及び海水の測定値は、事故前の測定値の範囲内であった。

表4.6 環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	今年度 試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値		
				平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで	事故前 (平成13年度～)
大気中水分 (大気中濃度)	52*3 【12】	mBq/m ³	ND～56 【ND～14】	ND～64*2 【ND～21】	— 【ND～41】	ND～23*1 【ND～12*1】
上水	48 【2】	Bq/L	ND～0.60 【ND～0.40】	ND～0.94 【ND～0.85】	ND～0.96 【ND～1.4】	ND～1.2 【ND～1.3】
海水	80 【1】	Bq/L	ND～0.89 【ND】	ND～2.6 【ND】	ND～6.2 【ND】	ND～2.9 【ND～4.6】

捕集水中濃度は以下のとおり。

試料名	今年度 試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値	
				平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで
大気中水分 (捕集水濃度)	52*3 【12】	Bq/L	ND～4.3 【ND～1.4】	ND～7.8 【ND～1.4】	— 【ND～10】

- (注) 1. 「今年度試料数」は採取地点毎の年間採取回数の合計。
 2. 「ND」は、検出限界未満。
 3. 欄中下段の【 】内は、比較対照地点の結果。
 4. 「*1」印(大気中水分)については、平成20年度から調査対象とした試料。
 5. 「*2」印(大気中水分)については、平成30年度から調査再開した試料。
 6. 「*3」印(大気中水分)について、大熊町夫沢の地点は、平成31年4月3日～6月3日のいずれかの時点で大気導入配管内結露水トラップの破損が発生し、同年11月19日に交換するまでの期間中、局舎内大気を吸引していたため、欠測とする。

(3) 放射性ストロンチウム濃度

今年度の測定結果を表4.7に示す。

土壌、上水、海水、海底土及びほんだわらからストロンチウム-90が検出された。

上水については、事故前の測定値の範囲内であった。土壌、海水及び海底土については、一部の試料が依然として事故前の測定値の範囲を上回っているものの、事故直後の値と比較すると低下している。ほんだわらについては、事故前の測定値の範囲内であった。

表4.7 環境試料中の放射性ストロンチウム濃度測定結果

試料名	今年度 試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値		
				平成26年度から 前年度まで	事故後から 平成25年度まで	事故前 (平成13年度～)
土 壌	15 【7】	Bq/kg 乾	0.32～45 【ND～7.0】	ND～61 【ND～16】	ND～81 【ND～32】	ND～3.5 【1.8～4.3】
上 水	12 【1】	Bq/L	ND～0.0013 【0.0010】	ND～0.002 【0.001～ 0.0015】	ND～0.002 【0.001～ 0.002】	0.001～0.002 【0.001～ 0.002】
海 水	74 【1】	Bq/L	ND～0.013 【0.0011】	ND～0.76 【0.001～ 0.0011】	0.001～2.9 【0.001】	ND～0.002 【0.001～ 0.002】
海 底 土	26 【1】	Bq/kg 乾	ND～0.35 【ND】	ND～4.6 【ND～0.21】	ND～1.2 【ND】	ND 【ND～0.02】
ほんだわら	2	Bq/kg 生	0.026～0.12* ¹	—	—	0.04～0.19

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計。
 2. 「ND」は、検出限界未満。
 3. 欄中下段の【 】内は、比較対照地点の結果。
 4. 平成28年度より測定値の取扱いを小数第4位を限度とする有効数字2桁とした。
 5. 「*1」印（ほんだわら）については、令和元年度から調査再開した試料。

4-2-4 環境試料中の核種濃度(アルファ線放出核種)

今年度の測定結果を表4.8に示す。

土壌及び海底土からプルトニウム-238 (Pu-238) が検出されたが、土壌は事故前の測定値と同程度であり、海底土は平成26年度から前年度までの測定値の範囲内であった。

土壌、海水、海底土及びほんだわらからプルトニウム-239+240 (Pu-239+240) が検出されたが、事故前の測定値と同程度であった。

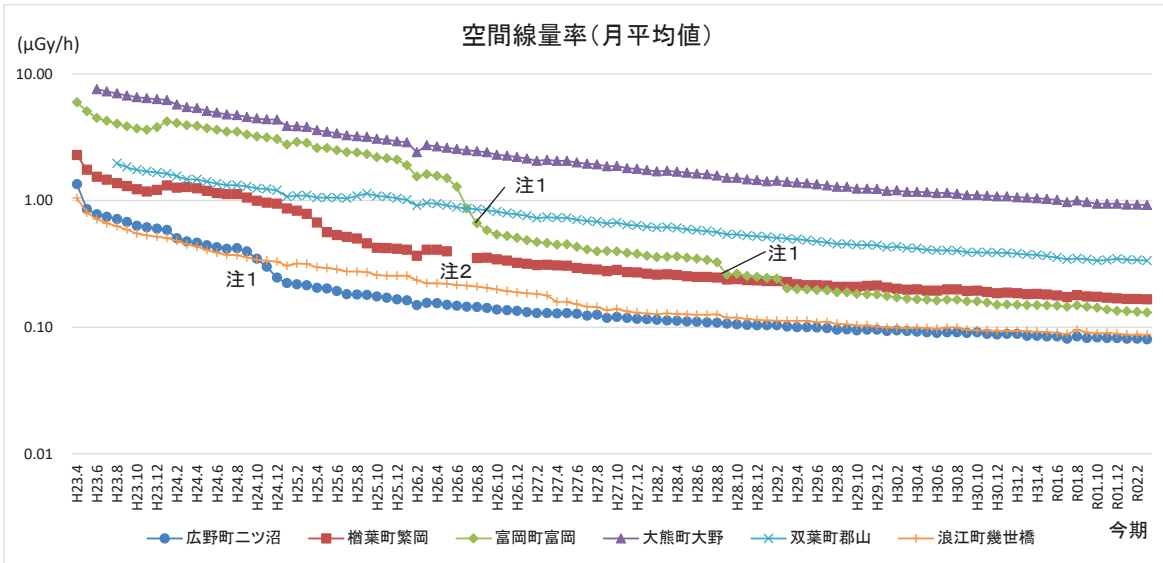
プルトニウム-241 (Pu-241) の子孫核種であるアメリシウム-241 (Am-241) 及び同時に測定できるキュリウム-244 (Cm-244) の調査を平成25年度から土壌について開始し、モニタリングを継続している。土壌からアメリシウム-241 及びキュリウム-244 が検出されたが、平成26年度から前年度までの測定値と同程度であった。

表4.8 環境試料中のアルファ線放出核種濃度測定結果

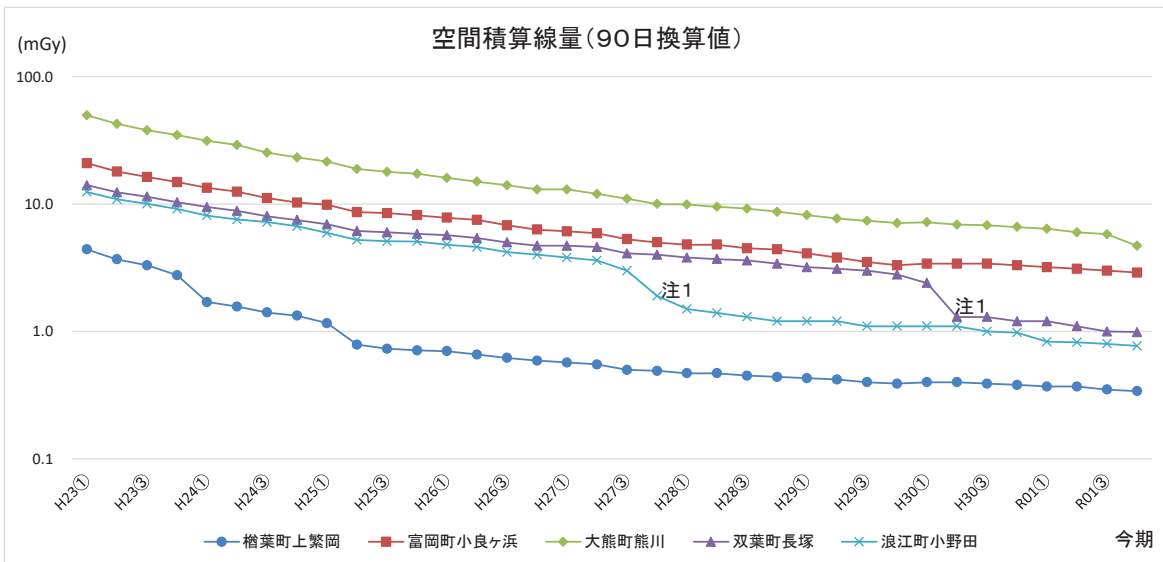
試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値		
					平成26年度から前年度まで	事故後から平成25年度まで	事故前(平成13年度～)
土 壌	15 【7】	Bq/kg 乾	Pu-238	ND～0.05 【ND～0.02】	ND～0.09 【ND～0.03】	ND～0.05 【ND～0.18】	ND～0.03 【ND～0.08】
			Pu-239+240	ND～0.54 【ND～0.76】	ND～0.97 【ND～1.2】	ND～1.4 【ND～4.8】	ND～0.44 【ND～2.6】
	Am-241		ND～0.19 【0.11】	ND～0.44 【0.06～0.41】	ND～0.25 【0.11】	— 【—】	
	Cm-244		ND～0.03 【ND】	ND～0.02 【ND】	ND 【ND】	— 【—】	
上 水	12 【1】	Bq/L	Pu-238	ND 【ND】	ND 【ND】	ND 【—】	— 【—】
		Bq/L	Pu-239+240	ND 【ND】	ND 【ND】	ND 【ND】	ND 【ND】
海 水	74 【1】	Bq/L	Pu-238	ND 【ND】	ND～0.010 【ND】	ND 【ND】	— 【—】
		Bq/L	Pu-239+240	ND～0.015 【ND】	ND～0.020 【ND～0.013】	ND～0.014 【ND】	ND～0.013 【ND～0.012】
海 底 土	26 【1】	Bq/kg 乾	Pu-238	ND～0.01 【ND】	ND～0.01 【ND～0.01】	ND～0.02 【ND】	— 【—】
		Bq/kg 乾	Pu-239+240	0.12～0.52 【0.24】	0.09～0.61 【0.18～0.31】	0.08～0.52 【0.20】	0.15～0.61 【0.13～0.40】
ほんだわら	2	Bq/kg/生	Pu-238	ND*1	—	—	—
			Pu-239+240	ND～0.0038*1	—	—	0.0035～0.022

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計。
 2. 「ND」は、検出限界未満。
 3. 欄中下段の【 】内は、比較対照地点の結果。
 4. 「*1」印(ほんだわら)については、令和元年度から調査再開した試料。

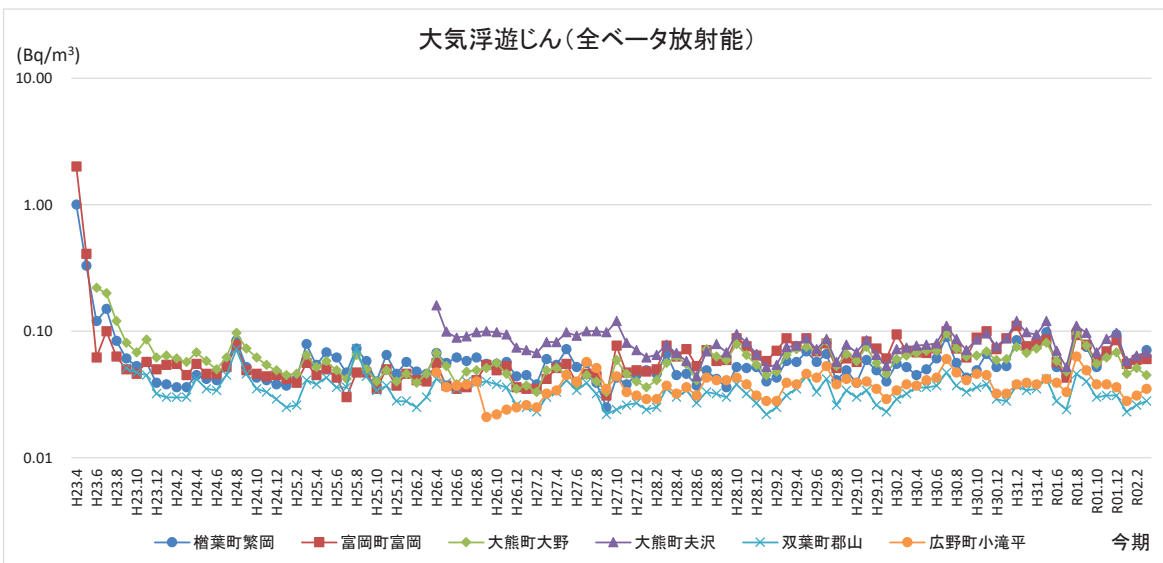
事故後の各項目毎のトレンドグラフ

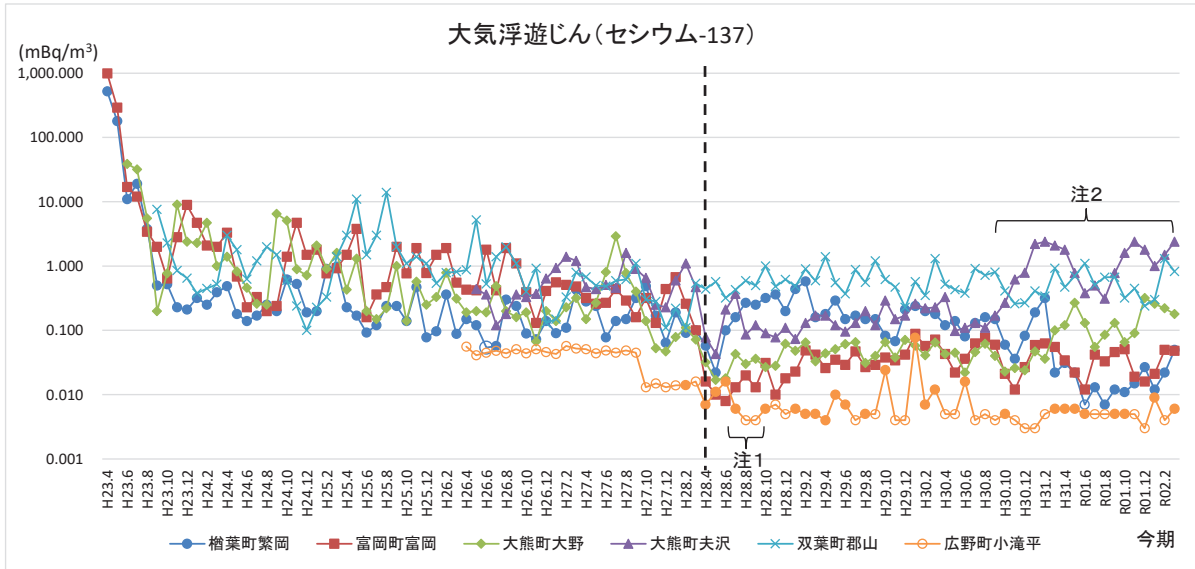


注1: 除染による減少、注2: 欠測

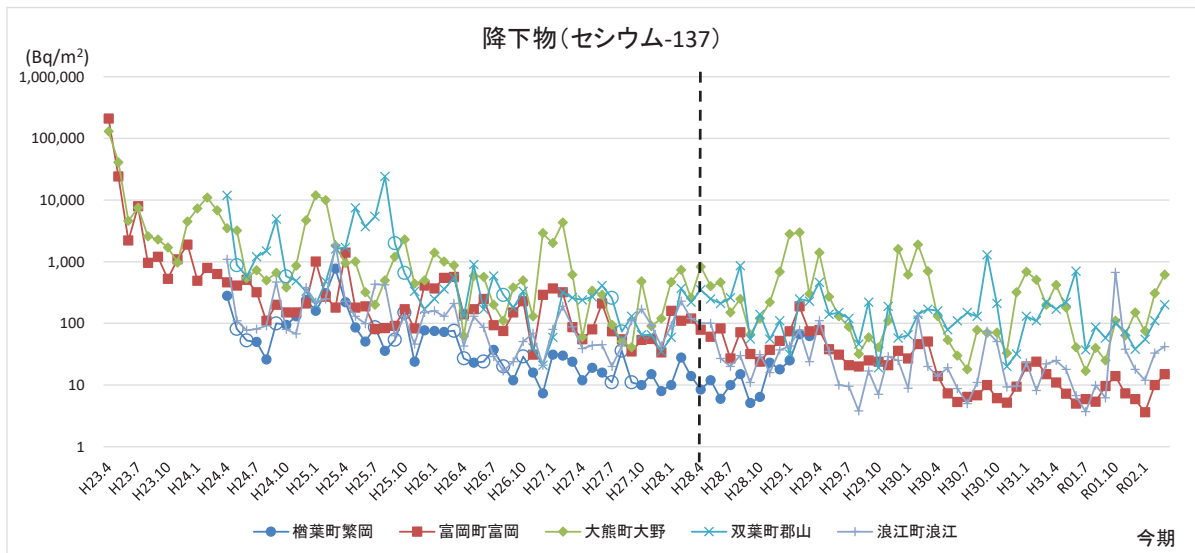


注1: 除染による減少

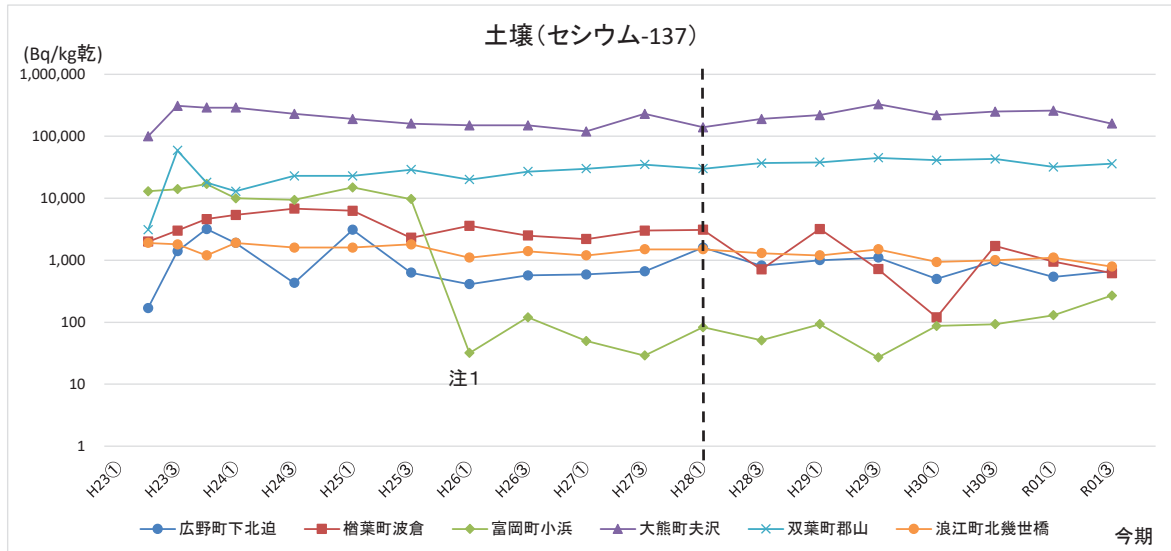


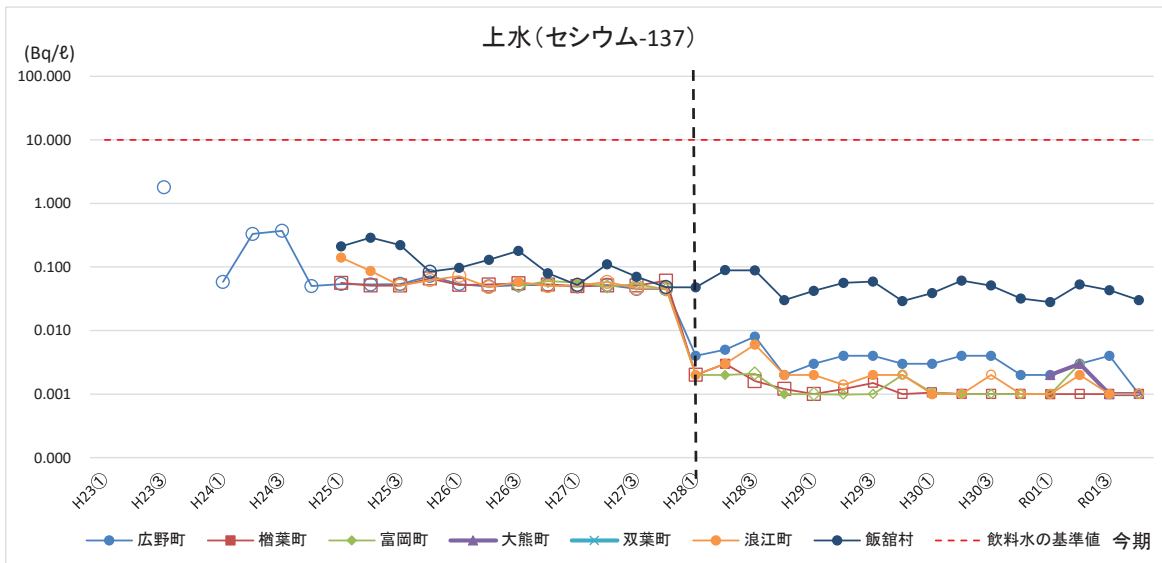


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値
 注2: 大熊町夫沢が平成30年度及び令和元年度の秋期～冬期にかけてセシウム-137濃度が上昇した要因は、土木工事により局舎周辺が裸地化し、風によって微細な土壌粒子が浮遊しやすい環境となり、強風により浮遊した土壌粒子を捕集した影響と考えられる。

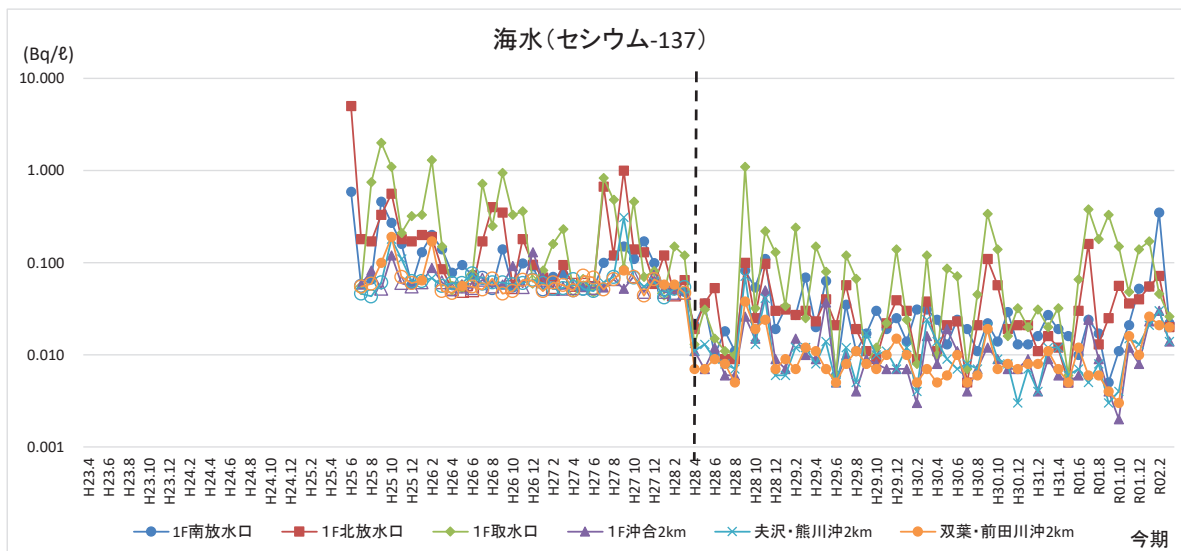


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。

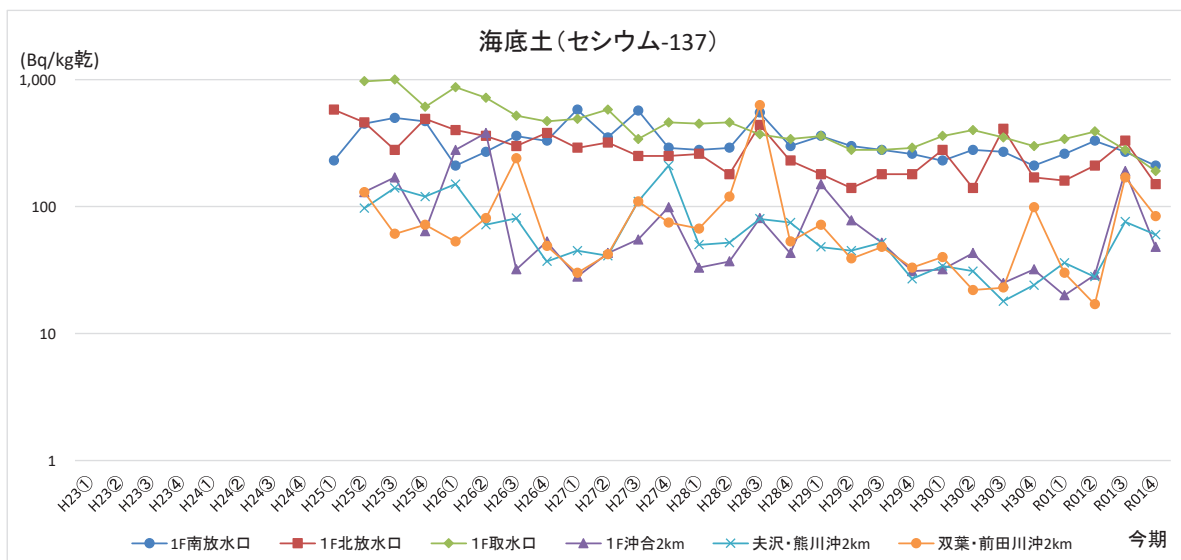


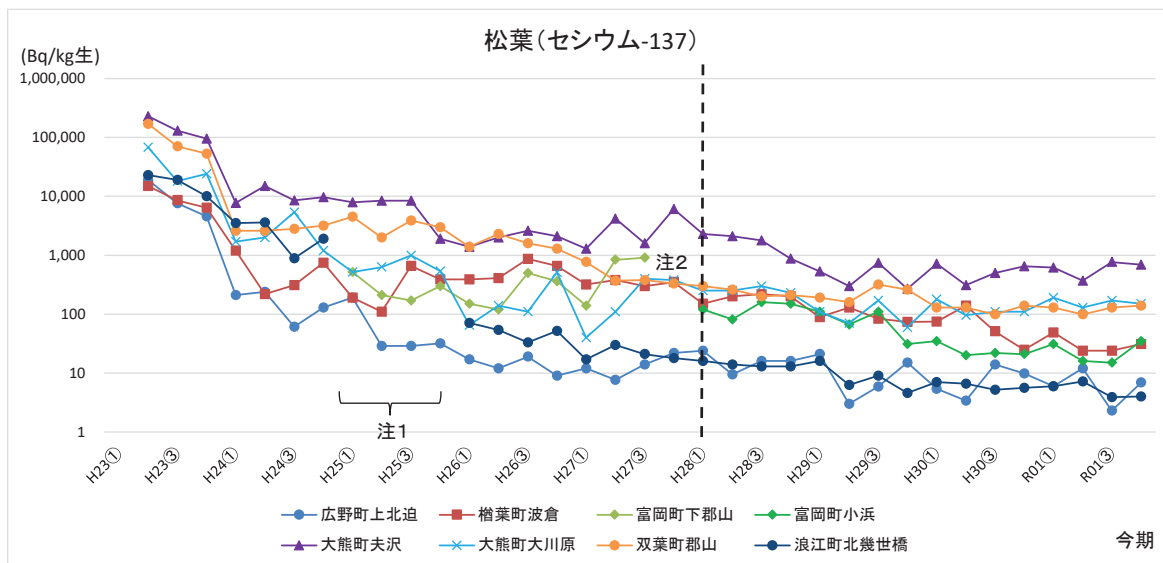


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施
 注2: 富岡町下郡山は平成27年度第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年度第1四半期より富岡町小浜で試料採取を行っている。

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覽表

5-1 空間放射線

單位：線量率：mSv/h 測定時間：h
上段：平均値（下段）：最大値

No.	測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	いわき市 小川	54 (62)	720	49 (65)	744	49 (77)	720	48 (62)	744	49 (62)	744	51 (77)	720	53 (84)	744	53 (61)	720	53 (72)	738	51 (67)	744	52 (75)	696	51 (62)	744
2	いわき市 久之浜	77 (88)	720	76 (85)	744	75 (96)	720	74 (83)	744	76 (88)	744	74 (93)	720	74 (107)	744	74 (86)	720	73 (89)	738	72 (83)	744	72 (88)	696	71 (80)	744
3	いわき市 千桶壳	54 (63)	720	54 (66)	744	54 (86)	720	53 (67)	744	54 (71)	744	53 (77)	720	53 (81)	732	53 (61)	720	51 (67)	738	50 (68)	744	51 (79)	696	50 (62)	744
4	いわき市 川前	66 (73)	720	65 (81)	744	65 (103)	720	64 (87)	744	66 (92)	744	65 (100)	720	64 (108)	744	65 (78)	720	64 (78)	738	63 (77)	744	63 (91)	696	63 (74)	744
5	田村市 都路馬洗戸	83 (97)	720	84 (96)	744	83 (115)	720	81 (98)	744	85 (102)	744	82 (111)	720	82 (102)	744	82 (91)	720	80 (91)	738	76 (91)	744	77 (97)	696	76 (88)	744
6	広野町 二ツ沼	85 (107)	720	84 (102)	744	84 (118)	720	81 (95)	741	84 (99)	744	82 (110)	720	83 (133)	744	82 (91)	714	82 (102)	744	74 (98)	744	81 (98)	696	80 (94)	744
7	広野町 小滝平	83 (92)	720	82 (94)	744	81 (113)	720	78 (91)	744	82 (94)	744	79 (101)	720	79 (118)	744	79 (87)	720	78 (93)	739	78 (98)	744	78 (98)	696	77 (88)	744
8	楡葉町 山田岡	65 (77)	720	65 (79)	744	65 (99)	720	64 (79)	740	65 (78)	744	64 (85)	714	64 (107)	744	62 (71)	720	62 (81)	744	62 (77)	744	62 (86)	696	61 (74)	744
9	楡葉町 木戸ダム	98 (106)	720	98 (123)	744	97 (131)	720	95 (113)	744	100 (112)	744	97 (121)	720	95 (139)	744	95 (109)	720	94 (109)	739	93 (128)	744	93 (112)	696	92 (105)	744
10	楡葉町 繁岡	183 (196)	720	180 (198)	744	177 (205)	720	172 (187)	744	178 (192)	744	174 (199)	720	173 (227)	744	170 (184)	714	168 (185)	744	166 (186)	744	166 (182)	696	165 (179)	744
11	楡葉町 松ヶ館	167 (176)	720	163 (183)	744	162 (191)	720	156 (173)	742	158 (171)	744	154 (178)	720	152 (193)	744	150 (158)	713	149 (165)	744	148 (181)	744	148 (164)	696	147 (158)	744
12	楡葉町 波ヶ倉	234 (244)	720	230 (245)	744	228 (249)	720	222 (236)	744	226 (238)	744	223 (245)	713	215 (256)	744	215 (223)	720	216 (230)	744	214 (231)	744	213 (226)	696	211 (224)	744

No.	測定年月	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	
13		富岡町 上郡 山	256 (265)	720	250 (263)	744	243 (261)	720	231 (243)	744	245 (254)	744	238 (256)	720	233 (255)	744	234 (245)	714	233 (245)	744	228 (249)	744	226 (236)	696	222 (233)	744
14		富岡町 下郡 山	179 (189)	720	172 (185)	744	167 (198)	720	162 (179)	741	167 (181)	744	163 (190)	720	162 (212)	744	160 (174)	714	154 (170)	744	152 (165)	744	150 (164)	696	150 (162)	744
15		富岡町 深谷 ^{*1}	145 (162)	720	143 (164)	744	141 (177)	720	136 (158)	744	147 (166)	744	139 (167)	720	135 (187)	744	133 (149)	720	132 (153)	744	129 (152)	743	127 (153)	696	126 (142)	744
16		富岡町 富岡	149 (160)	720	148 (164)	744	147 (175)	720	145 (160)	744	148 (161)	744	145 (169)	720	142 (191)	744	137 (151)	715	134 (151)	744	133 (148)	744	132 (148)	696	130 (141)	744
17		富岡町 夜の森	315 (323)	720	313 (323)	744	306 (323)	720	305 (322)	741	316 (326)	744	304 (320)	720	292 (320)	744	286 (296)	713	287 (281)	744	244 (258)	744	230 (243)	696	225 (234)	744
18		川内村 下川内	131 (140)	720	132 (145)	744	129 (157)	720	126 (145)	744	130 (141)	744	128 (153)	720	127 (171)	744	129 (141)	720	126 (138)	739	120 (136)	744	120 (138)	696	118 (130)	744
19		大熊町 向畑	1,210 (1,260)	720	1,190 (1,230)	744	1,150 (1,220)	720	1,110 (1,150)	744	1,150 (1,190)	744	1,120 (1,180)	714	1,120 (1,190)	744	1,120 (1,160)	720	1,160 (1,200)	744	1,150 (1,180)	744	1,140 (1,170)	696	1,120 (1,170)	744
20		大熊町 熊川 ^{*1}	1,690 (1,800)	720	1,700 (1,830)	744	1,680 (1,850)	720	1,650 (1,790)	744	1,790 (1,910)	743	1,820 (1,720)	720	1,560 (1,730)	744	1,550 (1,640)	720	1,510 (1,600)	744	1,450 (1,540)	741	1,390 (1,500)	696	1,370 (1,450)	744
21		大熊町 南台	5,060 (5,190)	720	4,960 (5,080)	744	4,800 (5,050)	720	4,550 (4,740)	744	4,750 (4,900)	744	4,660 (4,780)	720	4,540 (4,820)	744	4,580 (4,700)	713	4,570 (4,630)	744	4,430 (4,540)	744	4,400 (4,480)	696	4,340 (4,510)	744
22		大熊町 大野	1,040 (1,070)	720	1,030 (1,050)	744	1,010 (1,050)	720	971 (997)	742	998 (1,020)	744	971 (997)	720	943 (986)	744	945 (967)	714	943 (955)	744	928 (946)	744	924 (942)	696	921 (947)	729
23		大熊町 夫沢	4,960 (5,130)	720	4,840 (4,970)	744	4,590 (4,890)	720	4,260 (4,430)	742	4,450 (4,590)	744	4,160 (4,390)	720	3,690 (3,990)	744	3,630 (3,730)	714	3,500 (3,570)	744	3,440 (3,500)	744	3,220 (3,510)	696	2,840 (3,000)	744
24		双葉町 山田	4,550 (4,800)	720	4,450 (4,690)	744	4,250 (4,660)	720	3,840 (4,230)	739	4,430 (4,650)	744	4,200 (4,440)	720	3,890 (4,510)	744	4,190 (4,390)	720	4,030 (4,210)	740	3,830 (4,030)	744	3,850 (4,000)	696	3,760 (4,080)	744
25		双葉町 郡山	371 (381)	720	364 (376)	744	355 (369)	720	342 (355)	742	349 (361)	744	342 (359)	720	335 (360)	744	339 (347)	714	347 (357)	744	341 (352)	744	339 (352)	696	335 (347)	744
26		双葉町 新山	1,140 (1,180)	720	1,120 (1,170)	744	1,060 (1,140)	720	1,000 (1,060)	741	1,060 (1,140)	744	1,010 (1,070)	720	896 (1,070)	744	786 (815)	715	771 (788)	744	721 (768)	744	518 (594)	696	508 (532)	744
27		双葉町 上羽鳥	499 (516)	720	488 (502)	744	471 (493)	720	448 (468)	742	472 (488)	744	459 (472)	720	448 (482)	744	445 (462)	712	438 (447)	744	425 (439)	744	423 (434)	696	418 (438)	744

No.	測定年月	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3			
		測定項目	測定地点名	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
28			浪江町 請 ^{ウラ} 戸 ^コ	110 (126)	720	111 (136)	744	110 (137)	720	106 (124)	744	113 (128)	744	108 (134)	720	104 (144)	744	104 (117)	720	102 (121)	744	99 (116)	743	97 (121)	696	98 (115)	743
29			浪江町 棚 ^タ 塩 ^シ	76 (91)	720	76 (95)	744	76 (105)	720	74 (91)	744	77 (102)	743	78 (101)	720	74 (118)	744	76 (88)	720	75 (95)	744	74 (90)	743	72 (97)	696	71 (92)	741
30			浪江町 浪 ^ナ 江 ^カ	141 (149)	720	140 (159)	744	138 (155)	720	137 (146)	740	146 (161)	744	141 (159)	720	136 (163)	744	118 (126)	715	117 (129)	744	115 (131)	744	115 (131)	696	114 (135)	744
31			浪江町 幾 ^ヒ 世 ^セ 橋 ^{ハシ}	92 (102)	720	91 (108)	744	90 (112)	720	88 (102)	739	95 (109)	744	91 (112)	720	89 (127)	744	90 (98)	716	89 (104)	744	87 (101)	744	87 (108)	696	87 (106)	744
32			浪江町 大 ^{オホ} 柵 ^{サシ} ダ ^タ ム	699 (720)	720	705 (725)	744	698 (720)	720	689 (717)	744	709 (731)	744	697 (721)	720	678 (712)	744	682 (700)	720	661 (688)	739	643 (655)	744	636 (650)	696	633 (651)	744
33			浪江町 南 ^{ミナミ} 津 ^ツ 島 ^{シマ}	1,020 (1,080)	720	1,050 (1,100)	744	1,010 (1,070)	720	984 (1,030)	744	1,040 (1,100)	744	1,010 (1,040)	720	946 (1,060)	744	995 (1,030)	720	939 (1,000)	739	881 (921)	744	899 (921)	696	893 (952)	744
34			葛尾村 賀 ^カ 湯 ^ユ	135 (145)	720	136 (154)	744	133 (162)	720	131 (145)	744	135 (149)	744	132 (161)	720	131 (148)	744	132 (142)	720	130 (142)	737	127 (139)	744	128 (145)	696	127 (141)	744
35			南相馬市 泉 ^イ 次 ^ジ	113 (125)	720	113 (133)	744	110 (136)	720	106 (128)	744	110 (129)	744	106 (133)	720	105 (145)	744	105 (113)	720	104 (115)	737	102 (120)	744	103 (121)	696	102 (121)	744
36			南相馬市 横 ^{ヨコ} 川 ^{カハ} ダ ^タ ム	219 (227)	720	220 (239)	744	215 (229)	720	209 (222)	744	217 (224)	744	213 (229)	720	210 (256)	744	212 (221)	720	206 (219)	739	196 (206)	744	195 (208)	696	194 (204)	744
37			南相馬市 萱 ^カ 浜 ^{ハマ}	45 (60)	720	45 (69)	744	45 (80)	720	44 (66)	744	45 (69)	744	44 (76)	712	45 (93)	744	44 (53)	720	45 (59)	744	44 (60)	744	44 (66)	696	44 (57)	744
38			飯館村 伊 ^イ 丹 ^ニ 次 ^ジ	151 (164)	720	153 (175)	744	149 (175)	720	145 (157)	744	150 (174)	744	146 (168)	712	143 (160)	744	145 (152)	720	139 (151)	744	138 (166)	744	139 (178)	696	138 (151)	744
39			川俣町 山 ^{ヤマ} 木 ^キ 屋 ^ヤ	131 (143)	720	132 (153)	744	128 (154)	720	124 (138)	744	128 (149)	744	124 (146)	713	121 (145)	744	124 (135)	720	121 (134)	744	118 (135)	744	119 (139)	696	119 (132)	744

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

5-1-1(2) 空間線量率(比較参照地点)

No.	測定地点名	測定項目	測定年月																								
			H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
			線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	
1	福島市 紅葉山 ^{*1}	70 (81)	720	70 (92)	744	69 (100)	720	66 (83)	742	68 (92)	744	67 (78)	720	69 (81)	287	117 (128)	441	119 (140)	720	117 (135)	744	109 (185)	696	106 (127)			
	福島市 紅葉山 ^{*2}																										
2	郡山市 日和田	123 (136)	720	124 (137)	744	123 (151)	720	119 (133)	744	124 (149)	740	121 (141)	720	120 (138)	741	119 (140)	744	120 (128)	720	119 (140)	744	117 (137)	744	117 (144)	696	116 (144)	744
3	いわき市 蛸ヶ平	61 (74)	720	61 (71)	744	61 (84)	720	61 (74)	744	62 (81)	738	62 (84)	720	62 (82)	744	62 (74)	744	61 (68)	718	62 (74)	744	62 (85)	696	61 (73)			744

注) *1 10月12日以降は令和元年台風第19号に伴う河川増水による局舎浸水のため欠測
 *2 10月13日より紅葉山局から南西に約200mの場所でも搬型モニタリングポストにより代替測定

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~R2. 1. 9		R2. 1. 9 ~R2. 4. 9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	いわき市 石 森	0.20 (0.20)	91	0.20 (0.20)	91	0.21 (0.19)	98	0.19 (0.19)	91
2	いわき市 西 倉	0.25 (0.24)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.25)	98	0.24 (0.24)	91
3	いわき市 大 野	0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98	0.21 (0.21)	91
4	いわき市 福 岡	0.23 (0.23)	91	0.23 (0.23)	91	0.25 (0.23)	98	0.23 (0.23)	91
5	いわき市 大 久	0.22 (0.22)	91	0.22 (0.22)	91	0.23 (0.21)	98	0.22 (0.21)	91
6	いわき市 末 続	0.27 (0.27)	91	0.27 (0.27)	91	0.29 (0.26)	98	0.27 (0.26)	91
7	いわき市 上小川	0.32 (0.32)	91	0.32 (0.32)	91	0.34 (0.31)	98	0.31 (0.30)	91
8	いわき市 志田名	0.35 (0.35)	91	0.35 (0.35)	91	0.38 (0.35)	98	0.34 (0.34)	91
9	いわき市 小 白 井	0.20 (0.20)	91	0.21 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98	0.20 (0.20)	91
10	田村市 場 々	0.33 (0.32)	91	0.32 (0.32)	91	0.34 (0.32)	98	0.31 (0.31)	91
11	田村市 吉 遼	0.24 (0.24)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.24)	98	0.24 (0.24)	91
12	田村市 岩 井 沢	0.20 (0.20)	91	0.20 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98	0.20 (0.20)	91
13	広野町 下浅見川	0.21 (0.20)	91	0.21 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98	0.20 (0.20)	91
14	広野町 篝 平	0.25 (0.25)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.25)	98	0.25 (0.24)	91
15	檜葉町 山 田 岡	0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98	0.21 (0.21)	91
16	檜葉町 乙 次 郎	0.25 (0.25)	91	0.25 ^{a2} (0.25) ^{a2}	91	0.27 (0.25)	98	0.25 (0.24)	91
17	檜葉町 井 出	0.27 (0.27)	91	0.27 (0.27)	91	0.29 (0.27)	98	0.27 (0.27)	91
18	檜葉町 上 繁 岡	0.38 (0.37)	91	0.37 (0.37)	91	0.38 (0.35)	98	0.34 (0.34)	91
19	富岡町 大 田	0.50 (0.49)	91	0.49 (0.48)	91	0.51 (0.46)	98	0.45 (0.45)	91
20	富岡町 赤 木	0.41 (0.41)	91	0.41 (0.40)	91	0.43 (0.39)	98	0.39 (0.38)	91
21	富岡町 小 良 々 浜	3.2 (3.2)	91	3.1 (3.1)	91	3.3 (3.0)	98	3.0 (2.9)	91
22	富岡町 夜 の 森 北	0.63 (0.62)	91	0.59 (0.58)	91	0.62 (0.57)	98	0.56 (0.55)	91

(単位 mGy)

No.	測定地点名	H31. 4. 4 ~ R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~ R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~ R2. 1. 9		R2. 1. 9 ~ R2. 4. 9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
23	富岡町 上手岡	0.59 (0.59)	91	0.59 (0.58)	91	0.62 (0.57)	98	0.56 (0.55)	91
24	川内村 三ツ石	0.57 (0.56)	91	0.58 ² (0.57) ²	91	0.59 (0.55)	97 ⁸³	0.53 (0.52)	91
25	川内村 貝ノ坂	0.85 (0.84)	91	0.82 (0.81)	91	0.87 (0.80)	98	0.76 (0.75)	91
26	川内村 五枚沢	0.26 (0.26)	91	0.26 (0.26)	91	0.28 (0.26)	98	0.26 (0.25)	91
27	川内村 上川内	0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98	0.21 (0.20)	91
28	大熊町 大川原	0.36 (0.36)	91	0.36 (0.36)	91	0.38 (0.35)	98	0.35 (0.34)	91
29	大熊町 旭ヶ丘	0.42 (0.41)	91	0.43 (0.43)	91	0.46 (0.42)	98	0.41 (0.40)	91
30	大熊町 野上	1.5 (1.5)	91	1.5 (1.4)	91	1.5 (1.4)	98	1.4 (1.3)	91
31	大熊町 熊川	6.4 (6.4)	91	6.1 (6.0)	91	6.3 (5.8)	98	4.8 ⁸⁵ (4.7) ⁸⁵	91
32	大熊町 大野	7.7 (7.6)	91	7.5 (7.4)	91	7.8 (7.1)	98	7.0 (6.9)	91
33	大熊町 夫沢	19 (19)	91	18 (18)	91	18 (17)	98	16 (16)	91
34	大熊町 湯の神	2.0 (2.0)	91	2.0 (1.9)	91	2.1 (1.9)	98	1.8 (1.8)	91
35	大熊町 長者原	5.8 (5.7)	91	5.5 (5.5)	91	5.8 (5.4)	98	5.1 (5.0)	91
36	双葉町 清戸迫	0.94 ⁸¹ (0.93) ⁸¹	91	0.90 ⁸² (0.89) ⁸²	91	0.88 (0.82)	97 ⁸³	0.79 (0.79)	91
37	双葉町 郡山	0.86 (0.85)	91	0.83 (0.82)	91	0.87 (0.80)	98	0.77 (0.76)	91
38	双葉町 長塚	1.2 (1.2)	91	1.1 (1.1)	91	1.1 (1.0)	97 ⁸³	1.0 (0.99)	91
39	浪江町 井手	14 (14)	91	13 (13)	91	14 (13)	98	12 (12)	91
40	浪江町 請戸	0.29 (0.29)	91	0.29 (0.28)	91	0.30 (0.28)	98	0.27 (0.27)	91
41	浪江町 小野田	0.84 ⁸¹ (0.83) ⁸¹	91	0.83 (0.82)	91	0.87 (0.80)	98	0.78 (0.77)	91
42	浪江町 幾世橋	0.31 (0.31)	91	0.31 (0.31)	91	0.34 (0.31)	98	0.30 (0.30)	91
43	浪江町 菊宿	0.65 (0.64)	91	0.64 (0.63)	91	0.69 (0.63)	98	0.62 (0.61)	91
44	浪江町 昼草根	4.6 (4.6)	91	4.4 (4.4)	91	4.7 (4.3)	98	5.1 ⁸⁶ (5.0) ⁸⁶	91

(単位 mGy)

No.	測定地点名	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~R2. 1. 9		R2. 1. 9 ~R2. 4. 9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
45	浪江町 津島	3.1 (3.1)	91	2.0 ^{*1} (2.0)	91	1.4 ^{*1} (1.3)	98	1.2 (1.2)	91
46	葛尾村 天放	0.39 (0.38)	91	0.39 (0.38)	91	0.39 (0.36)	98	0.33 ^{*7} (0.32)	91
47	葛尾村 落谷	0.48 (0.47)	91	0.48 (0.47)	91	0.51 (0.46)	98	0.45 (0.44)	91
48	葛尾村 野行	2.6 (2.6)	91	2.5 (2.5)	91	2.4 ^{*1} (0.22)	98	1.8 (1.8)	91
49	南相馬市 浦尻	0.24 (0.23)	91	0.23 (0.23)	91	0.25 (0.23)	98	0.23 (0.23)	91
50	南相馬市 耳谷	0.27 (0.27)	91	0.27 (0.26)	91	0.29 (0.27)	98	0.27 (0.26)	91
51	南相馬市 川房	1.0 (1.0)	91	0.99 (0.98)	91	0.93 ^{*4} (0.85)	98	0.81 (0.80)	91
52	南相馬市 関場	0.50 (0.50)	91	0.49 (0.49)	91	0.50 (0.46)	98	0.45 (0.44)	91
53	南相馬市 高	0.23 (0.23)	91	0.23 (0.22)	91	0.25 (0.23)	98	0.23 (0.23)	91
54	南相馬市 大木戸	0.18 (0.18)	91	0.18 (0.18)	91	0.19 (0.18)	98	0.18 (0.18)	91
55	南相馬市 萱浜	0.16 (0.16)	91	0.16 (0.15)	91	0.17 (0.16)	98	0.15 (0.15)	91
56	南相馬市 大原	0.36 (0.36)	91	0.35 (0.35)	91	0.37 (0.34)	98	0.34 (0.34)	91
57	南相馬市 川子	0.25 (0.25)	91	0.24 (0.24)	91	0.26 (0.24)	98	0.24 (0.24)	91
58	飯館村 蕨	0.81 (0.80)	91	0.80 (0.79)	91	0.82 (0.75)	98	0.71 (0.71)	91
59	飯館村 長泥	2.4 ^{*1} (2.4)	91	1.5 ^{*1} (1.4)	91	1.2 ^{*1} (1.1)	98	0.93 (0.92)	91
60	飯館村 飯樋	0.57 (0.56)	91	0.57 (0.56)	91	0.60 (0.55)	98	0.54 (0.53)	91
61	飯館村 白右	1.0 (1.0)	91	1.0 (0.99)	91	1.1 (0.97)	98	0.94 (0.93)	91
62	飯館村 草野	0.88 (0.88)	91	0.87 (0.86)	91	0.93 (0.85)	98	0.81 (0.81)	91
63	川俣町 山木屋坂下	0.87 (0.86)	91	0.87 (0.86)	91	0.90 (0.83)	98	0.80 (0.79)	91
64	川俣町 山木屋	0.32 (0.32)	91	0.32 (0.31)	91	0.34 (0.31)	98	0.30 (0.30)	91

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

* 1 周辺の除染作業による低下

* 2 収納箱の支柱が倒れた全ての地点の測定結果は前回の測定結果と同程度であったが、測定期間中適切な高さを維持できなかったため、今回の測定結果は参考値とした。

* 3 倒れた収納箱の支柱の修繕等により、RPLDの設置を翌日実施したため、測定日数が1日短くなった。

* 4 令和元年10月の大雨の際、RPLD設置地点及び周辺の畑に水が溜まり、土壌等からの放射線が遮蔽されたことにより低下した。

* 5 周辺において容器残渣置場造成工事が行われたことによる低下

* 6 令和2年3月19日に設置場所を移設したことによる上昇

* 7 周辺において側溝造成工事が行われたことによる低下

5-2-1 大気汚染物質の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:放射能濃度:Bg/m³ 測定時間:h
上段:平均値 (下段):最大値

No.	測定地名	測定項目	R1.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3			
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間		
1	いわき市 <small>いわき</small> 小川 <small>小川</small>	全アルファ放射能	0.040 (0.25)	720	0.039 (0.19)	744	0.025 (0.12)	660	0.023 (0.12)	744	0.051 (0.20)	744	0.038 (0.16)	720	0.028 (0.17)	732	0.034 (0.15)	732	0.034 (0.15)	720	0.036 (0.14)	744	0.023 (0.12)	732	0.030 (0.22)	696	0.034 (0.29)	732
		全ベータ放射能	0.065 (0.33)	720	0.063 (0.26)	744	0.044 (0.17)	660	0.041 (0.15)	744	0.075 (0.27)	744	0.061 (0.21)	720	0.049 (0.24)	732	0.057 (0.21)	720	0.057 (0.21)	720	0.059 (0.20)	744	0.042 (0.17)	732	0.052 (0.30)	696	0.056 (0.38)	732
2	田村市 <small>たむら</small> 都路馬場 <small>都路馬場</small> 荒戸 <small>荒戸</small>	全アルファ放射能	0.013 (0.072)	720	0.016 (0.069)	744	0.010 (0.063)	648	0.009 (0.060)	744	0.023 (0.13)	732	0.018 (0.086)	708	0.013 (0.084)	744	0.011 (0.045)	720	0.011 (0.045)	720	0.013 (0.05)	744	0.008 (0.037)	732	0.009 (0.066)	696	0.010 (0.056)	744
		全ベータ放射能	0.035 (0.12)	720	0.040 (0.12)	744	0.030 (0.11)	648	0.028 (0.099)	744	0.048 (0.20)	732	0.042 (0.15)	708	0.034 (0.14)	744	0.032 (0.085)	720	0.032 (0.085)	720	0.034 (0.088)	744	0.027 (0.071)	732	0.028 (0.11)	696	0.030 (0.10)	744
3	広野町 <small>ひろの</small> 小瀬 <small>小瀬</small> いさぎ <small>いさぎ</small> 平 <small>平</small>	全アルファ放射能	0.014 (0.064)	720	0.017 (0.078)	684	0.016 (0.092)	720	0.012 (0.065)	744	0.032 (0.14)	744	0.022 (0.085)	708	0.015 (0.11)	714	0.015 (0.048)	720	0.015 (0.048)	720	0.014 (0.044)	744	0.008 (0.036)	744	0.011 (0.052)	696	0.013 (0.067)	744
		全ベータ放射能	0.038 (0.12)	720	0.042 (0.14)	684	0.039 (0.14)	720	0.033 (0.10)	744	0.063 (0.22)	744	0.049 (0.15)	708	0.038 (0.19)	714	0.038 (0.094)	720	0.038 (0.094)	720	0.036 (0.086)	744	0.028 (0.074)	744	0.031 (0.095)	696	0.035 (0.11)	744
4	榊野町 <small>さかの</small> 桑戸 <small>桑戸</small> ダム <small>ダム</small>	全アルファ放射能	0.022 (0.11)	720	0.026 (0.11)	744	0.016 (0.085)	660	0.020 (0.096)	744	0.039 (0.13)	744	0.029 (0.090)	720	0.021 (0.11)	744	0.022 (0.083)	720	0.022 (0.083)	720	0.022 (0.087)	744	0.013 (0.048)	744	0.015 (0.075)	696	0.017 (0.081)	744
		全ベータ放射能	0.044 (0.16)	720	0.051 (0.16)	744	0.036 (0.13)	660	0.040 (0.14)	744	0.065 (0.19)	744	0.054 (0.13)	720	0.043 (0.17)	744	0.045 (0.13)	720	0.045 (0.13)	720	0.044 (0.13)	744	0.032 (0.079)	744	0.035 (0.12)	696	0.038 (0.13)	744
5	榊野町 <small>さかの</small> 繁 <small>繁</small> いさぎ <small>いさぎ</small> 園 <small>園</small>	全アルファ放射能	0.021 (0.23)	720	0.026 (0.16)	744	0.012 (0.10)	720	0.009 (0.081)	732	0.028 (0.14)	744	0.019 (0.11)	720	0.011 (0.14)	744	0.016 (0.12)	708	0.016 (0.12)	708	0.024 (0.13)	744	0.012 (0.069)	744	0.014 (0.077)	696	0.017 (0.20)	732
		全ベータ放射能	0.083 (0.71)	720	0.098 (0.53)	744	0.052 (0.36)	720	0.044 (0.26)	732	0.101 (0.41)	744	0.075 (0.35)	720	0.052 (0.46)	744	0.066 (0.39)	708	0.066 (0.39)	708	0.094 (0.41)	744	0.056 (0.25)	744	0.061 (0.27)	696	0.071 (0.65)	732
6	郡岡町 <small>ぐんおか</small> 雷 <small>雷</small> いさぎ <small>いさぎ</small> 園 <small>園</small>	全アルファ放射能	0.021 (0.12)	720	0.024 (0.13)	744	0.014 (0.12)	720	0.010 (0.070)	744	0.027 (0.12)	696	0.021 (0.098)	720	0.015 (0.15)	744	0.018 (0.065)	720	0.018 (0.065)	720	0.024 (0.099)	744	0.013 (0.052)	744	0.015 (0.078)	696	0.015 (0.10)	732
		全ベータ放射能	0.079 (0.38)	720	0.086 (0.40)	744	0.057 (0.35)	720	0.043 (0.22)	744	0.093 (0.37)	696	0.078 (0.32)	720	0.058 (0.46)	744	0.069 (0.22)	720	0.069 (0.22)	720	0.085 (0.31)	744	0.055 (0.17)	744	0.059 (0.26)	696	0.060 (0.33)	732
7	川内村 <small>かわうち</small> 川内 <small>川内</small>	全アルファ放射能	0.028 (0.16)	696	0.033 (0.18)	744	0.024 (0.13)	660	0.021 (0.11)	744	0.043 (0.16)	744	0.035 (0.12)	720	0.030 (0.19)	732	0.030 (0.15)	720	0.030 (0.15)	720	0.031 (0.15)	744	0.021 (0.089)	744	0.021 (0.14)	696	0.023 (0.14)	744
		全ベータ放射能	0.052 (0.22)	696	0.058 (0.24)	744	0.046 (0.18)	660	0.042 (0.16)	744	0.070 (0.22)	744	0.061 (0.19)	720	0.054 (0.27)	732	0.054 (0.21)	720	0.054 (0.21)	720	0.055 (0.19)	744	0.043 (0.13)	744	0.043 (0.23)	696	0.046 (0.21)	744
8	大滝町 <small>おほたき</small> 大 <small>大</small> いさぎ <small>いさぎ</small> 野 <small>野</small>	全アルファ放射能	0.017 (0.089)	720	0.019 (0.11)	744	0.012 (0.07)	720	0.009 (0.069)	744	0.026 (0.11)	684	0.019 (0.092)	720	0.012 (0.12)	744	0.014 (0.061)	720	0.014 (0.061)	720	0.016 (0.059)	744	0.008 (0.033)	744	0.010 (0.04)	696	0.008 (0.041)	402
		全ベータ放射能	0.073 (0.31)	720	0.081 (0.36)	744	0.058 (0.23)	720	0.048 (0.22)	744	0.096 (0.37)	684	0.077 (0.31)	720	0.055 (0.40)	744	0.062 (0.20)	720	0.062 (0.20)	720	0.068 (0.20)	744	0.046 (0.13)	744	0.051 (0.15)	696	0.045 (0.15)	402

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
4	榑葉町 木戸ダム (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
5	榑葉町 上げおが 繁岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND	ND	
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	ND
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND	ND
6	富岡町 とみおが 富岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	ND	
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.042	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND	ND	
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.051	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND	ND	
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	ND	ND	
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND	ND	
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	ND	ND	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																		
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce							
13	葛尾村 夏湯 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		14	南相馬市 泉沢 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
15	南相馬市 誓浜 (連続ダストモニタ)			H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
16	飯館村 伊丹沢 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.043
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021
		H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026		
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009		
R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007		
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006		
H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.060		
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.030		
R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.039		
R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036		
H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.029*8		
R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.69*8		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																	
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
19	いわき市 L ₅ おひつり 下補売 (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND
		20	いわき市 かわまき 川前 (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
21	大熊町 むがみはた 向畑 (リアルタイム ダストモニタ)			H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND		
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND		
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND		
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND		
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND		
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	ND		
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1 ¹⁾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.63	ND		
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1 ²⁾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	2.2		
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	0.61		
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	0.61		
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.40	ND	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																						
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce											
22	双葉町 山田 カマダ (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
23	双葉町 新山 ニウヤマ (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
24	双葉町 上羽鳥 カミホトリ (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																			
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce								
25	<small>なみえ</small> 南津島 (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		26	<small>よこがた</small> 横川ダム (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1. 5. 1 ~ R 1. 6. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 6. 1 ~ R 1. 7. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 9. 1 ~ R 1.10. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 1.12. 1 ~ R 2. 1. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 2. 1. 1 ~ R 2. 2. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 2. 2. 1 ~ R 2. 3. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 2. 3. 1 ~ R 2. 4. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
27	<small>あたつぬま</small> 二ツ沼 (ダストサンブラー)			H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2 ^{※1,2}	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
28	檜葉町 山田岡 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
29	檜葉町 松館 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.079	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
30	檜葉町 波倉 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
31	富岡町 かみこおりのがき 上郡山 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.044	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	ND
		H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.071	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
32	富岡町 しもこおりのがき 下郡山 (ダストサンプラー)	R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3 ^{※3)}	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND		
R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND		
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.081	ND		
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.082	ND		
R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	ND		
R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.084	ND		
R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND		
R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	ND		
33	富岡町 よのの森 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.081	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.082	ND	
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	ND	
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.084	ND	
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	ND	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
34	大熊町 ^{森みだい} 南台 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.060	ND	0.38	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.56	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.079	ND	0.85	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.057	ND	0.57	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.69	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.33	ND	ND
35	浪江町 ^{なみ} 江 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	ND	ND	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.058	ND	ND	
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
36	田村市 ^{たむら} 根 (簡易型ダスト サンプラー)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
37	田村市 船引 (簡易型ダスト サンプル)	H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND	ND	
		R1.7.1 ~ R1.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.8.1 ~ R1.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.9.2 ~ R1.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.10.1 ~ R1.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.11.1 ~ R1.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.12.2 ~ R2.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2.1.6 ~ R2.2.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2.2.3 ~ R2.3.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2.3.2 ~ R2.3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	
		H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND
R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R1.7.1 ~ R1.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND		
R1.8.1 ~ R1.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND		
R1.9.2 ~ R1.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND		
R1.10.1 ~ R1.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R1.11.1 ~ R1.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND		
R1.12.2 ~ R2.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R2.1.6 ~ R2.2.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R2.2.3 ~ R2.3.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R2.3.2 ~ R2.3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND		
R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	ND	ND		
R1.7.1 ~ R1.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R1.8.1 ~ R1.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND		
R1.9.2 ~ R1.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND		
R1.10.1 ~ R1.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND		
R1.11.1 ~ R1.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R1.12.2 ~ R2.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R2.1.6 ~ R2.2.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	ND		
R2.2.3 ~ R2.3.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND		
R2.3.2 ~ R2.3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND		
39	川内村 上川内 (簡易型ダスト サンプル)																	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
40	南相馬市 馬場 (簡易型ダスト サンプル)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.079	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.067	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.059	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.096	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.097	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050* ⁵	ND
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.087* ⁷	ND
41	南相馬市 おおきど 大木戸 (簡易型ダスト サンプル)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.071	ND	
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.066	ND	
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.092	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND	
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.039	ND	
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	ND	
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND	
42	南相馬市 じまはら 糟原 (簡易型ダスト サンプル)	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND	
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	ND

- (注) * 1 R1.11.21 10:13 ~ R1.11.25 10:19までの積算流量を誤ってリセットしたため、過去の平均流量をもとに算出。参考値とする。
- * 2 局舎隣接のガソリンスタンドで解体工事 (11/22 建屋解体、12/2~3 建屋基礎解体) が実施されていたため、事故により建屋に沈着した放射性物質が工事で発生した粉じんとともに吸引されたと考えられる。
- * 3 簡易型ダストサンプラナーがR2.1.24 20:04~R2.1.30 14:21までヒューズが切れたことにより停止したため、参考値とする。
- * 4 簡易型ダストサンプラナーが停電のため、R1.10.12 22:03~R1.10.13 0:57まで停止した。
- * 5 簡易型ダストサンプラナーが停電のため、R1.10.4 22:05~R1.10.9 11:02まで停止した。
- * 6 簡易型ダストサンプラナーが停電のため、R2.3.29 7:40~R2.3.29 9:01まで停止した。
- * 7 簡易型ダストサンプラナーが R2.3.6 20:00:49~R2.3.6 20:01:22まで瞬停した。
- * 8 局舎隣接の道路の再舗装工事 (3/5~3/9) に伴い、道路に沈着していた放射性物質が粉じんとともに吸引されたと考えられる。
- * 9 R2.3.18 6時以降の降ろ紙の目詰まりにより流量が通常の3割程度 (ダストモニタ停止時(R2.3.31.11:24))に漸減した。長尺ろ紙が送られなかった(通常6時間毎) ことが原因。例月の約8割のろ紙吸引ができていないことなどから同月の結果として採用する。
- * 10 R2.3.5 12時~18時まで吸引口付近の中性子検出器設置作業に伴い発生した粉じんの影響を受けているため当該期間のろ紙部分のみを欠測とした。

5-2-2(2) 大気浮遊じんの大気核種濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
1	福島市 方木田 (簡易型ダスト サンプラー)	H31. 4. 11 ~ H31. 4. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND
		R 1. 6. 4 ~ R 1. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND
		R 1. 8. 5 ~ R 1. 8. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 19 ~ R 1. 9. 20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.056	ND
		R 1. 10. 7 ~ R 1. 10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND
		R 1. 11. 11 ~ R 1. 11. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	ND
		R 1. 12. 9 ~ R 1. 12. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 1. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	ND
		R 2. 2. 7 ~ R 2. 2. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 4 ~ H31. 4. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 13 ~ R 1. 5. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 1. 6. 4 ~ R 1. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
2	会津若松市 追手町 (簡易型ダスト サンプラー)	R 1. 7. 2 ~ R 1. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 5 ~ R 1. 8. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 10 ~ R 1. 9. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 10. 7 ~ R 1. 10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 11. 5 ~ R 1. 11. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 12. 2 ~ R 1. 12. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 7 ~ R 2. 1. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 2. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 3. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 8 ~ H31. 4. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.029	ND
		R 1. 5. 15 ~ R 1. 5. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 6 ~ R 1. 6. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 4 ~ R 1. 7. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 麓山 (簡易型ダスト サンプラー)	R 1. 9. 5 ~ R 1. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 10. 9 ~ R 1. 10. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 11. 11 ~ R 1. 11. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 12. 4 ~ R 1. 12. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 9 ~ R 2. 1. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 5 ~ R 2. 2. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 3. 9 ~ R 2. 3. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.042	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁰ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
4	白河市 昭和町 (簡易ダスト サンブラー)	H31. 4. 4 ~ H31. 4. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5.13 ~ R 1. 5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 4 ~ R 1. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 2 ~ R 1. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 5 ~ R 1. 8. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9.10 ~ R 1. 9.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.10. 7 ~ R 1.10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	ND	ND
		R 1.11. 5 ~ R 1.11. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1.12. 2 ~ R 1.12. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 7 ~ R 2. 1. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 2. 3 ~ R 2. 2. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 3. 2 ~ R 2. 3. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H31. 4. 8 ~ H31. 4. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND		
R 1. 5.15 ~ R 1. 5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND		
R 1. 6. 6 ~ R 1. 6. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 7. 4 ~ R 1. 7. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 8. 1 ~ R 1. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 9. 5 ~ R 1. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.10. 9 ~ R 1.10.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.11.11 ~ R 1.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.12. 4 ~ R 1.12. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 1. 9 ~ R 2. 1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 2. 5 ~ R 2. 2. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 3. 9 ~ R 2. 3.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H31. 4. 8 ~ H31. 4. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 5.15 ~ R 1. 5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 6. 6 ~ R 1. 6. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 7. 4 ~ R 1. 7. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 8. 1 ~ R 1. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1. 9. 5 ~ R 1. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.10. 9 ~ R 1.10.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.11.11 ~ R 1.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 1.12. 4 ~ R 1.12. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 1. 9 ~ R 2. 1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 2. 5 ~ R 2. 2. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
R 2. 3. 9 ~ R 2. 3.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
6	伊達市 富成 (簡易ダスト サンブラー)	H31. 4. 4 ~ H31. 4. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 5.13 ~ R 1. 5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 6. 4 ~ R 1. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 7. 2 ~ R 1. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 8. 5 ~ R 1. 8. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1. 9.10 ~ R 1. 9.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.10. 7 ~ R 1.10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.11. 5 ~ R 1.11. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 1.12. 2 ~ R 1.12. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R 2. 1. 7 ~ R 2. 1. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
R 2. 2. 3 ~ R 2. 2. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 2. 3. 2 ~ R 2. 3. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
H31. 4. 8 ~ H31. 4. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1. 5.15 ~ R 1. 5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1. 6. 6 ~ R 1. 6. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1. 7. 4 ~ R 1. 7. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1. 8. 1 ~ R 1. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1. 9. 5 ~ R 1. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1.10. 9 ~ R 1.10.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1.11.11 ~ R 1.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 1.12. 4 ~ R 1.12. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 2. 1. 9 ~ R 2. 1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 2. 2. 5 ~ R 2. 2. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
R 2. 3. 9 ~ R 2. 3.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁰ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
7	南会津町 由島 (簡易ダスト サンプラー)	H31. 4. 4 ~ H31. 4. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 5. 13 ~ R 1. 5. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 6. 4 ~ R 1. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 7. 2 ~ R 1. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 8. 5 ~ R 1. 8. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 9. 10 ~ R 1. 9. 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 10. 7 ~ R 1. 10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 11. 5 ~ R 1. 11. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 1. 12. 2 ~ R 1. 12. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 1. 7 ~ R 2. 1. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 2. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R 2. 3. 2 ~ R 2. 3. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：簡易型ダストサンプラー（1週間集じん）はおおむね0.04 mBq/m³以下である。

5-2-3(1) 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	捕集水濃度 (Bq/L)	
1	榎葉町 しば 繁 <small>おが</small> 岡	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	5.2	0.73	大気中水分量 (g/m ³) 7.1
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	4.3	0.42	10
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	10	0.73	14
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	16
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	10	0.60	17
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	10	0.62	17
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	5.9	0.41	15
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	3.6	0.49	7.3
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	2.4	0.48	5.0
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	5.0
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	2.8	0.64	4.5
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	2.6	0.49	5.4
2	富岡町 とみ 富 <small>おが</small> 岡	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	3.6	0.52	6.9
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	6.5	0.63	10
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	10	0.71	14
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	17
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	14	0.75	18
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	8.4	0.46	18
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	6.3	0.48	13
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	3.9	0.55	7.0
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	3.0	0.58	5.2
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	4.9
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	3.6	0.78	4.7
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	3.2	0.58	5.6

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	捕集水濃度 (Bq/L)	
3	大熊町の野	H31.4.1～R1.5.7	5.3	0.75	7.1
		R1.5.7～R1.6.3	10	1.0	10
		R1.6.3～R1.7.1	12	0.80	15
		R1.7.1～R1.8.1	11	0.57	19
		R1.8.1～R1.9.2	18	0.82	22
		R1.9.2～R1.10.1	12	0.71	18
		R1.10.1～R1.11.1	7.9	0.64	12
		R1.11.1～R1.12.2	4.0	0.56	7.1
		R1.12.2～R2.1.6	2.6	0.51	5.1
		R2.1.6～R2.2.3	2.3	0.47	4.8
		R2.2.3～R2.3.2	3.3	0.71	4.6
		R2.3.2～R2.4.1 ^{*2}	3.7	0.64	5.7
		H31.4.1～R1.5.7 ^{*1}	—	—	—
		R1.5.7～R1.6.3 ^{*1}	—	—	—
R1.6.3～R1.7.1 ^{*1}	—	—	—		
R1.7.1～R1.8.1 ^{*1}	—	—	—		
R1.8.1～R1.9.2 ^{*1}	—	—	—		
R1.9.2～R1.10.1 ^{*1}	—	—	—		
R1.10.1～R1.11.1 ^{*1}	—	—	—		
R1.11.1～R1.12.2 ^{*1}	—	—	—		
R1.12.2～R2.1.6	20	4.1	5.0		
R2.1.6～R2.2.3	16	3.4	4.8		
R2.2.3～R2.3.2	19	4.1	4.7		
R2.3.2～R2.4.1	22	3.9	5.7		
4	大熊町の沢	H31.4.1～R1.5.7	—	—	—
		R1.5.7～R1.6.3	—	—	—
		R1.6.3～R1.7.1	—	—	—
		R1.7.1～R1.8.1	—	—	—
		R1.8.1～R1.9.2	—	—	—
		R1.9.2～R1.10.1	—	—	—
		R1.10.1～R1.11.1	—	—	—
		R1.11.1～R1.12.2	—	—	—
		R1.12.2～R2.1.6	20	4.1	5.0
		R2.1.6～R2.2.3	16	3.4	4.8
		R2.2.3～R2.3.2	19	4.1	4.7
		R2.3.2～R2.4.1	22	3.9	5.7
		H31.4.1～R1.5.7	—	—	—
		R1.5.7～R1.6.3	—	—	—
R1.6.3～R1.7.1	—	—	—		
R1.7.1～R1.8.1	—	—	—		
R1.8.1～R1.9.2	—	—	—		
R1.9.2～R1.10.1	—	—	—		
R1.10.1～R1.11.1	—	—	—		
R1.11.1～R1.12.2	—	—	—		
R1.12.2～R2.1.6	20	4.1	5.0		
R2.1.6～R2.2.3	16	3.4	4.8		
R2.2.3～R2.3.2	19	4.1	4.7		
R2.3.2～R2.4.1	22	3.9	5.7		

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	捕集水濃度 (Bq/L)	
5	双葉町 郡 ^{こおり} 山 ^{やま}	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	26	3.5	大気中水分量 (g/m ³) 7.5
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	47	4.3	11
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	46	2.7	17
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	45	2.2	20
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	56	2.5	23
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	25	1.3	19
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	16	1.1	14
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	9.7	1.2	7.9
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	6.3	1.1	5.7
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	7.4	1.4	5.2
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	5.1	0.99	5.2
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	8.7	1.5	5.9

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

3 検出限界値はおおむね5mBq/m³以下

4 * 1 平成31年4月3日～6月3日のいずれかの時点で大気導入配管内結露水トラップの破損が発生し、同年11月19日に交換するまでの期間中、局舎内大気を吸引していたため、欠測とする。

5 * 2 測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に令和2年3月2日から変更した。

5-2-3(2) 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	捕集水濃度 (Bq/L)	
1	福島市 方木田 <small>ほろきだ</small>	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	5.0	0.81	大気中水分量 (g/m ³) 6.2
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	5.0	0.50	10
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	13
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	6.7	0.40	17
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	19
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	14
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	14	1.3	11
		R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	4.0	0.63	6.3
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	6.2	1.4	4.3
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	2.6	0.59	4.4
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	3.2	0.73	4.4
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	5.1

(注) 「ND」：検出限界未満
数値は有効数字2桁にて表記

5-2-4(2) 降下物の核種濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁰ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
1	福島市 <small>ふくしま</small> 方木田	H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.99	12	ND	
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.66	7.6	ND
		R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	3.1	ND
		R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	2.4	ND
		R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	3.9	ND
		R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	1.3	ND
		R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.33	5.0	ND
		R 2.11. 1 ~ R 2.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.68	9.4	ND
		R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.79	11	ND
		R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	3.9	ND
		R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	9.4	ND
		R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	8.0	ND
		H31. 4. 1 ~ R 1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	1.3	ND
		R 1. 5. 7 ~ R 1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.60	ND
R 1. 6. 3 ~ R 1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	ND		
R 1. 7. 1 ~ R 1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND		
R 1. 8. 1 ~ R 1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	ND		
R 1. 9. 2 ~ R 1.10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND		
R 1.10. 1 ~ R 1.11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND		
R 1.11. 1 ~ R 1.12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	ND		
R 1.12. 2 ~ R 2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND		
R 2. 1. 6 ~ R 2. 2. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND		
R 2. 2. 3 ~ R 2. 3. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	ND		
R 2. 3. 2 ~ R 2. 4. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.72	ND		

(注) 1 [ND]: 検出限界未満 「/」: 対象外核種
 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

第6 参考資料

6-1 気象測定結果

ア 風向, 風速, 気温, 湿度, 降雨雪量, 大気安定度の月別記録

No.1 いわき市小川

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	NW	11.7	3.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	NW	8.2	2.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	NW	7.0	2.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	NW	7.1	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	NW	6.4	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	NW	7.3	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NW	9.0	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NW	9.2	2.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	12.0	2.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NW	9.6	2.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NW	9.2	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	NW	12.6	2.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.2 いわき市久之浜

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	NNW	7.3	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SSE	6.1	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	NNW	5.5	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	NNW	5.7	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	5.8	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	SE	10.4	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NNW	9.7	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NNW	4.9	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NNW	4.0	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NNW	8.1	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NNW	5.6	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	NNW	5.5	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.3 いわき市下桶売

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SE	5.6	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SE	7.1	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	SE	5.5	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	SE	4.5	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	6.1	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	SE	5.9	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	SE	5.7	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	WNW	4.2	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	WNW	4.3	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	WNW	3.6	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	WNW	3.4	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	WNW	6.6	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.4 いわき市川前

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	W	7.0	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	W	6.1	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	W	5.7	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	E	4.5	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	E	5.7	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	W	4.8	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	W	9.6	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	W	7.0	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	W	8.7	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	W	7.1	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	W	7.0	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	W	9.4	2.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 5 田村市都路馬洗戸

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	NW	6.3	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	NNW	4.5	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	WSW, W	5.5	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	SW	2.1	0.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	NW	2.7	0.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	NW	2.4	0.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NW	3.5	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NNW	3.8	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	5.6	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NW	4.8	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NW	5.6	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	NW	7.5	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 7 広野町小滝平

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	W	4.3	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	W	3.9	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	W	3.6	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	W	3.1	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	W	3.2	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	W	5.2	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	W	5.7	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	W	2.8	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	W	3.0	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	W	4.2	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	W	3.0	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	W	3.1	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.9 檜葉町木戸ダム

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	W	10.2	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	W	8.7	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	W	7.2	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	E	4.0	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	W	6.7	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	W	7.6	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	W	8.1	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	W	7.9	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	W	8.7	2.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	W	9.1	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	W	9.2	2.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	W	11.5	2.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.10 檜葉町繁岡

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	S	10.8	3.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	S	9.9	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	N	7.0	2.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	N	7.4	2.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	S	7.8	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	NW	10.2	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	N	9.9	2.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	N	10.3	2.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	10.9	2.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NNW	8.6	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	N	12.7	2.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	N	13.7	3.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 16 富岡町富岡

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SSE	12.6	2.6	21.3	-2.5	10.1	98.4	20.3	71.0	63.5	8	G
令和 1年 5月	W	9.8	2.2	29.5	4.3	16.5	98.3	22.7	73.8	130.5	9	G
令和 1年 6月	NNW	5.8	2.1	28.0	11.0	19.0	98.3	44.1	87.1	203.5	18	D
令和 1年 7月	NW	5.0	1.7	32.8	14.7	22.1	98.4	58.0	92.0	256.5	19	D
令和 1年 8月	SSE	6.1	1.6	35.8	18.6	25.7	99.7	45.4	89.9	53.5	9	G
令和 1年 9月	WNW	10.0	1.6	31.0	12.6	22.1	99.3	46.1	88.2	160.0	11	G
令和 1年 10月	WNW	11.5	2.0	27.7	7.8	17.2	98.9	38.1	87.4	646.0	14	D
令和 1年 11月	WNW	10.3	1.9	22.9	-2.0	10.2	98.8	33.3	80.1	64.0	6	G
令和 1年 12月	W	10.0	2.0	18.6	-3.1	6.0	98.8	28.2	80.0	21.0	6	G
令和 2年 1月	WNW	8.0	2.1	15.1	-3.6	4.9	98.6	33.3	77.6	141.0	8	G
令和 2年 2月	W	12.5	2.2	16.0	-5.8	4.9	98.4	30.3	76.0	34.5	8	G
令和 2年 3月	WNW	14.4	2.7	18.8	-2.3	7.7	98.5	20.8	74.0	108.0	10	D

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 18 川内村下川内

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SW	10.6	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SW	8.3	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	ENE, SW	7.6	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	ENE	4.8	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SW	5.4	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	ENE	5.8	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	ENE	8.4	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	SW	7.6	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	SW	8.0	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	SW	7.5	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	SW	8.3	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	SW	11.4	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 22 大熊町大野

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SSE	14.7	3.0	23.8	-1.7	10.2	98.6	13.8	68.0	62.0	8	D
令和 1年 5月	SSE	10.6	2.6	31.0	5.8	17.0	98.8	16.1	69.0	96.5	9	D
令和 1年 6月	NNW	7.5	2.4	28.5	10.2	18.9	98.9	37.4	87.8	180.0	16	D
令和 1年 7月	SSE	6.1	1.9	33.7	14.7	21.9	99.4	56.7	93.5	263.5	20	D
令和 1年 8月	SSE	6.2	1.7	35.9	18.9	25.7	100.0	46.3	90.8	54.5	9	D
令和 1年 9月	WNW	11.1	1.8	33.8	13.9	21.9	100.0	40.9	89.7	139.0	11	D
令和 1年 10月	W	12.2	2.5	27.4	8.2	17.0	100.0	37.4	88.6	664.0	13	D
令和 1年 11月	W	14.6	2.5	22.7	-3.2	10.1	100.0	32.4	77.4	54.5	6	D
令和 1年 12月	W	10.5	2.5	19.1	-2.2	6.1	99.9	30.4	76.7	18.0	6	D
令和 2年 1月	WNW	8.5	2.7	14.8	-2.9	4.6	99.9	35.8	75.7	206.5	8	D
令和 2年 2月	W	12.7	2.7	16.6	-5.8	4.7	99.9	31.2	73.1	30.5	8	D
令和 2年 3月	W	13.5	2.8	19.6	-1.6	7.6	99.9	17.1	69.8	101.0	10	D

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 25 双葉町郡山

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	WNW	6.5	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	WNW	4.9	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	NW	3.3	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	NW	3.0	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	3.7	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	WNW	5.3	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	WNW	8.1	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	WNW	7.7	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	WNW	6.5	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	WNW	4.9	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	WNW	6.3	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	WNW	9.0	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 31 浪江町幾世橋

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	S	9.4	2.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	S	9.8	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	ENE	9.5	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	ENE	7.5	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SSE	7.7	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	WNW	7.6	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	WNW	10.7	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NW	5.8	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	6.3	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NW	7.0	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NW	6.9	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	WNW	7.5	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 32 浪江町大柿ダム

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	N	8.7	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SE	8.3	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	SE	6.2	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	N	5.9	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	4.5	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	N	8.7	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NW	12.9	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	N	9.3	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	N	8.0	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	N	8.5	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	N	10.1	2.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	N	11.8	2.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 33 浪江町南津島

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	NW	7.3	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SSE	7.4	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	SE	4.7	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	SE	3.3	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	4.8	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	SE	5.0	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NW	6.7	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NW	9.2	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	8.8	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NW	7.4	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NW	8.1	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	NW	9.4	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 34 葛尾村夏湯

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	W	7.0	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	ESE	7.1	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	ESE	4.7	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	ESE	3.5	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	ESE	3.8	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	ESE	3.9	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	ESE	4.9	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	W	5.4	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	W	6.9	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	W	6.4	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	W	6.4	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	W	9.2	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 35 南相馬市泉沢

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	WSW	3.9	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	WSW	2.9	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	E	3.0	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	E	2.5	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	E	2.9	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	WSW	2.8	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	E	5.4	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	WSW	3.2	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	WSW	3.2	0.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	WSW	3.2	0.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	WSW	3.5	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	E	3.8	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 36 南相馬市横川ダム

測定年月	測定項目 風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	W	12.3	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	W	9.3	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	W	5.8	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	W	5.6	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	W	6.1	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	W	6.6	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	W	7.4	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	W	6.2	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	W	6.9	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	W, WNW	5.9	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	W	7.3	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	W	11.4	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 37 南相馬市萱浜

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SE	8.6	2.3	21.4	-1.1	10.1	96.3	12.6	63.5	55.5	9	D
令和 1年 5月	SE	8.7	1.7	29.9	6.5	16.8	97.1	13.9	67.3	71.0	8	G
令和 1年 6月	SE	7.4	1.7	27.8	11.1	18.8	97.4	43.5	82.3	145.0	16	D
令和 1年 7月	ENE	5.0	1.5	33.7	15.9	22.2	99.9	52.2	87.9	173.5	20	D
令和 1年 8月	ESE	4.0	1.3	33.9	19.9	25.7	99.9	38.3	86.4	53.0	13	D
令和 1年 9月	WNW	7.1	1.5	32.0	14.3	22.4	99.9	38.5	80.3	104.5	9	D
令和 1年 10月	WNW	11.8	2.2	27.2	8.4	17.3	99.9	32.8	80.8	564.0	17	D
令和 1年 11月	WNW	9.4	2.2	23.4	-1.3	10.7	99.9	28.4	66.7	33.0	4	G
令和 1年 12月	WNW	10.7	2.1	19.0	-1.9	6.3	99.9	27.8	69.8	15.0	6	G
令和 2年 1月	WNW	9.9	2.4	14.3	-2.5	4.9	99.9	27.9	68.8	131.0	9	D
令和 2年 2月	WNW	8.4	2.3	14.2	-5.1	5.0	99.9	27.1	67.3	25.0	9	D
令和 2年 3月	WNW	10.9	2.6	19.2	-0.1	7.6	99.9	2.3	67.8	55.5	9	D

(注) 「/」は測定未実施項目。

No. 38 飯館村伊丹沢

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	SW	6.2	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	SW	5.4	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	ENE	5.1	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	ENE	5.5	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SW	4.4	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	SW	5.6	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	SW	7.2	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	SW	6.0	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	SW	5.8	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	SW	5.5	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	SW	5.0	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	SW	5.1	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

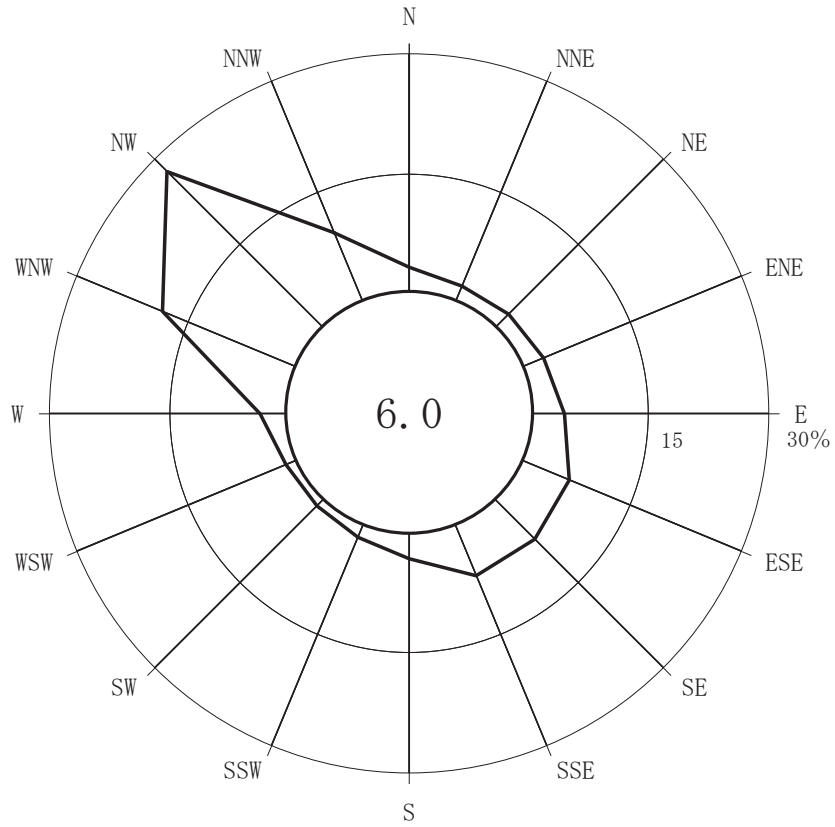
No. 39 川俣町山木屋

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成31年 4月	NW	10.2	2.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 5月	NW	8.9	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 6月	SE	7.1	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 7月	SE	6.1	1.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 8月	SE	7.4	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 9月	NW	6.0	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 10月	NW	8.3	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 11月	NW	12.2	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 1年 12月	NW	11.7	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 1月	NW	11.2	2.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 2月	NW	11.1	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
令和 2年 3月	NW	13.3	2.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/

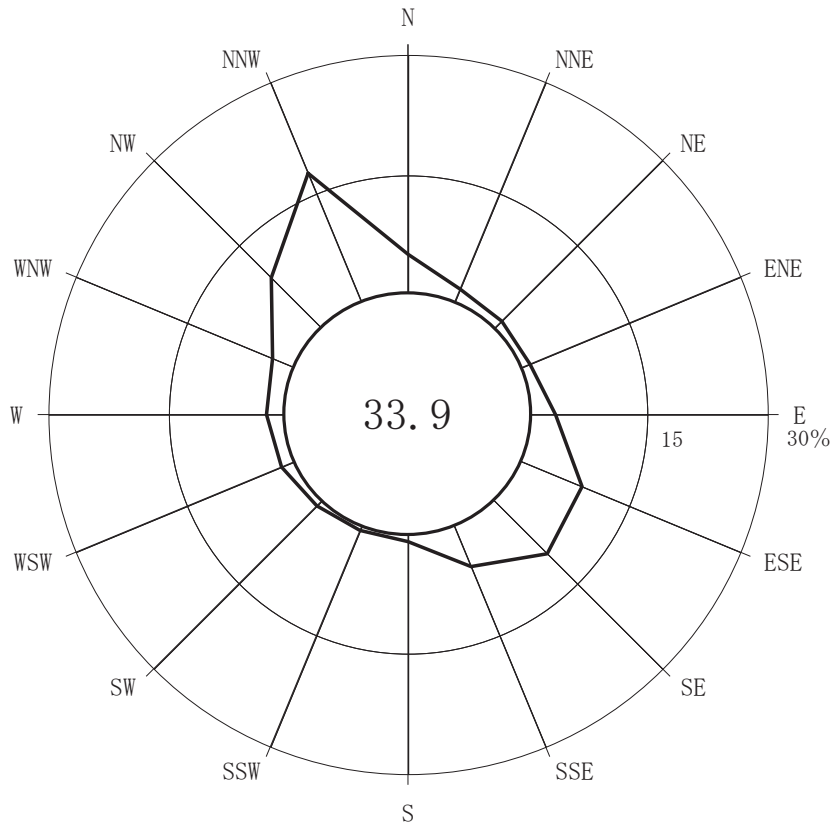
(注) 「/」は測定未実施項目。

イ 風配図

No. 1 いわき市小川

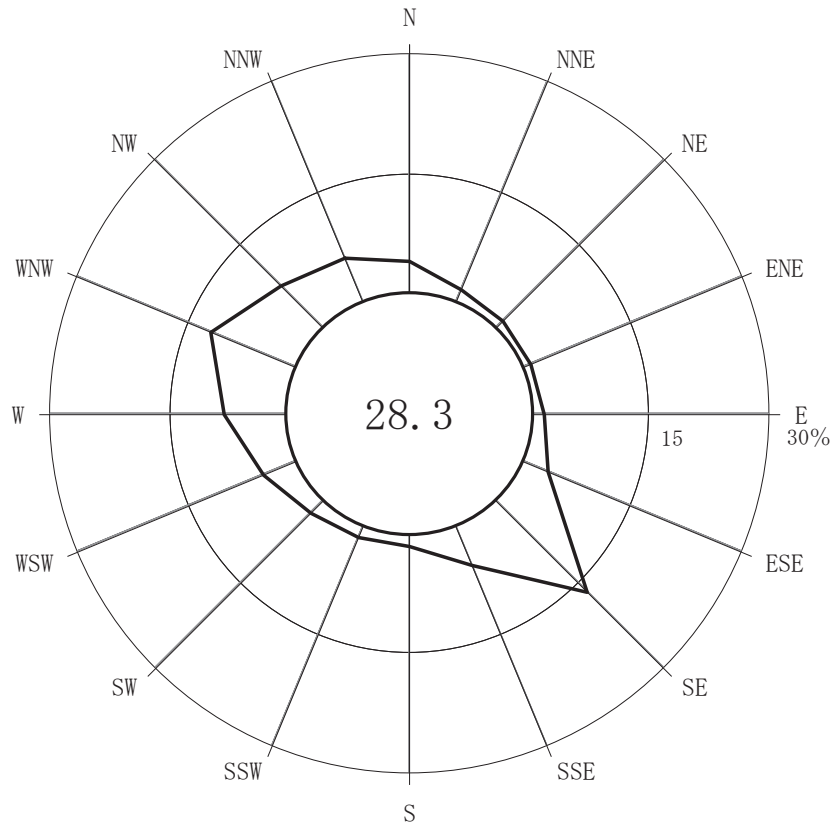


No. 2 いわき市久之浜

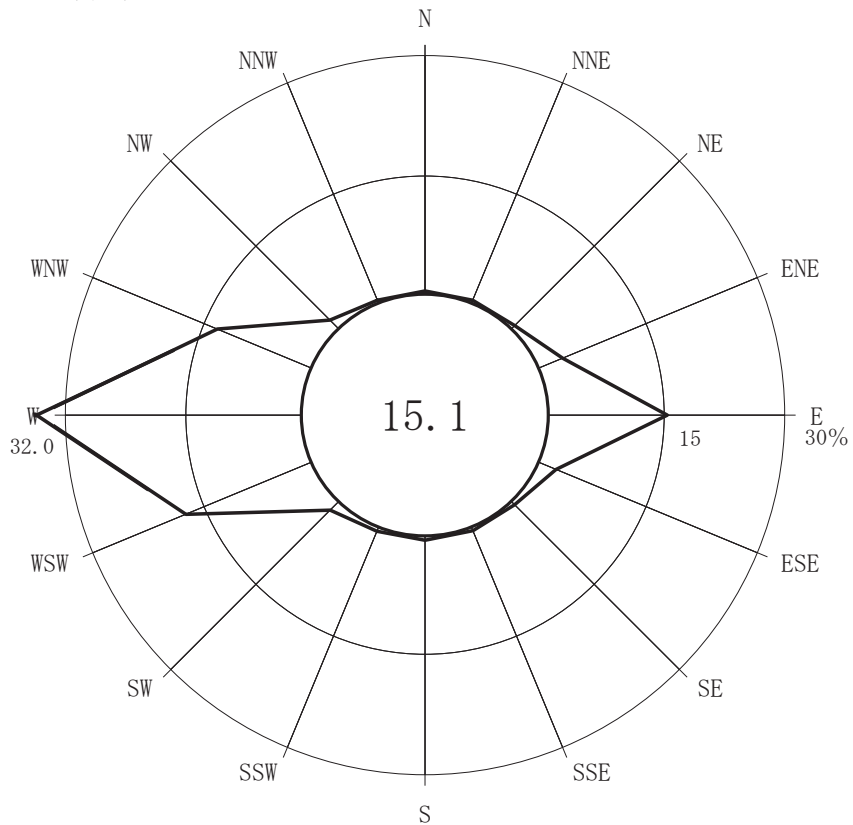


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 3 いわき市下桶売

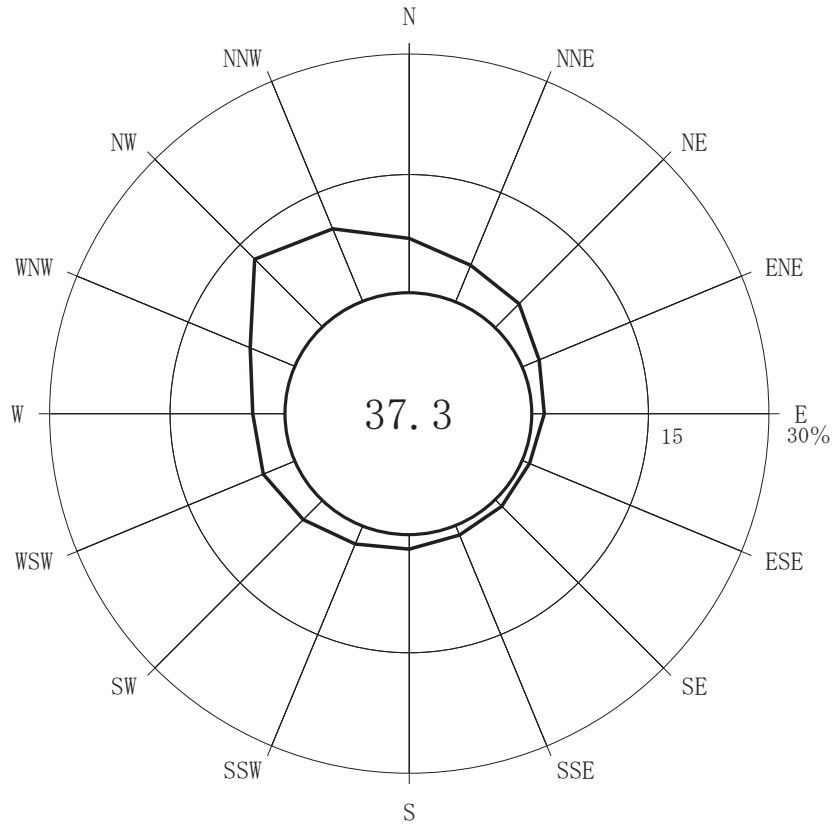


No. 4 いわき市川前

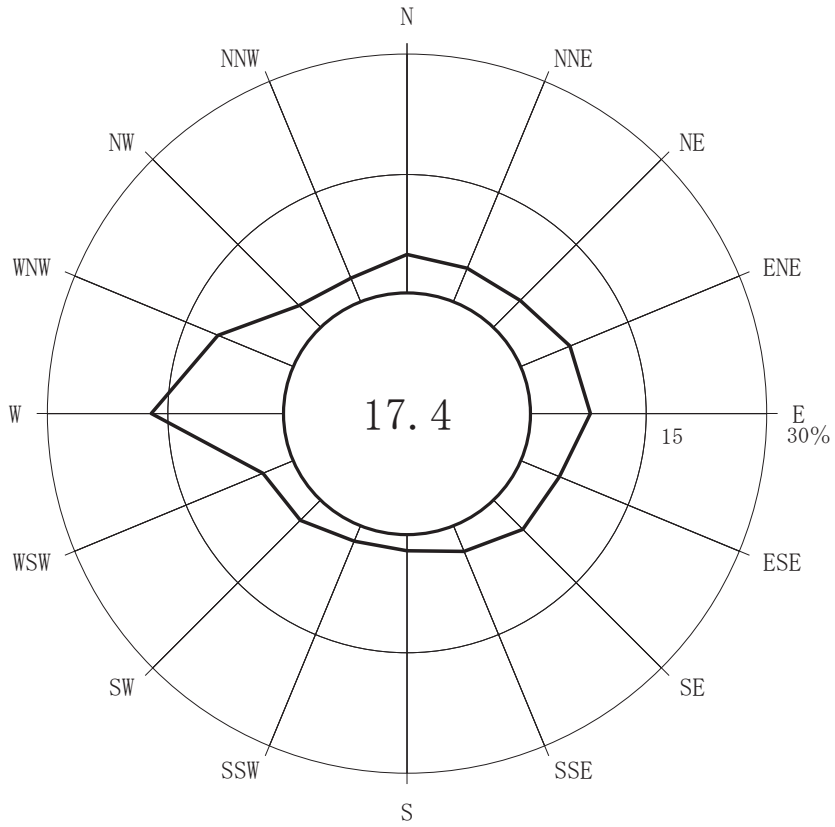


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 5 田村市都路馬洗戸

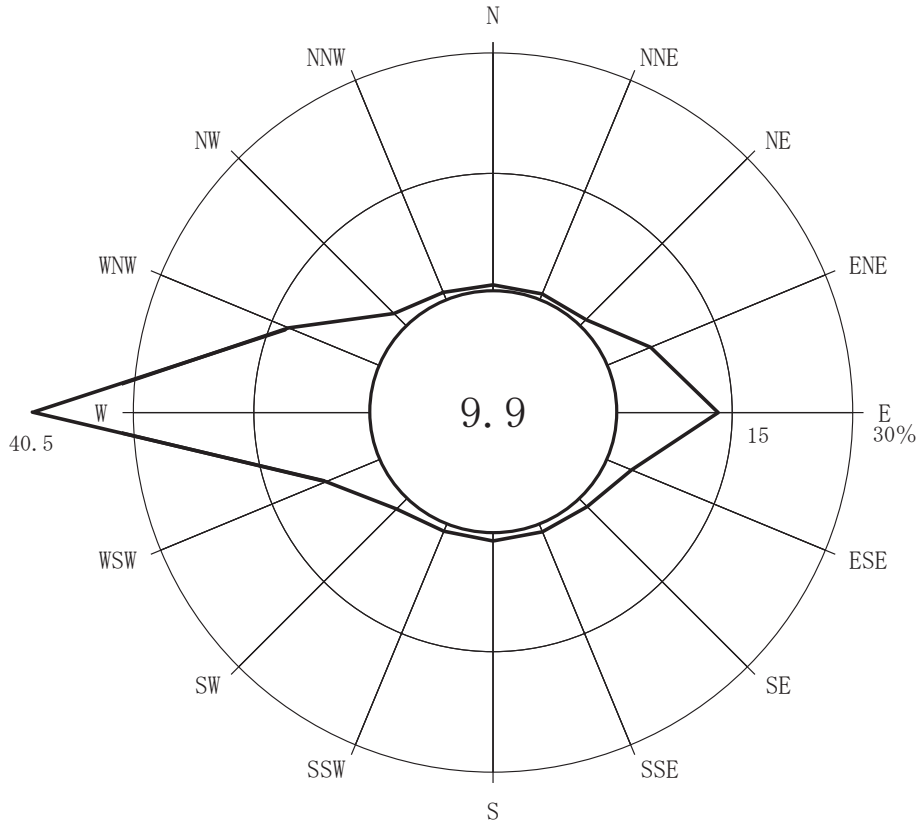


No. 7 広野町小滝平

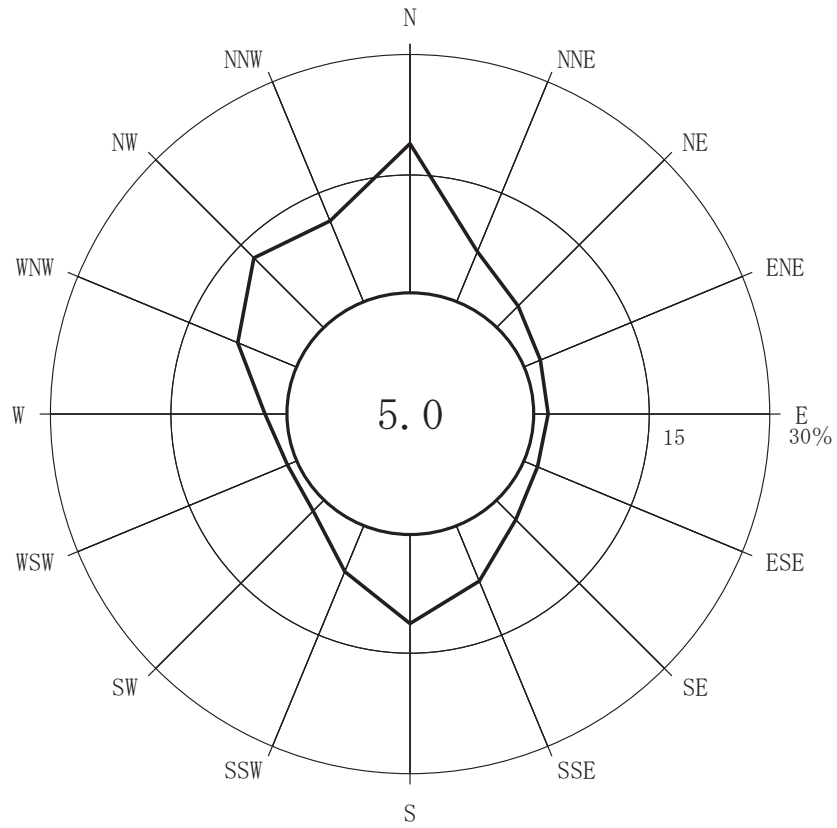


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 9 檜葉町木戸ダム

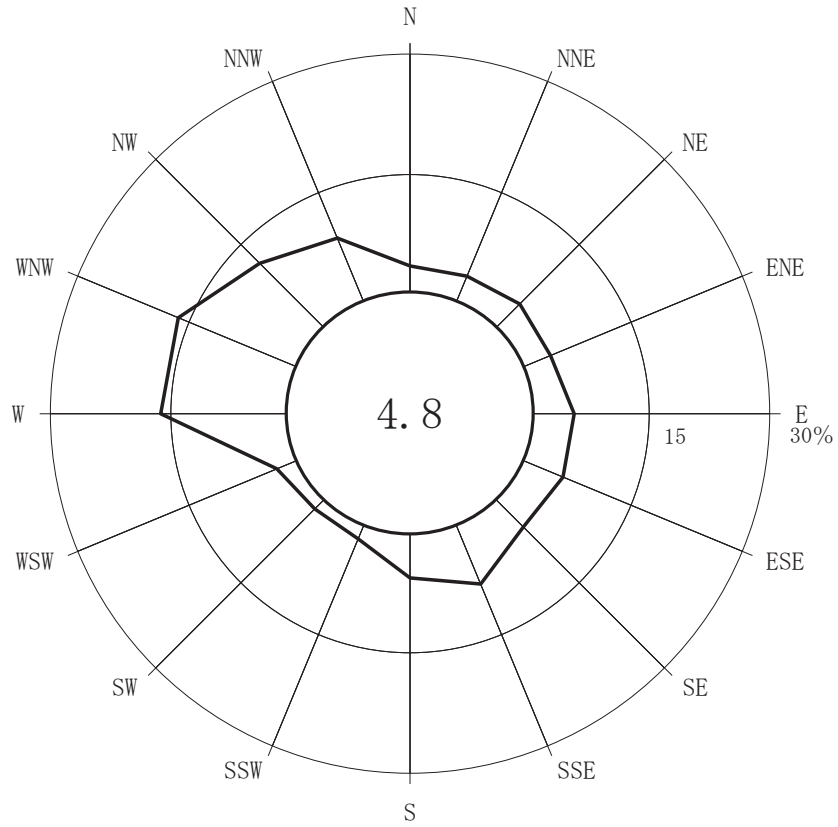


No. 10 檜葉町繁岡

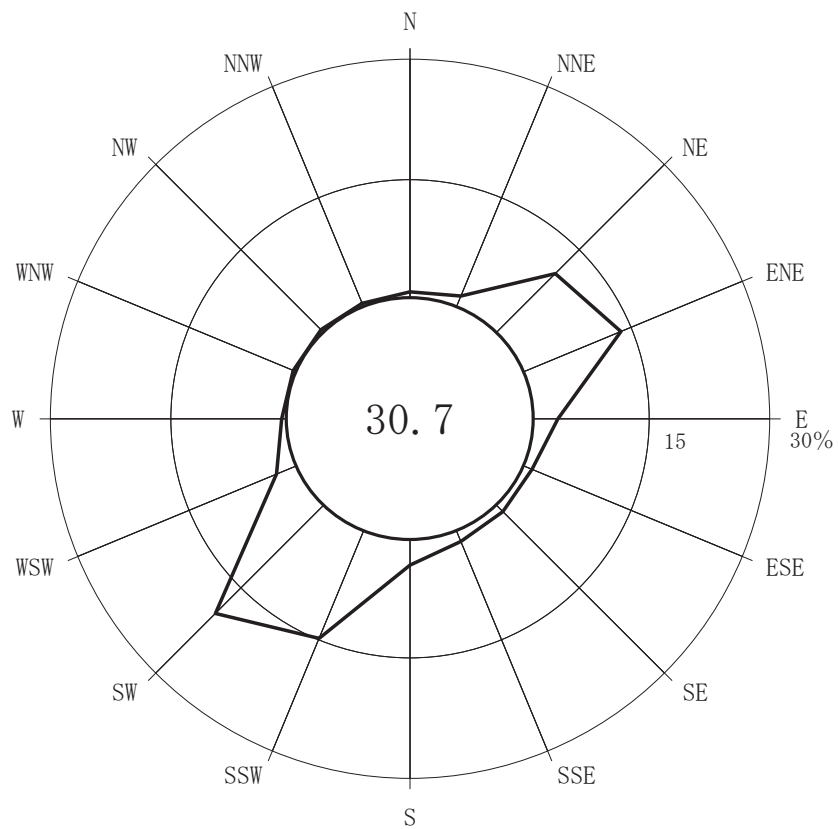


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 16 富岡町富岡

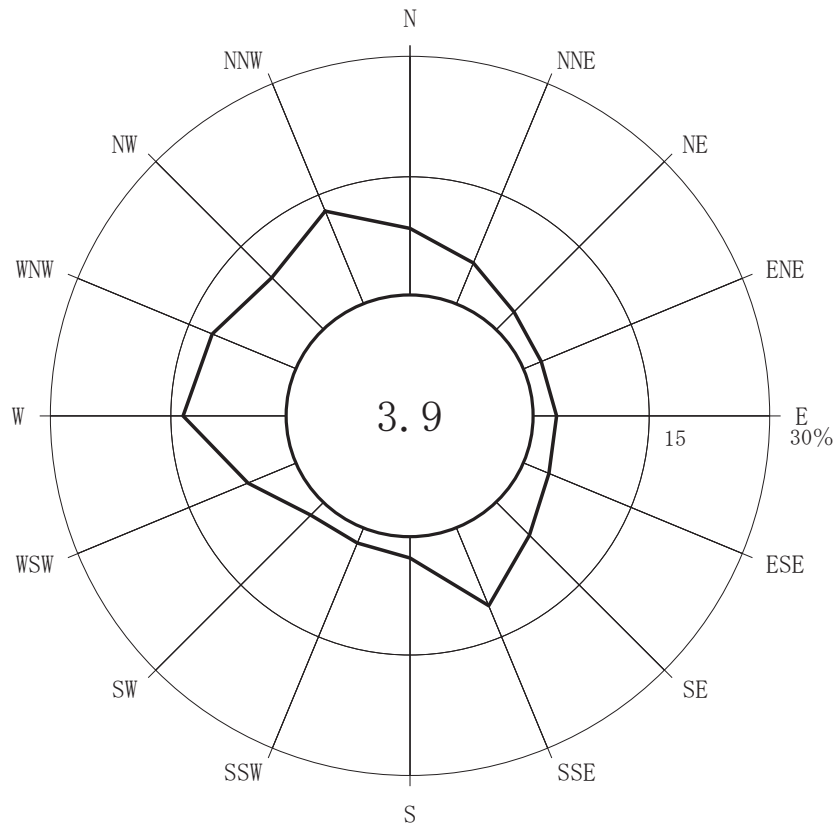


No. 18 川内村下川内

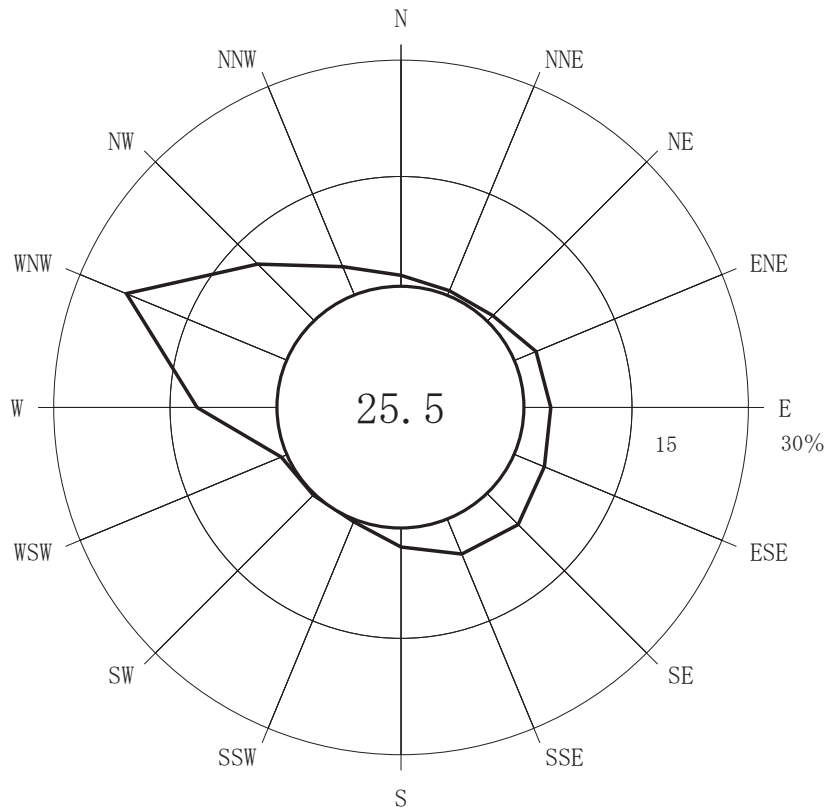


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 22 大熊町大野

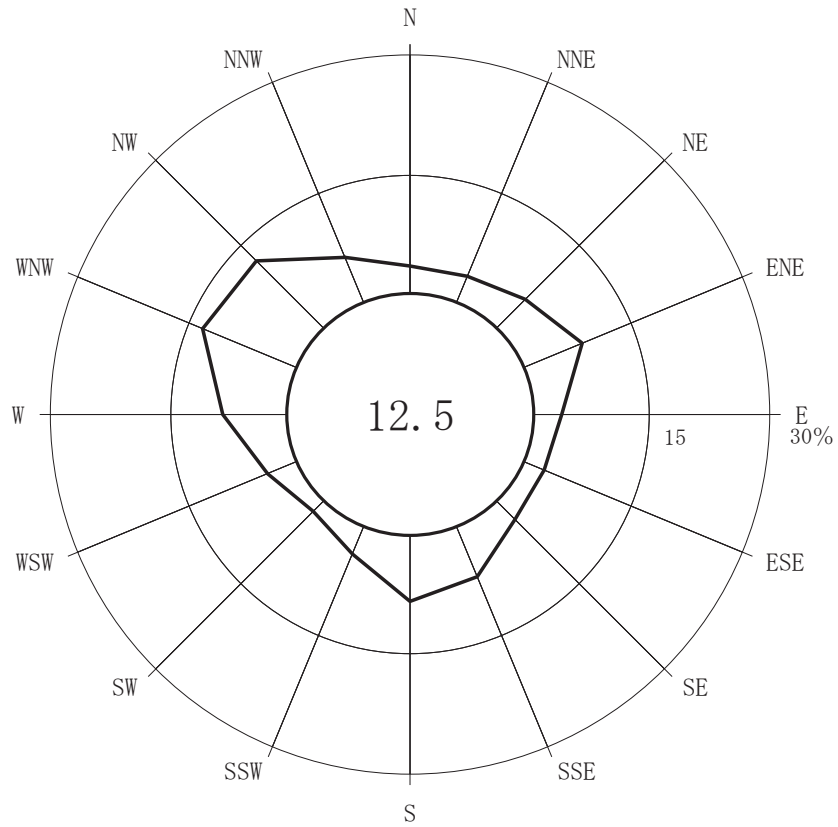


No. 25 双葉町郡山

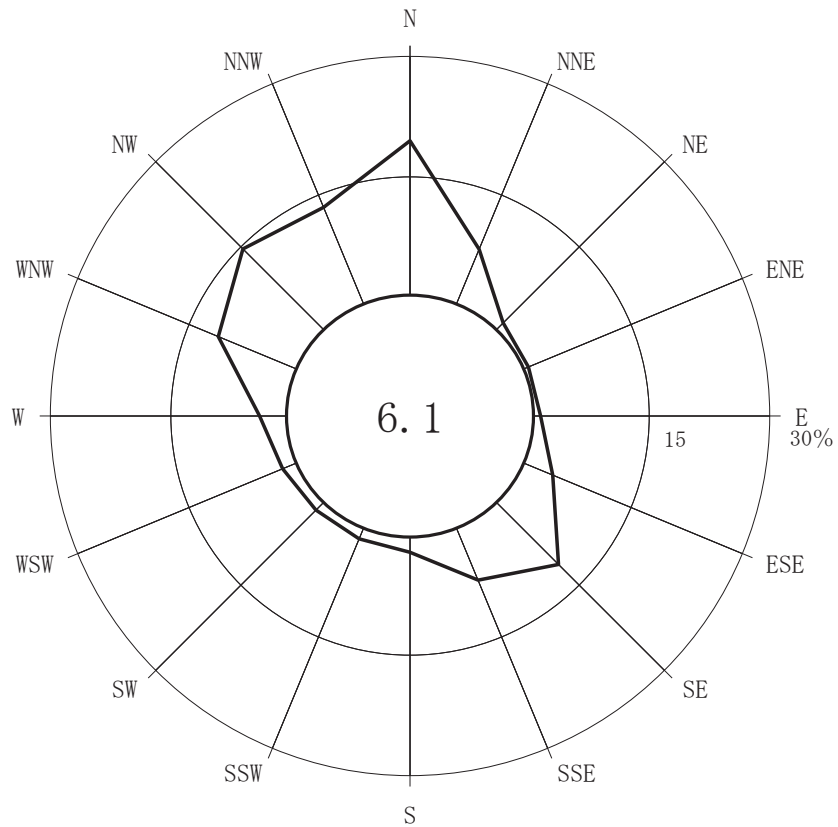


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 31 浪江町幾世橋

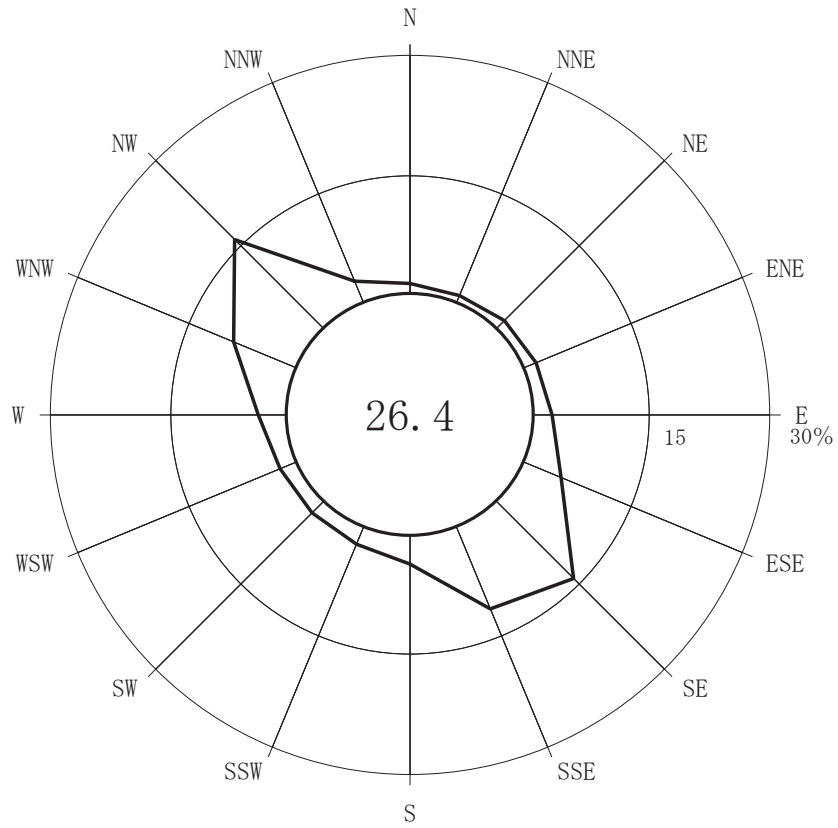


No. 32 浪江町大柿ダム

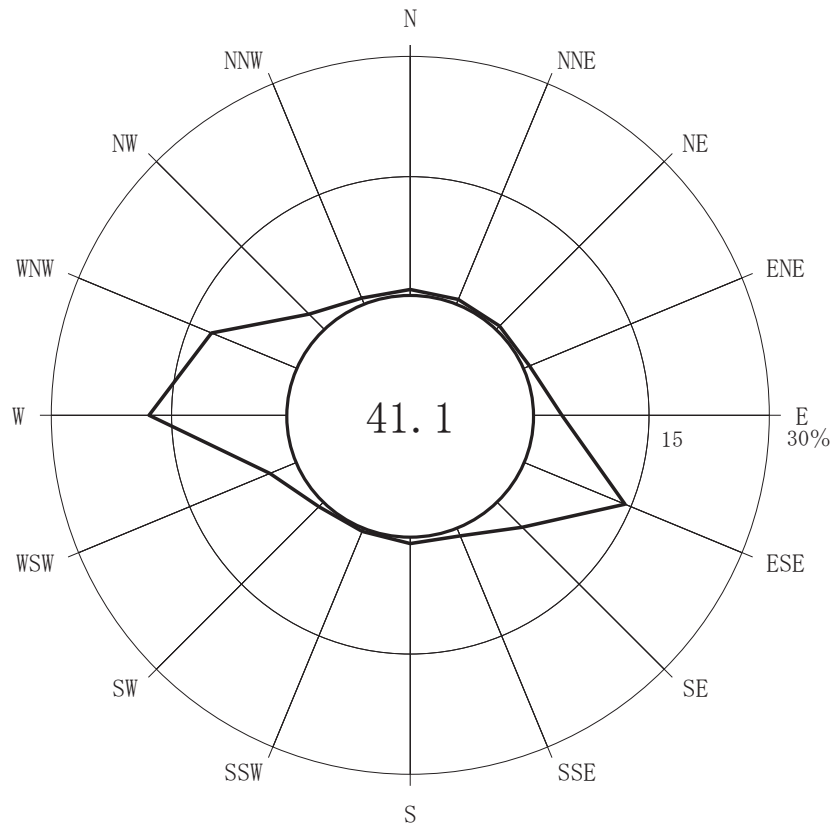


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 33 浪江町南津島

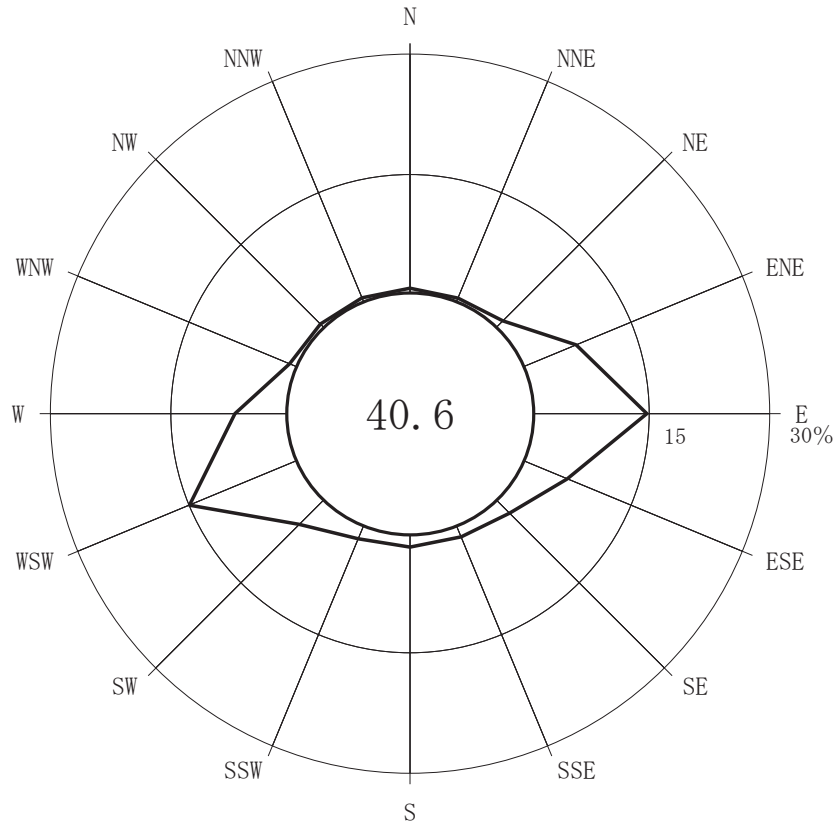


No. 34 葛尾村夏湯

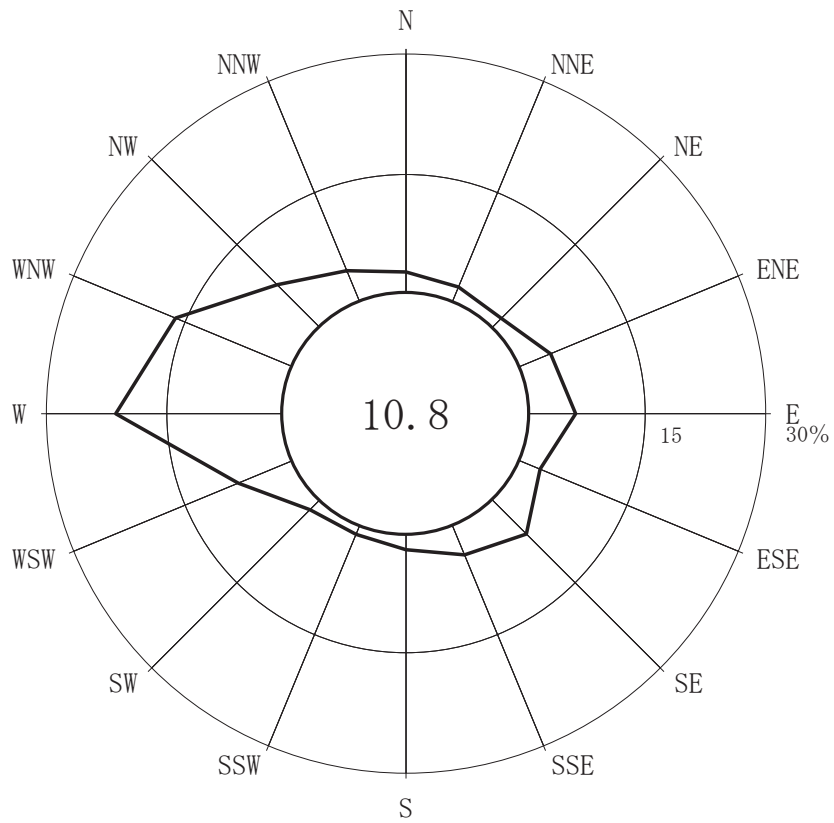


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 35 南相馬市泉沢

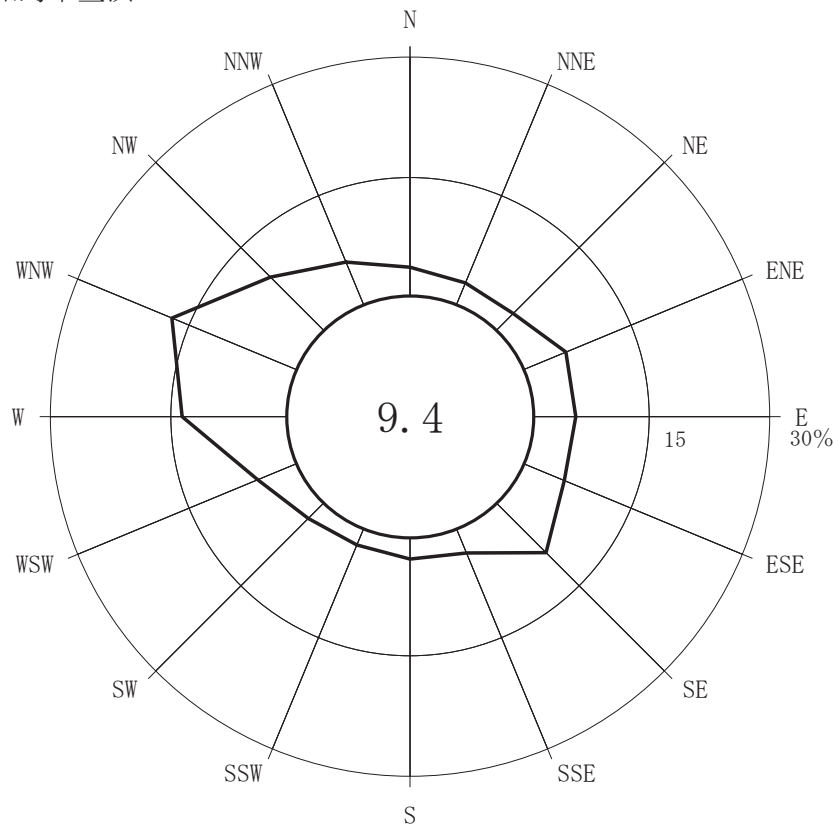


No. 36 南相馬市横川ダム

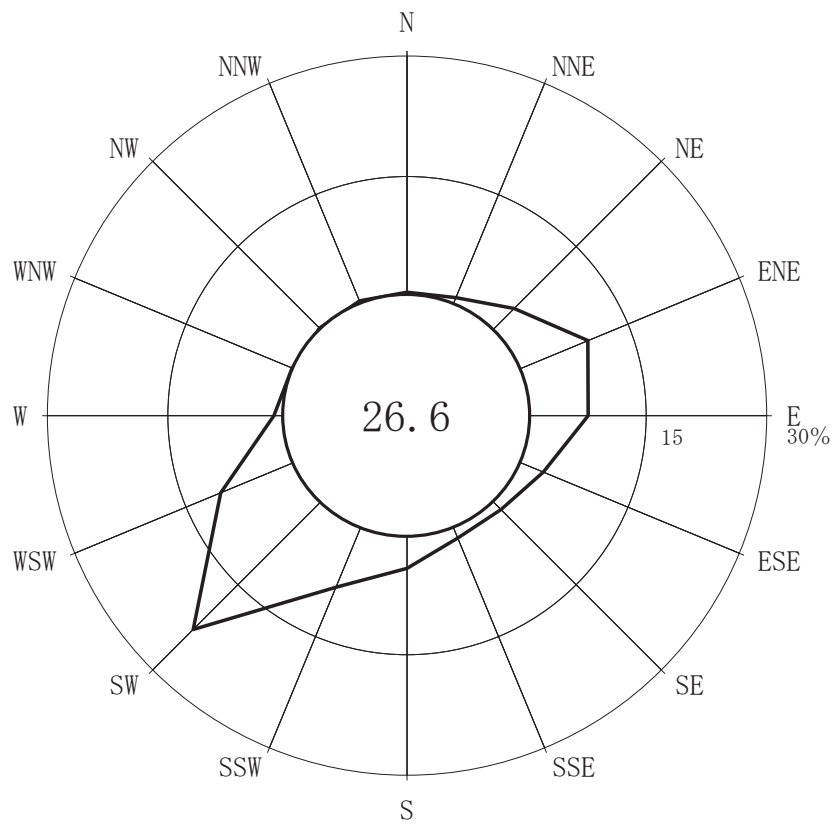


(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 37 南相馬市萱浜

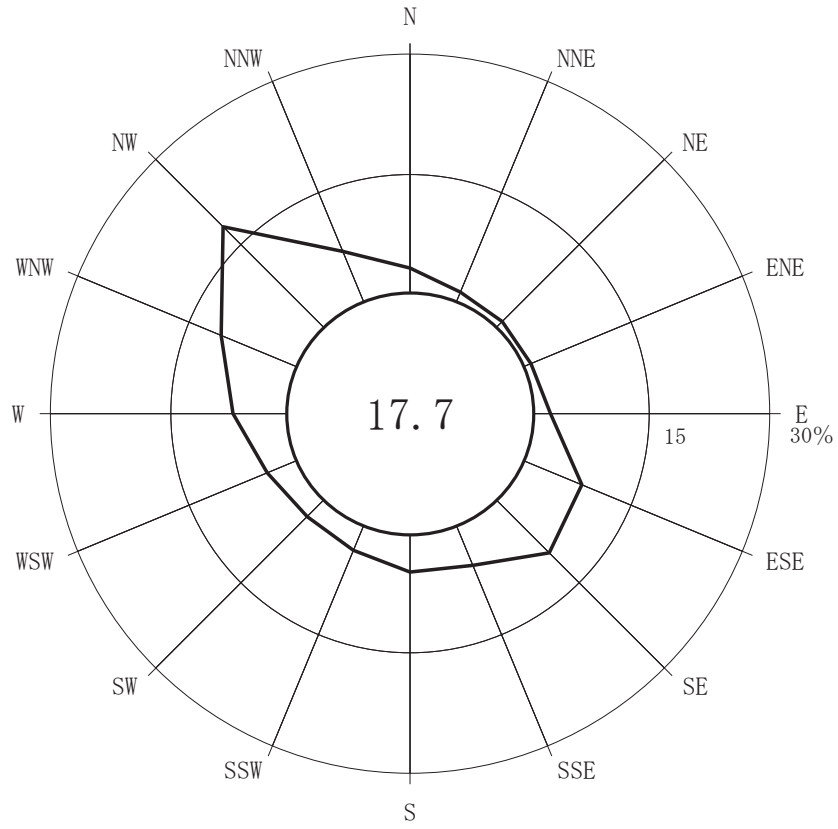


No. 38 飯館村伊丹沢



(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

No. 39 川俣町山木屋



(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

6-2 空間線量率最小値及び最大値とその出現日時

(単位: nGy/h)

No.	測定地点名	平成31年度 (平成31年4月～令和2年3月) の測定値				
		平均値	最小値	出現日時	最大値	出現日時
1	いわき市 小がわ川	51	44	7月23日 17時 18時 19時 20時 22時 23時	84	10月13日 1時
2	いわき市 ひさのほま浜	74	60	3月6日 10時	107	10月25日 18時
3	いわき市 下お桶うり売	53	43	3月29日 19時 20時 21時	86	6月30日 9時
4	いわき市 かわまえ前	64	58	3月29日 18時 19時 20時 21時	108	10月13日 1時
5	田村市 みやこじうまあらいど 都路馬洗戸	81	57	3月29日 19時 20時 21時 22時	115	6月30日 9時
6	広野町 ふたつぬま沼	82	75	7月21日 9時 10時 13時	133	10月25日 18時
7	広野町 こたきだいら平	79	71	3月29日 17時 18時 19時 20時 21時	118	10月25日 19時
8	檜葉町 やまだおか岡	63	59	7月21日 21時 2月7日 8時 9時 3月4日 12時 3月6日 7時 3月9日 18時 3月15日 7時 3月17日 2時 3月29日 18時 19時 20時 21時 22時 23時 3月30日 3時 4時 7時 9時 10時 13時 15時 17時 18時 19時 3月31日 13時 16時 17時	107	10月25日 18時
9	檜葉町 きど戸ダム	95	80	3月29日 18時	139	10月13日 1時
10	檜葉町 しげおか岡	173	141	3月29日 15時 17時 18時	227	10月25日 18時
11	檜葉町 しよつかん館	154	135	3月29日 17時	193	10月13日 1時
12	檜葉町 なみくら倉	221	202	3月29日 18時	256	10月25日 18時
13	富岡町 かみこおりやま山	237	196	3月29日 16時 17時 18時	265	4月5日 15時 4月6日 11時 13時 15時 4月10日 12時 13時 14時 15時
14	富岡町 しもこおりやま山	162	136	3月29日 15時 17時	212	10月25日 18時
15	富岡町 深かや谷	136	106	3月29日 15時	187	10月25日 18時
16	富岡町 とみおか岡	141	121	3月4日 7時	191	10月25日 18時
17	富岡町 よのもり森	284	199	3月29日 15時	326	8月3日 11時 8月17日 13時
18	川内村 しもかわうち内	126	95	3月29日 17時 18時 19時 21時 23時	171	10月13日 1時

6-2 空間線量率最小値及び最大値とその出現日時

(単位: nGy/h)

No.	測 定 地 点 名	平成31年度 (平成31年4月～令和2年3月) の測定値				
		平均値	最小値	出現日時	最大値	出現日時
19	大熊町 向かい畑	1,150	926	3月29日 15時	1,260	4月7日 17時 18時 4月9日 18時 19時
20	大熊町 熊まがわ川	1,580	1,150	3月29日 14時	1,910	8月20日 12時
21	大熊町 南なみだい台	4,640	3,730	3月29日 16時	5,190	4月9日 17時
22	大熊町 大おの野	969	789	3月29日 14時	1,070	4月7日 17時 18時 4月9日 14時 16時 17時
23	大熊町 おつとざわ沢	3,970	2,390	3月29日 15時	5,130	4月7日 15時
24	大熊町 山まだ田	4,110	2,210	10月25日 22時	4,800	4月9日 17時
25	大熊町 郡おりやま山	347	289	3月29日 16時 17時	381	4月25日 7時
26	双葉町 新んざん山	883	350	10月25日 23時	1,180	4月9日 18時 19時
27	双葉町 上みほとり鳥	453	369	3月29日 15時 16時	516	4月5日 22時
28	浪江町 請けど戸	105	86	3月29日 17時 18時 19時 20時 22時	144	10月25日 17時
29	浪江町 棚なしお塩	75	32	10月13日 15時 16時	118	10月25日 17時
30	浪江町 浪みえ江	130	102	3月15日 10時	163	10月25日 18時
31	浪江町 幾よはし橋	90	78	3月29日 17時 18時 19時 20時 21時 22時	127	10月25日 18時
32	浪江町 おおがき柿ダム	677	542	10月12日 20時	731	8月9日 11時
33	浪江町 南なみつしま島	972	656	3月29日 16時	1,100	5月14日 14時
34	葛尾村 夏つゆ湯	131	110	4月11日 8時 9時 10時 11時 3月29日 18時 20時	162	6月30日 8時 9時
35	南相馬市 いずみさわ沢	107	92	3月29日 19時	145	10月13日 1時 10月25日 18時
36	南相馬市 よこかわ川ダム	209	171	3月29日 16時	256	10月25日 20時
37	南相馬市 かいはま浜	45	41	10月13日 15時 16時 10月23日 7時 9時 10時 11時 13時 14時 15時 16時 17時 3月29日 18時 19時 20時 21時 22時 3月30日 9時 10時	93	10月13日 2時
38	飯館村 伊たみさわ沢	145	112	3月29日 19時 20時	178	2月23日 11時
39	川俣町 やまきや屋	124	95	3月29日 19時 20時	154	6月30日 12時 13時

6-3 試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	いわき市	H31. 4. 11	10.1	10.0	7.5
		R 1. 7. 2	29.3	21.2	7.1
		R 1.10. 2	25.0	23.5	7.7
		R 2. 1. 6	12.7	9.9	7.1
2	田村市	H31. 4. 16	13.6	12.5	7.8
		R 1. 7. 11	18.4	19.2	7.9
		R 1.10. 8	21.6	23.4	7.2
		R 2. 1. 6	5.4	7.5	7.7
3	広野町	H31. 4. 11	11.2	10.5	7.6
		R 1. 7. 2	24.6	19.5	7.2
		R 1.10. 2	25.5	22.0	7.5
		R 2. 1. 7	10.6	8.4	7.1
4	檜葉町	H31. 4. 11	9.2	10.2	7.1
		R 1. 7. 3	24.5	21.5	7.1
		R 1.10. 2	24.3	24.0	7.2
		R 2. 1. 7	6.8	7.0	6.9
5	富岡町	H31. 4. 15	15.2	14.5	7.3
		R 1. 7. 3	28.4	22.2	7.0
		R 1.10. 2	24.7	23.2	7.1
		R 2. 1. 7	7.7	8.8	6.9
6	川内村	H31. 4. 16	15.1	13.5	7.4
		R 1. 7. 11	19.6	17.5	7.6
		R 1.10. 8	23.2	21.9	7.4
		R 2. 1. 6	6.6	9.2	7.3
7	大熊町	R 1. 5. 14	20.1	19.0	7.2
		R 1. 7. 8	20.5	21.2	7.6
		R 1.10. 9	21.4	19.6	7.6
		R 2. 1. 7	6.9	8.1	7.1
8	双葉町	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
9	浪江町	H31. 4. 15	19.1	18.9	7.6
		R 1. 7. 4	24.5	21.5	7.1
		R 1.10. 9	22.4	20.7	7.5
		R 2. 1. 7	8.2	10.4	7.6
10	葛尾村	H31. 4. 16	10.9	10.5	7.3
		R 1. 7. 8	15.8	19.0	7.5
		R 1.10. 8	21.0	20.0	7.1
		R 2. 1. 9	7.0	8.0	7.1
11	南相馬市	H31. 4. 15	16.1	13.0	7.2
		R 1. 7. 4	23.4	23.9	7.1
		R 1.10. 9	19.8	20.8	7.4
		R 2. 1. 7	7.3	11.4	7.0
12	飯館村	H31. 4. 17	20.2	12.5	7.5
		R 1. 7. 10	19.4	19.8	7.5
		R 1.10. 8	19.5	21.2	6.8
		R 2. 1. 9	5.4	7.0	7.3
13	川俣町	H31. 4. 17	20.6	11.1	7.3
		R 1. 7. 10	18.4	18.3	7.5
		R 1.10. 8	19.2	20.4	6.9
		R 2. 1. 9	7.1	7.1	7.3

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl ⁻ (‰)
1	第一(発)南放水口付近	H31. 4.17	12.0	9.6	7.9	19
		R 1. 5.10	21.0	11.3	8.1	19
		R 1. 6. 4	16.0	10.8	7.9	19
		R 1. 7. 2	25.5	20.2	8.2	17
		R 1. 8. 1	27.5	21.3	8.1	19
		R 1. 9.20	22.0	23.2	8.0	16
		R 1.10. 2	25.0	23.0	8.1	17
		R 1.11.21	12.0	15.2	8.2	19
		R 1.12.11	12.5	12.7	8.0	18
		R 2. 1. 8	5.5	8.7	8.1	19
		R 2. 2. 4	6.5	8.4	8.1	18
R 2. 3.12	10.0	9.2	8.1	17		
2	第一(発)北放水口付近	H31. 4.17	11.5	9.9	7.9	19
		R 1. 5.10	22.0	11.4	8.1	18
		R 1. 6. 4	16.0	10.9	7.9	19
		R 1. 7. 2	23.5	20.1	8.1	17
		R 1. 8. 1	28.5	21.7	8.1	18
		R 1. 9.20	21.8	23.0	7.9	18
		R 1.10. 2	25.0	23.3	8.1	17
		R 1.11.21	11.5	15.3	8.2	19
		R 1.12.11	12.1	12.8	8.0	19
		R 2. 1. 8	5.0	8.7	8.1	19
		R 2. 2. 4	5.0	7.6	8.1	19
R 2. 3.12	10.0	8.5	8.1	19		
3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	H31. 4.17	12.5	10.0	7.9	18
		R 1. 5.10	22.0	11.6	8.1	18
		R 1. 6. 4	16.0	11.1	8.0	18
		R 1. 7. 2	23.0	19.8	8.1	17
		R 1. 8. 1	28.5	20.7	8.0	18
		R 1. 9.20	22.9	23.2	7.9	18
		R 1.10. 2	25.0	23.5	8.1	18
		R 1.11.21	12.0	15.0	8.1	21
		R 1.12.11	12.2	12.5	8.1	18
		R 2. 1. 8	5.5	8.1	8.1	18
		R 2. 2. 4	4.0	7.9	8.1	21
R 2. 3.12	10.0	9.1	8.1	18		
4	第一(発)沖合 2 km	H31. 4.17	11.0	10.0	7.9	18
		R 1. 5.10	22.0	12.0	8.1	18
		R 1. 6. 4	17.0	11.0	7.9	19
		R 1. 7. 2	22.5	19.9	8.2	17
		R 1. 8. 1	27.0	21.8	8.1	19
		R 1. 9.20	22.0	23.2	7.9	18
		R 1.10. 2	25.5	22.5	8.1	18
		R 1.11.21	9.0	15.2	8.1	20
		R 1.12.11	12.0	13.1	8.0	18
		R 2. 1. 8	5.5	9.4	8.1	19
		R 2. 2. 4	3.5	8.2	8.1	22
R 2. 3.12	8.5	8.3	8.1	18		
5	夫沢・熊川沖 2 km	H31. 4.17	11.0	9.7	7.9	19
		R 1. 5.10	20.0	12.5	8.1	19
		R 1. 6. 4	17.0	11.2	7.9	19
		R 1. 7. 2	21.5	20.2	8.2	17
		R 1. 8. 1	26.0	21.6	8.0	18
		R 1. 9.20	21.0	23.0	7.9	18
		R 1.10. 2	26.0	22.9	8.1	18
		R 1.11.21	9.0	15.3	8.1	20
		R 1.12.11	14.5	13.1	8.0	19
		R 2. 1. 8	6.0	10.3	8.1	19
		R 2. 2. 4	4.0	8.2	8.1	19
R 2. 3.12	8.5	9.1	8.1	19		

6	双葉・前田川沖 2 km	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	19
		R 1. 5. 10	21.0	11.9	8.1	19
		R 1. 6. 4	17.0	10.8	8.0	19
		R 1. 7. 2	23.0	20.2	8.2	16
		R 1. 8. 1	28.0	22.2	8.1	18
		R 1. 9. 20	21.0	23.3	8.0	18
		R 1. 10. 2	25.5	22.9	8.1	18
		R 1. 11. 21	10.0	15.2	8.2	18
		R 1. 12. 11	11.0	13.1	8.1	19
		R 2. 1. 8	5.0	8.7	8.1	19
		R 2. 2. 4	3.5	7.5	8.1	19
		R 2. 3. 12	9.5	9.0	8.1	19
		7	第二(発)南放水口	R 1. 5. 16	18.0	11.2
R 1. 8. 26	27.3			24.4	7.9	19
R 1. 11. 15	11.3			14.3	8.0	19
R 2. 2. 14	13.5			10.6	8.0	19
8	第二(発)北放水口	R 1. 5. 16	14.7	12.7	8.1	19
		R 1. 8. 26	26.4	24.2	7.9	19
		R 1. 11. 15	12.0	16.3	8.0	19
		R 2. 2. 14	12.3	10.4	8.0	19

(比較対照地点環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	福島市	R1. 7. 11	26. 4	14. 5	6. 4
2	会津若松市	H31. 4. 4	12. 0	5. 5	7. 0

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H	Cl ⁻ (‰)
1	相馬市松川浦沖	R1. 9. 4	28. 5	20. 5	7. 6	17

6-4 環境試料の核種濃度の検出限界について（下限値の最大）

降下物	種類又は部位	単位	測定容器	前処理方法	検出率の測定時間	検出下限値																	
						⁵¹ Cr	⁵⁵ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am
大気浮遊じん		MBq/km ² ・月	U-8容器	蒸発乾固	80,000秒	10	0.45	0.55	1.0	0.39	1.0	0.86	6.2	2.8	0.60	0.92	3.8	/	/	/	/	/	
						0.89	0.049	0.062	0.12	0.067	0.11	0.092	0.50	0.21	0.075	0.056	0.46	/	/	/	/	/	/
大気中水分		mBq/m ³	U-8容器	1ヶ月分	80,000秒	1.4	0.038	0.064	0.23	0.039	0.14	0.17	0.32	0.088	0.046	0.043	0.25	/	/	/	/	/	
						0.39	0.080	0.043	0.085	0.047	0.087	0.080	0.45	0.11	0.060	0.066	0.43	/	/	/	/	/	/
土壌	表土	Bq/kg乾	100mLフロンバイアル	蒸留	80,000秒	440	5.1	7.1	15	2.6	18	17	180	87	8.9	16	95	/	9.7	/	/	/	
上水	蛇口水	Bq/L	U-8容器	乾燥	80,000秒	0.53	0.002	0.007	0.027	0.002	0.015	0.031	0.022	0.0065	0.003	0.002	0.015	0.43	/	0.0003	0.009	0.010	
海水	表面水	Bq/L (Frl)3mBq/L)	U-8容器	蒸発乾固	80,000秒	/	0.003	0.004	0.014	0.003	0.008	0.011	0.024	/	0.003	0.003	0.015	0.46	/	0.0005	0.010	0.010	
海底土	土	Bq/kg乾	U-8容器	リンモリ※1	80,000秒	24	1.4	1.2	3.3	1.0	2.5	2.9	10	3.8	1.2	1.0	5.3	/	0.24	0.02	0.13	/	
松葉	葉	Bq/kg生	U-8容器	乾燥	80,000秒	9.2	1.3	0.8	1.6	0.90	1.9	1.6	9.4	4.3	1.2	1.4	5.5	/	3.3	/	/	/	
ほんだわら	葉茎	Bq/kg生	U-8容器	乾燥	80,000秒	1.1	0.18	0.15	0.41	0.20	0.32	0.25	1.4	0.41	0.20	0.16	0.79	/	0.16	0.038	0.0009	0.0009	/

※1 リンモリフロン酸アンモニウム=酸化ベンゼンガン炭素補集法

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の 排出に伴う海水モニタリングの結果

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、南放水口付近（T-2）の海域において、毎月の初回排出時に海水モニタリングを実施しております。

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/L)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	南放水口付近 (T-2) (地下水排出中)	令和元年度	0.02	ND	ND~0.072	ND~8.6
		平成30年度	0.02~0.03	ND	ND	ND~7.9
		平成29年度	ND~0.04	ND	ND~0.13	ND~8.8
		平成28年度	0.03~0.15	ND	0.061~0.19	ND~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	ND~0.11	0.080~0.40	ND~0.86
		平成26年度	0.04~0.22	ND~0.54	0.12~1.6	ND~3.5

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

○平成30年3月採水分から、防波堤の本設化工事完了に伴い、採水地点が排出地点の北約10m地点から排出地点の南約30m地点へと変更となりました。

平成26年5月21日（初回排出日）以前のモニタリング結果

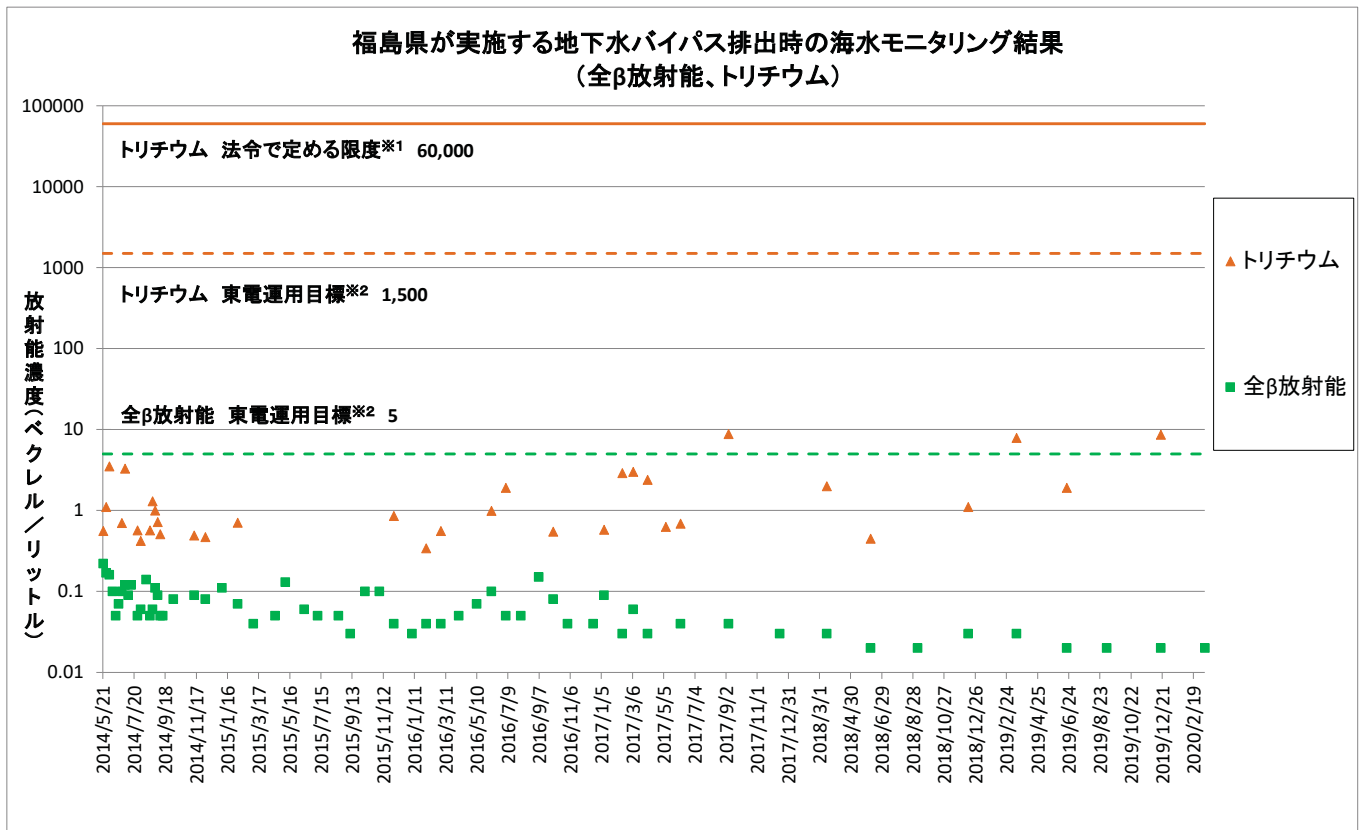
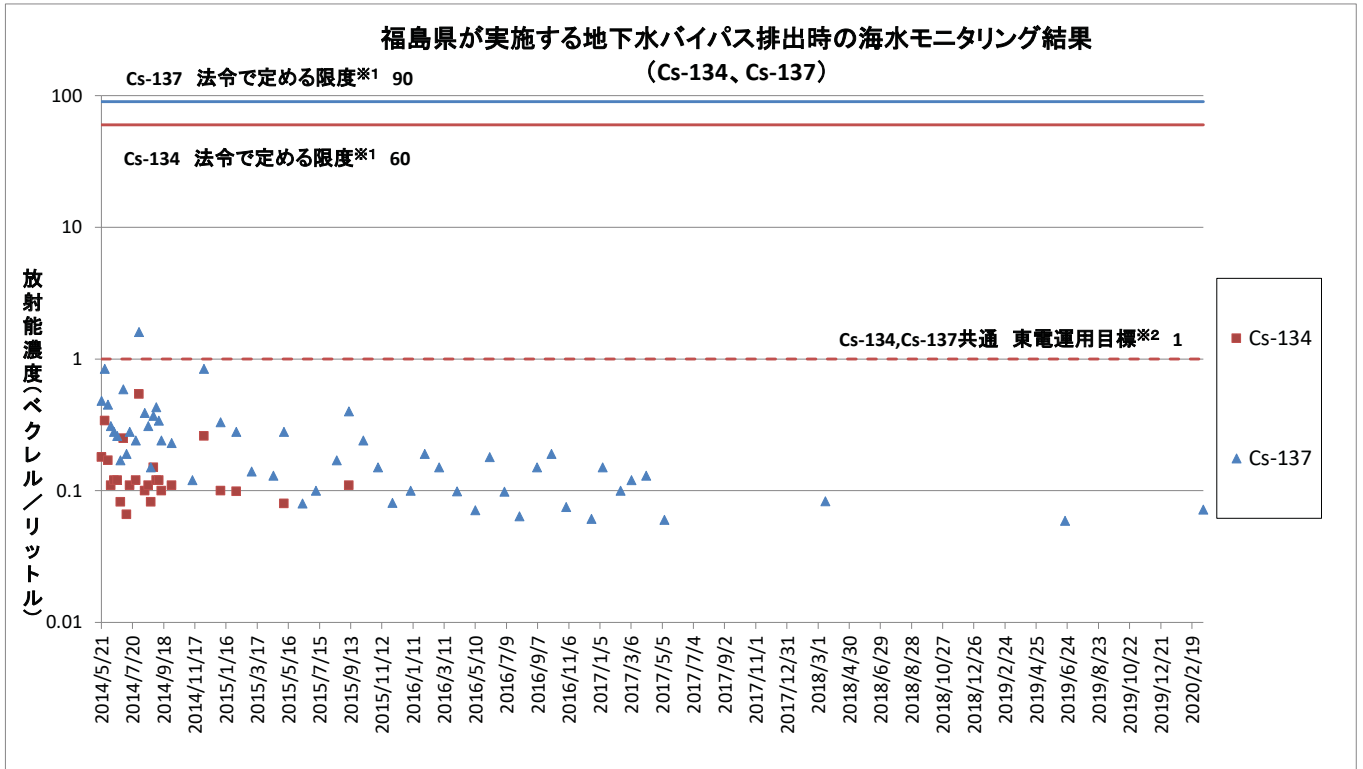
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/L)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近 (T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0.16~0.48	0.082~0.80	0.33~1.8	ND~0.69
	南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0.07	0.31~0.36	0.59~1.2	0.32~0.91
	南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	ND~0.35	ND~0.71	ND~2.4
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

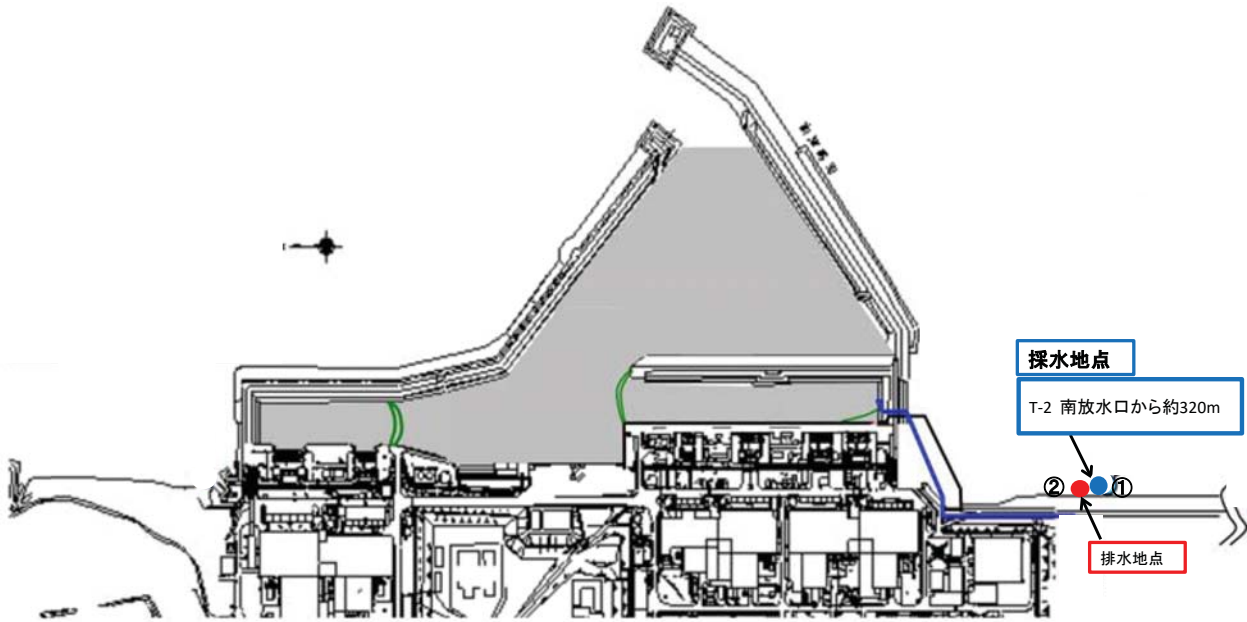
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
 ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値
 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。
 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



- ① 旧旧採水地点：平成29年1月採水分までの採水地点（南放水口から約330m南側）
- ② 旧採水地点：平成29年2月採水分から同年12月採水分までの採水地点（南放水口から約280m南側）

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、北放水口付近（T-1）の海域において、毎月の初回排出時に海水モニタリングを実施しております。

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/L)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中)	令和元年度	0.02~0.03	ND	0.098~0.27	ND~0.70
		平成30年度	0.02~0.04	ND	ND~0.22	ND~0.55
		平成29年度	0.02~0.04	ND~0.068	ND~0.36	ND~1.5
		平成28年度	0.04~0.10	ND~0.068	0.064~0.44	ND~2.3
		H27.9.14~H28.3.2	0.03~0.09	ND~0.10	0.14~0.41	ND~1.7

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

平成27年9月14日（初回排出日）以前のモニタリング結果

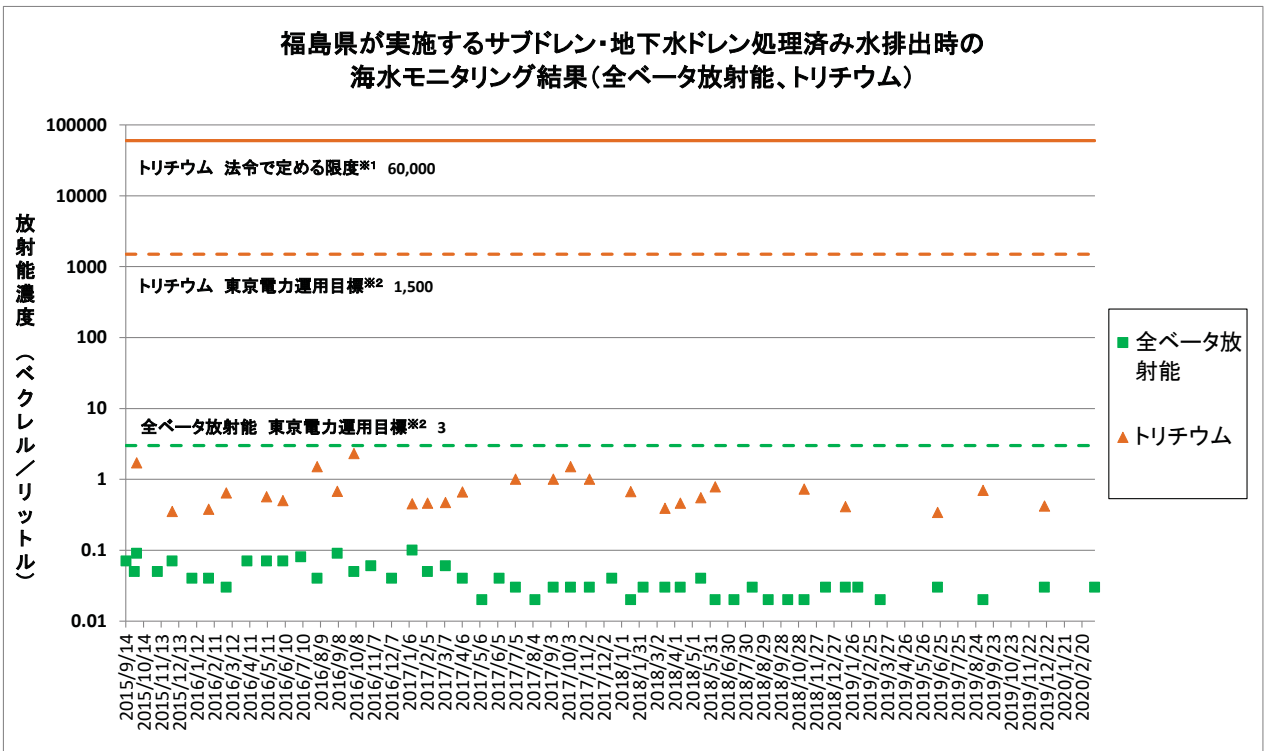
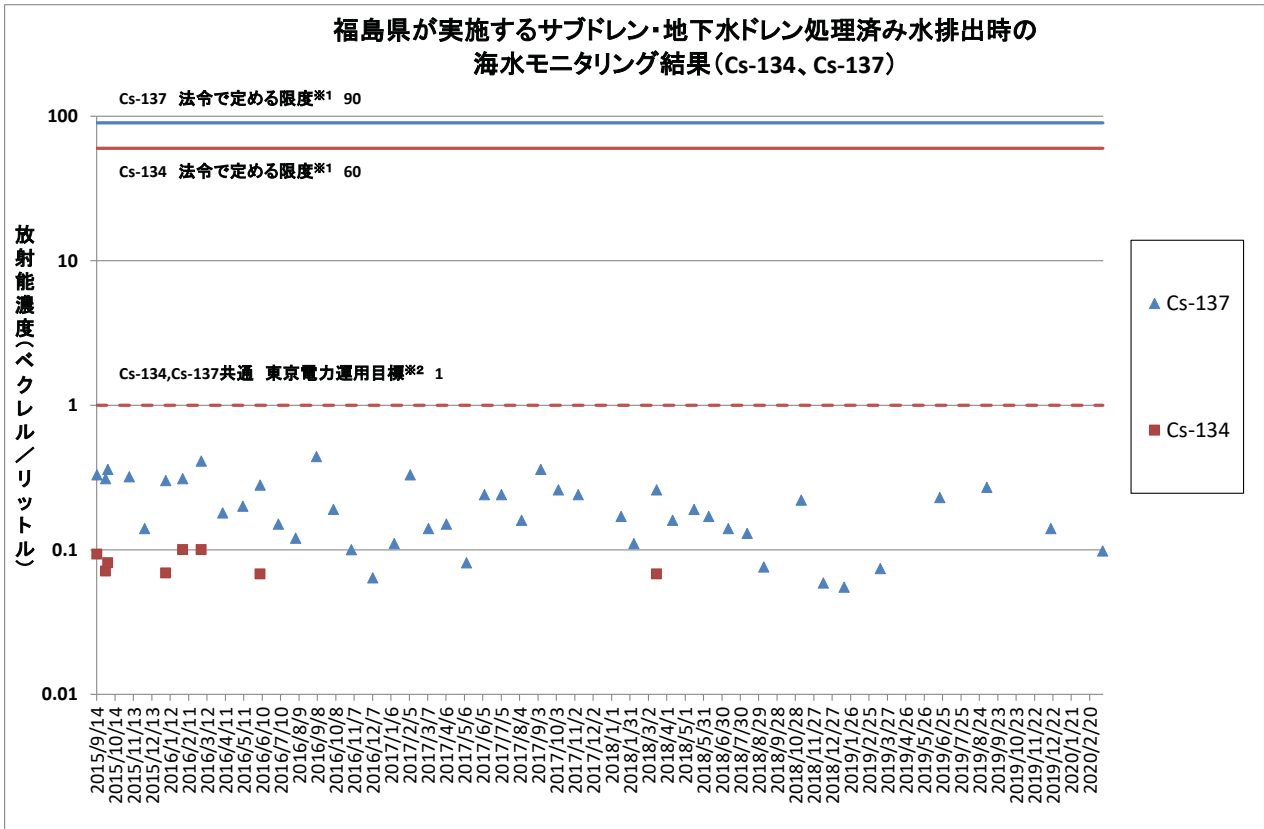
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/L)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25~26年度に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	北放水口付近 (T-1) (陸側から採取)	H25.6.27、H25.9.27 H26.4.4、H27.2.25	0.10~0.49	0.26~2.4	0.84~5.0	0.61~1.1
	北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取)	H25.7.31~H27.3.3	0.03~0.51	ND~0.24	ND~0.56	ND~2.5
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

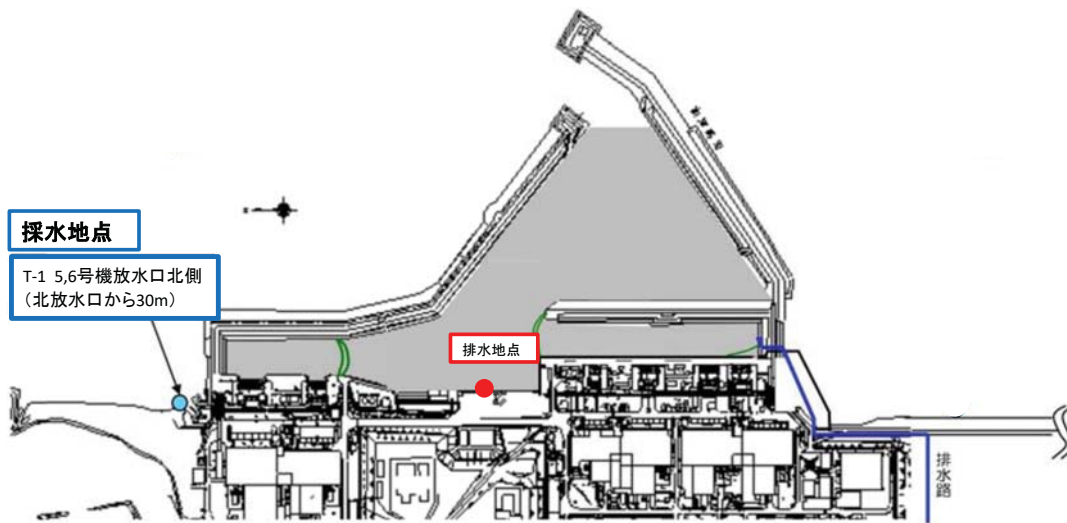
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
 ※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値

採水地点及び排水地点 (東京電力資料より)



令和 2 年 9 月 1 6 日

大熊町夫沢における大気浮遊じん中の Cs-137 放射能濃度の上昇に係る
原因等調査結果報告

福島県環境創造センター環境放射線センター

1 調査概要

平成 30 年度第 4 四半期の大熊町夫沢地点のモニタリングポストにおいて、大気浮遊じん中の Cs-137 放射能濃度が前年度同四半期より 6 ～ 10 倍の高濃度で検出されたことから、同地点の降下物及び周辺土壌中の Cs-137 放射能濃度を測定し、上昇した原因等について調査した結果を報告する。

2 調査内容

(1) 周辺環境調査

- ア 周辺の植生変化
- イ 大気浮遊じん調査（モニタリングポスト内ダストサンプラーにて採取）
- ウ 風速調査（モニタリングポスト観測値）

(2) 降下物調査

- ア 設置した水盤
 - (ア) 受水面積 0.085m²
 - (イ) 設置高さ 1 m
- イ 調査期間
令和元年 6 月 24 日～令和 2 年 6 月 30 日
- ウ 採取頻度
1 ヶ月ごとに採取
- エ 調査項目
 - (ア) 核種濃度分析
 - (イ) 降下物試料蒸発乾固後の残留物（以下「蒸発残留物」という。）の顕微鏡観察

(3) 土壌調査

- ア 採取地点
図 1 のとおり。夫沢地点のモニタリングポスト周辺 4 箇所にて採取。
- イ 採取した試料
表土 0 ～ 1 cm の土壌を採取。
- ウ 採取日
令和 2 年 2 月 3 日及び 3 月 2 日
- エ 調査項目
 - (ア) 核種濃度分析
 - (イ) 粒径分布



(出典: Google マップ 地図データ©2020 日本)

図 1 土壌採取地点

3 調査結果及び考察

(1) 周辺の植生及び大気浮遊じん中の Cs-137 放射能濃度の変化

- ・ 夫沢地点のモニタリングポスト周辺では平成 30 年 8 月下旬より土木工事が開始され、それに伴い草木の伐採や表土が剥ぎ取られ、土地が整地、裸地化された。
- ・ その後、令和 2 年 2 月 14 日よりモニタリングポスト南側及び東側において覆土後、砂利敷作業が行われた。

東方向（海側）の画像（平成25年（2013年）



出典：Googleマップ 地図データ©2020 日本

東方向（海側）の画像（令和2年8月（2020年）



図2 夫沢局周辺の状況（上図：平成 25 年（2013 年）、下図：令和 2 年（2020 年）8 月）

- その結果、土木工事に進捗に伴い空間線量率の低下が見られ、Cs-134 及び Cs-137 による放射能の自然減衰では約 1 割の低下が推測されるどころ、これを大幅に上回り、8,210nGy/h(平成 30 年 8 月月間平均値)から 2,670nGy/h (令和 2 年 6 月月間平均値)と約 7 割低下していた。(図 3 上図参照)
- 大気浮遊じん中の Cs-137 放射能濃度は、平成 30 年 11 月より上昇する傾向が見られ、平成 31 年 2 月にピークに達した後低下したが、平成 29 及び平成 30 年の同時期よりは高い値となった。
- その後、令和元年 9 月より再び上昇し始め、令和元年 11 月にピークに達した。
- 令和元年 12 月以降、一旦低下するも再び上昇し、令和 2 年 3 月に令和元年 11 月と同値の高い濃度となった。

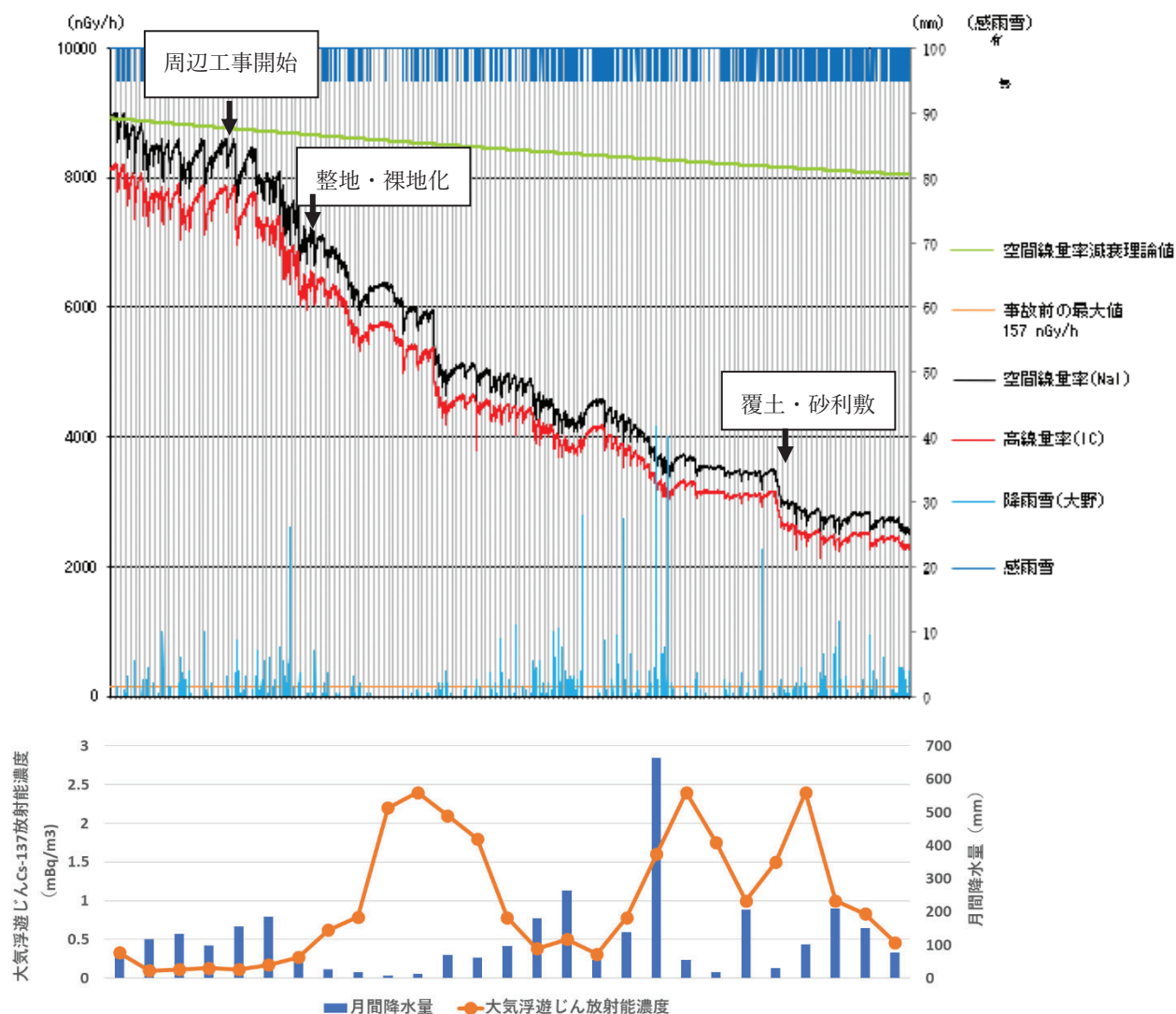


図 3 上図：夫沢地点空間線量率変動推移
下図：夫沢地点大気浮遊じん Cs-137 放射能濃度変動推移と月間降水量)

(2) 大気浮遊じんと降下物及び蒸発残留物量の関係

- ・ 図4左図に大気浮遊じんと降下物中のCs-137放射能濃度について比較した結果を示す。両者は異なる推移を示しており、相関は見られなかった ($R^2=0.1507$)。
- ・ 右図に大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度と蒸発残留物量に比較した結果を示す。両者には強い相関が見られた ($R^2=0.8011$) が、近隣他地点(大野地点(夫沢地点より西へ約4.4km)、郡山地点(夫沢地点より北へ約4.3km))では相関は見られなかった。

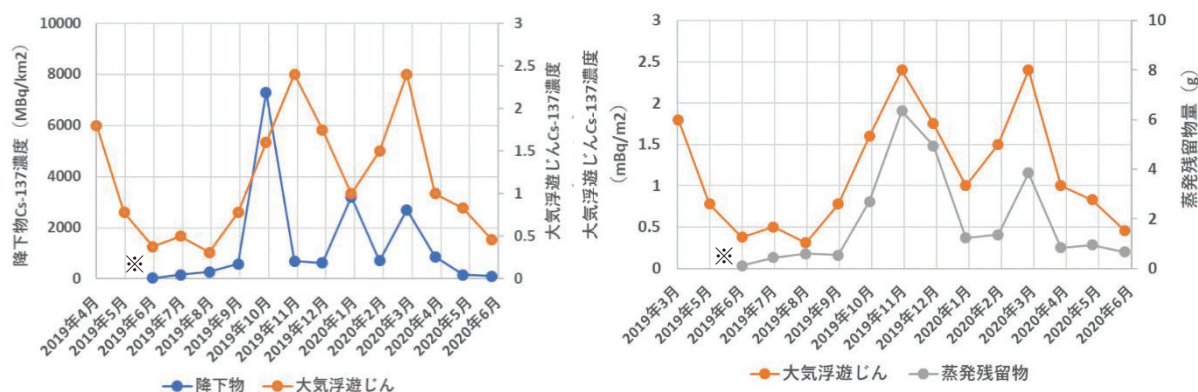


図4 降下物及び大気浮遊じん中のCs-137濃度測定結果(左)
大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度と蒸発残留物量の関係(右)
※ 降下物は令和元年6月24日より測定開始。

(3) 蒸発残留物中のCs-137放射能濃度と蒸発残留物量の比較

- ・ 蒸発残留物中のCs-137放射能濃度と蒸発残留物量を比較した結果、両者に相関はみられなかった ($R^2=0.0228$)。
- ・ 近隣他地点(大野地点(夫沢地点より西へ約4.4km)、郡山地点(夫沢地点より北へ約4.3km))も同様に相関は見られなかった。

(4) 風速とCs-137放射能濃度の関係

ア 大気浮遊じんと風速の関係

- ・ 夫沢地点では気象観測を行っていないため、大野地点の風速(月平均風速、月最大日平均風速、月最大1時間値風速(正時ごとの最大10分間平均風速))と降下物及び大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度の関係を比較したところ、月最大1時間値風速と大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度に相関が見られた。

(図5左図参照。 $R^2=0.7278$)

- ・ また平成29年4月まで遡って相関を確認したところ、平成30年10月頃より相関が見られ始めた。これは夫沢地点で土木工事が開始され、周囲が裸地化され始めた時期と概ね一致している。(図5右図参照)
- ・ 大野地点及び郡山地点においては、相関は見られなかった。

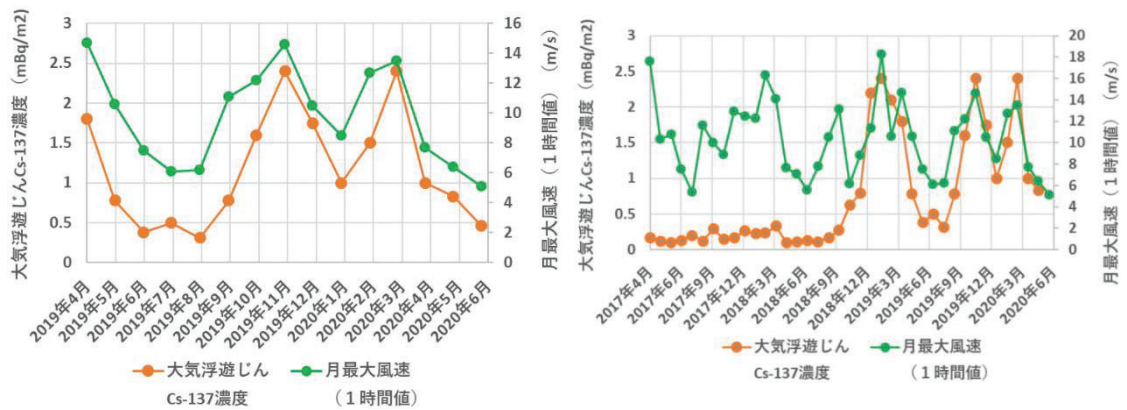


図5 夫沢地点における月最大1時間値風速と大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度の比較(左)、平成29年4月以降の夫沢地点における月最大1時間値風速と大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度の比較(右)

イ 降下物と風速の関係

- ・降下物中のCs-137放射能濃度と月最大1時間値風速を比較したところ、両者に相関はみられなかった ($R^2=0.144$)。
- ・また蒸発残留物量と月最大1時間値風速を比較した結果を図6に示す。こちらはやや強い相関がみられた ($R^2=0.5399$)

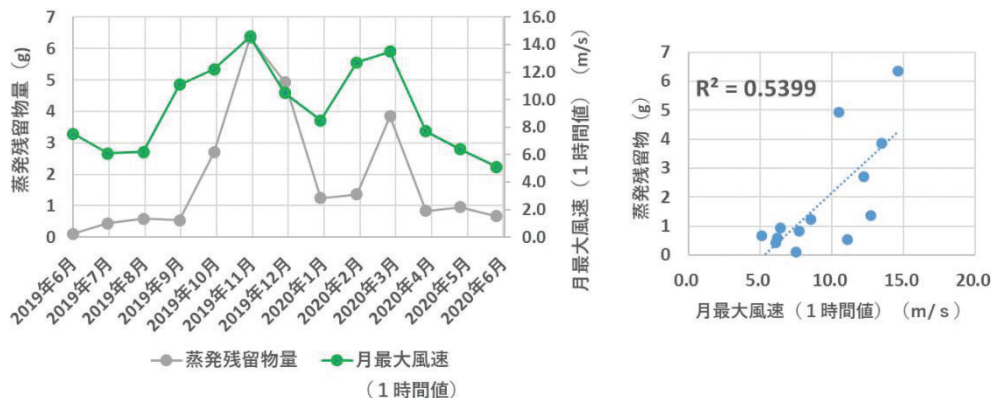


図6 蒸発残留物量と月最大1時間値風速の関係

(5) 夫沢地点の土壤中のCs-137放射能濃度

- ・上記(1)から(4)の結果を踏まえ、降下物や大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度の上昇は、強風によって浮遊した、周囲に沈着しているCs-137を捕集したことによるものと考えた。
- ・夫沢地点周辺は裸地となっていることから、大気浮遊じん中のCs-137放射能濃度上昇の原因は浮遊した土壌びよる影響と考え、モニタリングポスト周辺の4地点で表土(0~1cm)を採取し、乾燥細土(ふるい2mm以下)としてから放射能濃度の測定を行った。その後、ふるい分けを行い、粒径クラス別のCs-137放射能濃度を測定した。
- ・その結果、おおむね粒径が小さいほど放射能濃度が高くなる傾向にあったが、これは粒径が小さいほど比表面積が大きいためと推測される。

表1 土壌中と蒸発残留物の Cs-137 放射能濃度の比較

採取月	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)				
	N-1	N-2	E-1	S-1	蒸発残留物
R2.2月分		5,300	26,000	160,000	45,000
R2.3月分	78,000	5,500	—※1	—※1	61,000

※1 覆土及び整地（砂利敷）作業実施のため採取できず。

※2 有効数字は2桁で記載。

表2 粒径クラス別の Cs-137 放射能濃度

粒径クラス※1 (mm)	推計 平均 粒径 (mm)	推計 比表 面積※5 (cm ² /g)	N-2		E-1		S-1	
			重量組 成割合 (%)	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)	重量組 成割合 (%)	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)	重量組 成割合 (%)	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)
<0.046	0.046※2	260	1.0%	14,000	3.3%	34,000	0.9%	230,000
0.046-0.150	0.098※3	120	5.2%	13,000	8.4%	26,000	5.6%	180,000
0.150-0.500	0.325※3	37	37.8%	5,500	28.3%	24,000	24.5%	160,000
0.500-1.0	0.75※3	16	30.9%	4,200	26.6%	24,000	27.6%	110,000
1.0<	1.0※4	12	25.0%	4,200	33.3%	21,000	41.4%	200,000

粒径クラス※1 (mm)	推計 平均 粒径 (mm)	推計 比表 面積※5 (cm ² /g)	N-1		N-2	
			重量組 成割合 (%)	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)	重量組 成割合 (%)	Cs-137 放射能濃度 (Bq/kg)
<0.046	0.046※2	260	2.6%	87,000	1.3%	15,000
0.046-0.150	0.098※3	120	11.4%	77,000	6.3%	13,000
0.150-0.500	0.325※3	37	32.7%	67,000	37.0%	6,600
0.500-1.0	0.75※3	16	34.0%	74,000	40.8%	4,200
1.0<	1.0※4	12	19.3%	59,000	14.7%	350

※1 ふるい分けにより分画。

※2 平均粒径は粒径クラスの最大値とした。

※3 平均粒径は粒径クラスの中央値とした。

※4 平均粒径は粒径クラスの最小値とした。

※5 密度は土壌粒子の平均的な密度 2.5g/cm³を用いた。

※6 放射能濃度は有効数字2桁で記載。

(6) 蒸発残留物の粒子観察結果

- 双眼実体顕微鏡により Cs-137 放射能濃度が高かった令和元年 10 月分と Cs-137 放射能濃度が低かった令和元年 11 月分の蒸発残留物の含有物を調査した結果を図 7 に示す。
- 令和元年 10 月分の蒸発残留物には数 μm 程度未満の微細粒子で構成されていた。一方、令和元年 11 月分の蒸発残留物には数十 μm 程度の微粒子が多く見られ、令和元年 10 月分とは様相が大きく異なっていた。また希塩酸分散後の蒸発残留物を確認したところ、令和元年 11 月分のみ液面に黒色の浮遊物が見られた。令和元年 11 月の降下物回収用水盤には落ち葉や枯草といった植物の混入が見られたことから、この黒色の浮遊物は植物由来の物質と推測され、蒸発残留物量の増加の一因と考えられる。
- Cs-137 放射能濃度が高い蒸発残留物には粒子状物質が多数確認され、特に微細粒子が多数混入している場合 Cs-137 放射能濃度が高くなる傾向があった。これは微細粒子ほど強風によって浮遊しやすいためと考えられる。

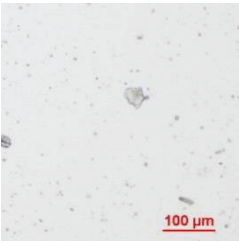
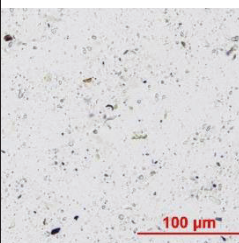
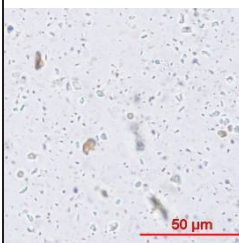
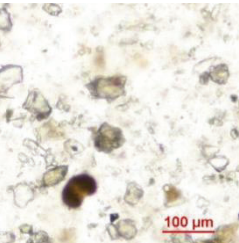
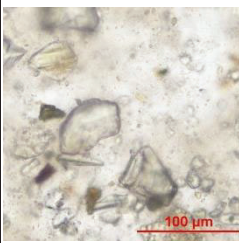
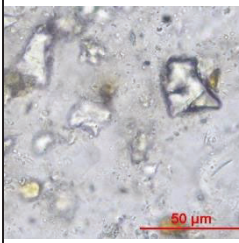
倍率 月	×10	×20	×40	上段：降下物 Cs-137 放射能濃度 (蒸発残留物量)
				下段：大気浮遊じん Cs-137 放射能濃度 希塩酸分散後の蒸発残留物写真
10 月				7,300 MBq/km ² (2.7 g) 1.6 mBq/m ³
11 月				690 MBq/km ² (6.35g) 2.4 mBq/m ³

図 7 蒸発残留物拡大写真

※ 蒸発残留物に希塩酸 (1+100) を 40mL 加え、超音波洗浄機で 5 分間分散させてから観察。

5 まとめ

- 平成 30 年及び令和元年度の秋期～冬期にかけて大気浮遊じん中の Cs-137 放射能濃度が上昇した要因は、強風により浮遊した土壌粒子が捕集された影響が考えられる。
- 土壌粒子の輸送形態については、0.1mm 以下の粒子は浮遊しやすいという報告がされており (Hudson(1973))、夫沢地点の周辺は平成 30 年 8 月下旬より土木工事が始まった結果、樹木等が伐採され裸地となり表土が露出しており、風によって微細な土壌粒子が浮遊しやすい環境にあったと考えられる。
- 大気浮遊じんや降下物中の Cs-137 放射能濃度は、周辺環境に大きく影響を受けることから、数値の変動原因の把握に努めていく。

**福島県原子力発電所の
廃炉に関する安全監視協議会設置要綱**

福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会設置要綱

(目的)

第1条 原子力発電所の廃止措置等に向けた取組について、安全確保に関する事項を確認し、関係機関が情報を共有することを目的として、「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は次の事項について協議する。

- (1) 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップに基づく取組に関する事。
- (2) 特定原子力施設の実施計画に基づく取組に関する事。
- (3) 東京電力(株)福島第二原子力発電所の冷温停止維持に必要な取組に関する事。
- (4) 原子力発電所の廃止措置等に関する安全確保のために必要と認められる事。

(組織)

第3条 協議会は、知事が選任する学識経験者（以下「専門委員」という。）及び別表1に掲げる機関ごとに当該機関の長がその職員の中から指名した職員を構成員とする。

- 2 会長が必要と認めるときは、協議会における事項の説明者として、別表2に掲げる機関の職員等の出席を求めることができる。
- 3 会長が必要と認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。

(専門委員)

第4条 専門委員は、20名以内とする。

- 2 専門委員の任期は2年以内とする。ただし、現専門委員の任期中に新たに選任された専門委員の任期は、現専門委員の残任期間とする。
- 3 専門委員は、再任することができる。

(会議)

第5条 協議会の会長は、福島県危機管理部長をもって充てる。

- 2 会長は、必要の都度、会議を招集し、議事の運営に当たる。
- 3 構成員は、会長に会議の開催を要請することができる。
- 4 会長に事故ある時は、会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(部会の設置)

第6条 協議会に、特定の事項について協議するため、次の部会を置く。

- (1) 労働者安全衛生対策部会
- (2) 環境モニタリング評価部会
- 2 会長は、必要の都度、部会を招集し、会長が指名する部会長が、議事の運営に当たる。
- 3 部会は、別表1に掲げる機関ごとに当該機関の長がその職員の中から指名した職員を構成員とする。
- 4 会長が必要と認めるときは、専門委員又は関係機関の職員を、部会の構成員とすることができる。

- 5 会長が必要と認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。
- 6 部会の協議をもって協議会の協議とすることができる。
- 7 部会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、福島県危機管理部原子力安全対策課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項については、協議の上定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成24年12月7日から実施する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成27年6月12日から実施する。

附 則

この要綱は、平成28年8月12日から実施する。

附 則

この要綱は、平成29年9月26日から実施する。

別表1

福島県
いわき市
田村市
南相馬市
川俣町
広野町
檜葉町
富岡町
川内村
大熊町
双葉町
浪江町
葛尾村
飯舘村

別表2

経済産業省
原子力規制委員会
東京電力ホールディングス株式会社

福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会
環境モニタリング評価部会運営要領

福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会設置要綱（以下「要綱」という。）第6条第7項の規定に基づき、環境モニタリング評価部会（以下「部会」という。）の組織及び運営は、この要領の定めるところによる。

第一 協議事項

要綱第6条第1項に基づく特定の事項は、次のとおりとする。

- (1)原子力発電所周辺モニタリングの計画に関すること。
- (2)原子力発電所周辺モニタリングの結果に関すること。
- (3)その他部会において必要と認められること。

第二 部会長

要綱第6条第2項に基づく部会長は、福島県危機管理部政策監をもって充てる。

第三 会長が必要と認める構成員

要綱第6条第4項で定める関係機関の職員は、次の機関ごとに当該機関の長がその職員の中から指名した職員とする。

福島県	生活環境部
〃	保健福祉部
〃	農林水産部

第四 会長が必要と認める構成員以外の者

要綱第6条第5項に基づく構成員以外の者とは、次の機関の職員とする。

原子力規制委員会
経済産業省
東京電力ホールディングス株式会社

第五 庶務

部会の庶務は、福島県危機管理部原子力安全対策課放射線監視室において処理する。

附 則

この要領は、平成25年6月11日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年8月12日から施行する。

各地点の空間線量率等の変動グラフ

令和元年度

福島県

目次

空間線量率

1 いわき市小川 (1m)	1
2 いわき市久之浜 (1m)	2
3 いわき市下桶売 (1m)	3
4 いわき市川前 (1m)	4
5 田村市都路馬洗戸 (1m)	5
6 広野町二ツ沼 (3m)	6
7 広野町小滝平 (1m)	7
8 檜葉町山田岡 (3m)	8
9 檜葉町木戸ダム (1m)	9
10 檜葉町繁岡 (3m)	10
11 檜葉町松館 (3m)	11
12 檜葉町波倉 (3m)	12
13 富岡町上郡山 (3m)	13
14 富岡町下郡山 (3m)	14
15 富岡町深谷 (1m)	15
16 富岡町富岡 (3m)	16
17 富岡町夜の森 (3m)	17
18 川内村下川内 (1m)	18
19 大熊町向畑 (3m)	19
20 大熊町熊川 (1m)	20
21 大熊町南台 (3m)	21
22 大熊町大野 (3m)	22
23 大熊町夫沢 (3m)	23
24 双葉町山田 (3m)	24
25 双葉町郡山 (3m)	25
26 双葉町新山 (3m)	26
27 双葉町上羽鳥 (3m)	27
28 浪江町請戸 (1m)	28
29 浪江町棚塩 (1m)	29
30 浪江町浪江 (3m)	30
31 浪江町幾世橋 (3m)	31
32 浪江町大柿ダム (1m)	32
33 浪江町南津島 (1m)	33
34 葛尾村夏湯 (1m)	34
35 南相馬市泉沢 (1m)	35
36 南相馬市横川ダム (1m)	36

空間線量率

37 南相馬市萱浜 (1m)	37
38 飯館村伊丹沢 (1m)	38
39 川俣町山木屋 (1m)	39

大気浮遊じん(推移)

1 いわき市小川	40
2 田村市都路馬洗戸	41
3 広野町小滝平	42
4 檜葉町木戸ダム	43
5 檜葉町繁岡	44
6 富岡町富岡	45
7 川内村下川内	46
8 大熊町大野	47
9 大熊町夫沢	48
10 双葉町郡山	49
11 浪江町幾世橋	50
12 浪江町大柿ダム	51
13 葛尾村夏湯	52
14 南相馬市泉沢	53
15 南相馬市萱浜	54
16 飯館村伊丹沢	55
17 川俣町山木屋	56

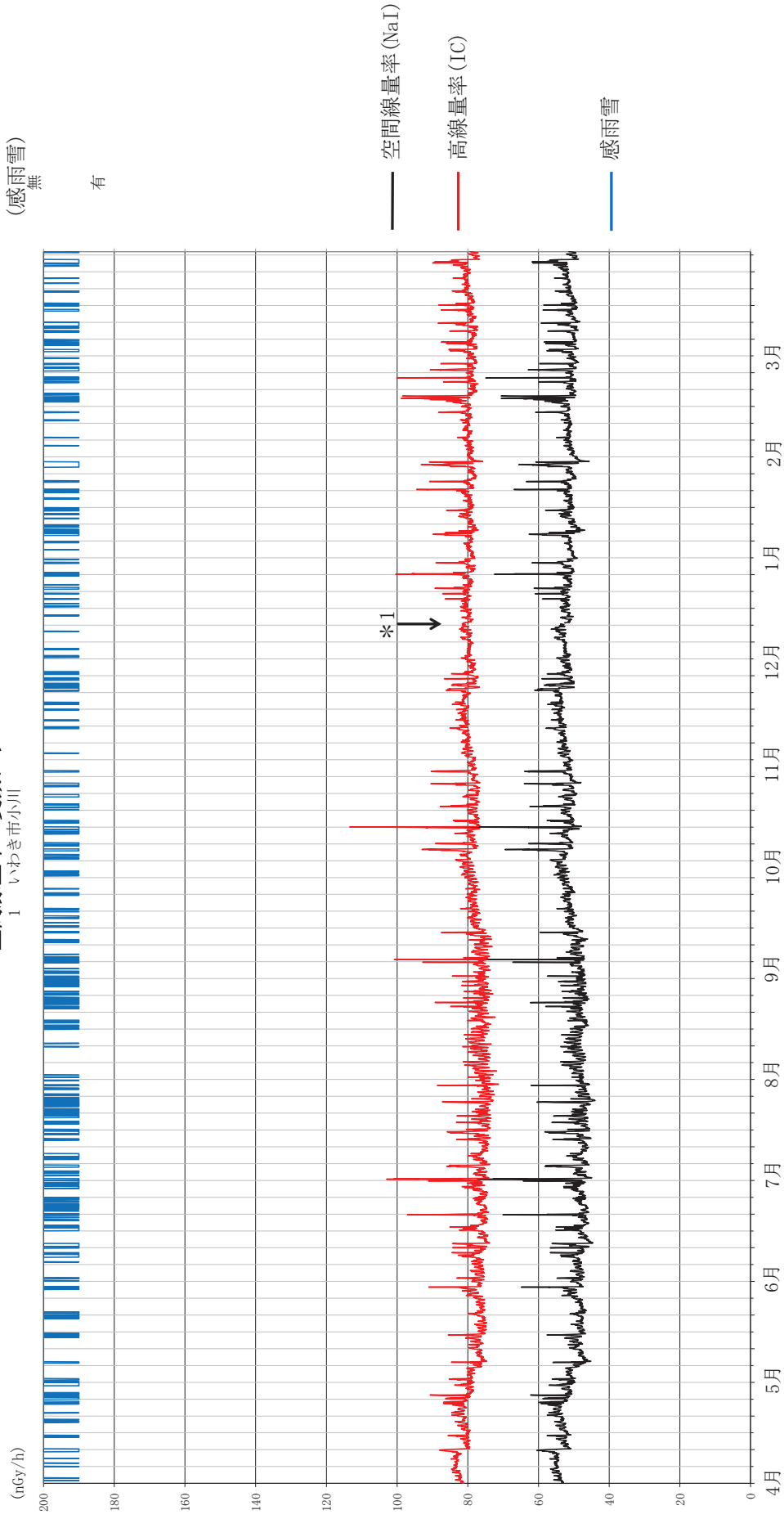
空間線量率 (比較対照)

1-1 福島市紅葉山 (1m)	57
1-2 福島市紅葉山代替 (1m)	58
2 郡山市日和田 (1m)	59
3 いわき市平 (1m)	60

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

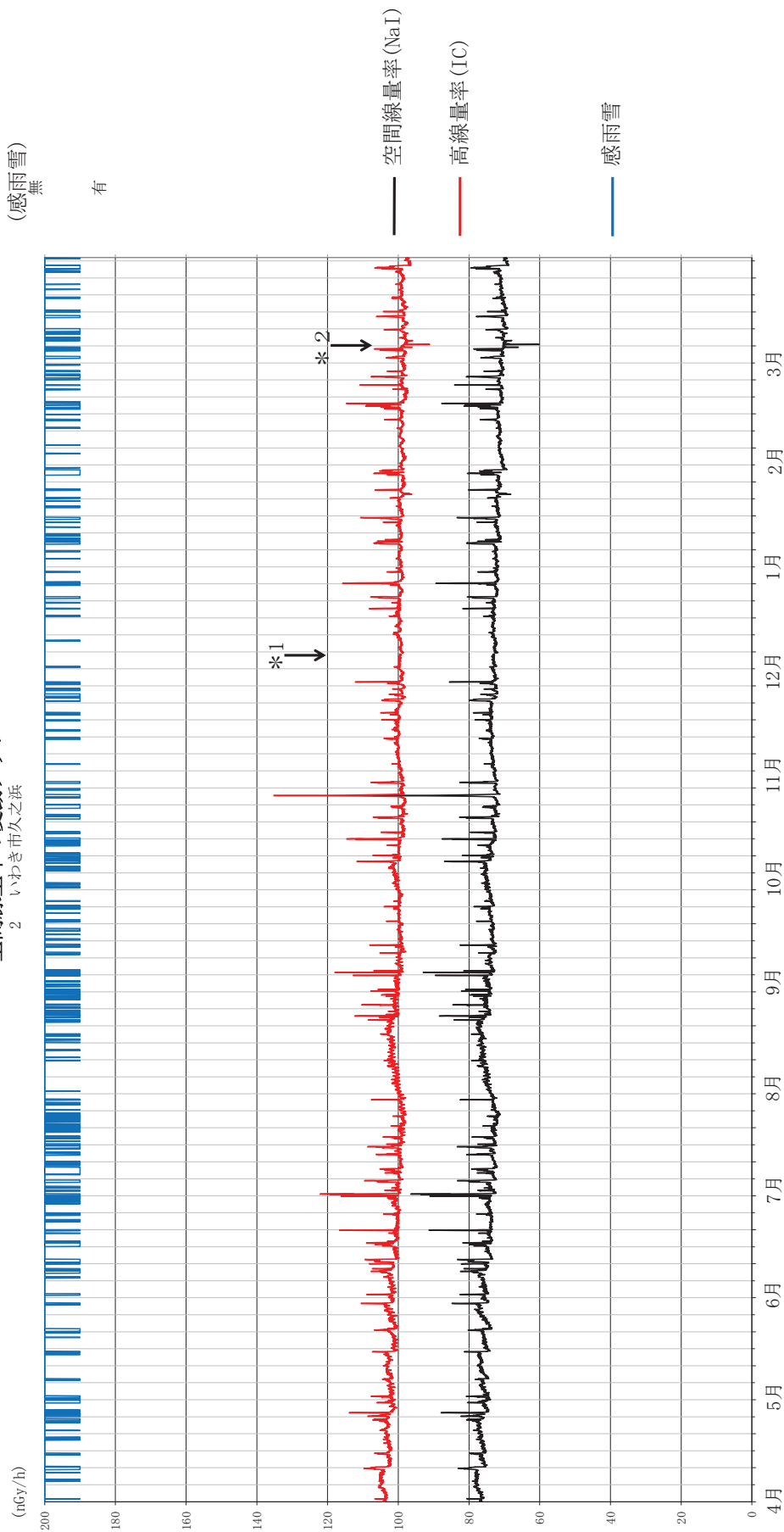
空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川



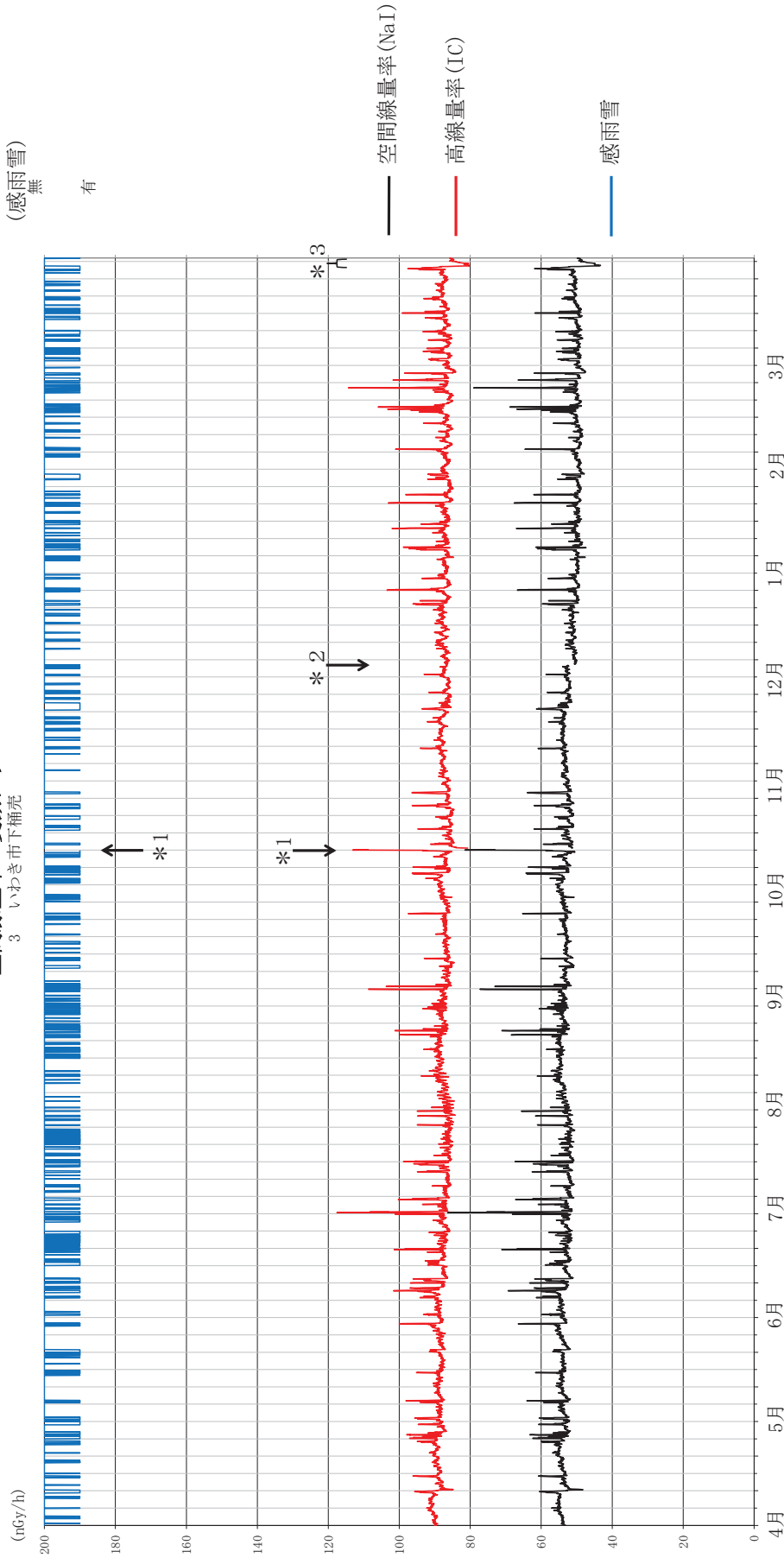
* 1 12月12日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ
2 いわき市久之浜



* 1 12月6日は点検のため欠測
* 2 3月5日～7日にかけて高舎周辺の道路工事に伴う停車車両による遮へいの影響で線量率低下

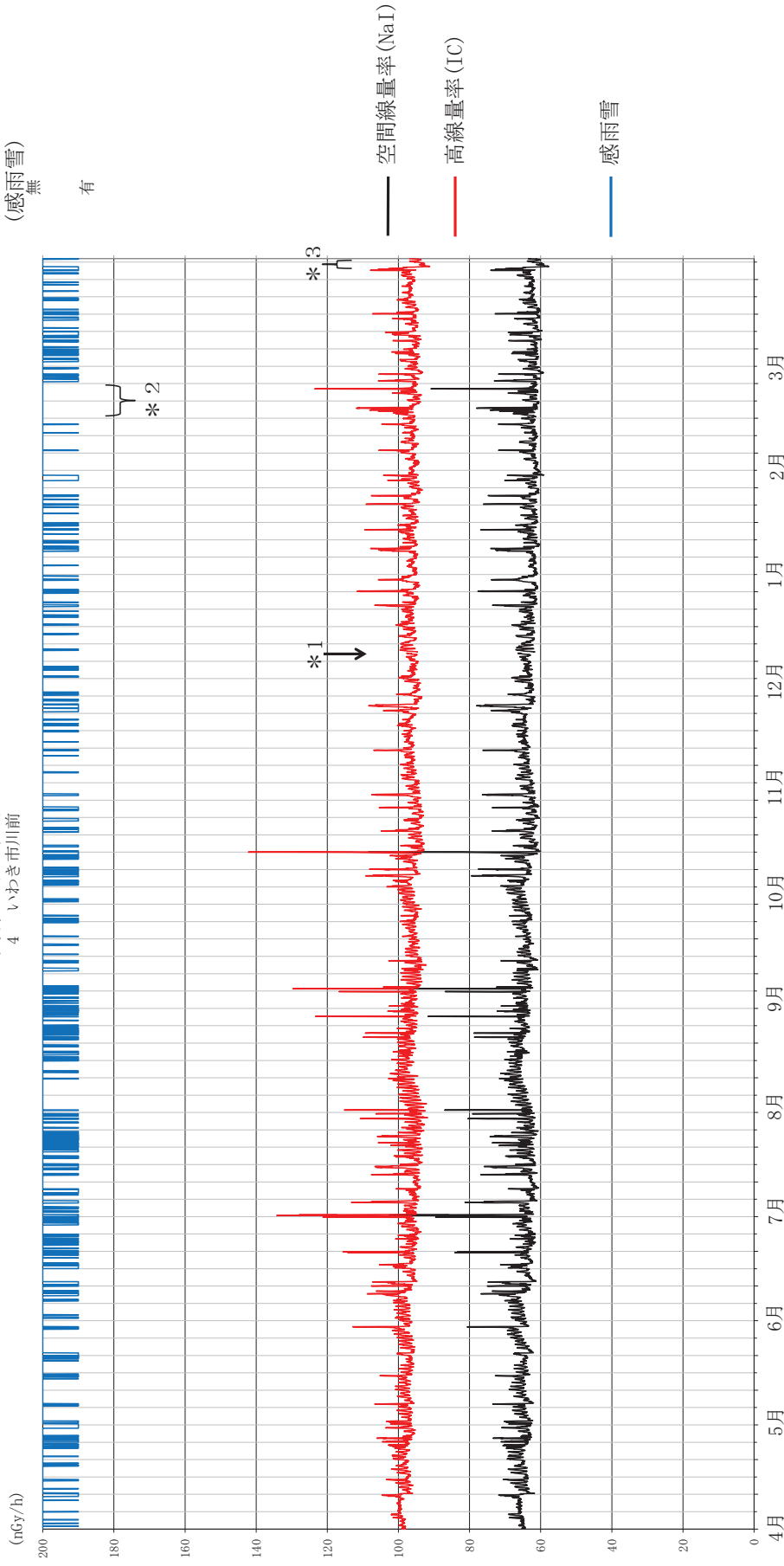
空間線量率の変動グラフ
3 いわき市下桶壳



- * 1 10月13～14日は停電のため欠測
- * 2 12月5日は点検のため欠測
- * 3 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

4 いわき市川前

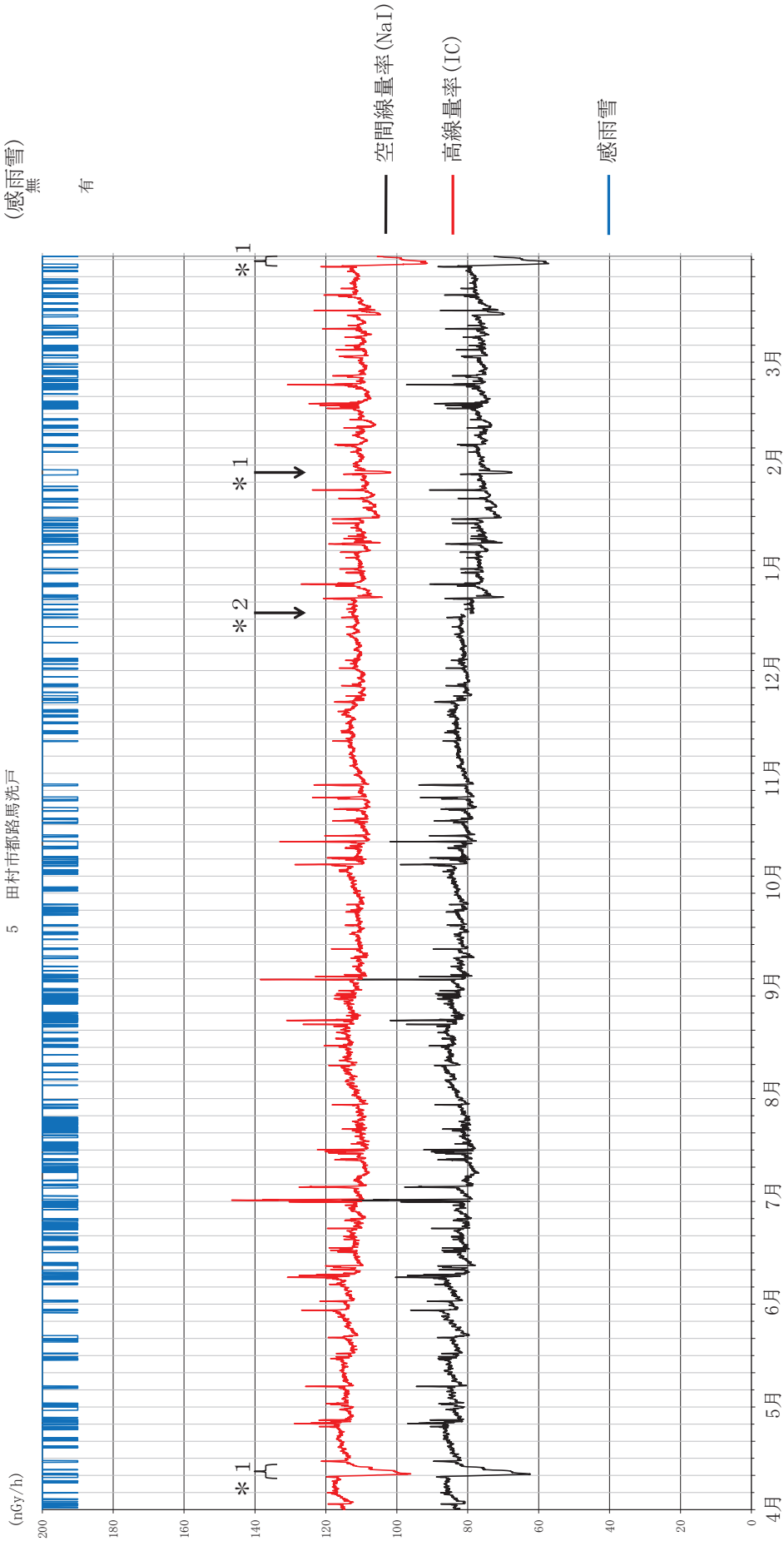


- * 1 12月9日は点検のため欠測
- * 2 感雨雪計故障(2月16日~2月24日)のため欠測(2月25日に代替機に交換)
- * 3 積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

5 田村市都路馬洗戸

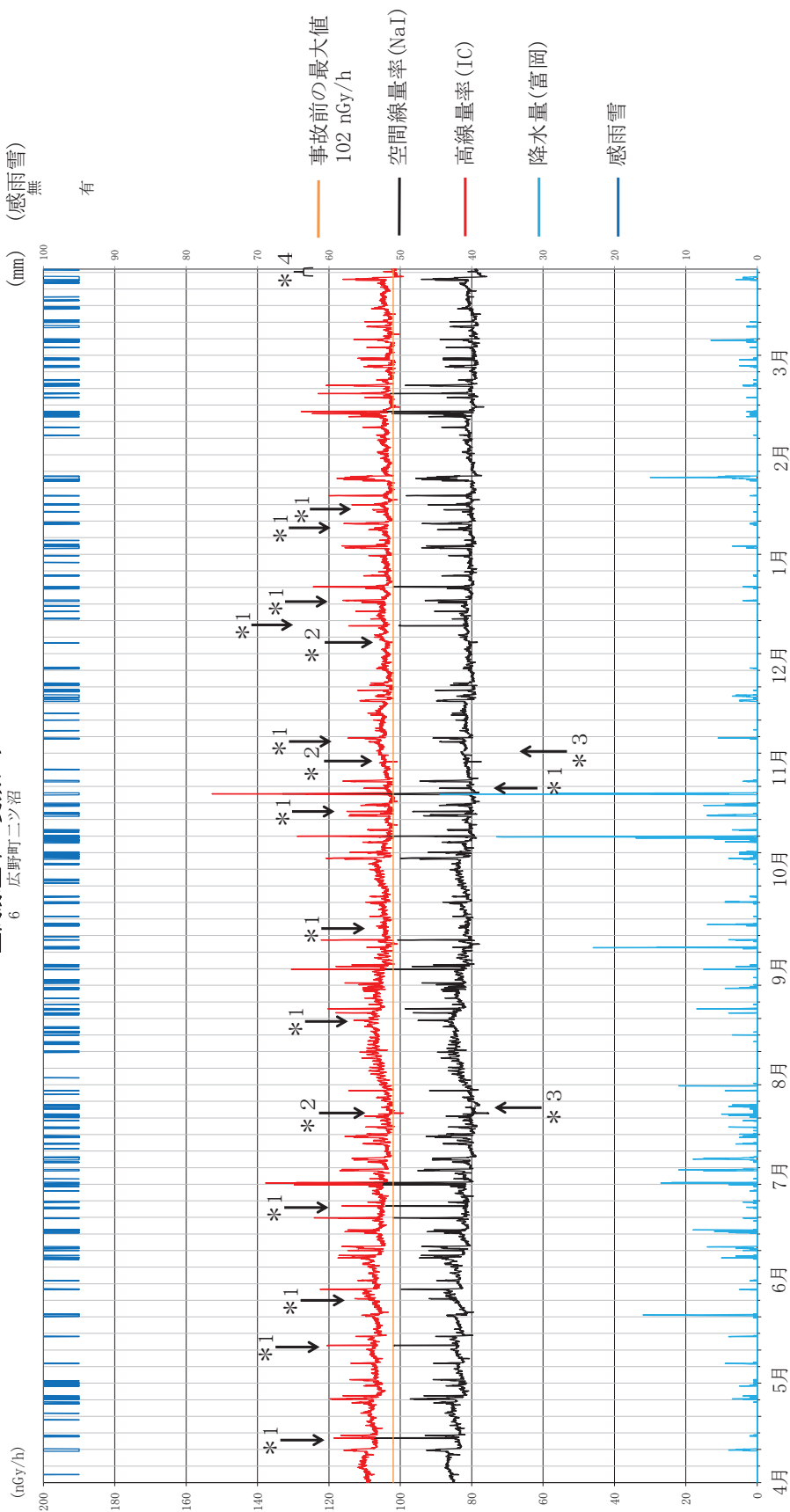
(感雨雪)
無
有



* 1 4月10～13日、12月23日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 12月18日は点検のため欠測

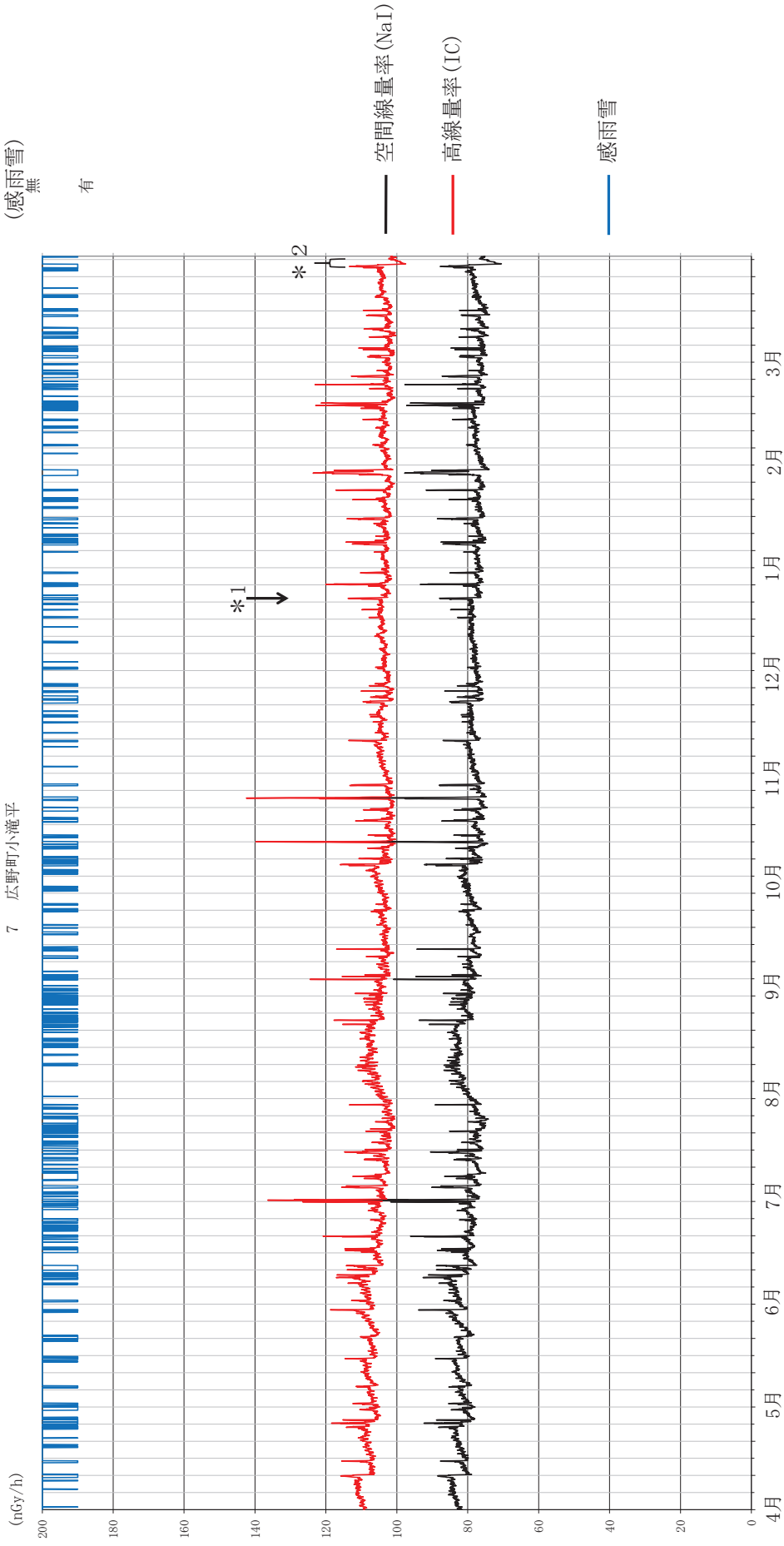
空間線量率の変動グラフ
6 広野町二ツ沼



- * 1 局舎周辺への汚染車両駐車による線量率上昇
- * 2 7月21日、11月4日、12月10日は局舎周辺への駐車車両による遮へい効果により線量率低下
- * 3 7月23日、11月7日は点検のため欠測
- * 4 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

7 広野町小滝平

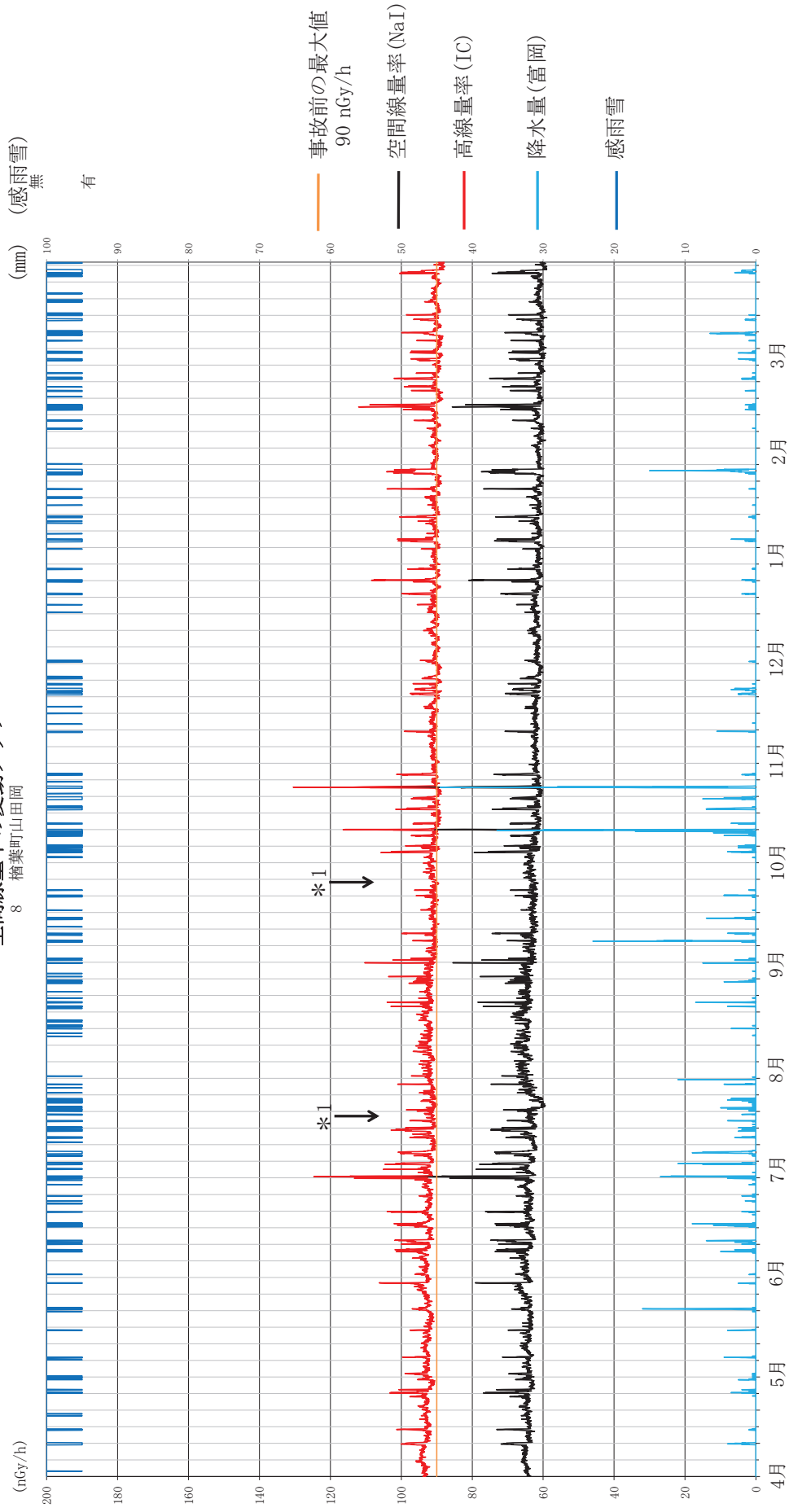


* 1 12月23日は点検のため欠測

* 2 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

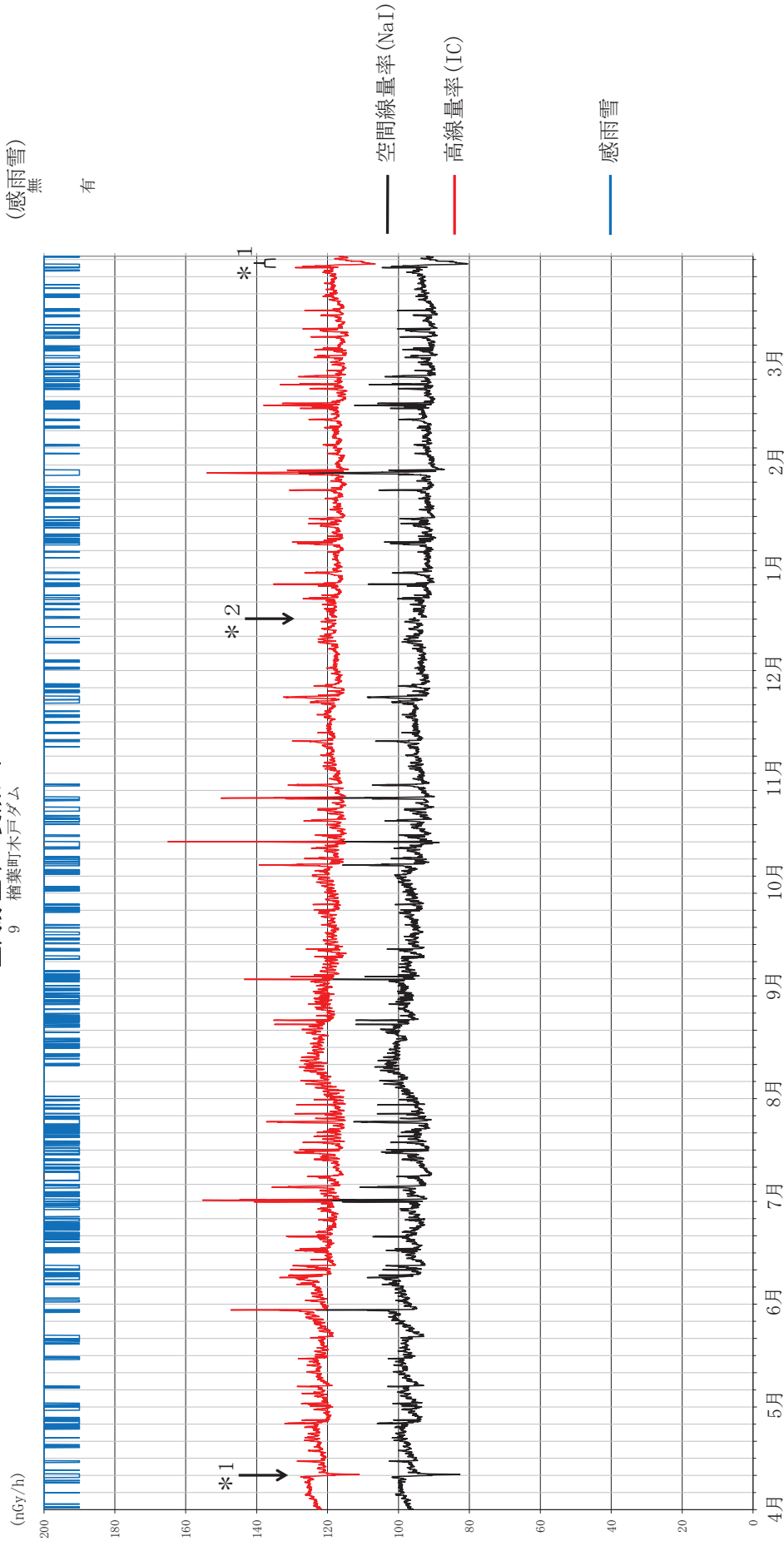
8 榎葉町山田岡



*1 7月18日、9月27日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

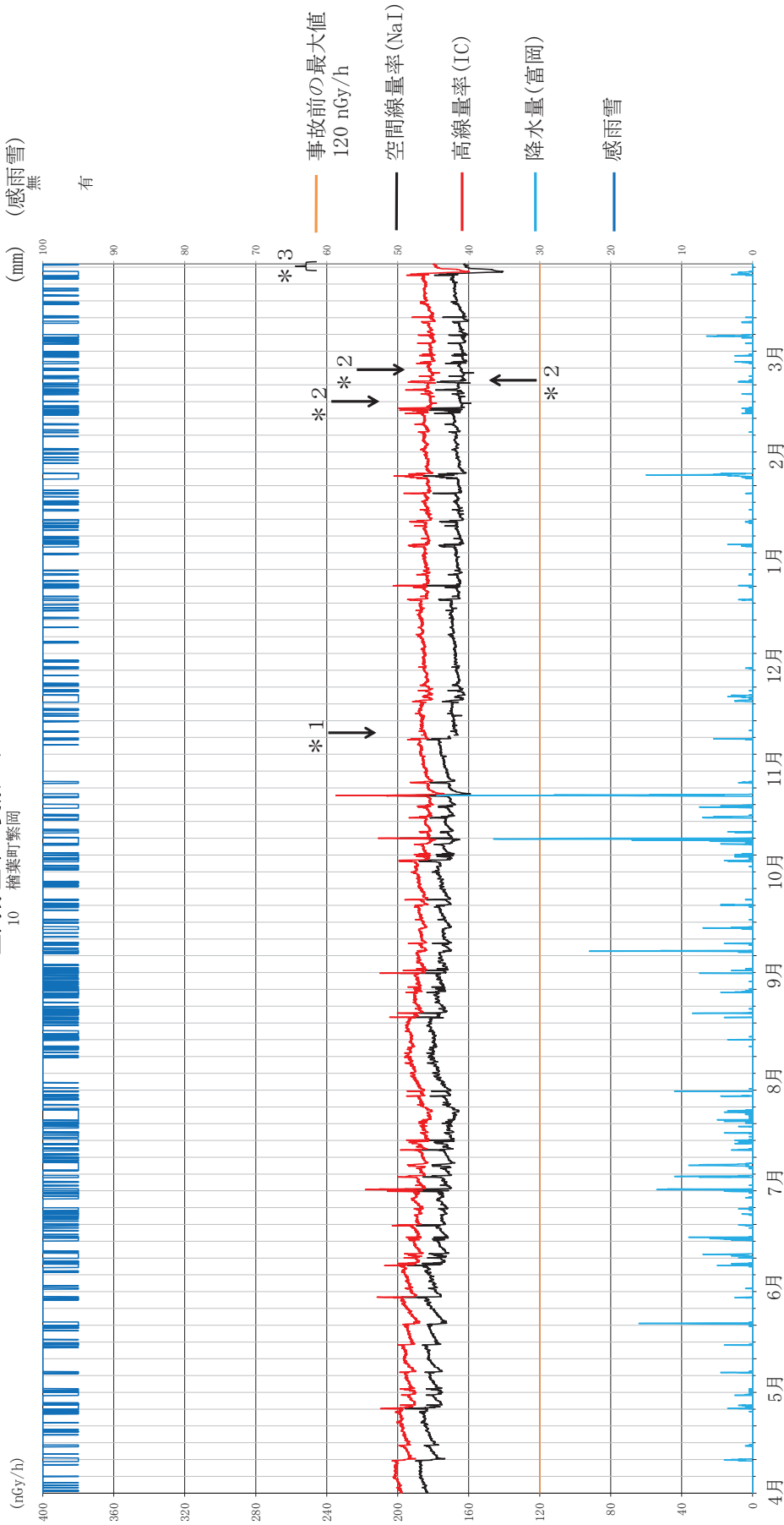
9 榎葉町木戸ダム



* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

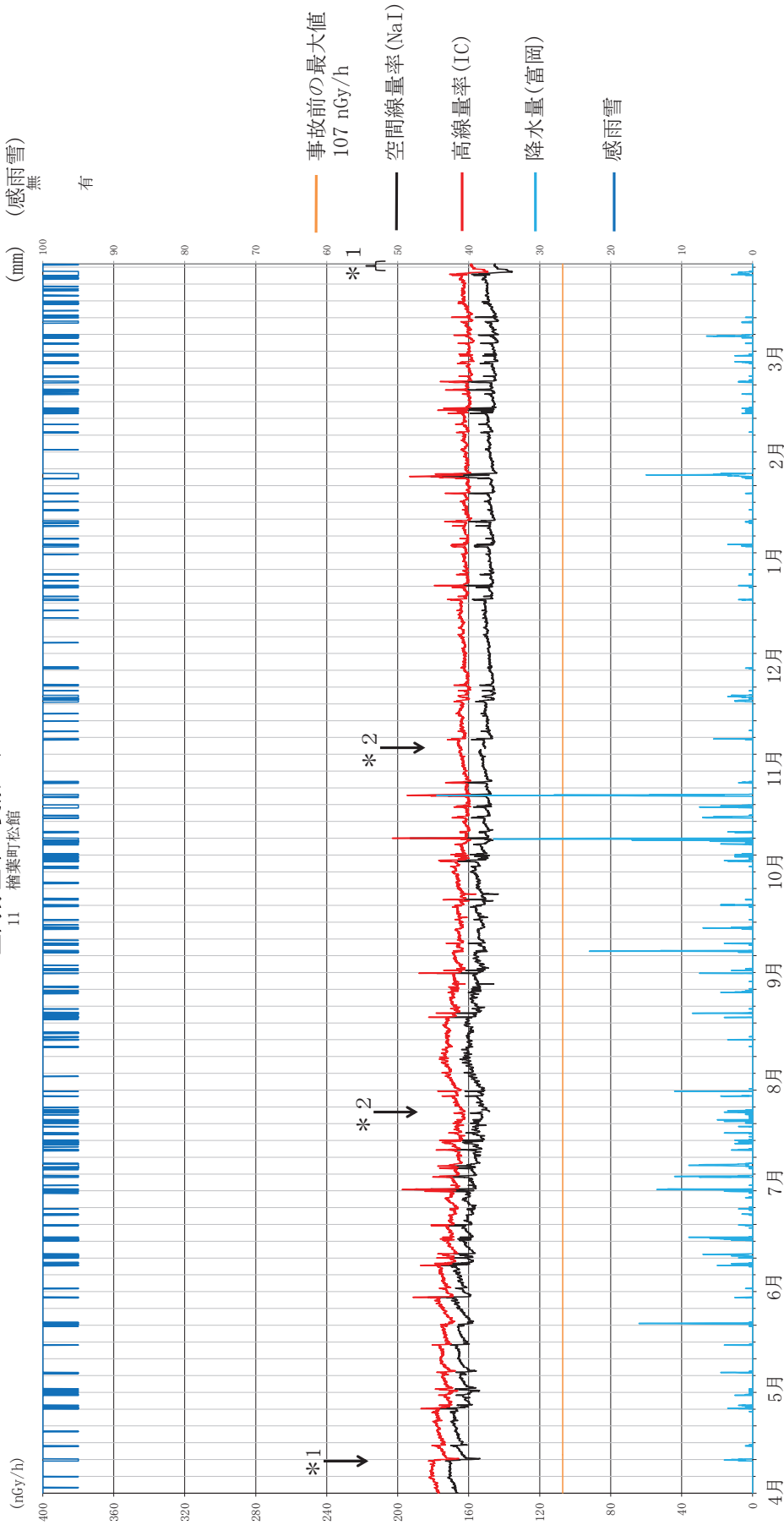
* 2 12月17日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ



- * 1 11月12日は点検のため欠測
- * 2 2月19日、25日、28日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下
- * 3 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

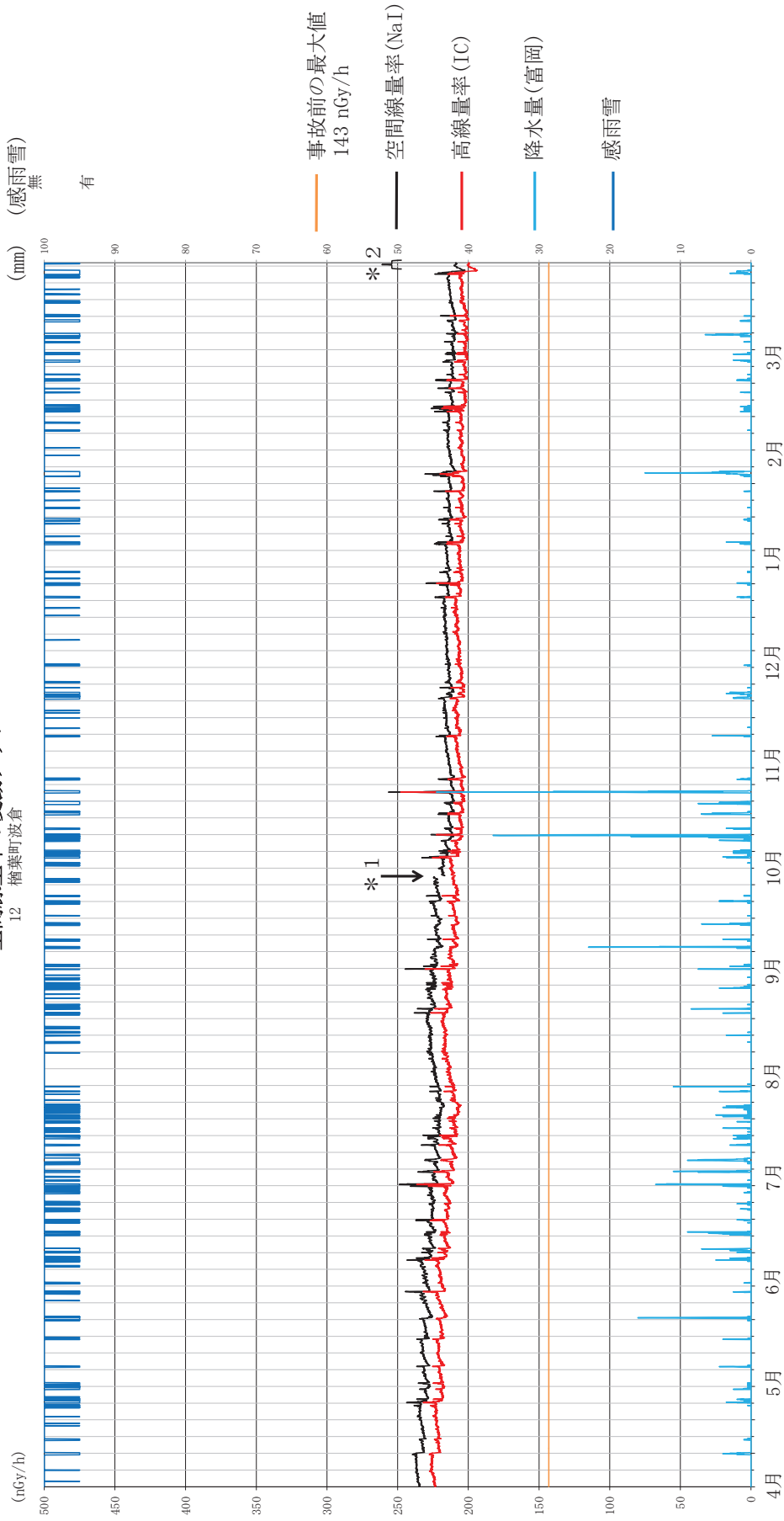


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 7月23日、11月8日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

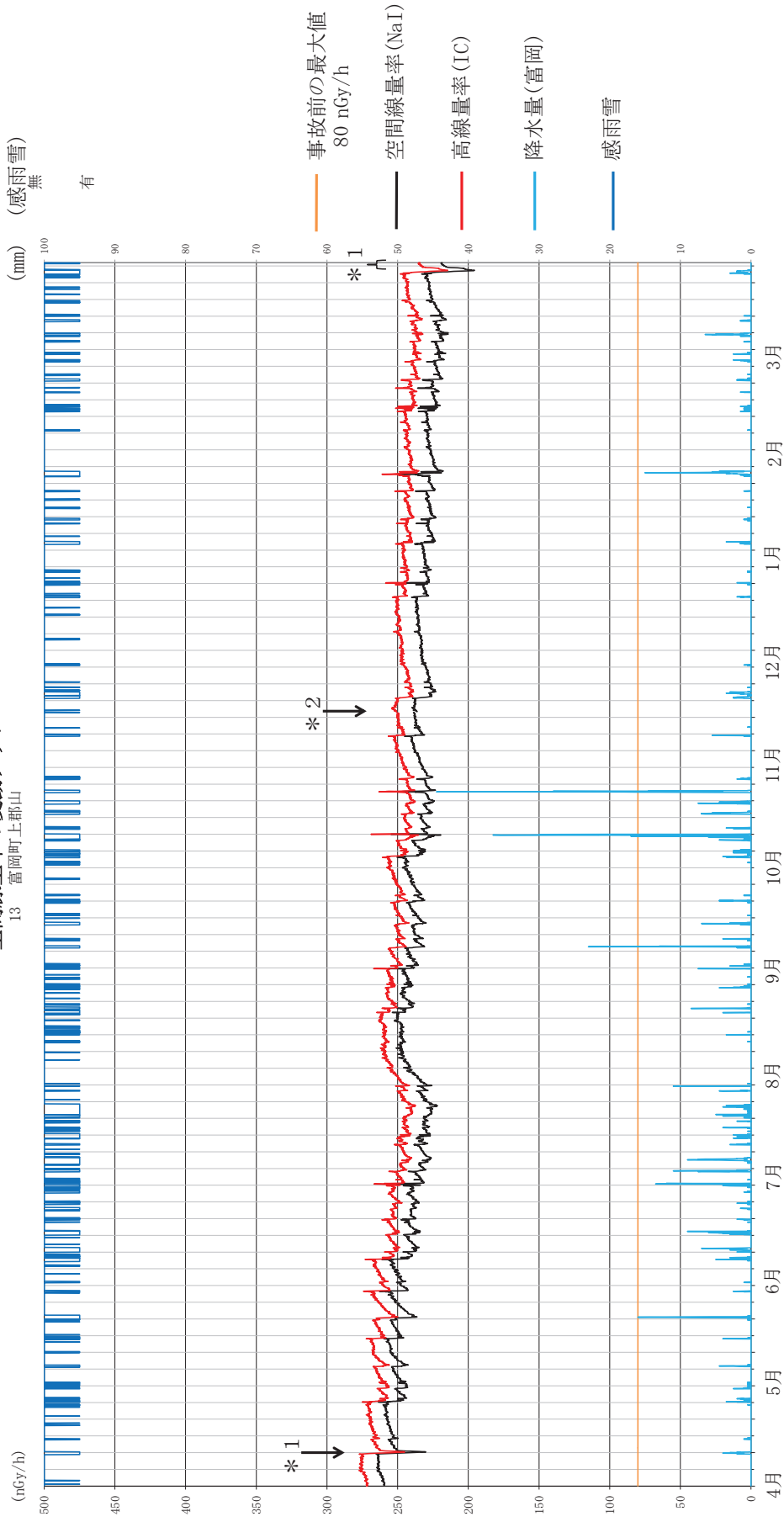
12 楢葉町波倉



- * 1 9月30日は点検のため欠測
- * 2 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

13 富岡町上郡山

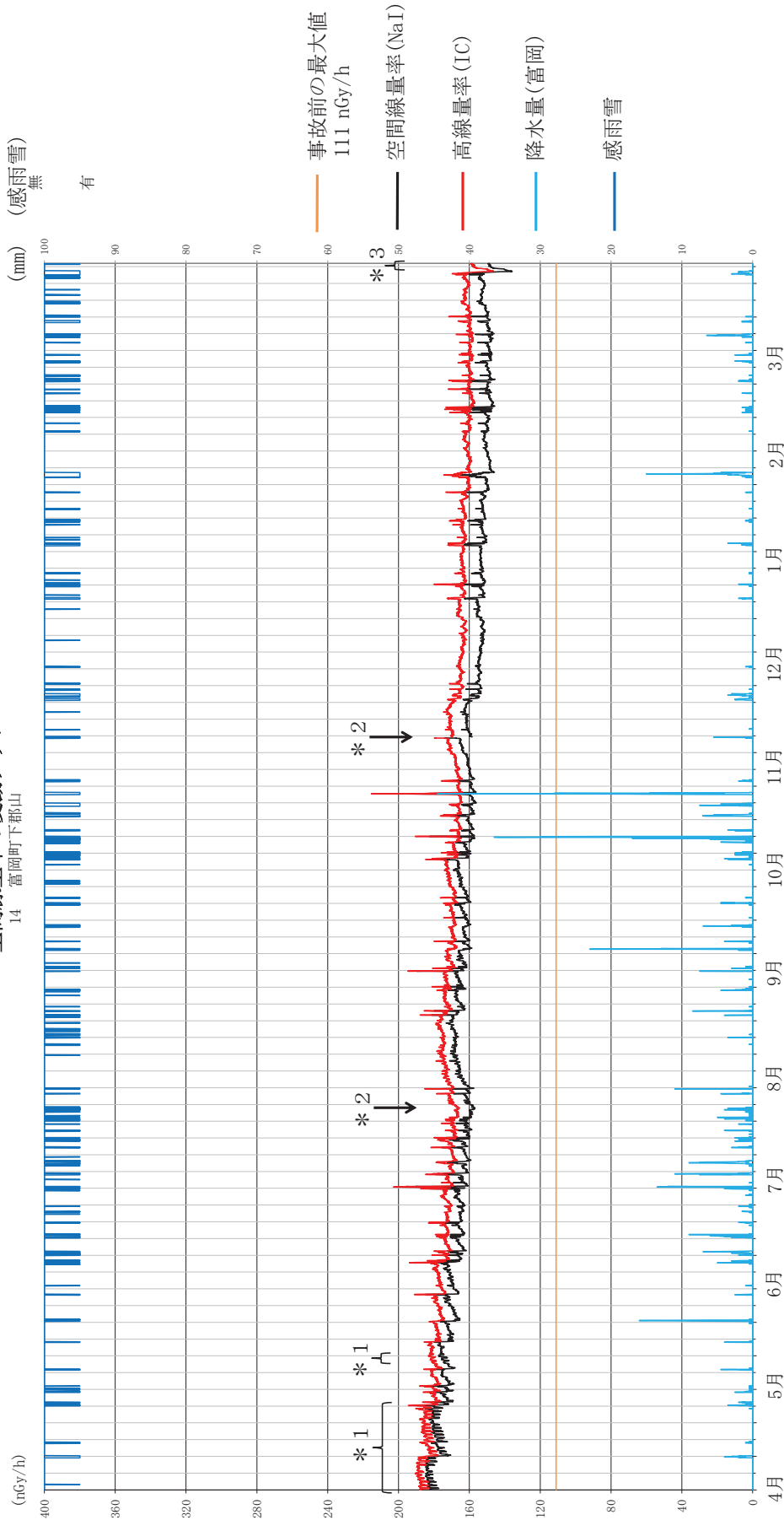


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 11月18日は点検のため欠測

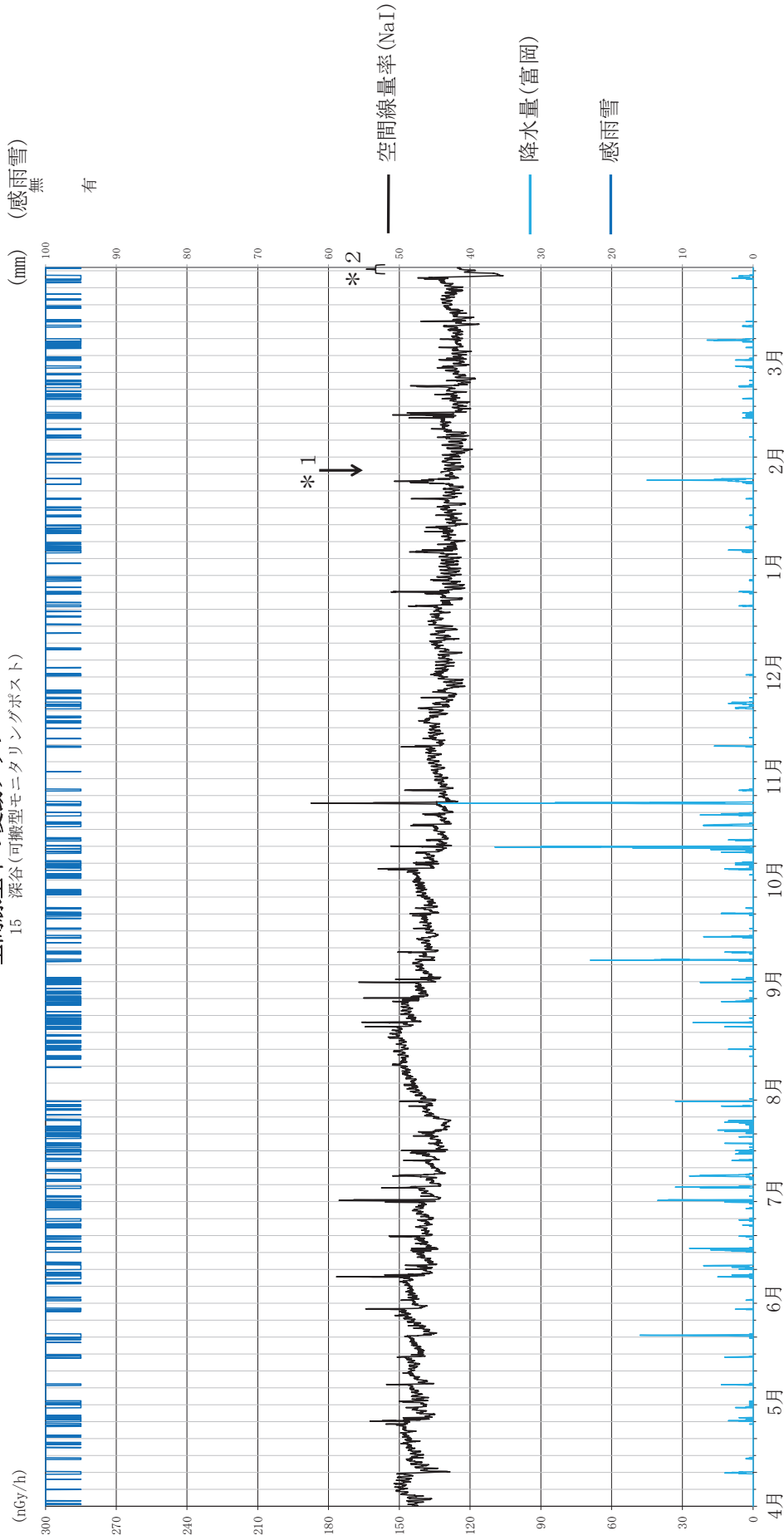
空間線量率の変動グラフ

14 富岡町下郡山



- * 1 4月1～28日、5月9～10日は局舎周辺での建設工事に伴う停車車両の遮へい効果のため線量率低下
- * 2 7月24日、11月11日は点検のため欠測
- * 3 3月29～31日は積雪のため線量率低下

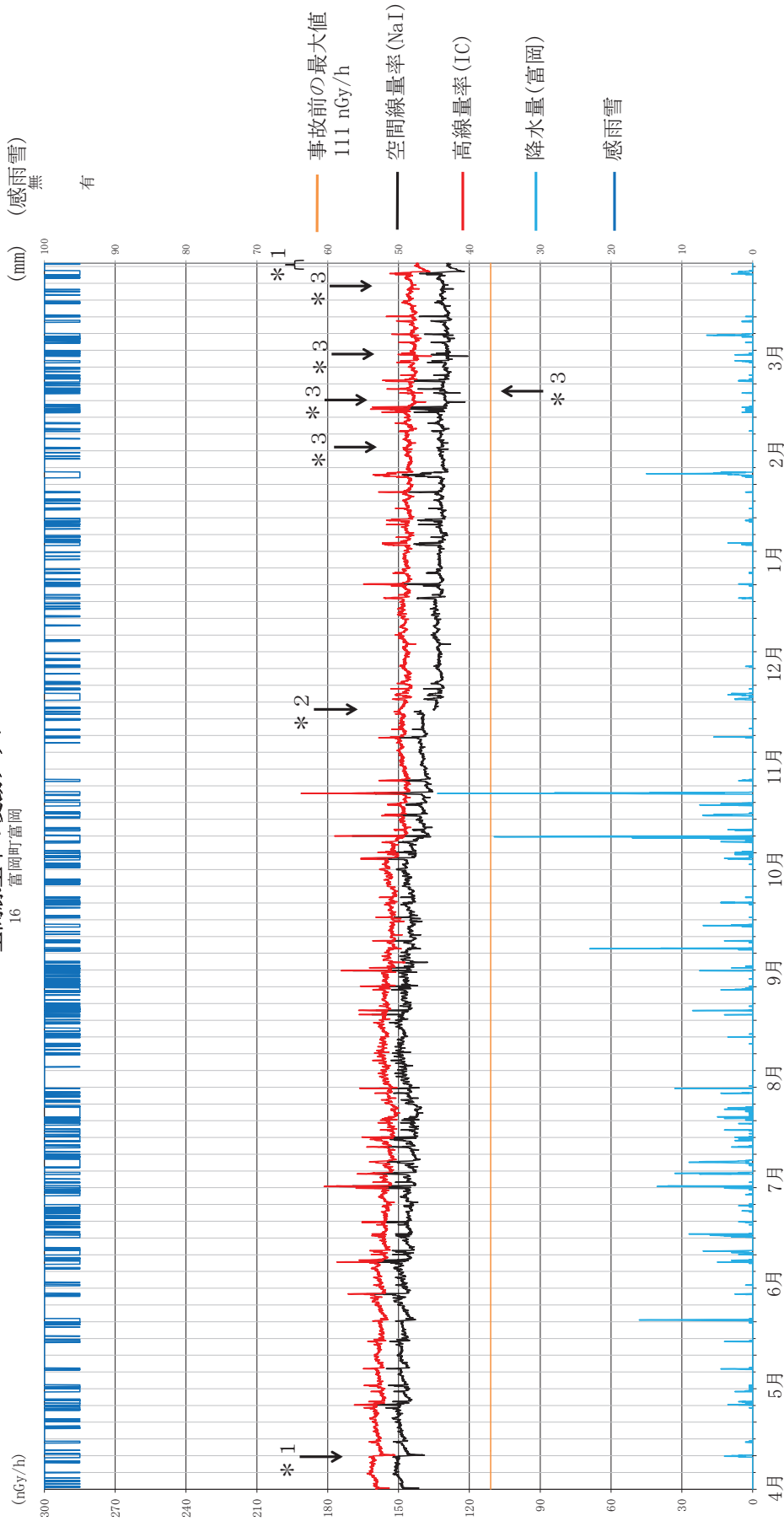
空間線量率の変動グラフ
15 深谷(可搬型モニタリングポスト)



* 1 1月31日は点検のため欠測
* 2 3月29～31日は積雪のため線量率低下

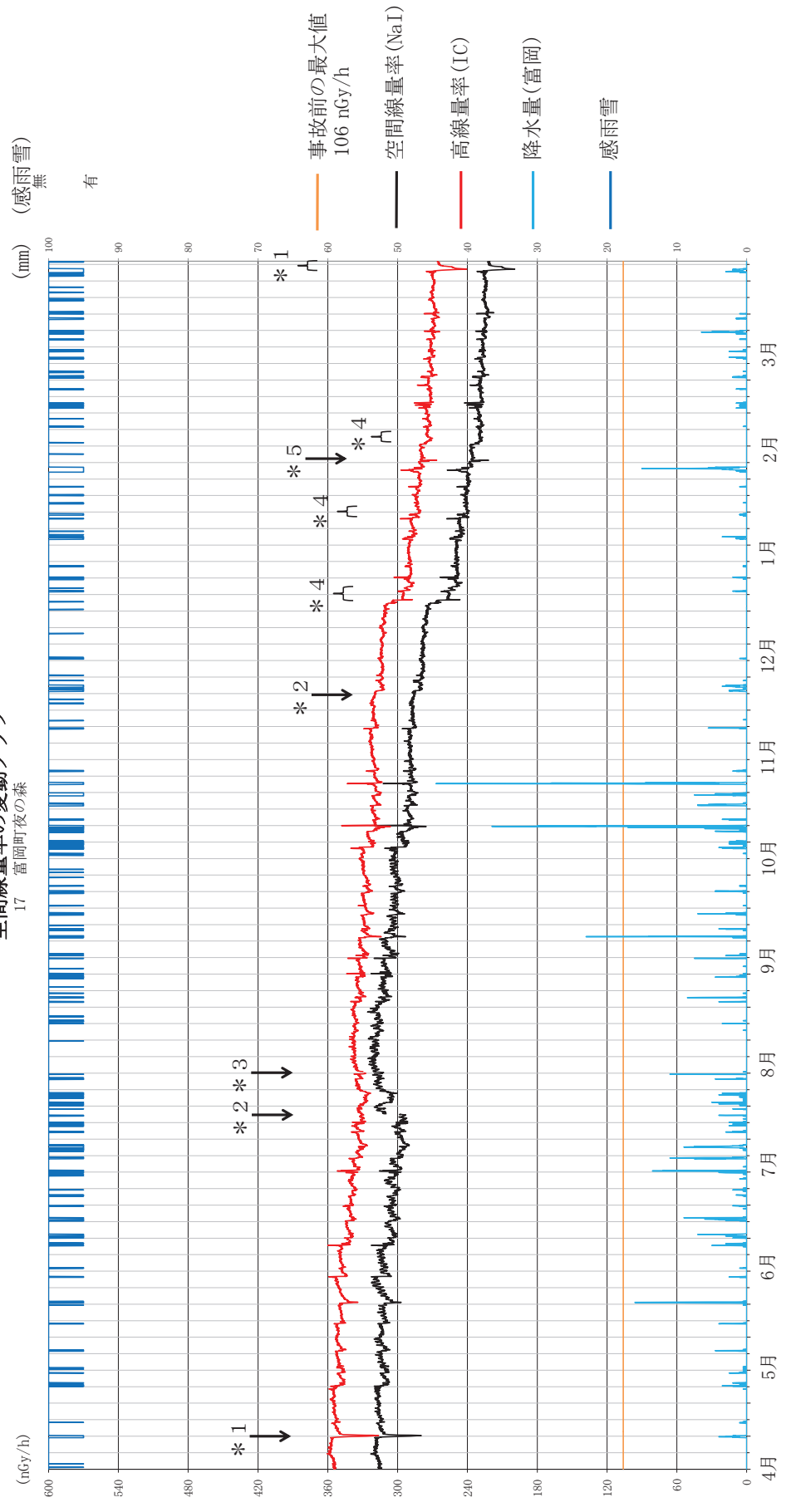
空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 11月19日は点検のため欠測
- * 3 2月5日、2月19日、2月22日、3月4日、3月24日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

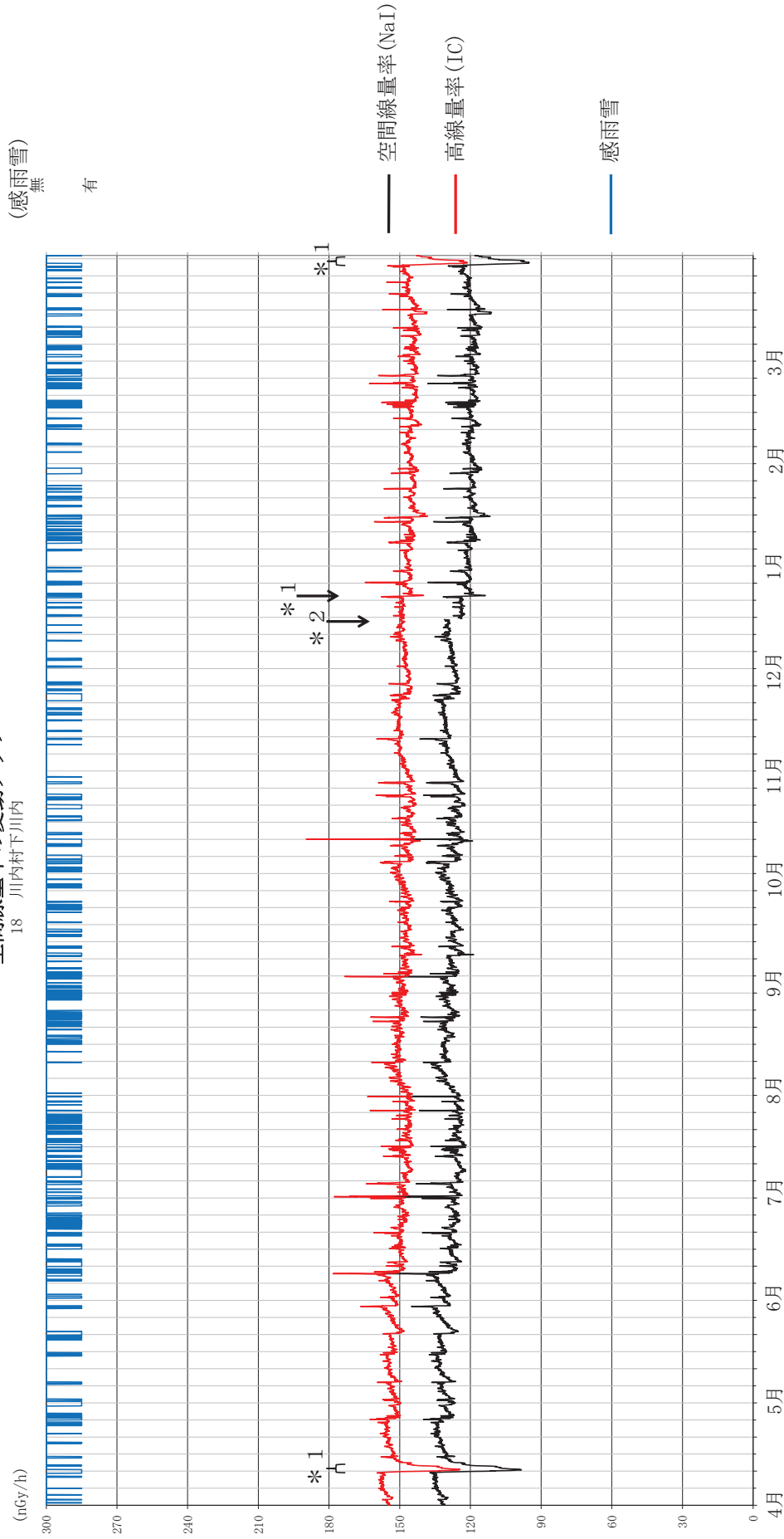
空間線量率の変動グラフ
17 富岡町夜の森



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 7月17日、11月21日は点検のため欠測
- * 3 7月30日は停電に伴う空調機の停止による検出器異常のため高線量率欠測
- * 4 12月16～22日、1月13～17日、2月5～12日は局舎周辺の道路舗装工事による除染効果のため線量率低下
- * 5 1月31日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内

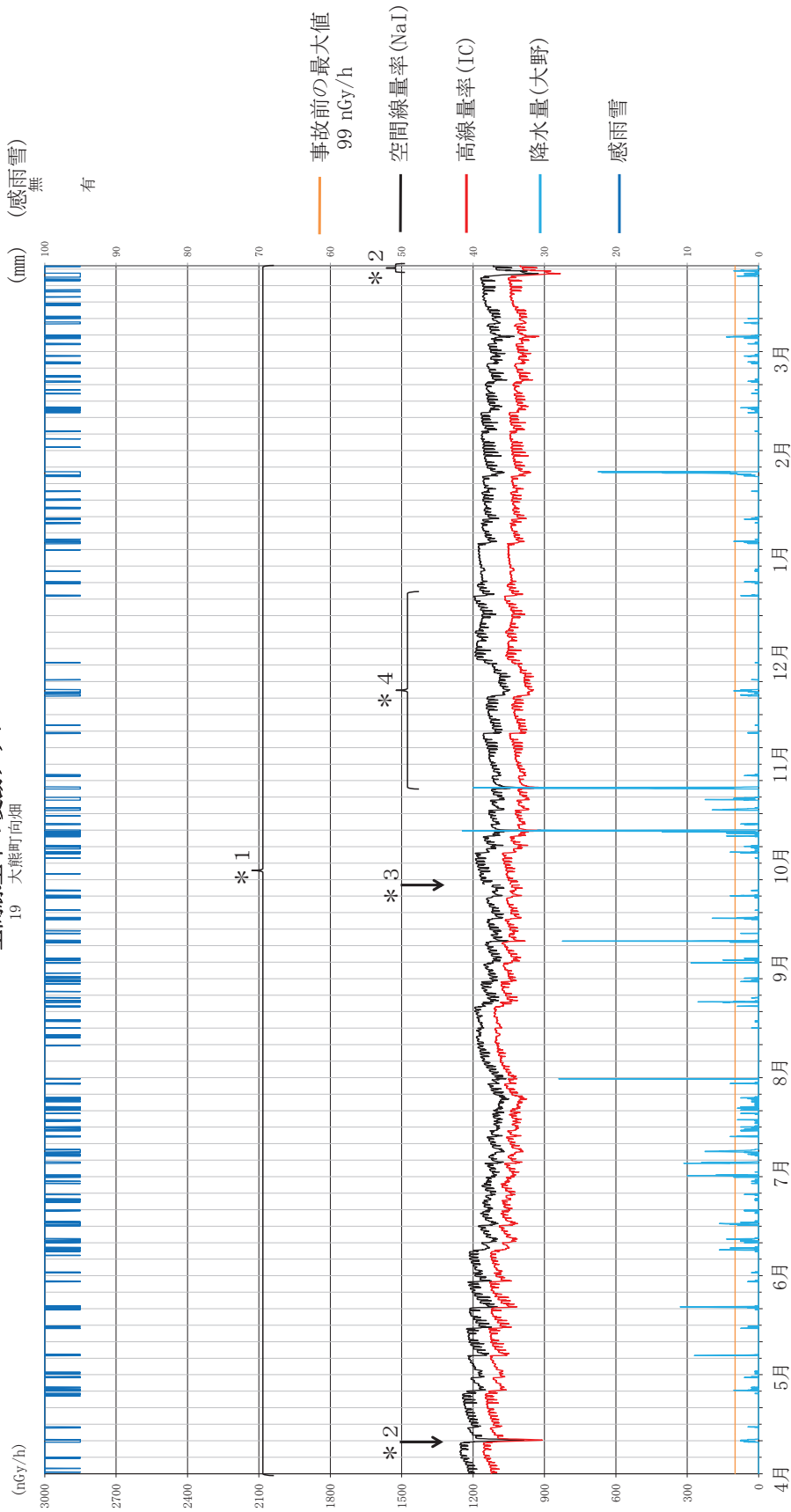


* 1 4月10～13日、12月23日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 12月16日は点検のため欠測

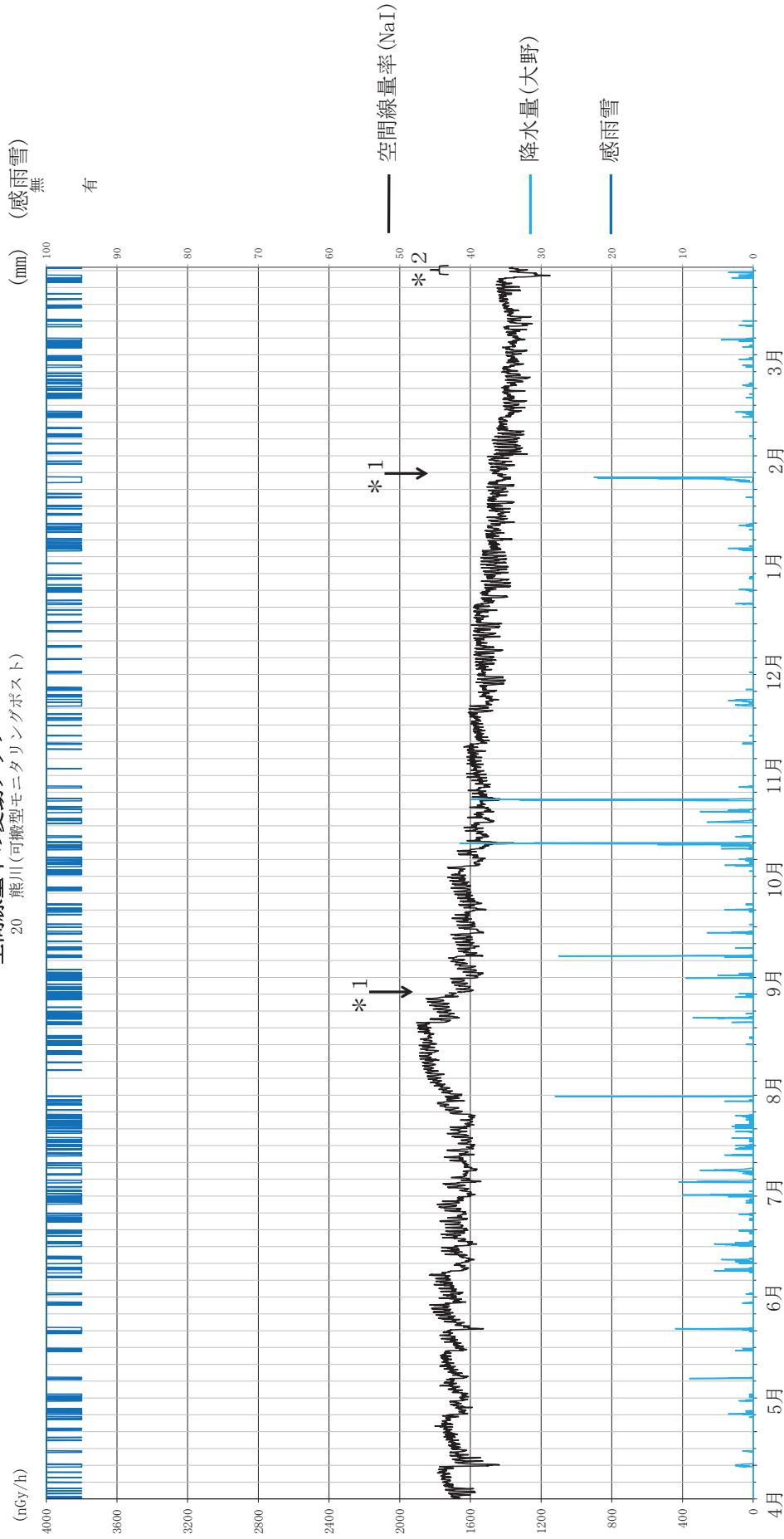
空間線量率の変動グラフ

19 大熊町向畑



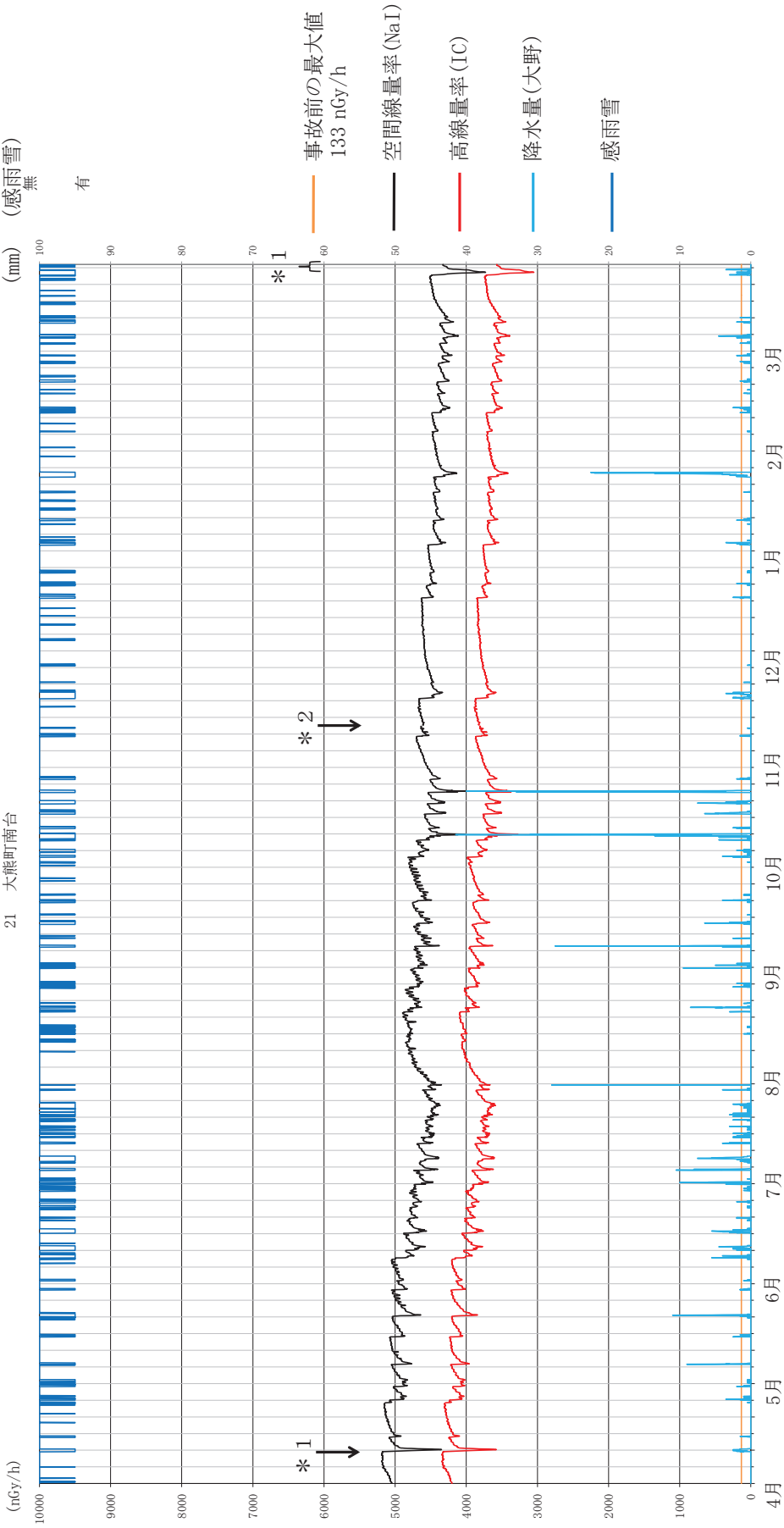
- * 1 局舎付近に帰還困難区域入退域ゲートがあり、朝夕の渋滞時の車両の遮へい効果により、1～6%程度の線量率低下が発生
- * 2 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため欠測
- * 3 9月26日は点検のため欠測
- * 4 局舎周辺のガソリンスタンド解体工事（10月24日～12月23日）に伴う工事関係車両等の遮へい効果により、最大12%程度の線量率低下が発生

空間線量率の変動グラフ
20 熊川(可搬型モニタリングポスト)



* 1 8月29日、1月30日は点検のため欠測
* 2 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

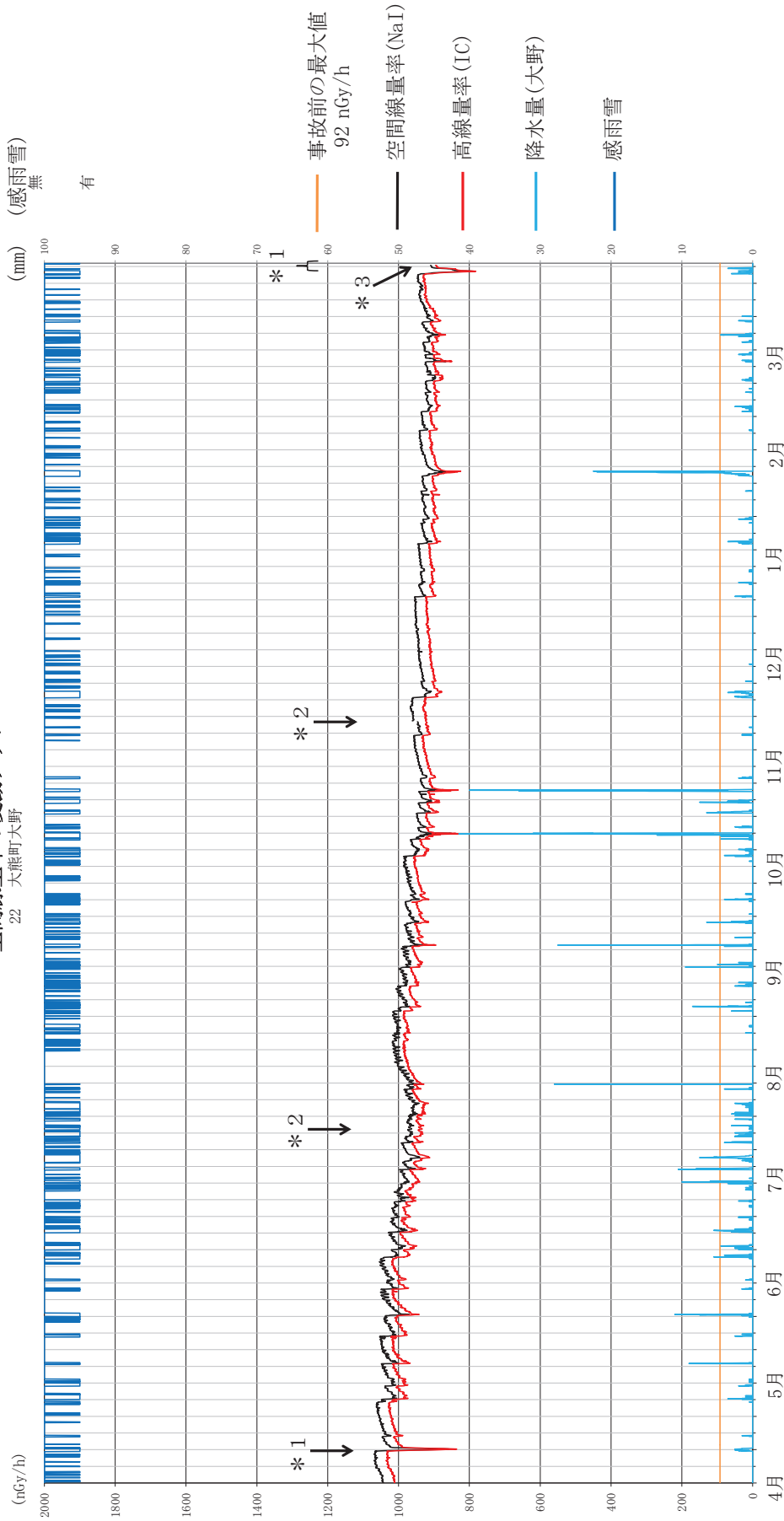


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 11月14日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

22 大熊町大野



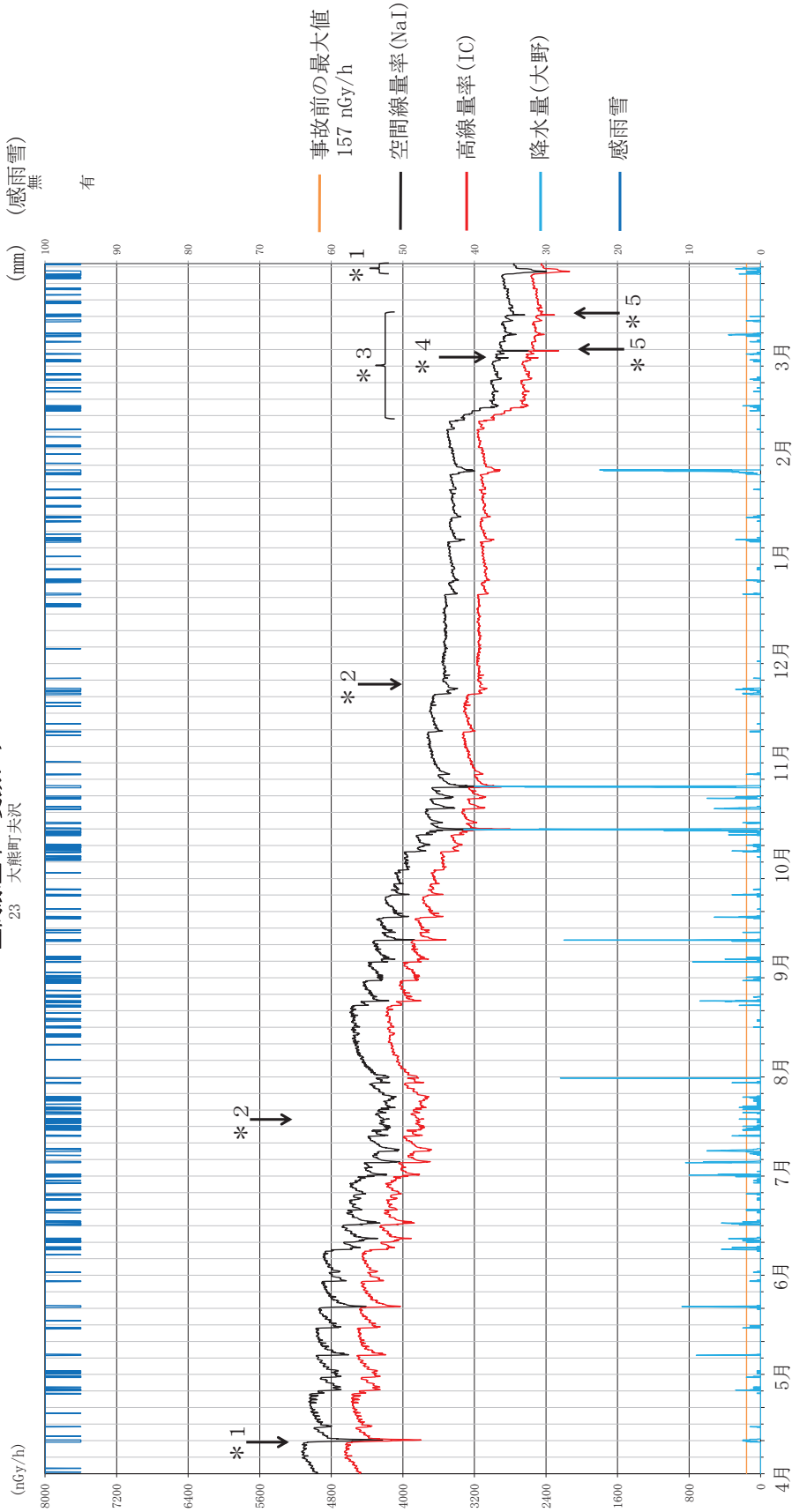
* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 7月16日、11月15日は点検のため欠測

* 3 3月31日は旧原子力センター解体に伴う、電源停止のため欠測

空間線量率の変動グラフ

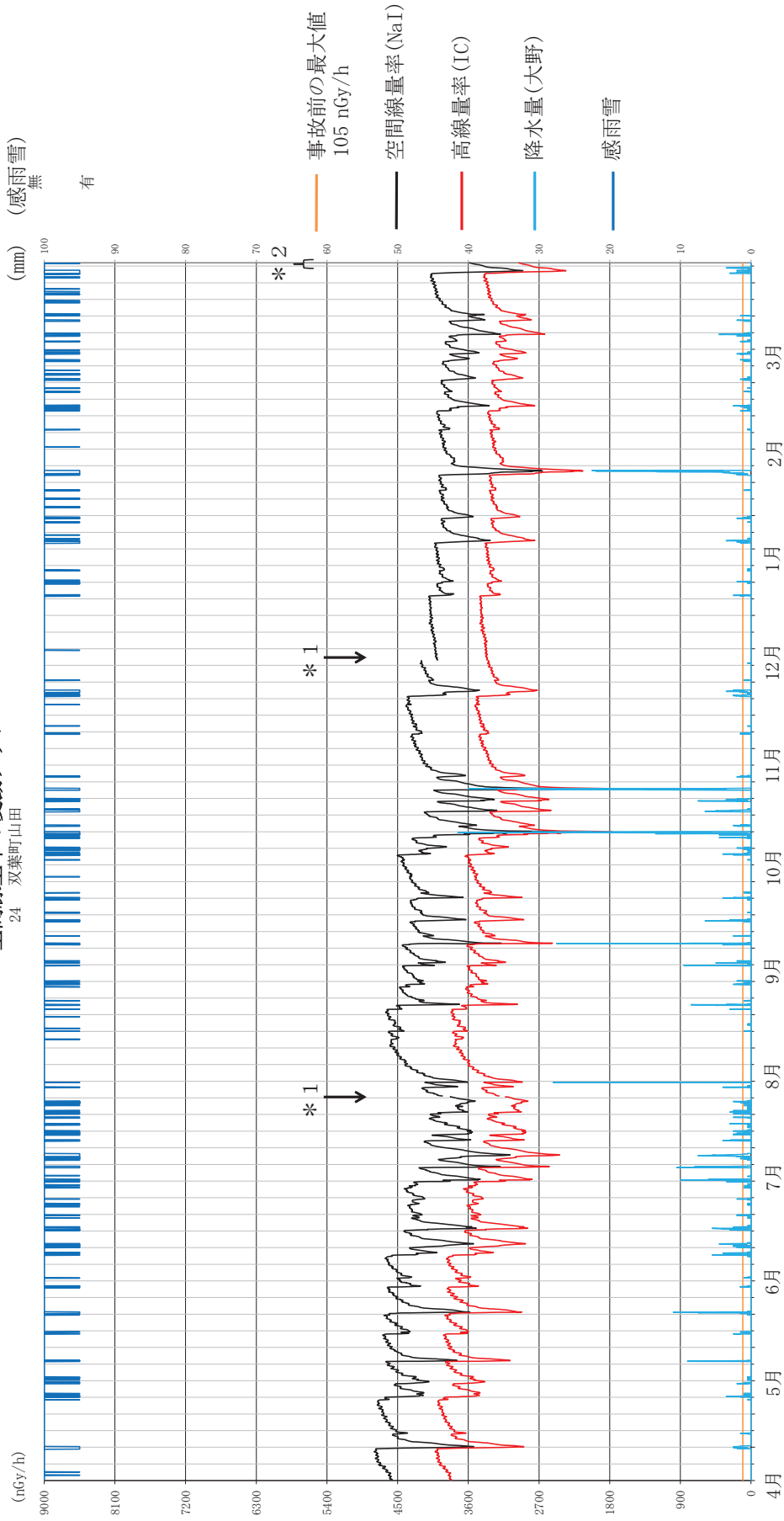
23 大熊町夫沢



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 7月17日、11月25日は点検のため欠測
- * 3 局舎周辺における土木工事に伴い、2月13日～3月17日にかけて線量率低下
- * 4 3月3日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下
- * 5 3月5日、16日は中性子検出器設置作業により線量率低下

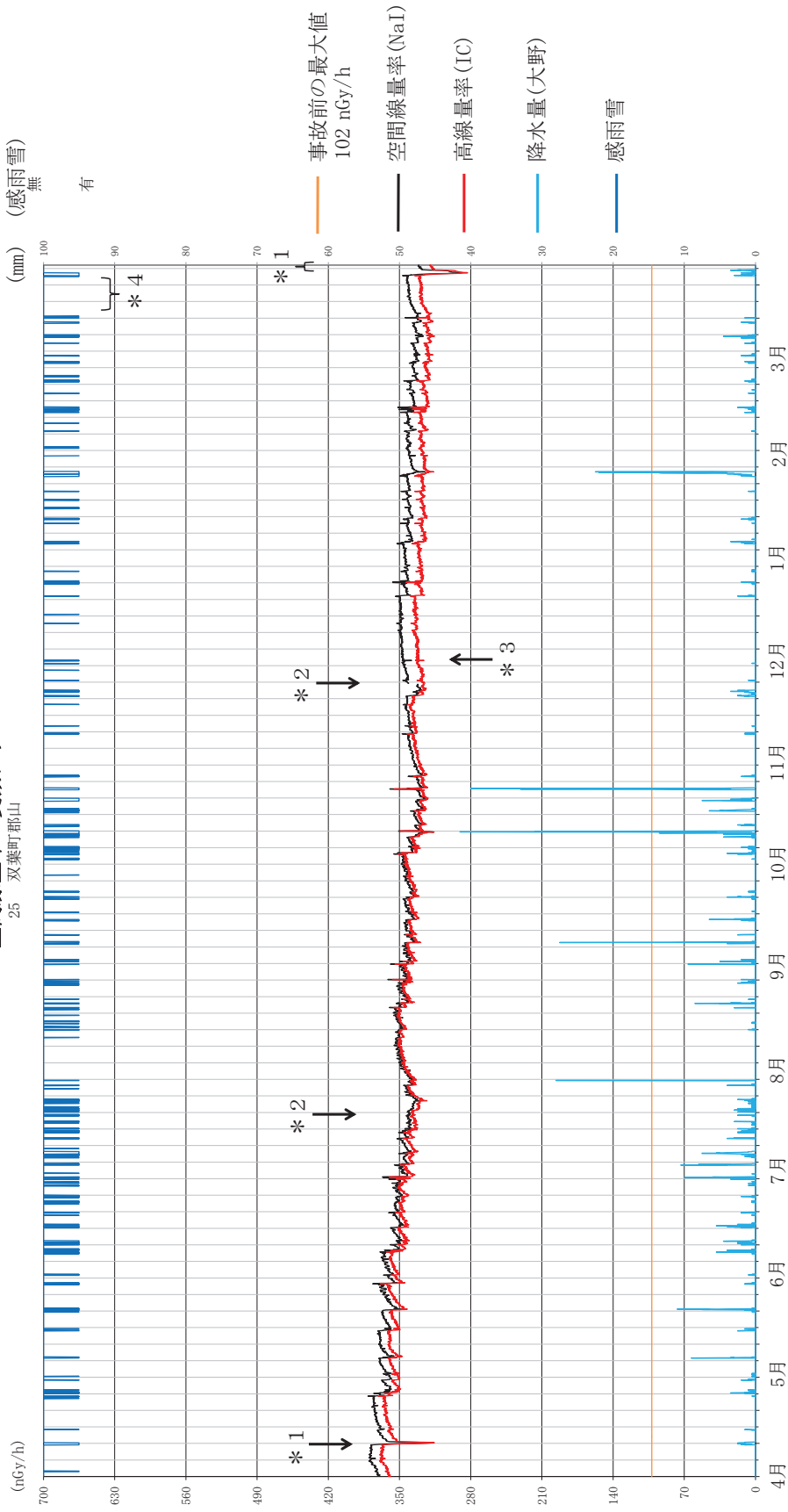
空間線量率の変動グラフ

24 双葉町山田



* 1 7月25日、12月3日は点検のため欠測
 * 2 3月29～31日は積雪のため線量率低下

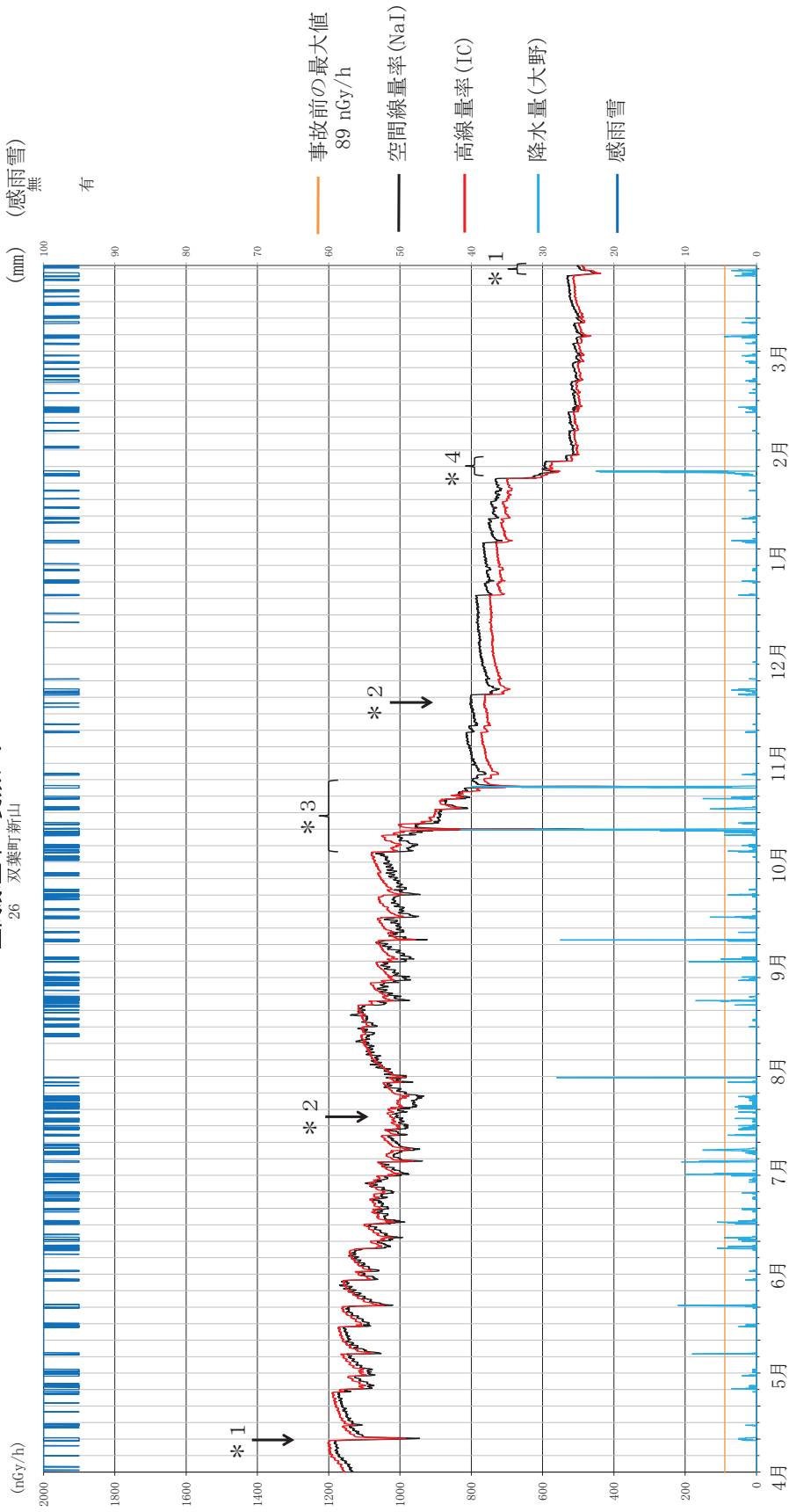
空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 7月19日、11月26日は点検のため欠測
- * 3 12月3日は局舎周辺への停車車両による遮へいの影響で線量率低下
- * 4 感雨雪計の感度低下（3月20～27日）のため欠測

空間線量率の変動グラフ

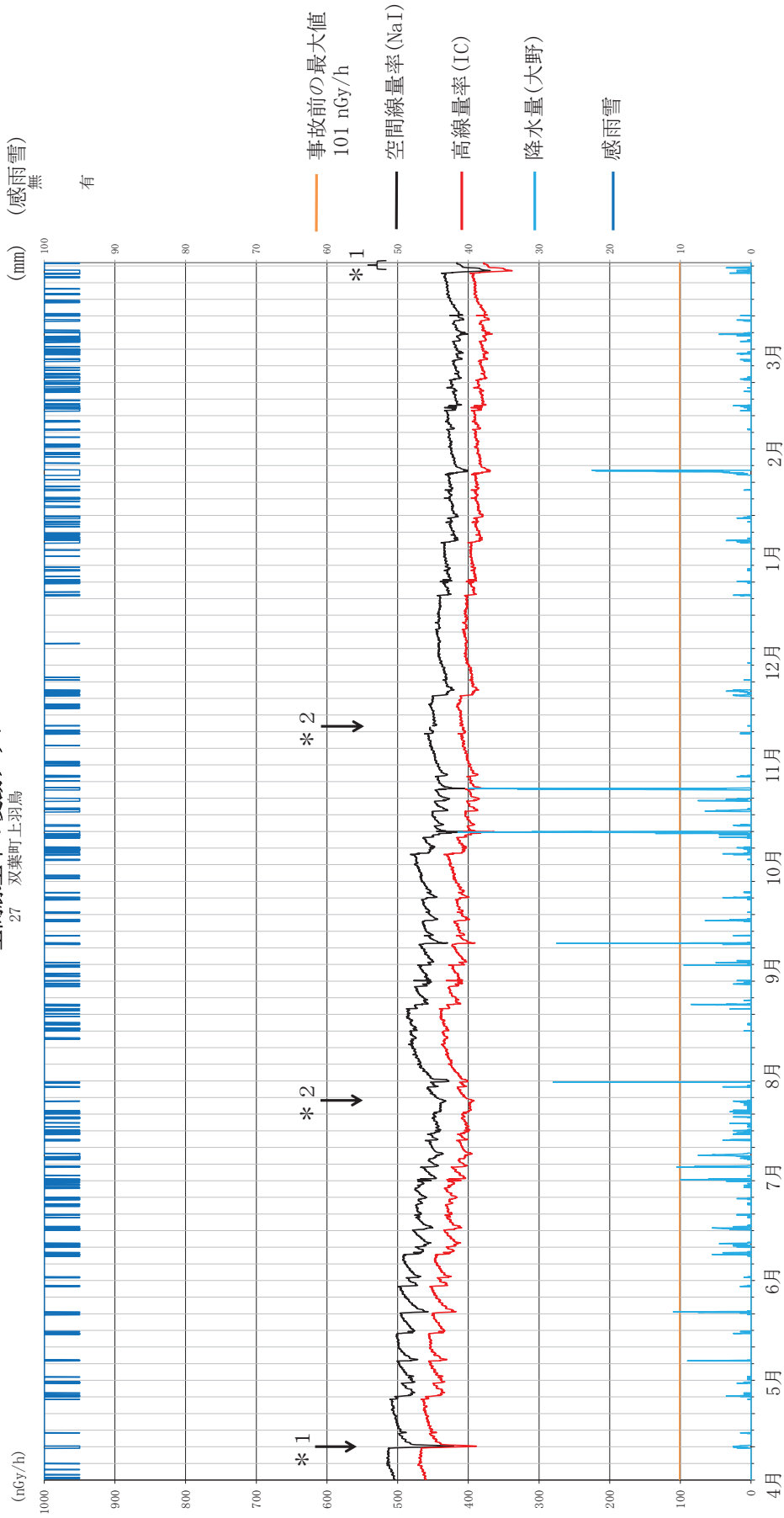
26 双葉町新山



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 7月18日、11月20日は点検のため欠測
- * 3 10月7～28日は局舎周辺の除染のため線量率低下
- * 4 1月27日～2月3日は局舎周辺の土木工事により線量率低下

空間線量率の変動グラフ

27 双葉町上羽鳥

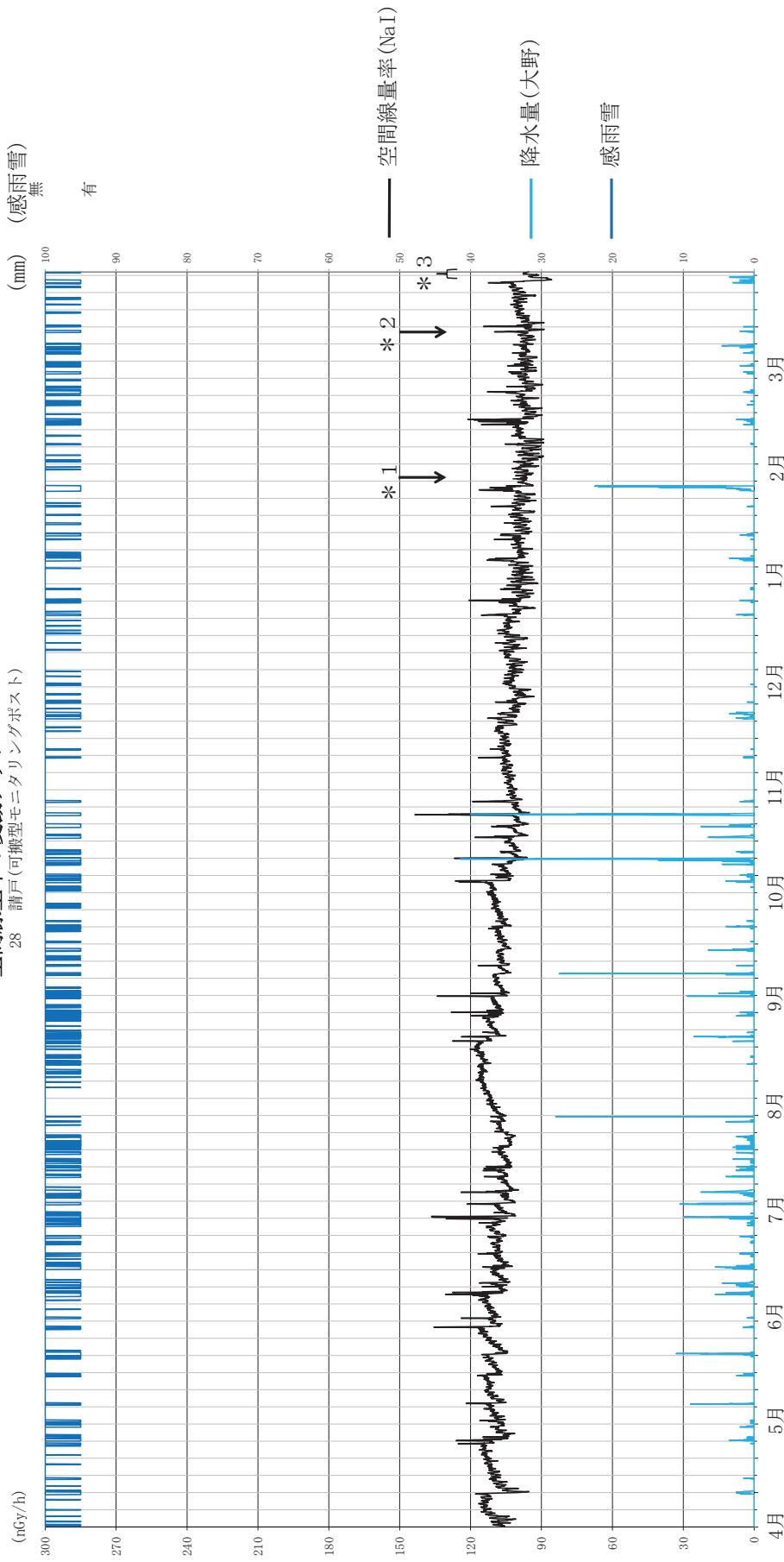


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 7月24日、11月13日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

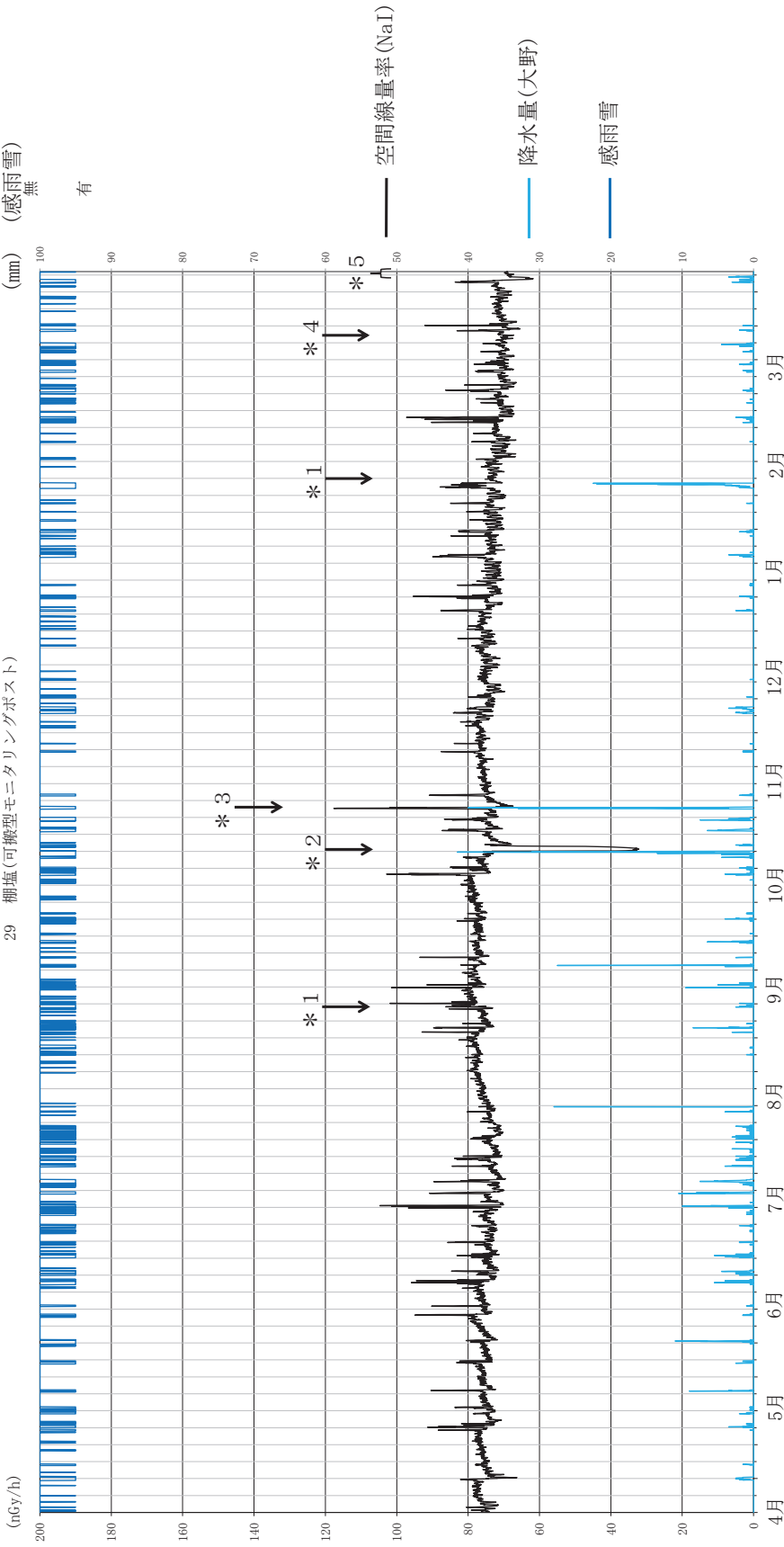
28 請戸(可搬型モニタリングポスト)



- * 1 1月31日は点検のため欠測
- * 2 3月13日は通信多重化に伴う作業のため欠測
- * 3 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

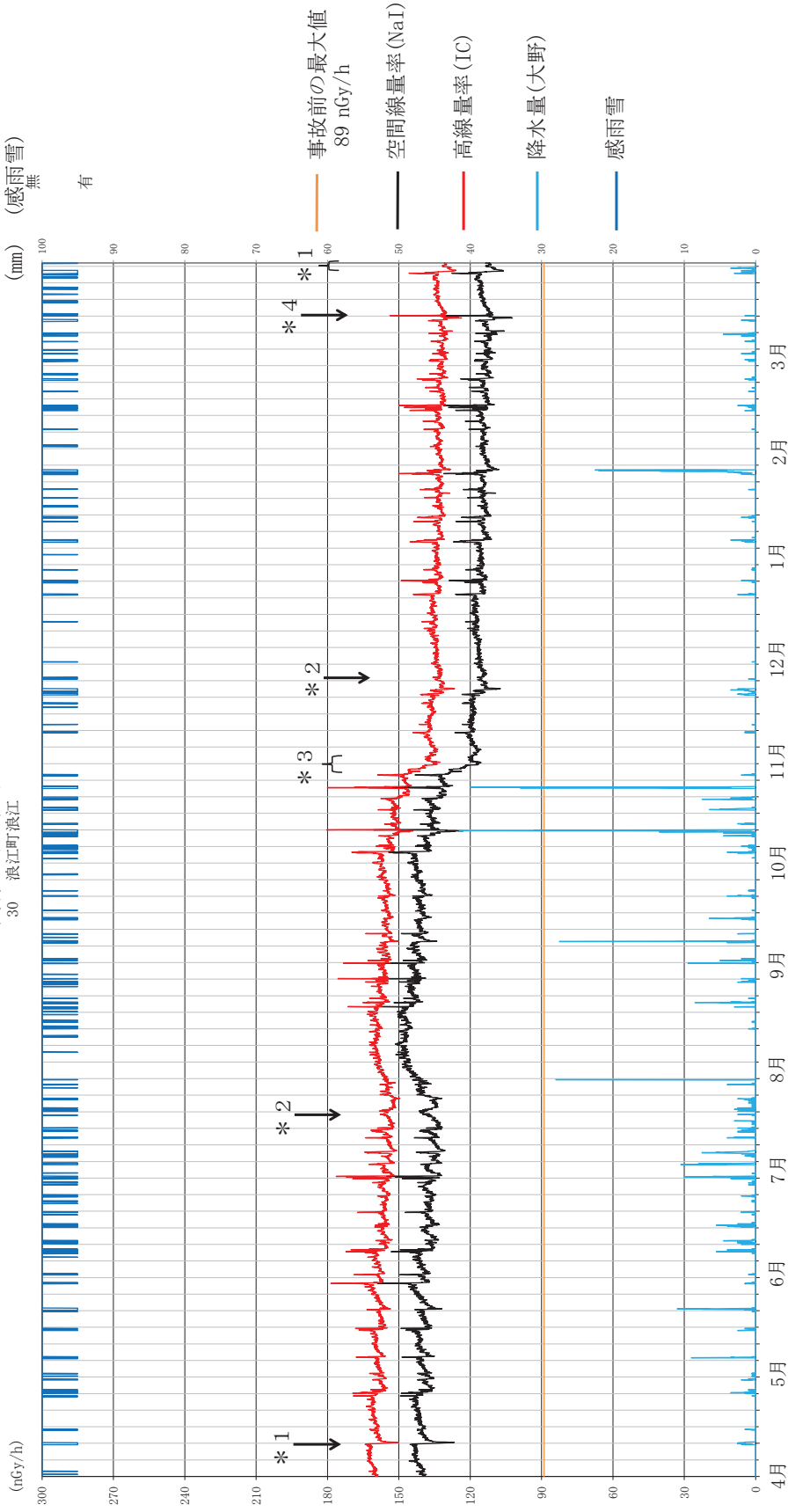
29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)



- * 1 8月28日、1月30日は点検のため欠測
- * 2 10月13～14日は300mm/日程度の降雨に伴い発生した水たまりの遮へい効果により線量率低下
- * 3 10月25日は240mm/日程度の降雨があったが水たまりは発生せず10月13～14日と同様な線量率低下は発生しなかった。
- * 4 3月12日は通信多重化に伴う作業のため欠測
- * 5 3月29～31日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

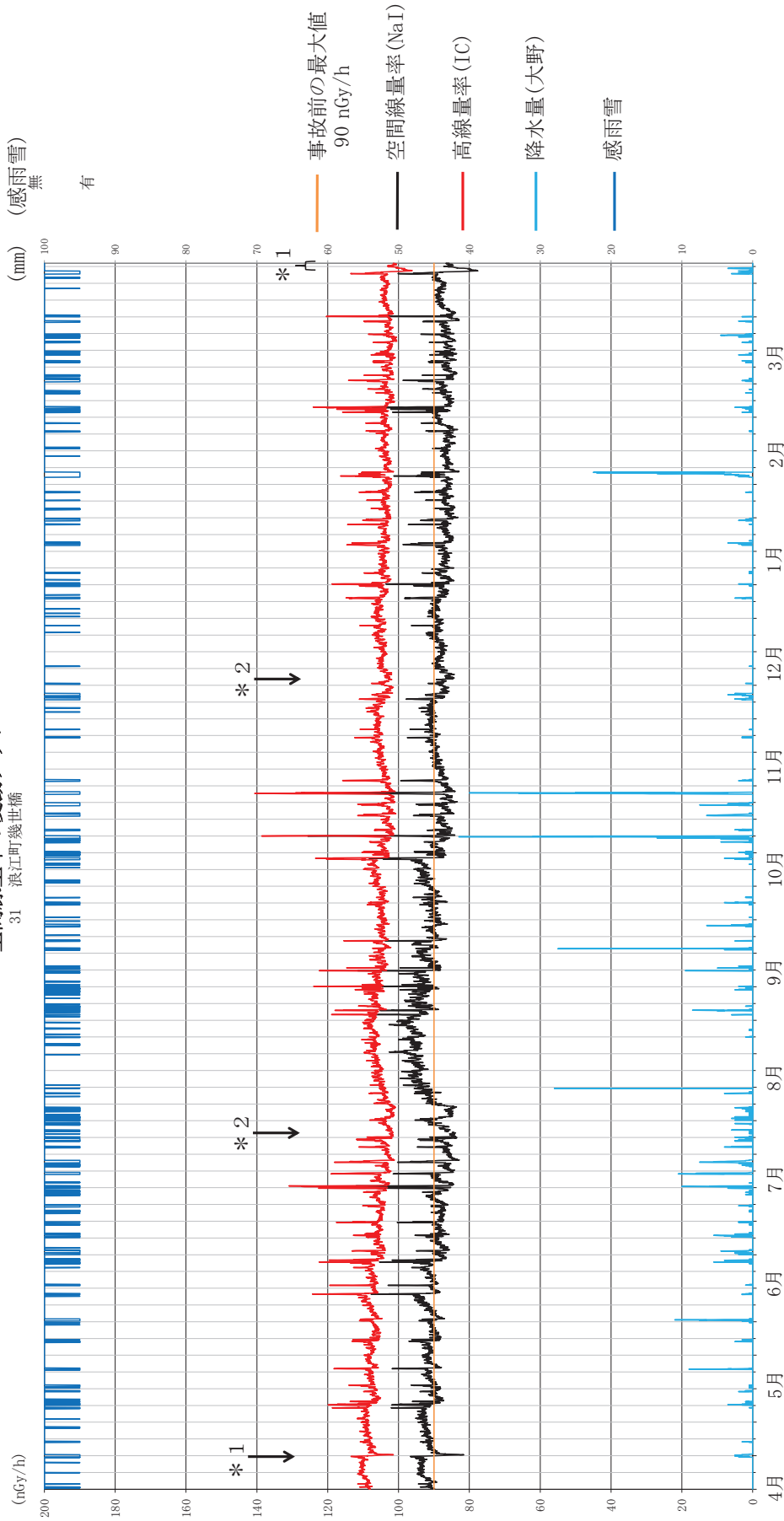
30 浪江町浪江



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 7月19日、11月27日は点検のため欠測
- * 3 局舎周辺の家屋解体工事のため線量率低下
- * 4 3月15日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

空間線量率の変動グラフ

31 浪江町幾世橋

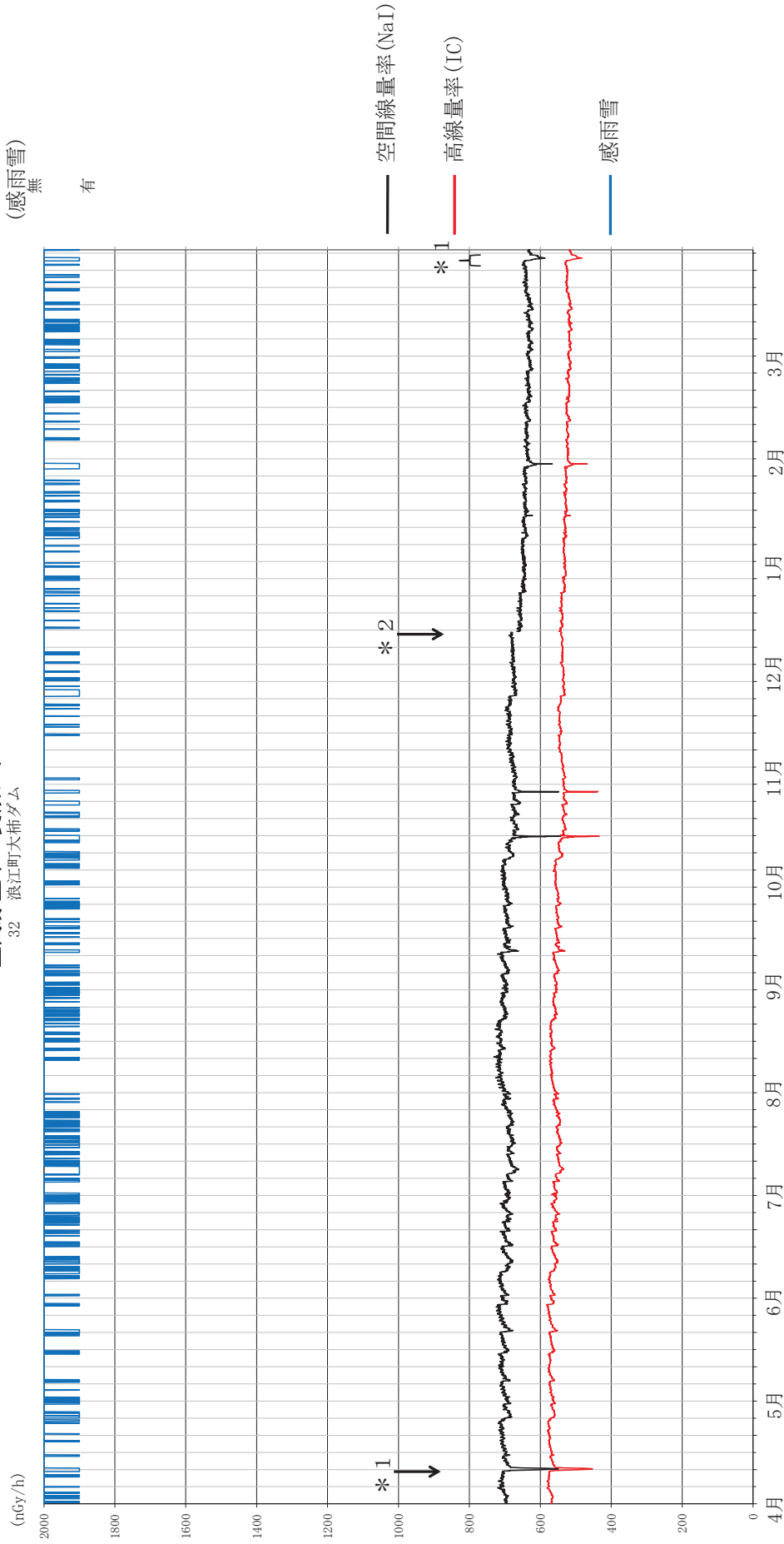


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 7月16日、11月28日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

32 浪江町大柿ダム

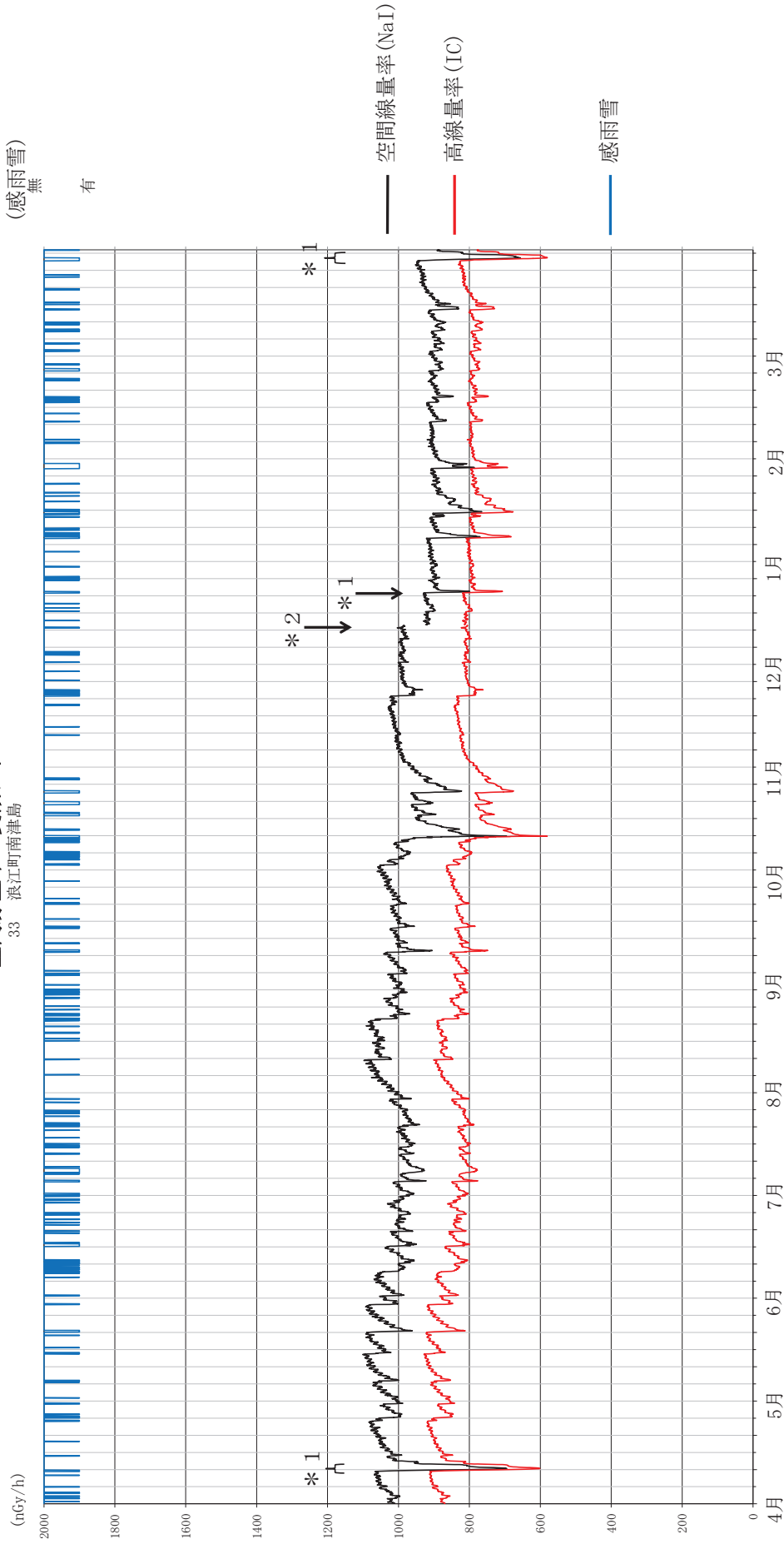


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 12月11日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

33 浪江町南津島

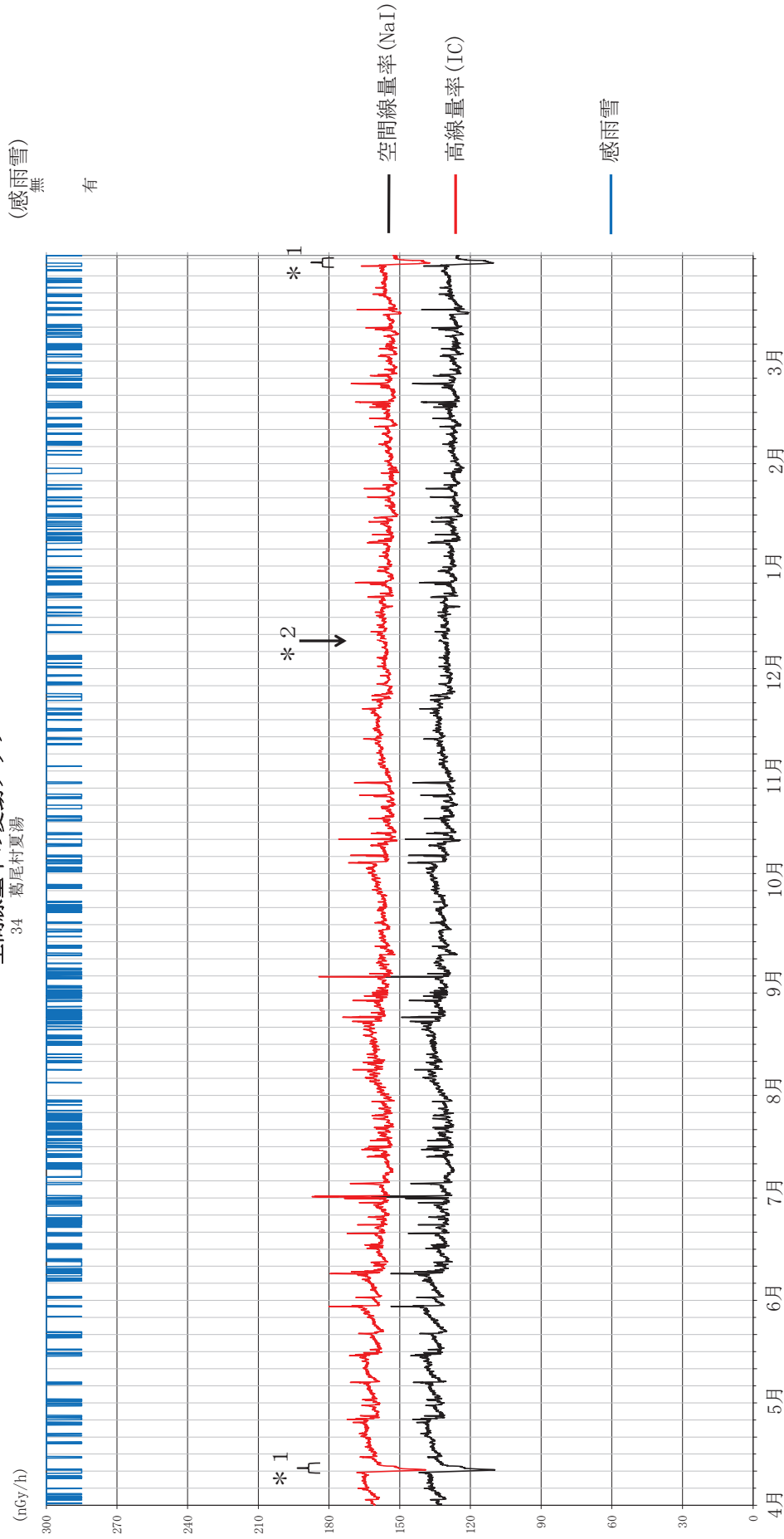


* 1 4月10～13日、12月23日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 12月13日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

34 葛尾村夏湯



* 1 4月10～12日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

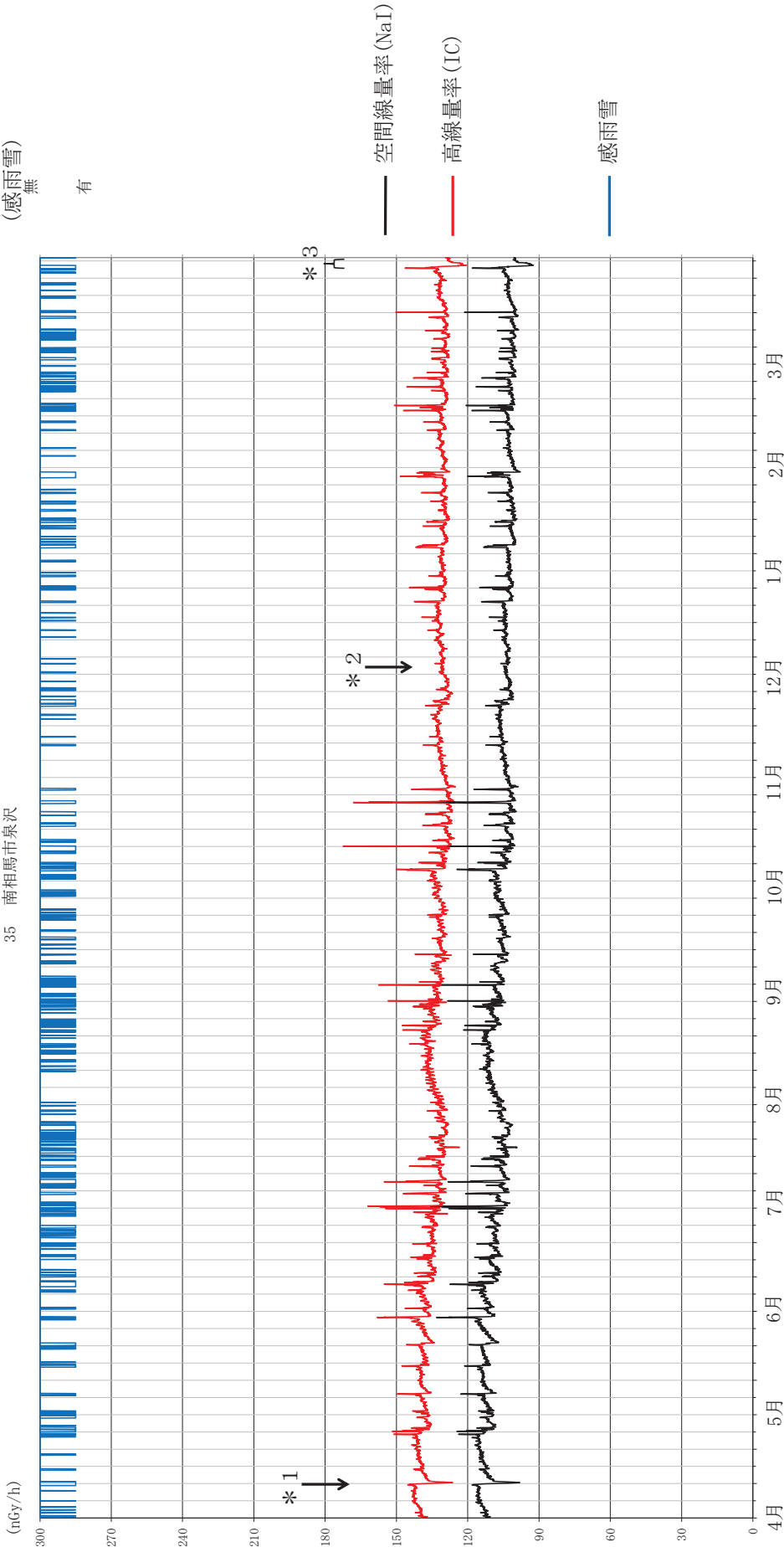
* 2 12月10日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

35 南相馬市泉沢

(感雨雪)

無
有

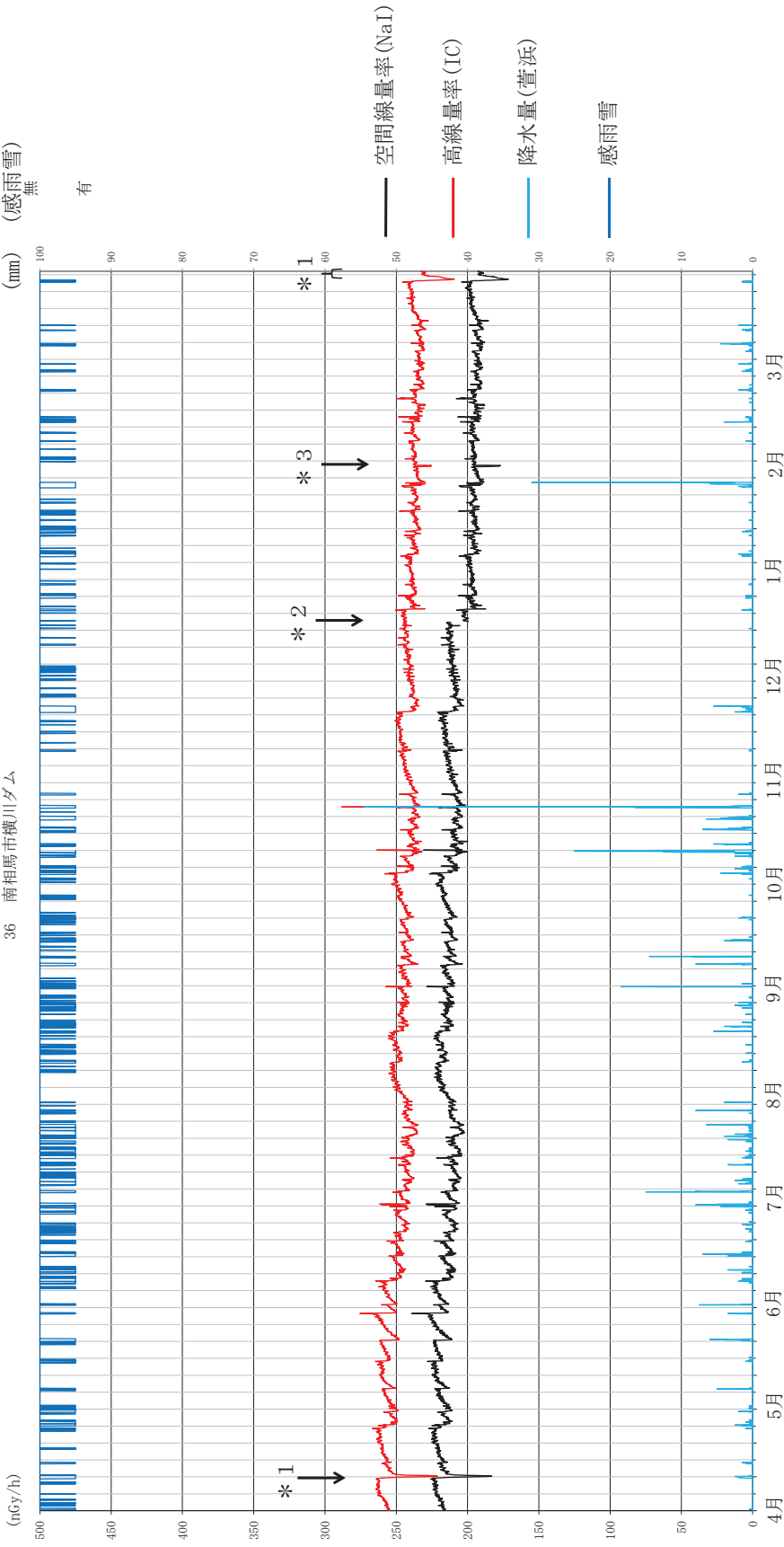


* 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 12月4日は点検のため欠測

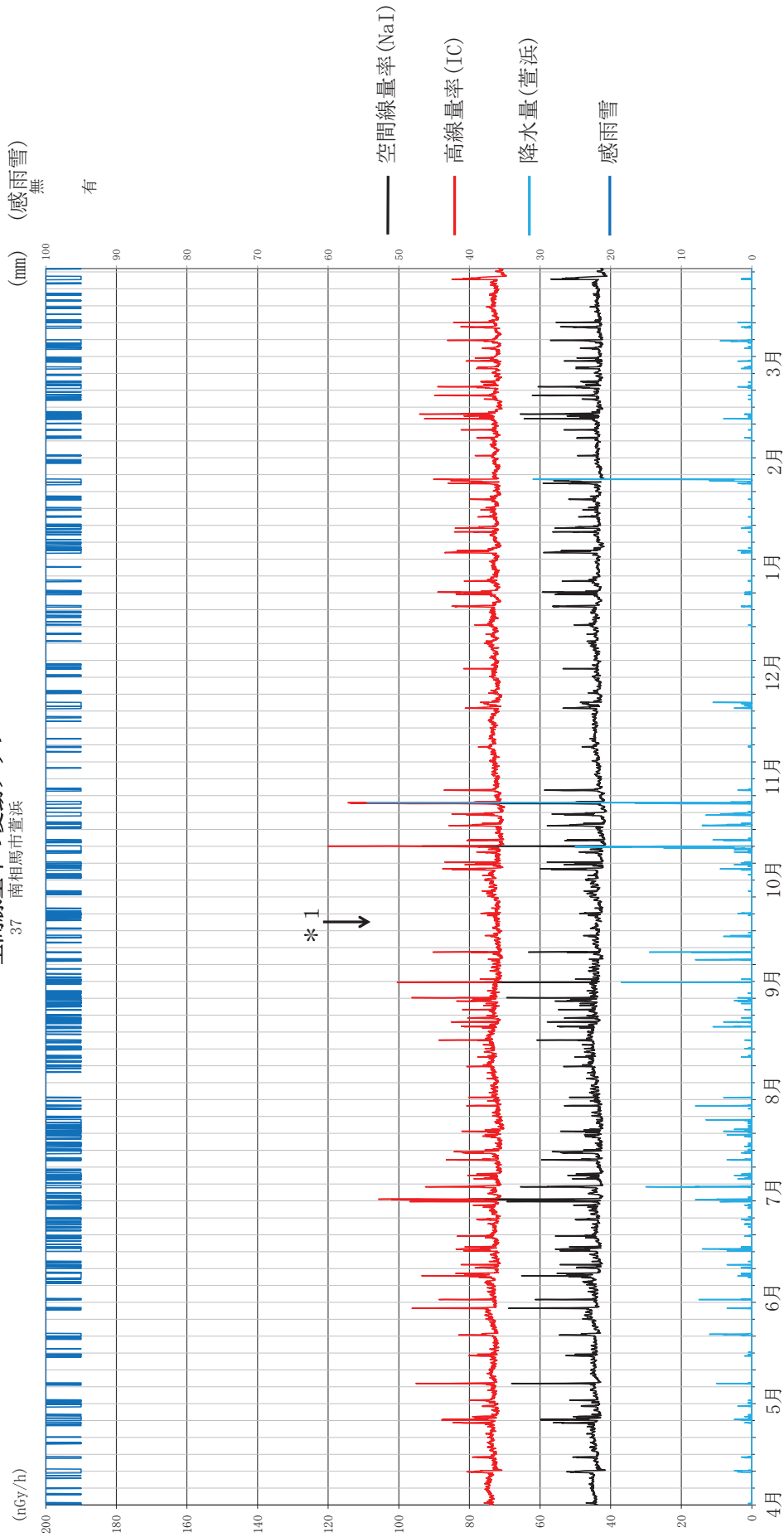
空間線量率の変動グラフ

36 南相馬市横川ダム



- * 1 4月10～11日、3月29～31日は積雪のため線量率低下
- * 2 12月19日は点検のため欠測
- * 3 2月3日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

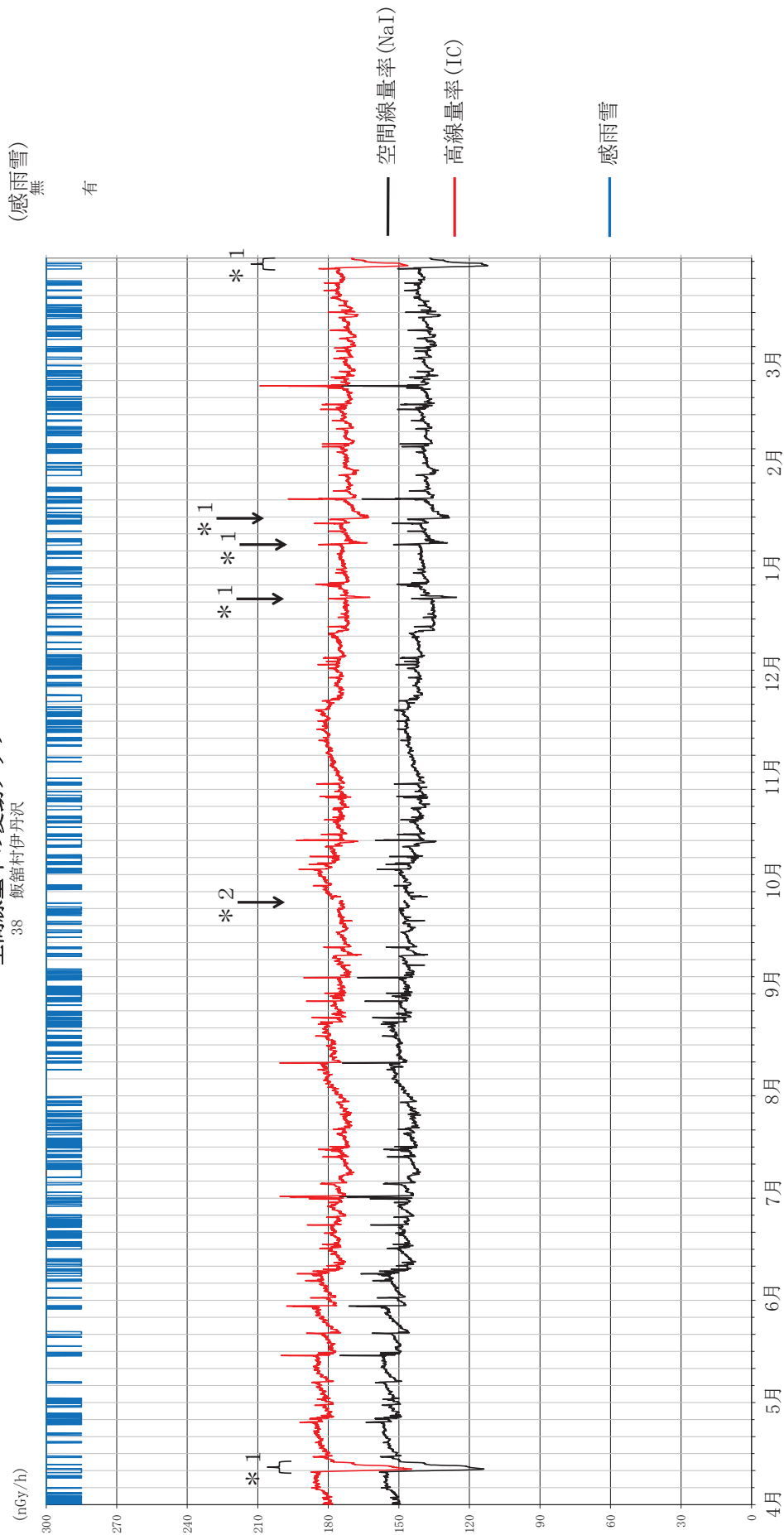
空間線量率の変動グラフ
37 南相馬市萱浜



* 1 9月20日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

38 飯館村伊丹沢



* 1 4月10～13日、12月23日、1月8～9日、1月15～16日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 9月25日は点検のため欠測

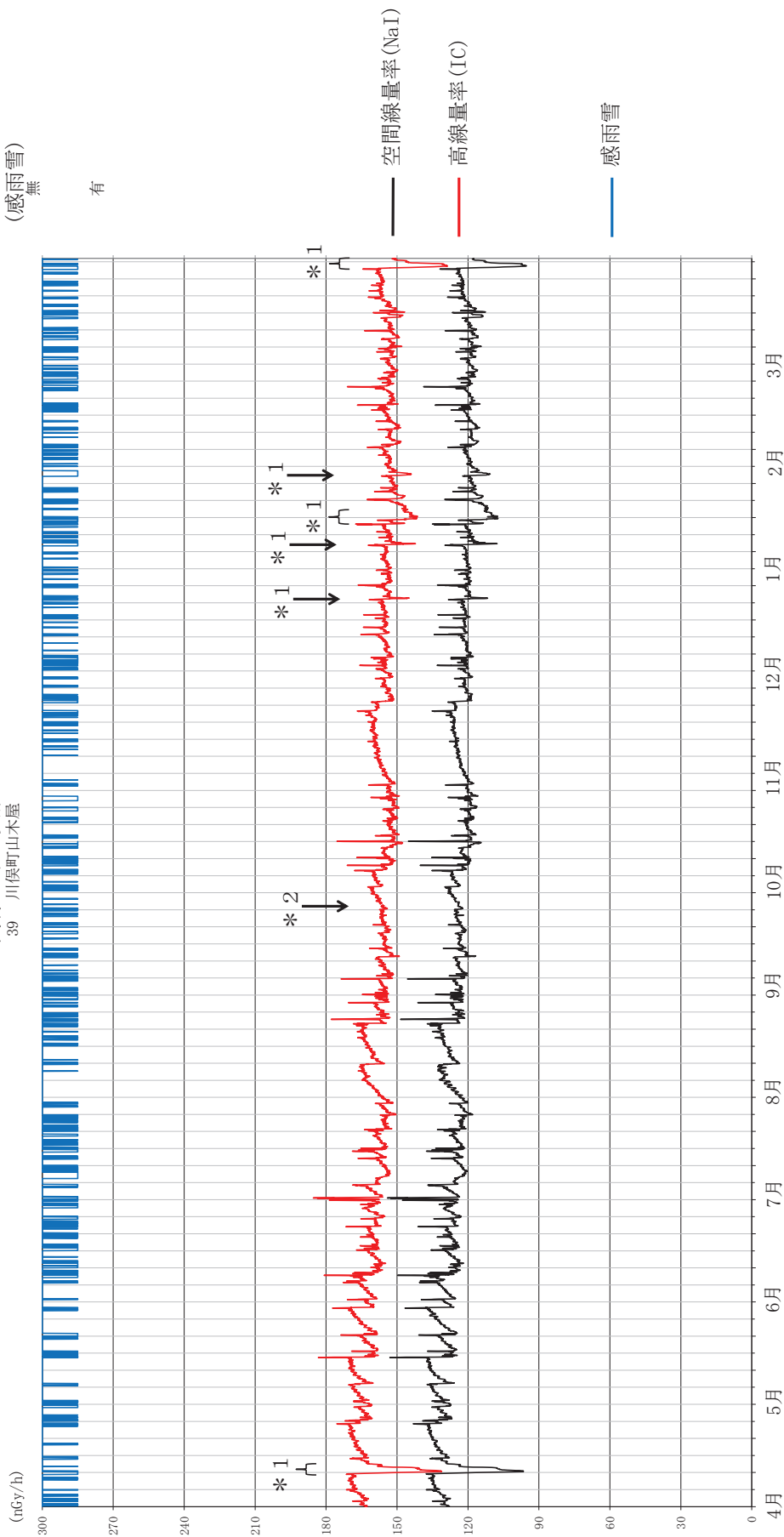
空間線量率の変動グラフ

39 川俣町山木屋

(感雨雪)

無

有

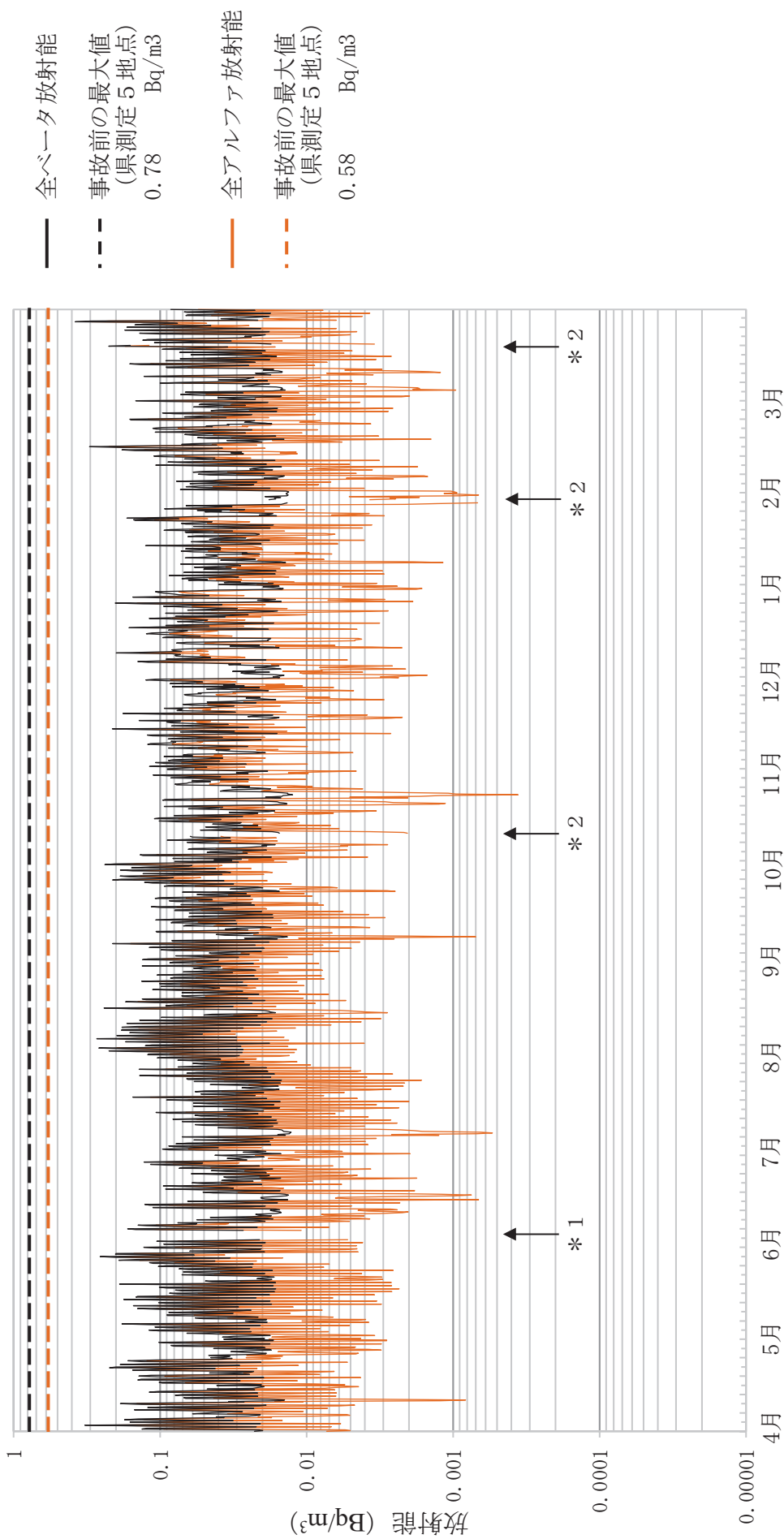


* 1 4月10～13日、12月23日、1月8日、1月14日～16日、1月28～29日、3月29～31日は積雪のため線量率低下

* 2 9月24日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

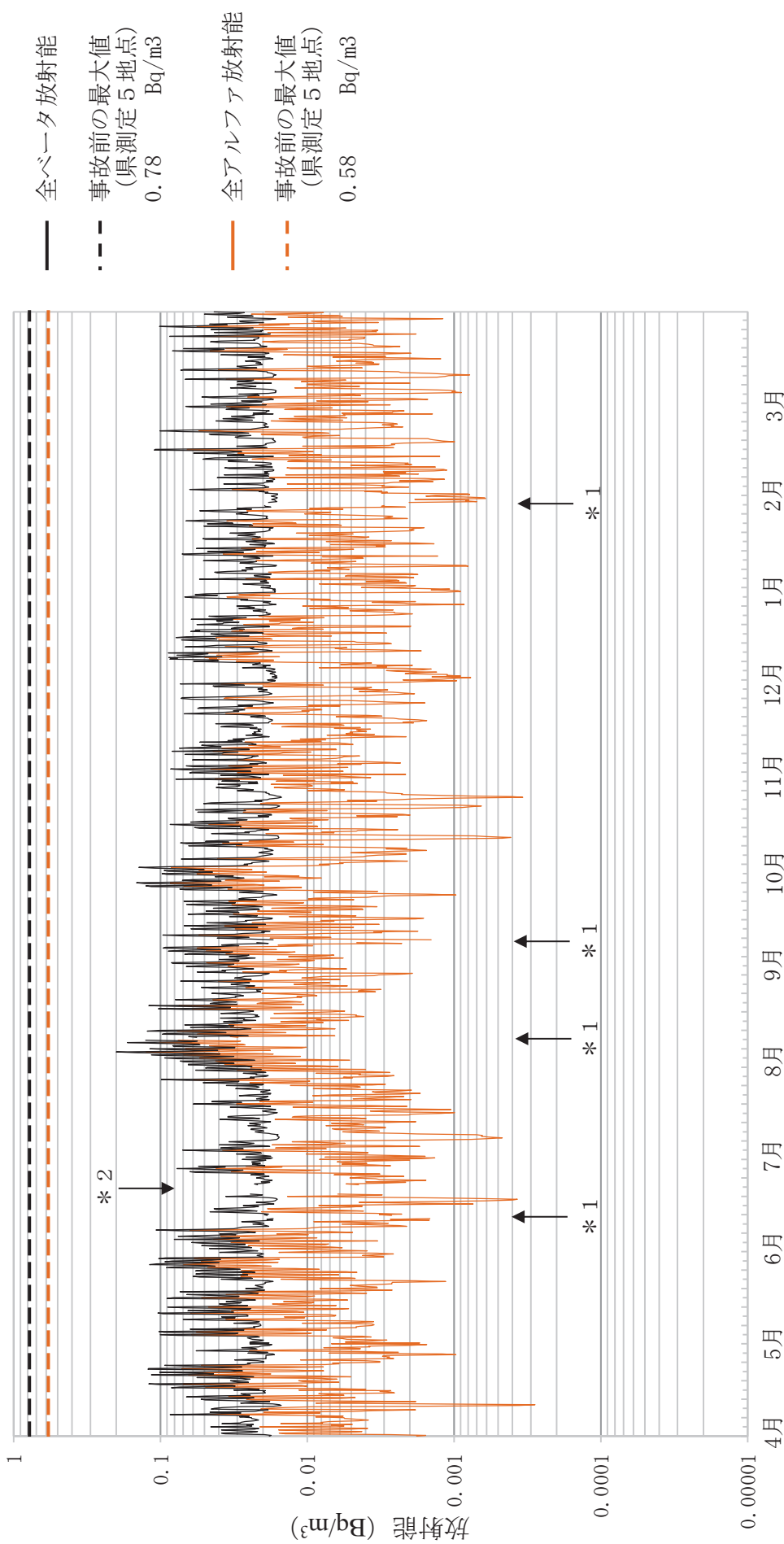
1 いわき市小川
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



* 1 6月2～5日は点検のため欠測
* 2 10月12日、1月29日、3月20日は停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

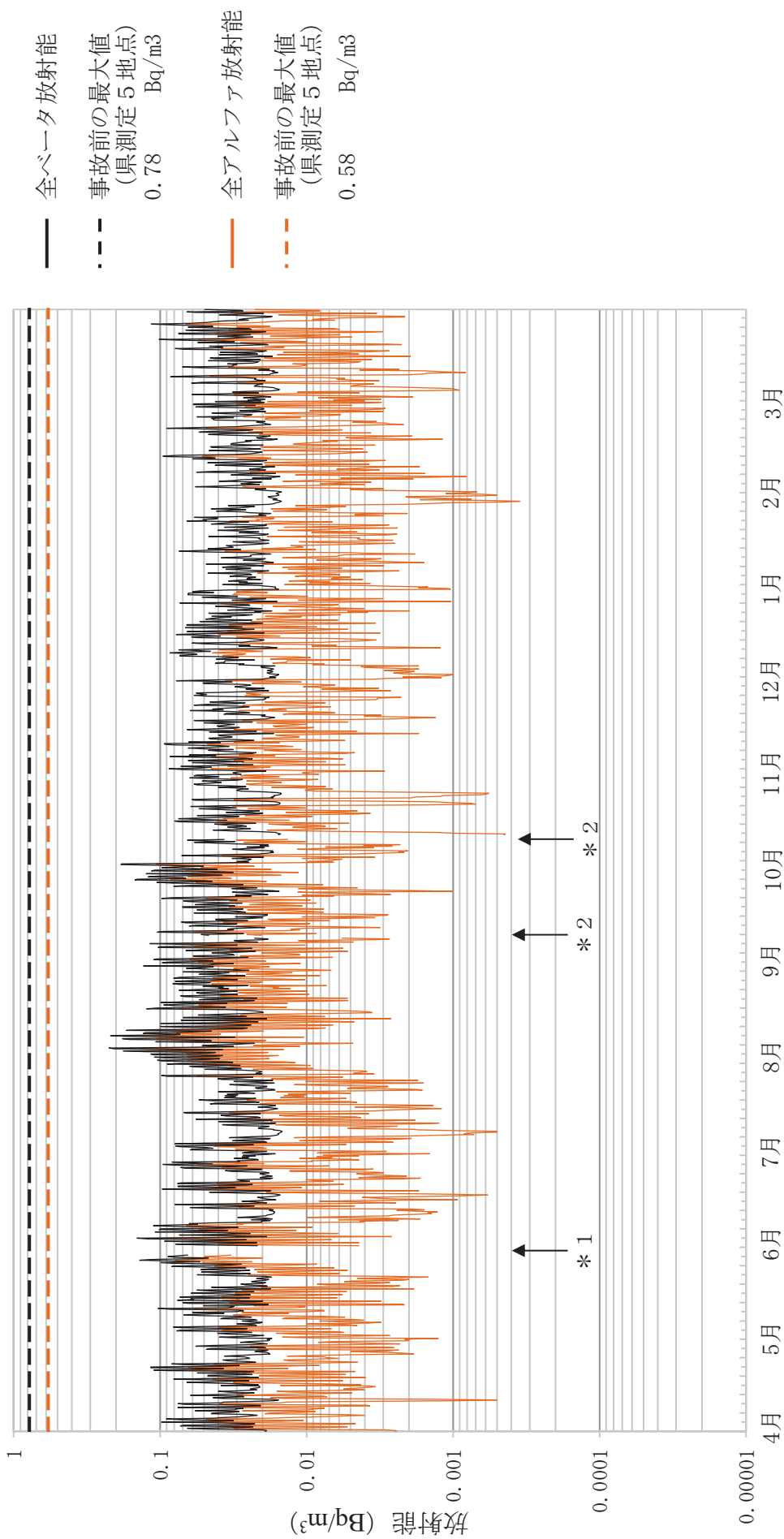


* 1 6月11日、8月8日、9日8～9日、1月29日は停電のため欠測

* 2 6月19～21日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

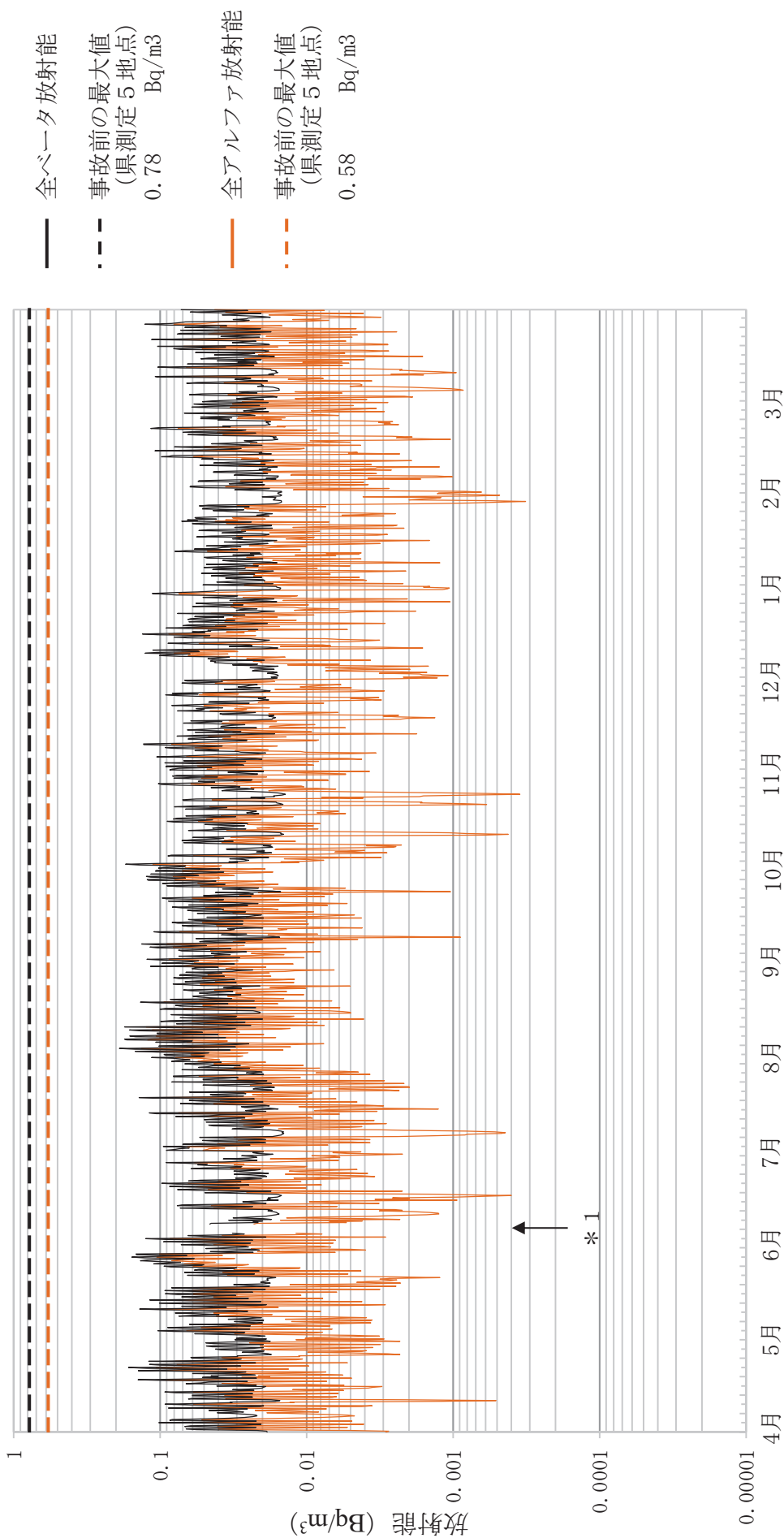


* 1 5月28～31日は点検のため欠測

* 2 9月9日、10月11～12日は停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 檜葉町木戸ダム
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

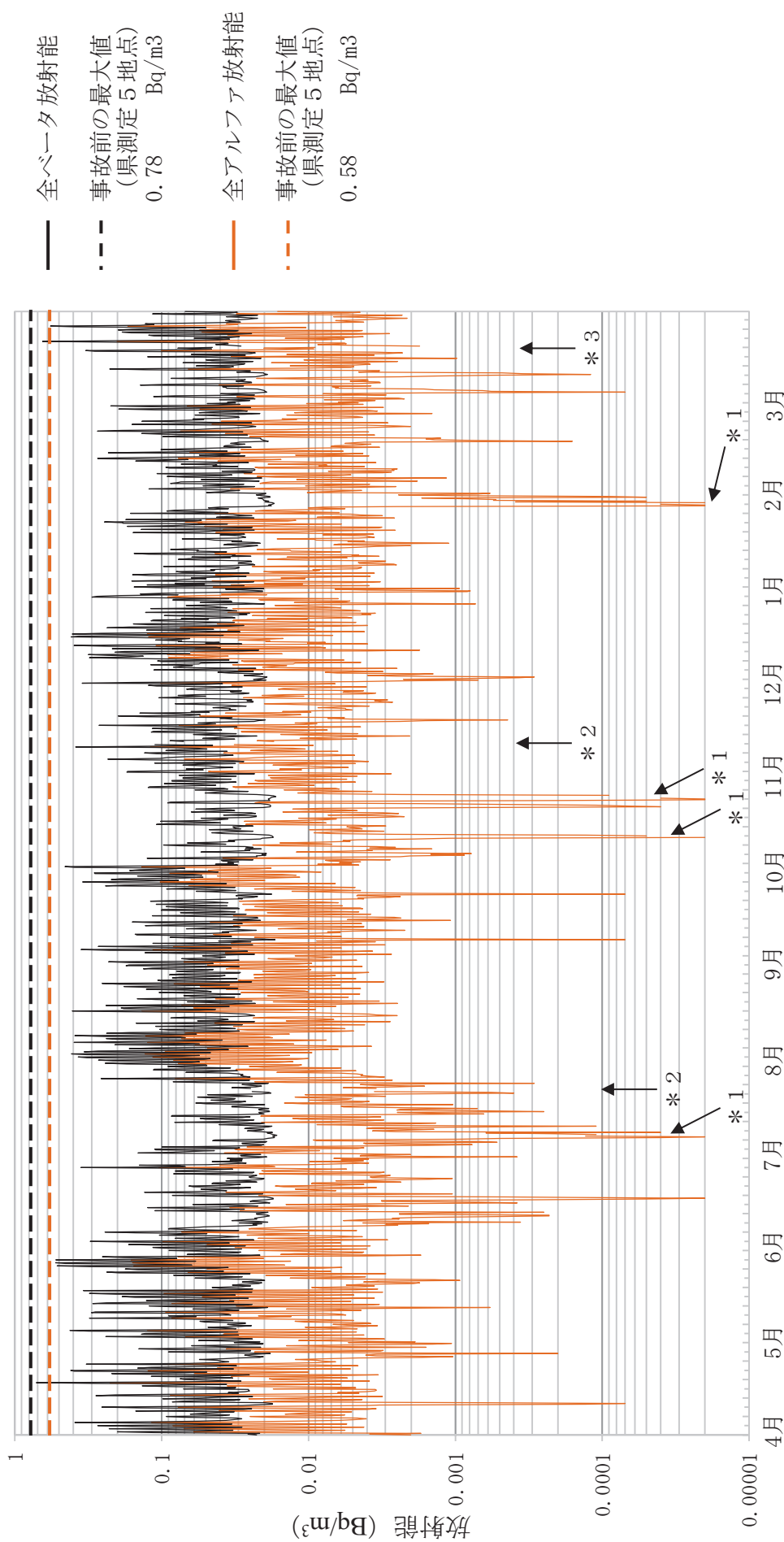


*1 6月5～7日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 榎葉町繁岡

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



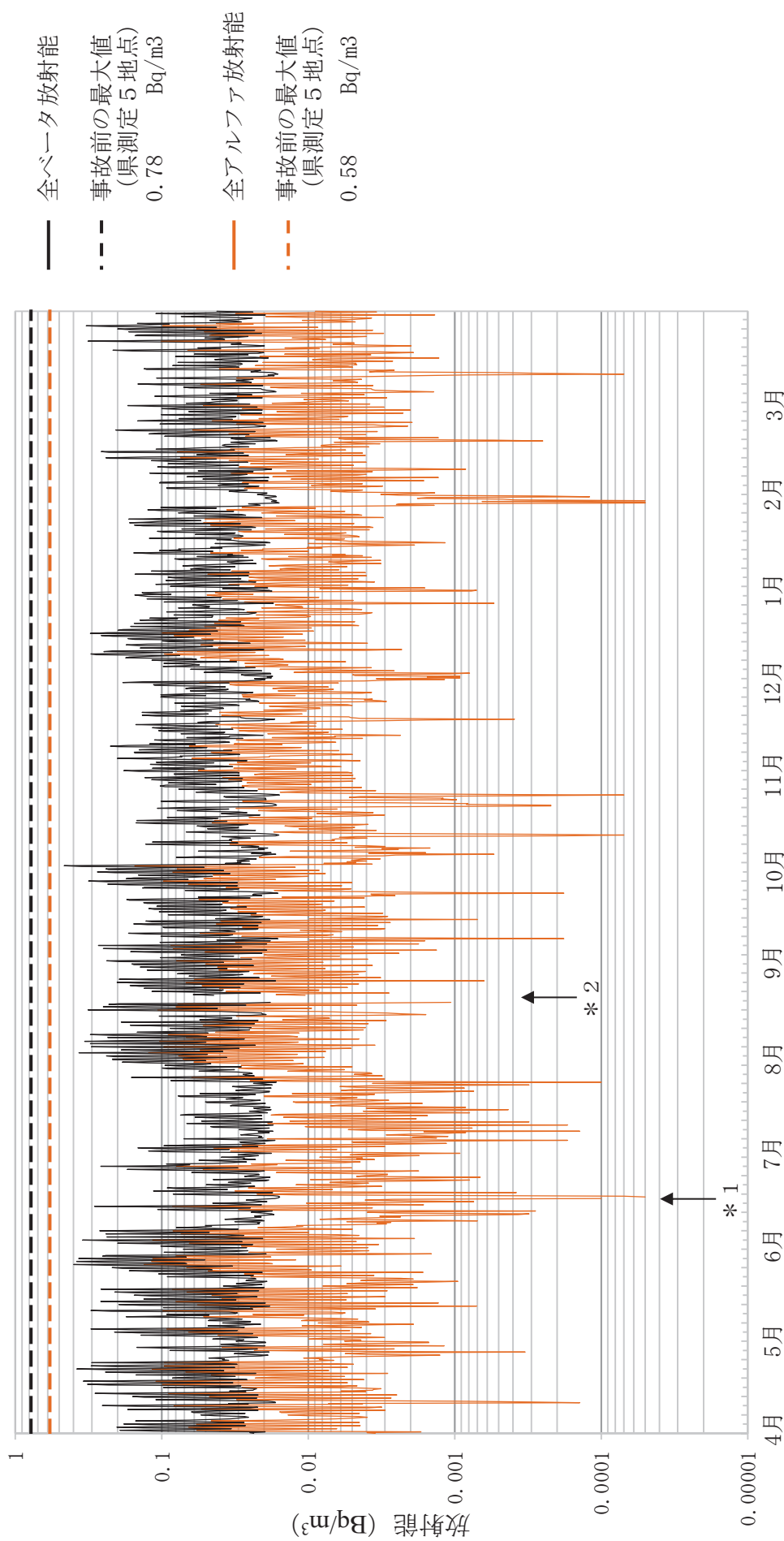
*1 7月7日18時、10月12日24時、25日18時～26日6時、1月29日12時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されない

*2 7月22日、11月12日は点検のため欠測

*3 3月20日はろ紙目詰まりによる流量低下に伴うポンプ停止のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

6 富岡町富岡
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

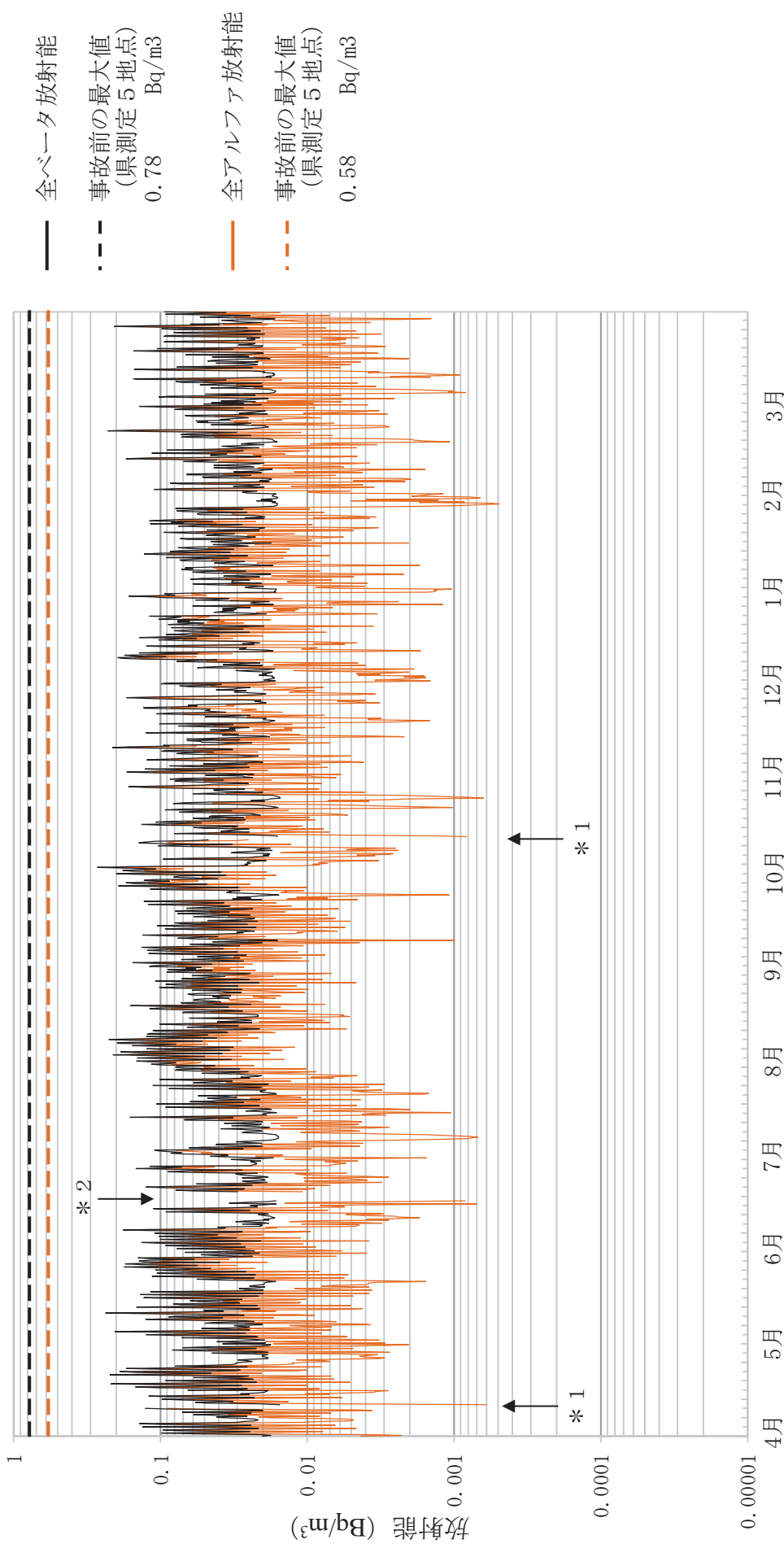


*1 6月17日0時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されない

*2 8月19～21日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)



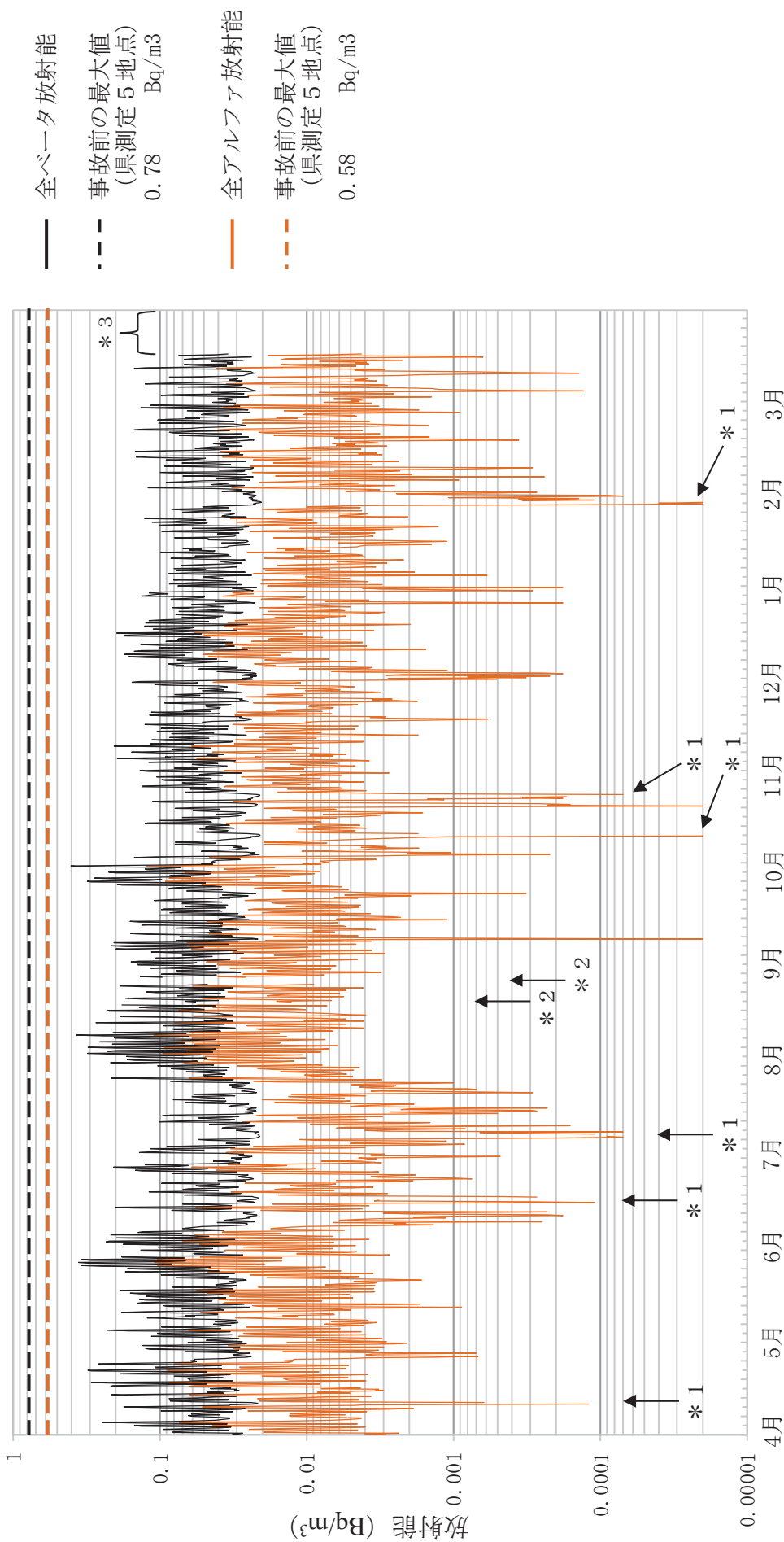
*1 4月10～11日、10月12日は停電のため欠測

*2 6月16～19日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

8 大熊町大野

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



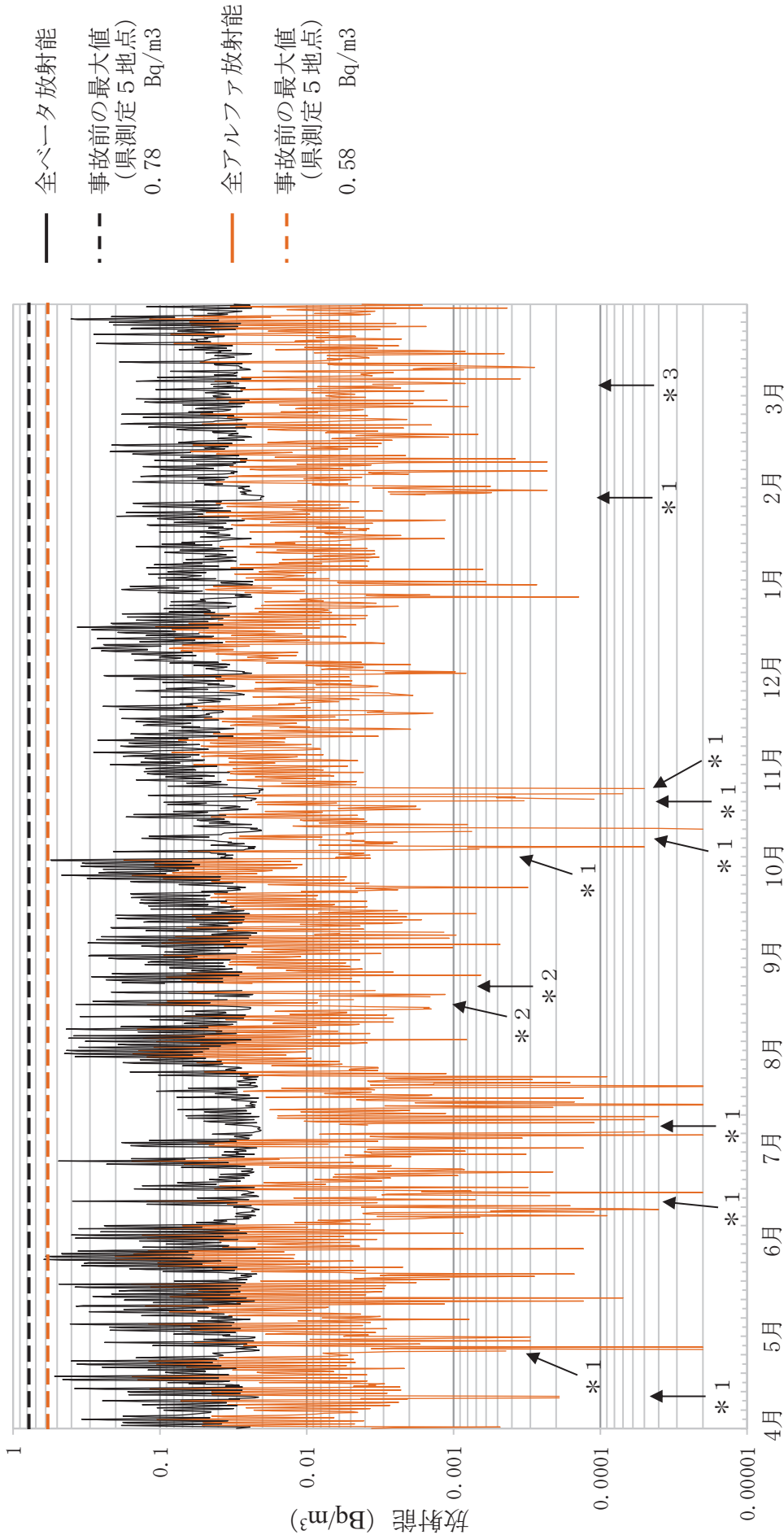
*1 4月11日12時、6月16日18時～17日6時、7月7日12～18時、10月13日12時、10月25日24時～26日6時、1月29日18時の全アルファ放射能は0 Bq/m³のため、対数グラフに表示されない。

*2 8月19日、25～27日は点検のため欠測

*3 3月18日以降は大野局移設に伴いテレメータ装置を撤去し、ろ紙送り停止のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

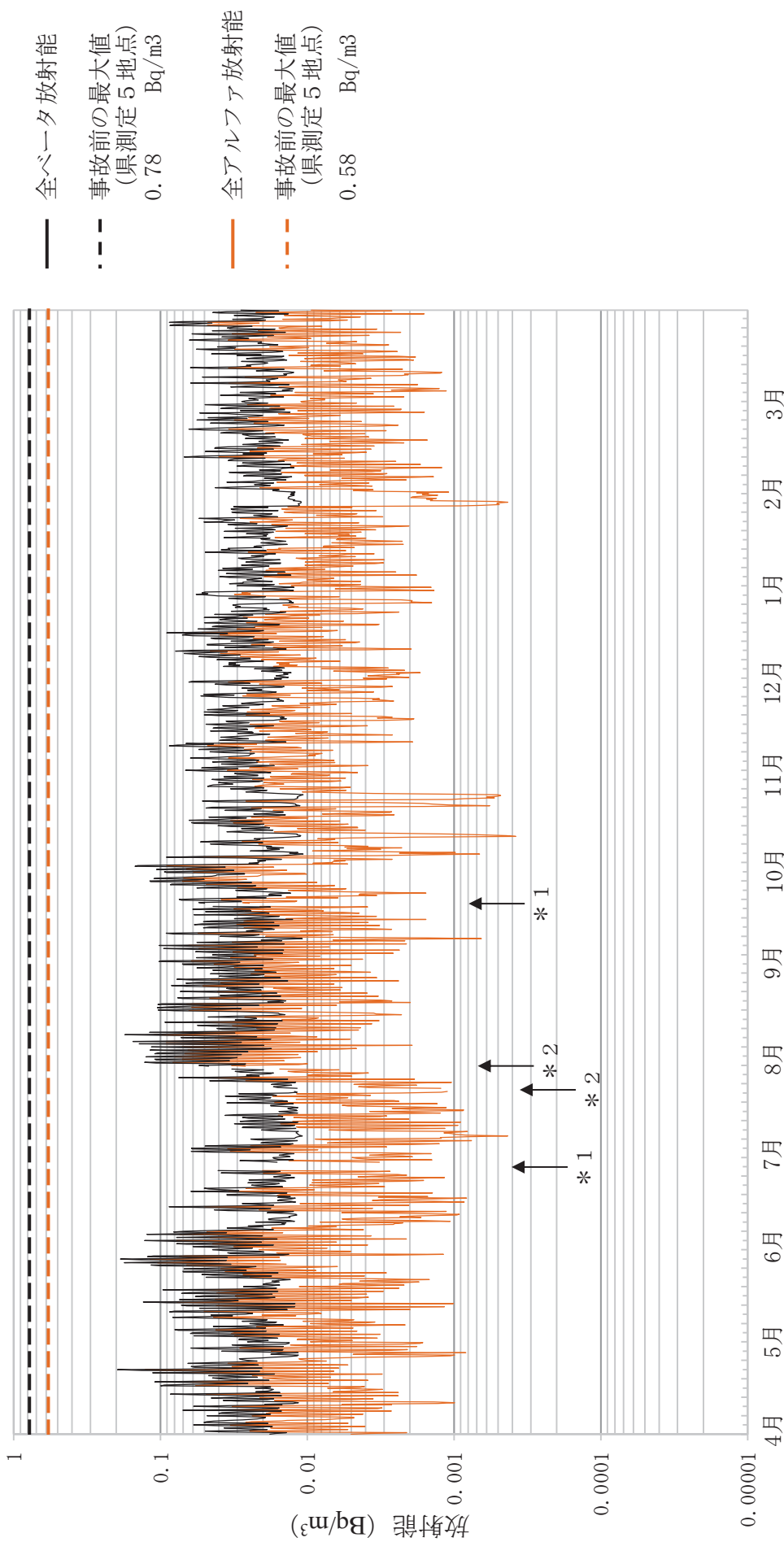
9 大熊町夫沢
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



- * 1 4月11日12時、26日18時、6月15日18時、7月6日24～8日18時、10月6日24時、12日18～24時、22日18時、24日24時～26日6時、1月28日6時～29日18時の全アルファ放射能は0 Bq/m³のため、対数グラフに表示されない。
- * 2 8月18～19日、21～23日は点検のため欠測
- * 3 3月5日は中性子検出器の設置作業に伴う欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

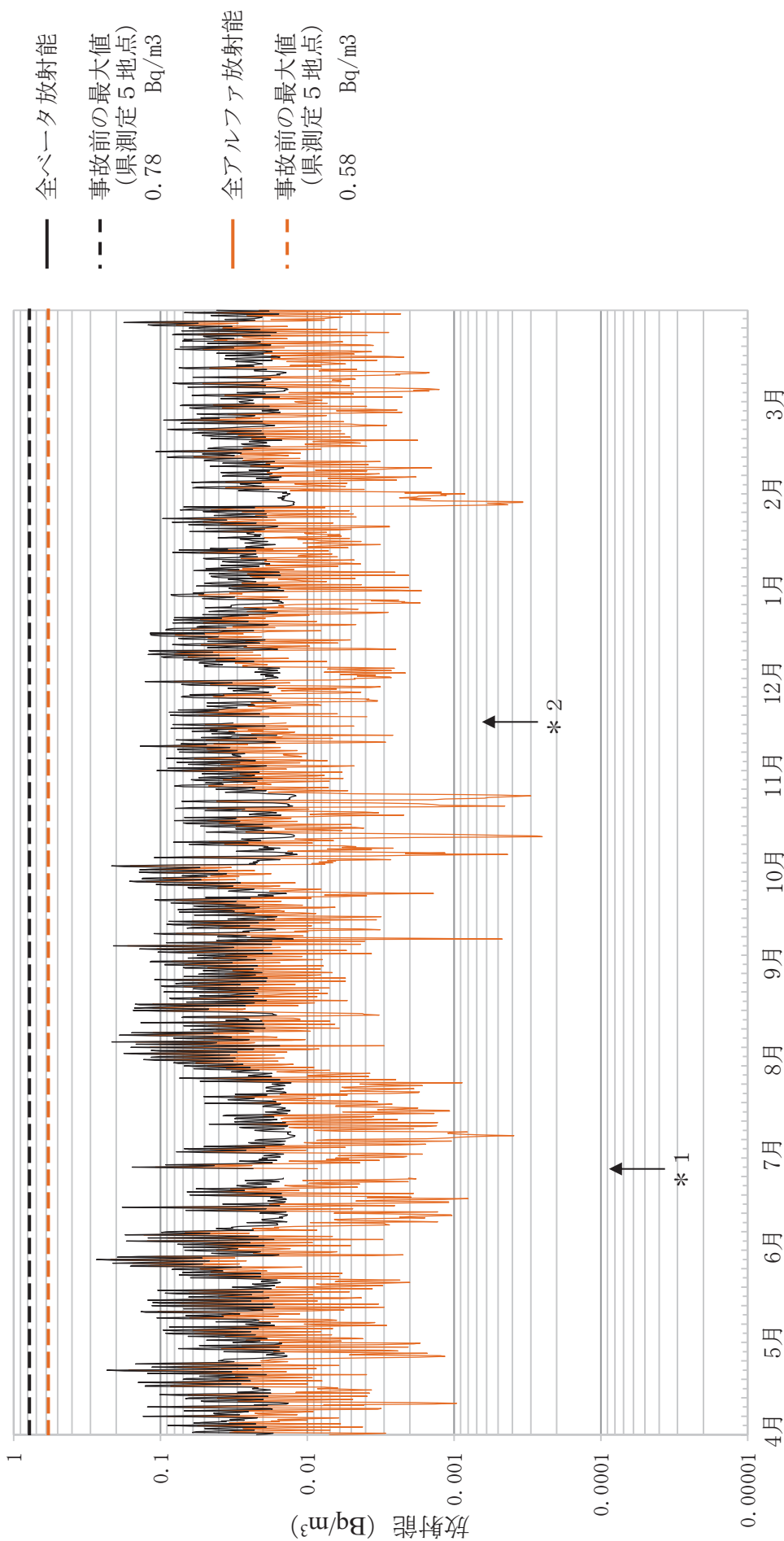


*1 6月26～28日、9月20日は点検のため欠測

*2 7月21～22日、29日は停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

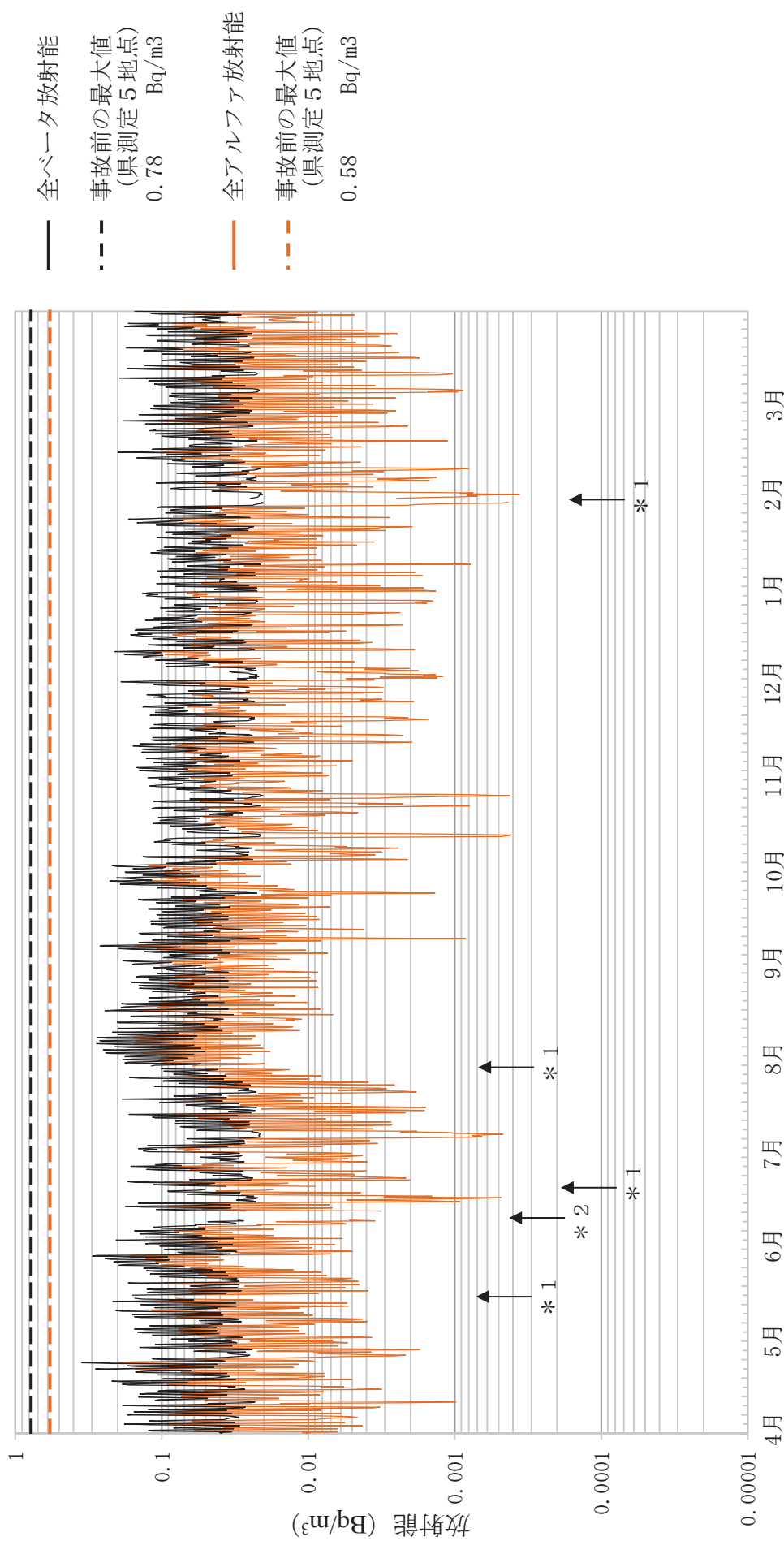


*1 6月23～26日は点検のため欠測

*2 11月18～20日は停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



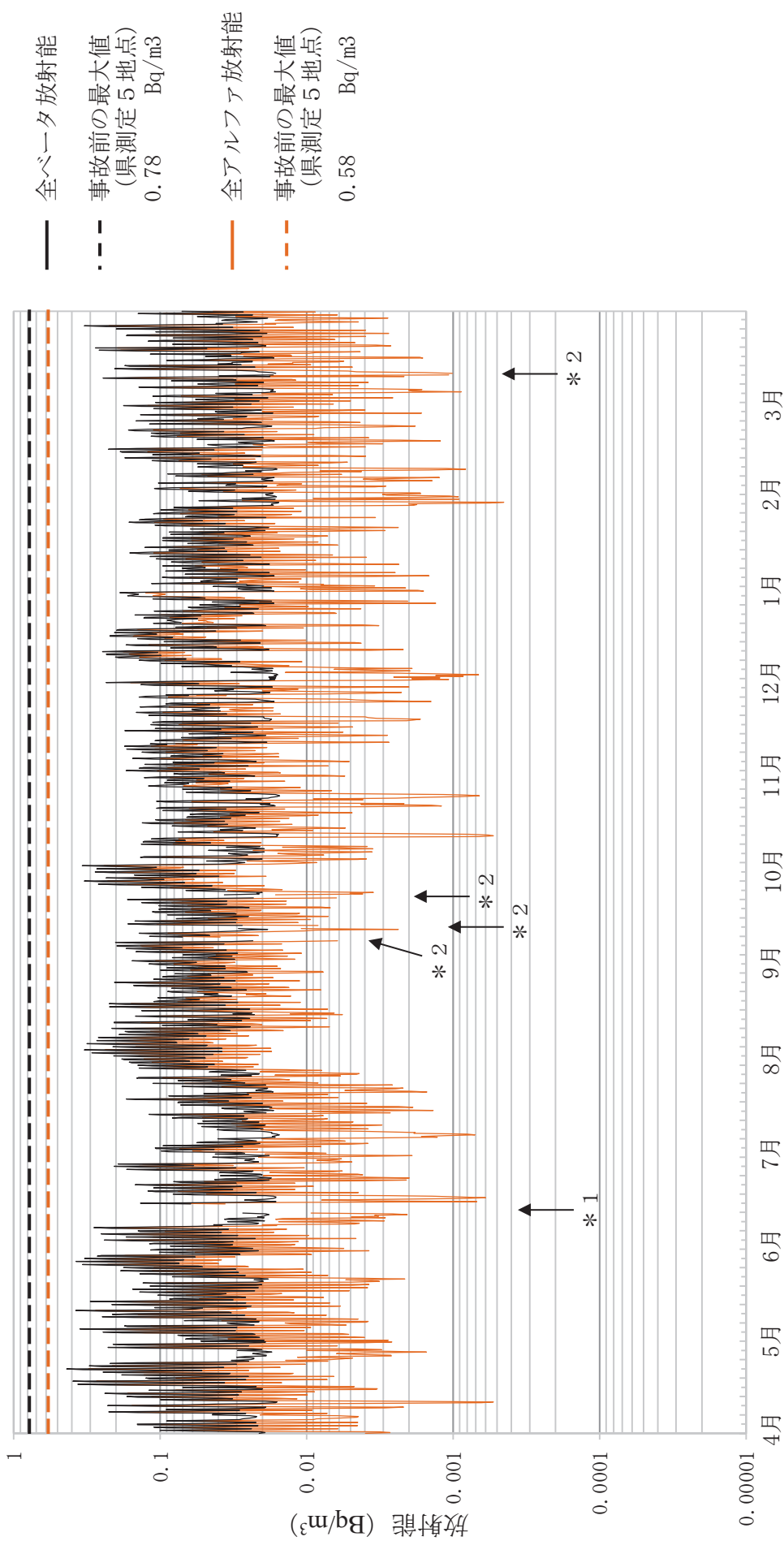
*1 5月15日、6月19～20日、7月29日、1月30日は停電のため欠測

*2 6月9～12日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

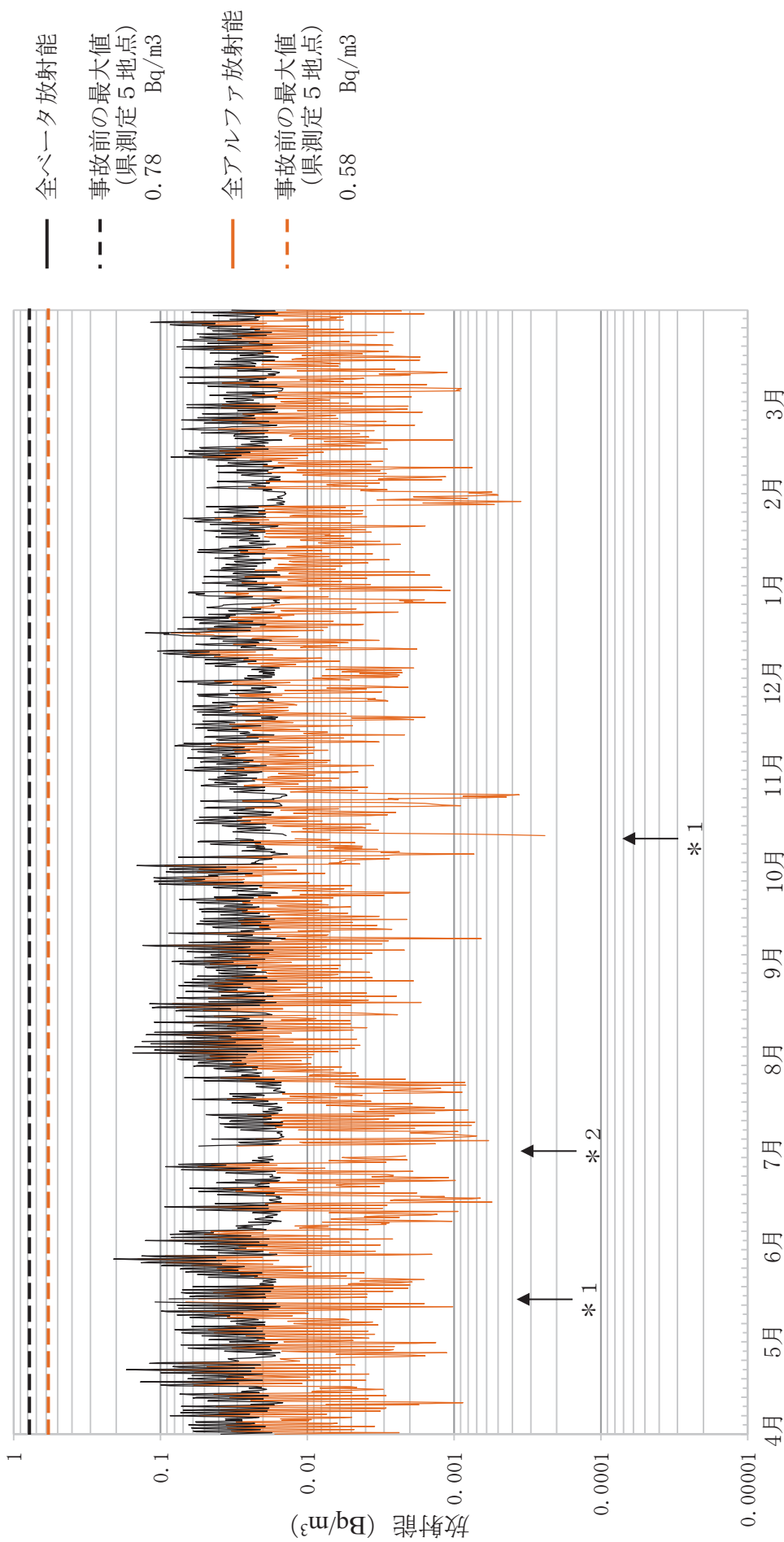


*1 6月12～14日は点検のため欠測

*2 9月8～9日、12～13日、22～23日、3月11日は停電のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

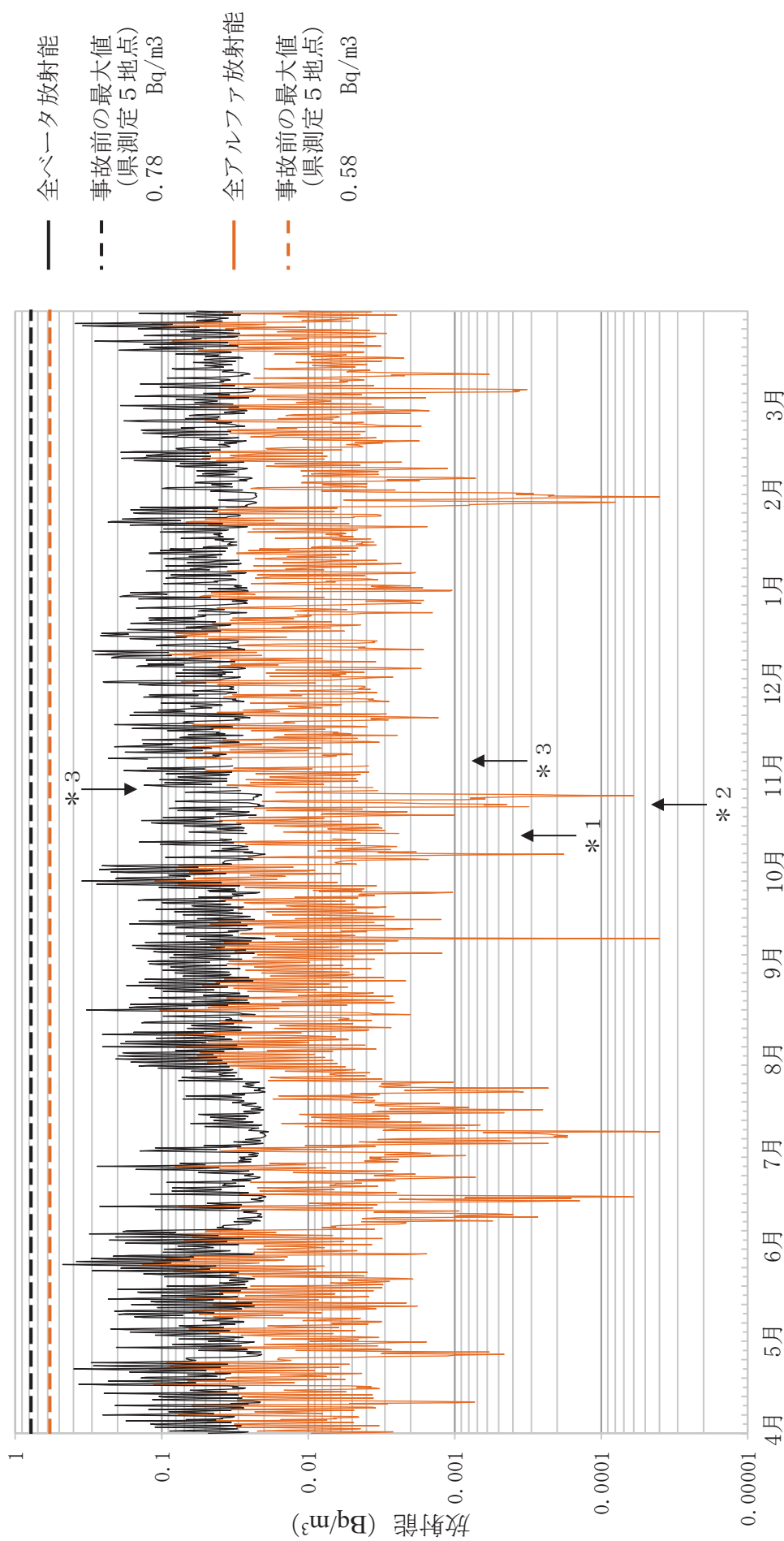


*1 5月14日、10月12日は停電のため欠測

*2 7月1～3日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

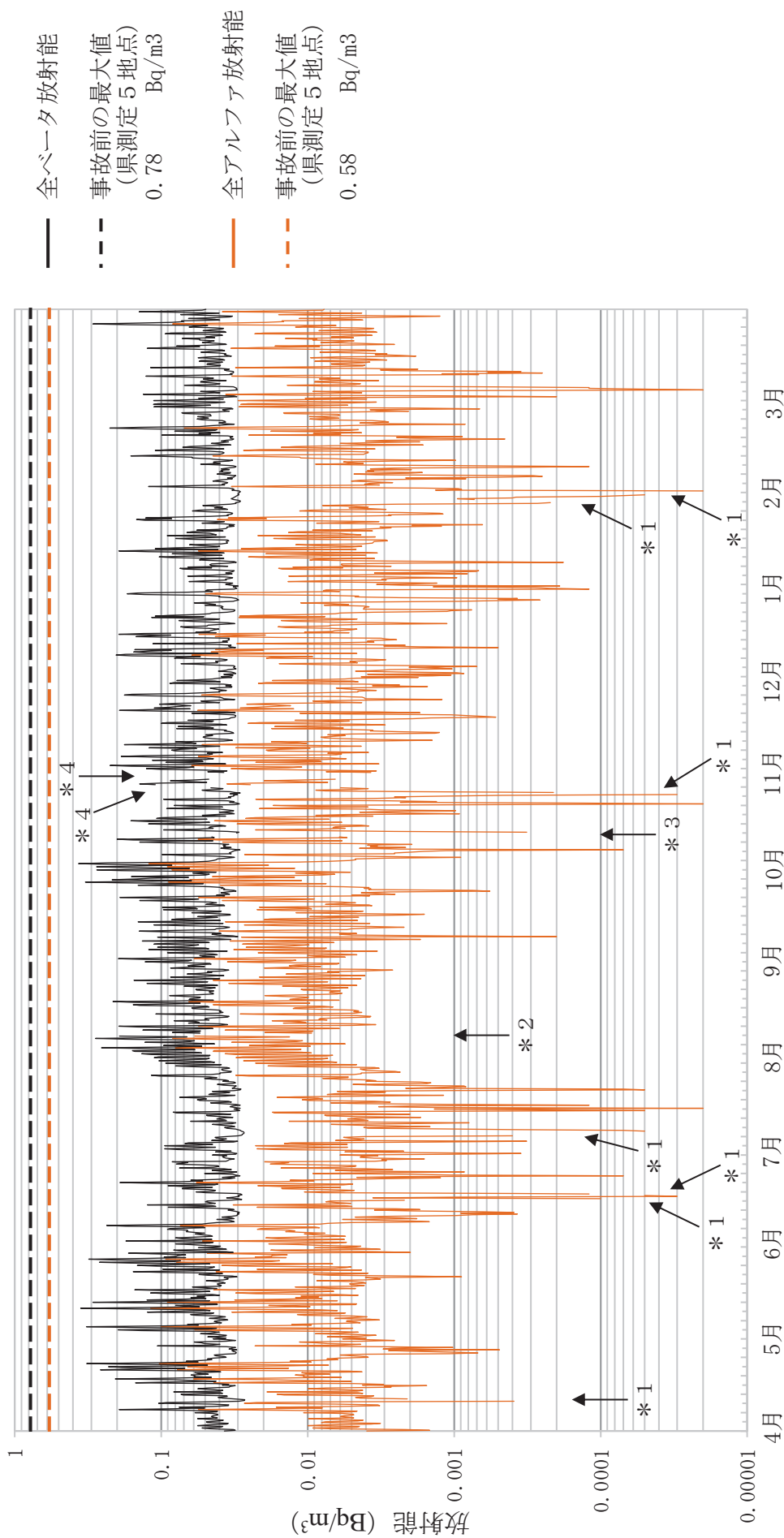
15 南相馬市萱浜
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



- *1 10月12～13日は台風に伴うろ紙目詰まりによる流量低下のため欠測
- *2 10月22日18時の全アルファ放射能は0 Bq/m³のため、対数グラフに表示されない
- *3 10月27～28日、11月4～6日は点検のため欠測

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

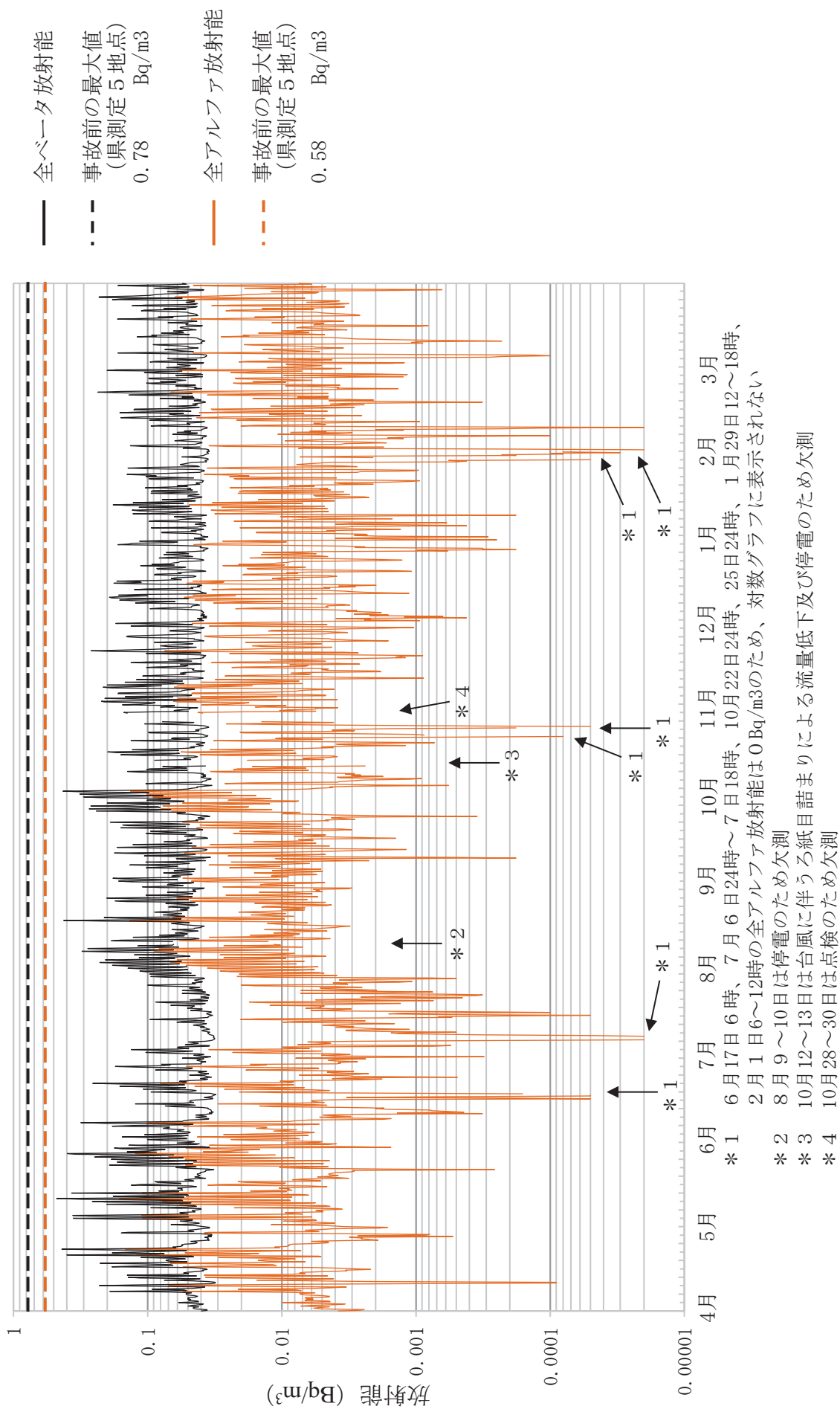
16 飯館村伊丹沢
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



- * 1 4月11日6、12時、6月15日18時、17日6時、7月6日18時～7日18時、10月25日24時～26日6時、1月29日6～18時、1月31日18時～2月1日12時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されない
- * 2 8月8日は停電のため欠測
- * 3 10月12日は台風に伴うろ紙目詰まりによる流量低下のため欠測
- * 4 10月28日、10月30日～11月1日は点検のため欠測

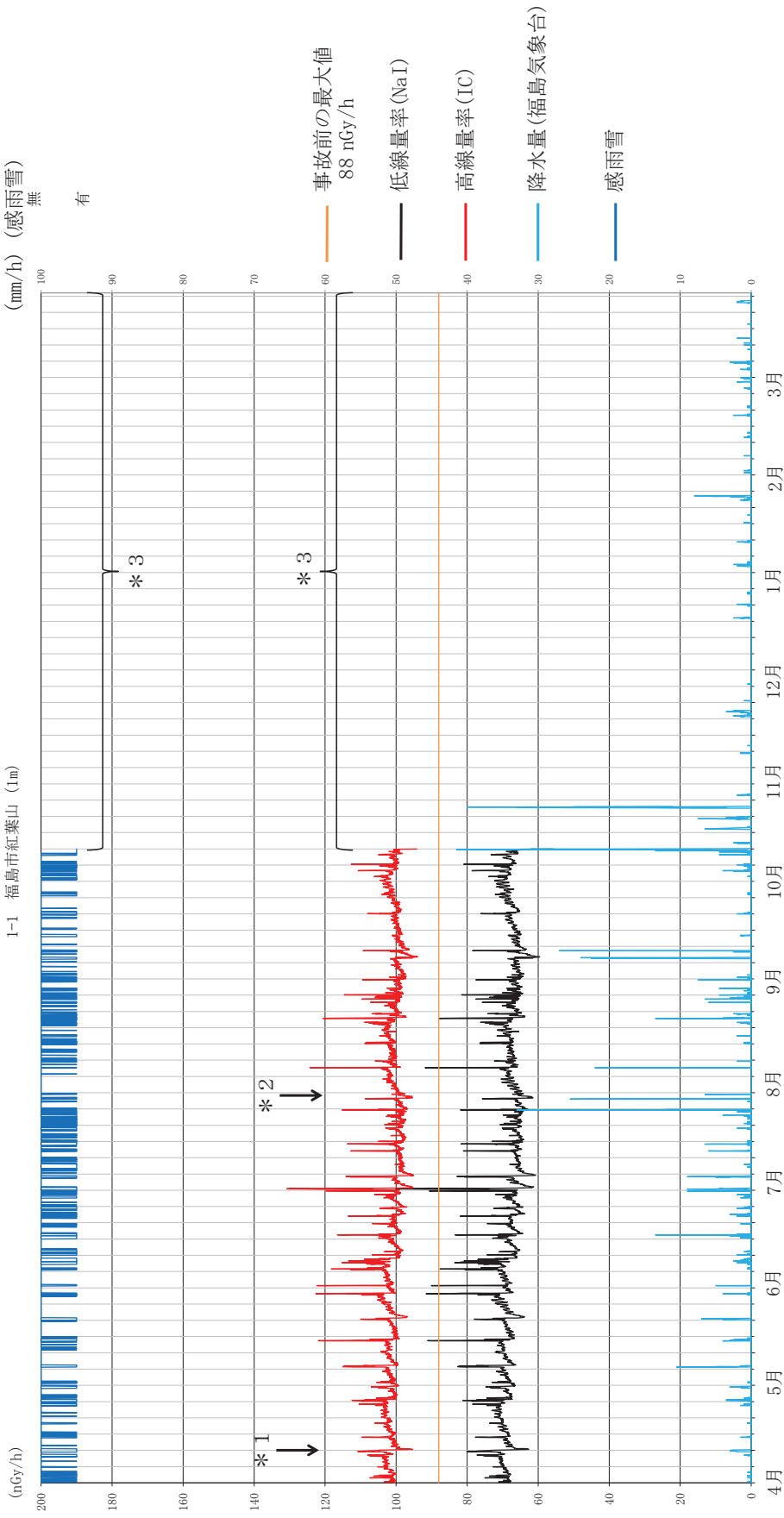
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

17 川俣町山木屋
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



空間線量率の変動グラフ

1-1 福島市紅葉山 (1m)



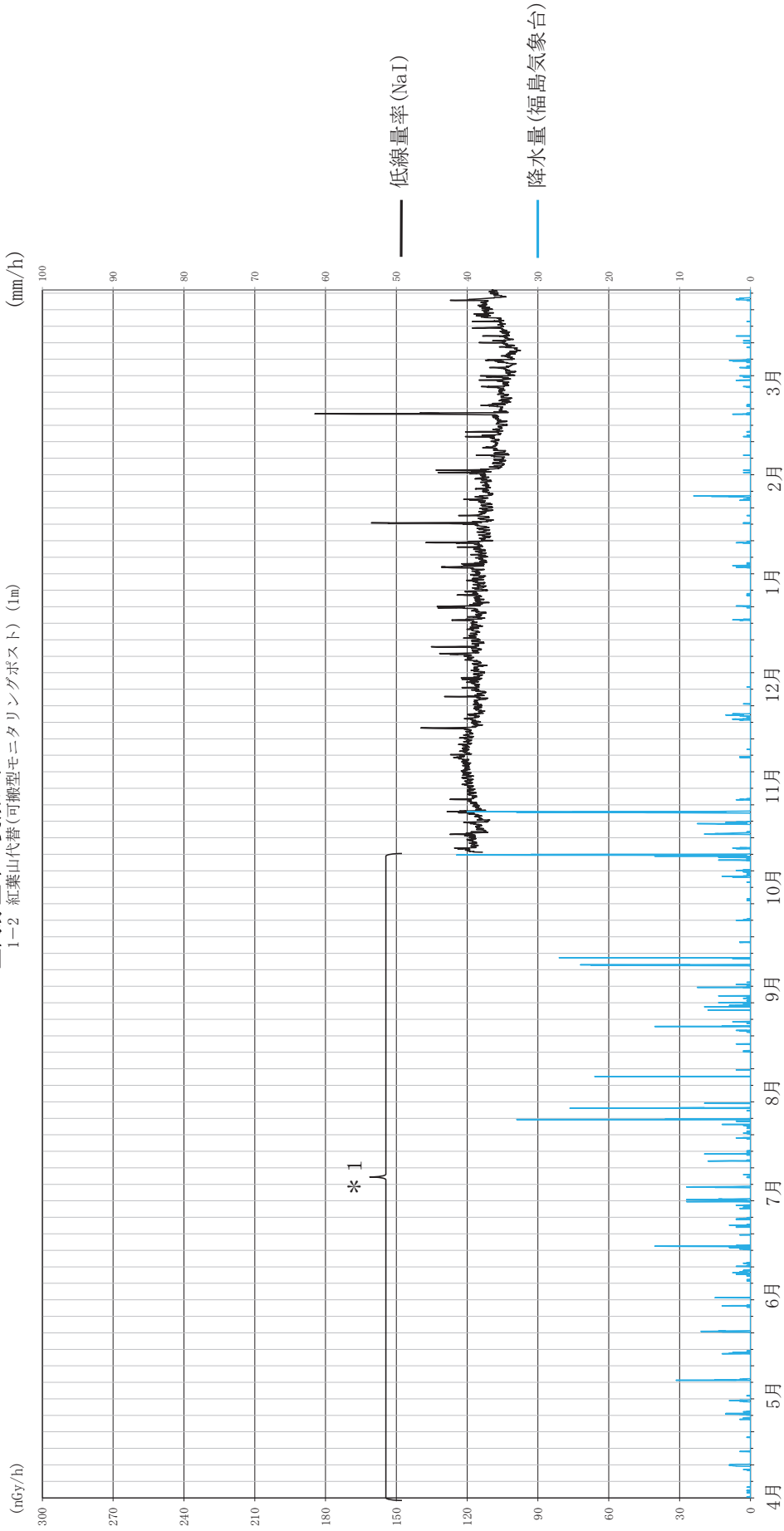
* 1 4月10～11日は積雪のため線量率低下

* 2 7月29日は点検のため欠測

* 3 10月12日以降は令和元年台風19号に伴う河川増水による局舎浸水のため欠測

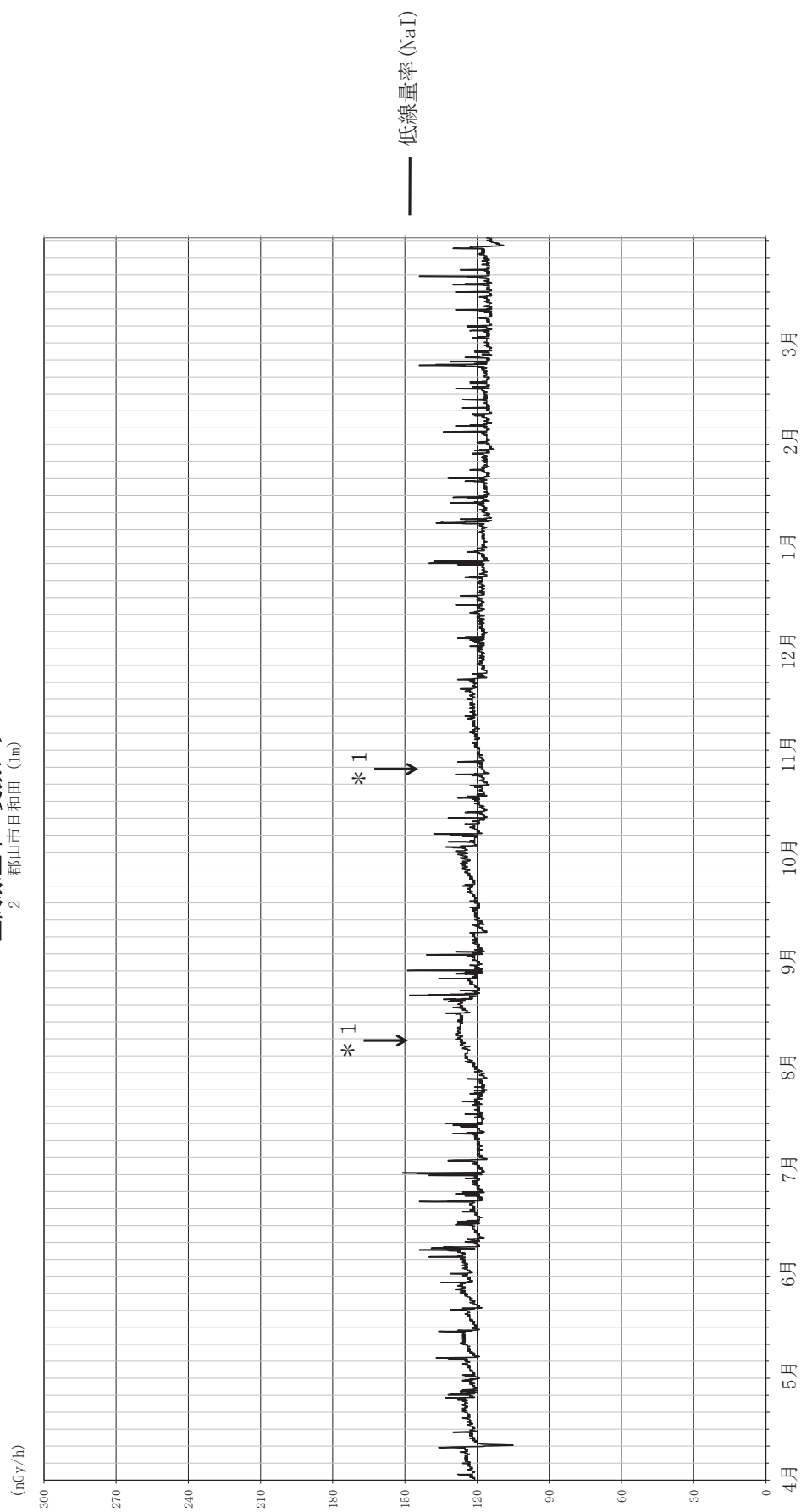
空間線量率の変動グラフ

1-2 紅葉山代管(可搬型モニタリングポスト) (1m)



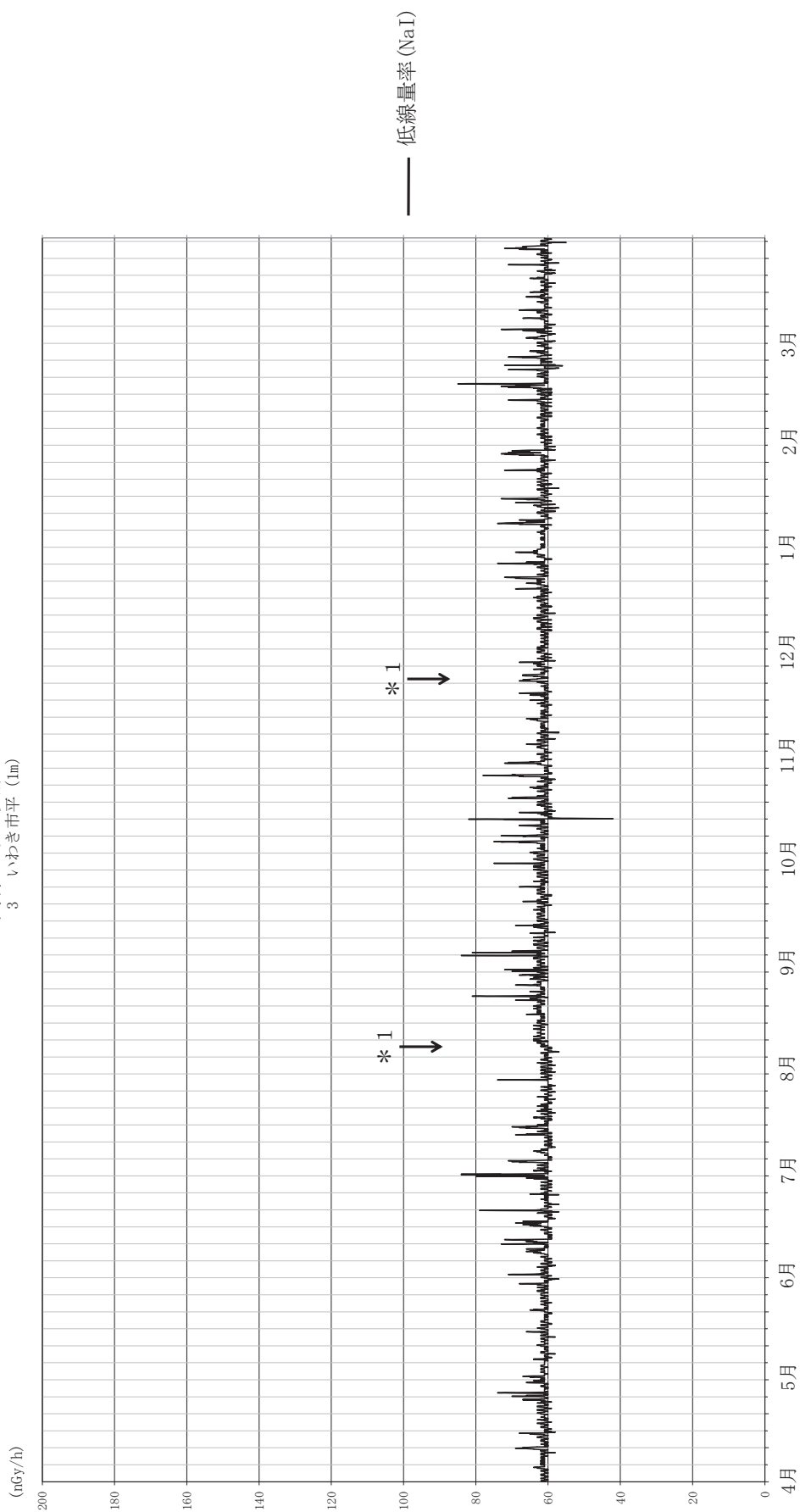
* 1 測定局浸水後、10月13日より紅葉山局から南西に約200mの場所で可搬型モニタリングポストによる代替測定を開始したため、10月12日までは測定データなし

空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田 (1m)



* 1 8月8日、10月28日は点検のため線量率欠測

空間線量率の変動グラフ
3 いわき市平 (1m)



* 1 8月7日、11月24日は点検のため線量率欠測

令和元年度

原子力発電所周辺
環境放射能測定結果

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所

福島第二原子力発電所

目 次

第1	測定結果の概要	1
第2	東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分	3
2-1	測定項目	3
2-1-1	空間放射線	
	（1）空間線量率	3
	（2）空間積算線量	3
2-1-2	環境試料	
	（1）環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度	3
2-2	測定方法	5
2-3	測定結果	6
2-3-1	空間放射線	
	（1）空間線量率	6
	（2）空間積算線量	10
2-3-2	環境試料	
	（1）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	12
	（2）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）	14
	（3）環境試料中の放射性ストロンチウム濃度	15
	（4）環境試料中のプルトニウム放射能濃度	15
	（5）環境試料中のアメリシウム放射能濃度	16
	（6）環境試料中のキュリウム放射能濃度	16
2-4	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	17
2-4-1	空間放射線	
	（1）空間線量率	17
	（2）空間積算線量	18
2-4-2	環境試料	
	（1）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	19
	（2）大気浮遊じんの核種濃度	20
	（3）環境試料中の核種濃度	21
第3	東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分	22
3-1	測定項目	
3-1-1	空間放射線	
	（1）空間線量率	22
	（2）空間積算線量	22
3-1-2	環境試料	
	（1）環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度	22
3-2	測定方法	24
3-3	測定結果	25
3-3-1	空間放射線	
	（1）空間線量率	25
	（2）空間積算線量	28
3-3-2	環境試料	
	（1）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	30
	（2）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）	32
	（3）環境試料中の放射性ストロンチウム濃度	33
	（4）環境試料中のプルトニウム放射能濃度	33
	（5）環境試料中のアメリシウム放射能濃度	34
	（6）環境試料中のキュリウム放射能濃度	34

3-4	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
3-4-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	35
	(2) 空間積算線量	36
3-4-2	環境試料	
	(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	37
	(2) 大気浮遊じんの核種濃度	38
	(3) 環境試料中の核種濃度	39
第4	参考資料	40
4-1	原子力発電所の運転状況等	40
	(1) 福島県の原子力発電所一覧	40
	(2) 設備利用率	40
	(3) 運転状況	41
	(4) 放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出状況	43
4-2	試料採取時の付帯データ集	48
	(1) 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分	48
	ア 環境試料	48
	イ 気象測定結果	49
	(2) 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所測定分	50
	ア 環境試料	50
	イ 気象測定結果	51
4-3	環境試料測定日	52
4-3-1	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分	52
4-3-2	東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所測定分	53
4-4	環境試料の核種濃度の検出限界について	54
4-4-1	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分	54
4-4-2	東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所測定分	55
4-5	空間線量率等の変動グラフ	56
<参考>	地下水バイパス及びサブドレン他浄化設備の処理済水の評価	77
<参考>	モニタリングポスト周辺環境改善対策について	88

この報告書は、令和2年9月16日に文書開催された「環境モニタリング評価部会」において、令和元年度年報の測定結果について報告し、検討されたものを取りまとめたものです。

第 1 測定結果の概要

令和元年度に東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所が実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりであり、福島第一原子力発電所の事故の影響を受けた空間線量率については事故前の測定値の範囲を上回り、環境試料については一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っているが、年月の経過とともに減少傾向となっている。

1. 空間放射線（6～11 ページ，25～29 ページ）

（1）空間線量率

福島第一原子力発電所 8 地点及び福島第二原子力発電所 7 地点でモニタリングポストにより発電所敷地境界付近の空間線量率を常時測定した。

各測定地点の年間平均値の範囲は $0.088 \mu\text{Gy/h}$ (88nGy/h :福島第二原子力発電所南側のMP 7) から、 $1.290 \mu\text{Gy/h}$ (1290nGy/h :福島第一原子力発電所北西側のMP 4) であり、最大値の範囲は $0.135 \mu\text{Gy/h}$ (135nGy/h :福島第二原子力発電所南側のMP 7) から、 $1.487 \mu\text{Gy/h}$ (1487nGy/h :福島第一原子力発電所北西側のMP 4) であり、共に全ての地点で事故前の測定値の範囲を大きく上回った。

なお、各地点の測定値は月間平均値の変化に見られるように、年月の経過とともに減少傾向にある。

[平成 30 年度の年度平均値の範囲は $0.096 \mu\text{Gy/h}$ ～ $1.522 \mu\text{Gy/h}$ (96nGy/h ～ 1522nGy/h)]

（2）空間積算線量

福島第一原子力発電所 21 地点及び福島第二原子力発電所 18 地点で蛍光ガラス線量計により発電所敷地境界付近及び発電所周辺の近隣町の空間積算線量を測定した。

年間相当値は 0.78mGy (福島第二原子力発電所南側のMP 7) から、 35mGy (福島第一原子力発電所南側のMP 8) であり、全ての地点で事故前の測定値の範囲を大きく上回った。

なお、四半期毎の各地点の測定値は、年月の経過とともに減少傾向にある。

[平成 30 年度の年間相当値の範囲は 0.82mGy ～ 44mGy]

2. 環境試料（12～16 ページ，30～34 ページ）

（1）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

福島第一原子力発電所が 2 地点 (MP 3 及びMP 8) 及び福島第二原子力発電所が 2 地点 (MP 1 及びMP 7) でダストモニタにより発電所敷地境界付近の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を連続測定した。

全アルファ放射能の年間平均値は 0.011Bq/m^3 (福島第一原子力発電所のMP 8) から、 0.015Bq/m^3 (福島第一原子力発電所のMP 3, 福島第二原子力発電所のMP 1), 最大値は 0.096Bq/m^3 (福島第一原子力発電所のMP 8) から、 0.16Bq/m^3 (福島第二原子力発電所のMP 1) であり、事故前の測定値の範囲を若干上回ったが、事故により汚染した発電所周辺土壌の舞い上がりによる影響と思われる。

全ベータ放射能の年間平均値は 0.030Bq/m³（福島第二原子力発電所のMP 7）から、0.052Bq/m³（福島第一原子力発電所のMP 3）、最大値は 0.17Bq/m³（福島第一原子力発電所のMP 8、福島第二原子力発電所のMP 7）から、0.65Bq/m³（福島第一原子力発電所のMP 3）であり、事故前の測定値の範囲を若干上回ったが、事故により汚染した発電所周辺土壌の舞い上がりによる影響と思われる。

（2）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

大気浮遊じん、土壌、海水、海底土、指標植物（松葉）、指標海洋生物（ほんだわら）について、福島第一原子力発電所で 61 試料、福島第二原子力発電所で 61 試料の核種分析（ガンマ線放出核種とトリチウム）の測定を実施した。

セシウム-137 については、全ての試料から事故前の測定値の範囲を上回る値が検出されたが、年月の経過とともに減少または横ばい傾向にある。

セシウム-134 については、福島第二原子力発電所の大気浮遊じんと海水・松葉・ほんだわらの一部を除く、全ての試料から事故前の測定値の範囲を上回る値が検出されたが、年月の経過とともに減少する傾向にある。

また、福島第一原子力発電所の海水の一部から事故前の過去の測定値の範囲と同程度のトリチウムが検出された。

（3）環境試料中の核種濃度（ストロンチウム-90、プルトニウム-238, 239+240, アメリシウム-241, キュリウム-244）

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の土壌各 4 試料について、ストロンチウム・プルトニウム・アメリシウム・キュリウムの測定を実施した。

また、福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の海水各 3 試料、海底土各 2 試料について、ストロンチウムの測定を実施した。

ストロンチウムについては、福島第二原子力発電所の土壌と海水・海底土の一部を除く全ての試料から、事故前の測定値を上回るストロンチウム-90 が検出されているが、事故直後と比較すると概ね減少傾向にある。

プルトニウム・アメリシウム・キュリウムについては、プルトニウム-239+240 及びアメリシウム-241 が土壌 8 試料全てから検出された。なお、プルトニウム-239+240 については、事故前に福島県内で測定された値と同程度である。（福島県測定値参照）

なお検出された核種については、事故直後と比較し測定値の変動はあるが、概ね横ばい傾向にある。これら核種は、事故後から測定を開始している。

以上

第2 東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分

2-1 測定項目

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図2-1に示す。

2-1-1 空間放射線

2-1-1-1 (1) 空間線量率

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	8地点	連続	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所

2-1-1-1 (2) 空間積算線量

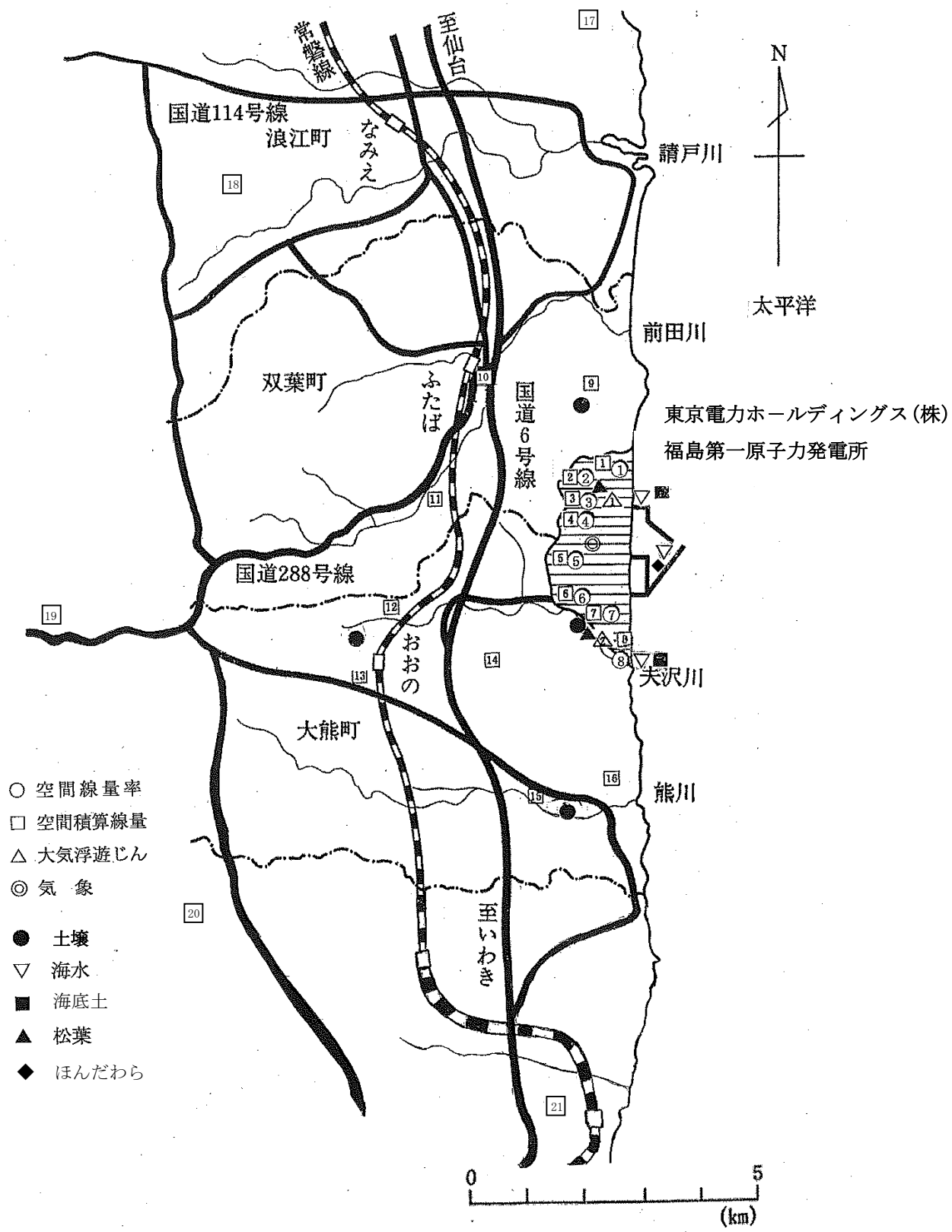
測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	8地点	3か月積算	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所
発電所敷地外	13地点		

2-1-2 環境試料

2-1-2-1 (1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん (地表上約3m)	発電所敷地境界付近	連続	約90m ³ /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所
			12回/年	1か月分の集じんの紙	ガンマ線放出核種濃度	
土壌	土壌 (表土, 0~5cm)	発電所敷地内 大熊町下野 大熊町熊川 双葉町郡	2回/年	1kg	ガンマ線放出核種濃度	
			1回/年	0.5kg	ストロンチウム-90 プルトニウム-238, 239+240 アメリカシウム-241 キュリウム-244	
海水	海面水	発電所取水口 発電所南放水口 発電所北放水口	4回/年	40ℓ	ガンマ線放出核種濃度	
			1回/年	1ℓ	トリチウム濃度	
海底土	海底土 (海砂又は海底土)	発電所南放水口 発電所北放水口	4回/年	1kg	ガンマ線放出核種濃度	
			1回/年	1kg	ストロンチウム-90	
指標植物	松葉 (葉)	M P - 3 付近 環境管理棟付近	4回/年	40g	ガンマ線放出核種濃度	
指標海洋生物	ほんだわら (葉茎)	発電所港湾内	1回/年	2kg	ガンマ線放出核種濃度	

福島第一原子力発電所 環境モニタリング地点図



2-2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：アルゴンガス封入式球形電離箱 (富士電機, 高純度アルゴンガス8気圧140) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Ra-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」 (平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計, 旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	大気浮遊全アルファ及び全放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん, 6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式, 使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m ³ /6時間 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータのはり合わせ検出器 (Aloka ADC-121R2) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U ₃ O ₈ 、Am-241
	核種濃度	Ge半導体検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 大気浮遊じんは1カ月の集じんろ紙をU8容器に入れ測定。 土壌・海底土は乾燥後に測定。 松葉(指標植物)は生試料により測定。 海水は, リンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン共沈法で処理後測定。 ほんだわら(指標海洋生物)は乾燥試料により測定。 測定器：Ge半導体検出器 (ORTEC GEM35-76-LB-A-S型) 波高分析器 (SEIKO EG&G MCA-7シリーズ(4096ch))
		ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14改訂) 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測定器：ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (Aloka LSC-LB7型)
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうちイオン交換法(平成15年改訂) 測定器：ローバックグラウンドガスフロー計数装置 (Aloka LBC-4202B型) 校正線源：Sr-90
プルトニウム-238 プルトニウム-239+240濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性プルトニウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析	
アメリカシウム-241 キュリウム-244濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性アメリカシウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析	

2-3 測定結果

2-3-1 空間放射線

2-3-1-1 (1) 空間線量率

今年度の測定結果を表2. 1に示す。

各測定地点の年間平均値は417～1,290nGy/h、最小値は303～1,035nGy/h、最大値は449～1,487nGy/hであった。

年間平均値及び最大値は、事故前の年間平均値及び最大値を大きく上回っていた。

なお、各地点における測定値は、年月の経過とともに減少傾向にあった。

各測定地点における空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移を図2. 2に示す。

表2. 1 空間線量率の測定結果（年間平均値及び最小値、最大値）

(単位：nGy/h)

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値の範囲 ^{*3}		
		平均値 ^{*1}	最小値 ^{*2}	最大値 ^{*2}	平成26年度～	事故直後	事故前
					平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	MP-1	725	544	787	813 ～ 2,114 (2,470)	2,708 ～ 9,297 (13,638)	37 ～ 41 (152)
2	MP-2	1,037	753	1,161	1,217 ～ 3,820 (4,494)	4,825 ～ 33,117 (43,104)	40 ～ 43 (188)
3	MP-3	703	516	799	840 ～ 4,200 (5,084)	5,525 ～ 32,250 (52,907)	37 ～ 40 (171)
4	MP-4	1,290	1,035	1,487	1,522 ～ 3,763 (1,705)	4,955 ～ 31,041 (53,553)	37 ～ 41 (167)
5	MP-5	926	666	1,077	1,082 ～ 3,979 (4,816)	5,207 ～ 55,192 (114,011)	32 ～ 35 (143)
6	MP-6	417	303	449	462 ～ 1,380 (2,004)	2,395 ～ 91,423 (171,333)	36 ～ 38 (120)
7	MP-7 ^{*4}	727	630	788	813 ～ 2,047 (2,503)	3,145 ～ 204,134 (327,467)	39 ～ 43 (151)
8	MP-8 ^{*4}	690	617	745	772 ～ 2,290 (2,788)	3,162 ～ 177,819 (252,661)	39 ～ 44 (168)

(注) *1 平均値は、年間の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求めた。

*2 最小値と最大値は、1時間値の最小と最大の値を示す。

*3 「平成26年度～」は平成26年度から前年度まで。

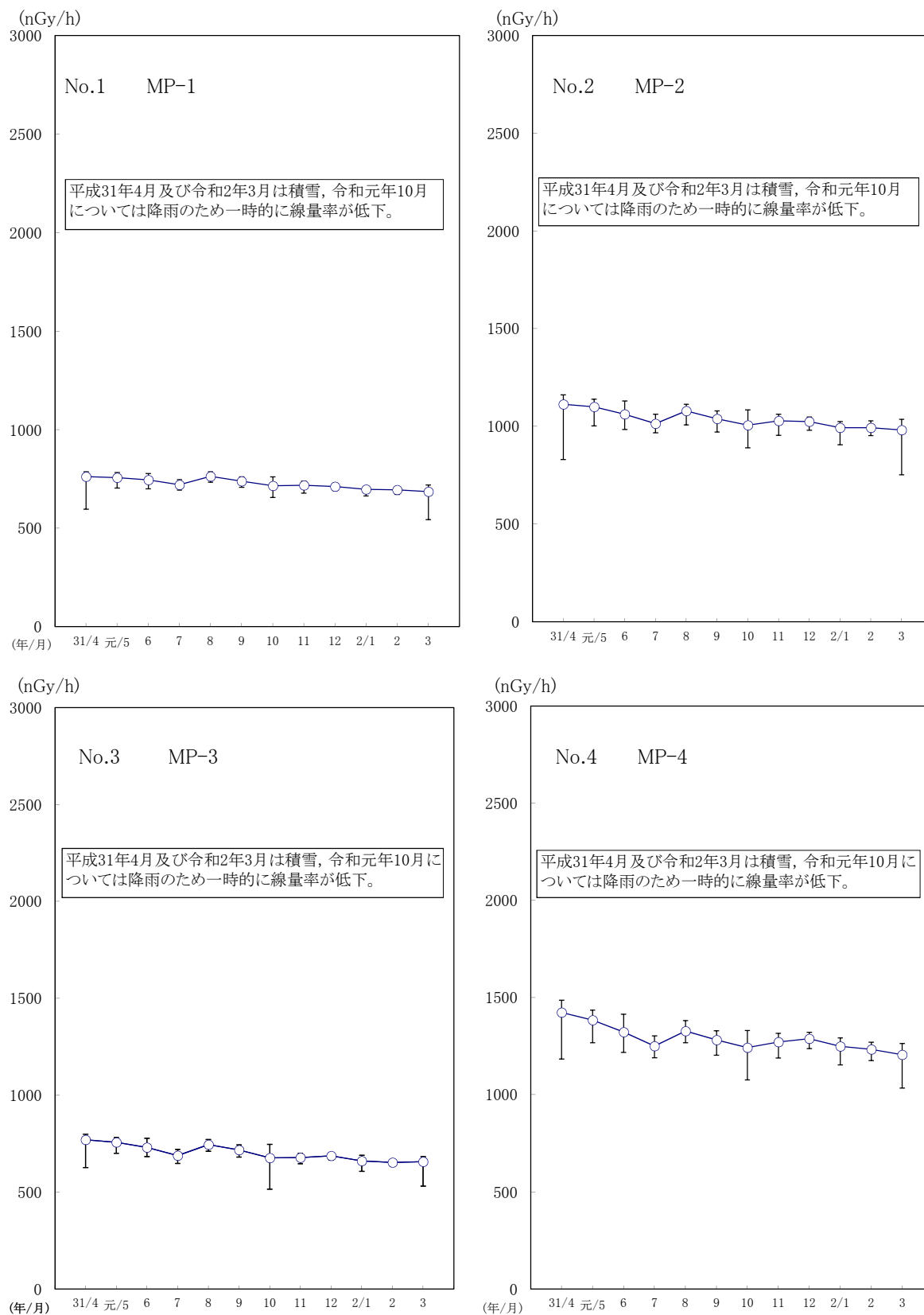
「事故直後」は事故後（平成23年3月11日以降）から平成25年度まで。

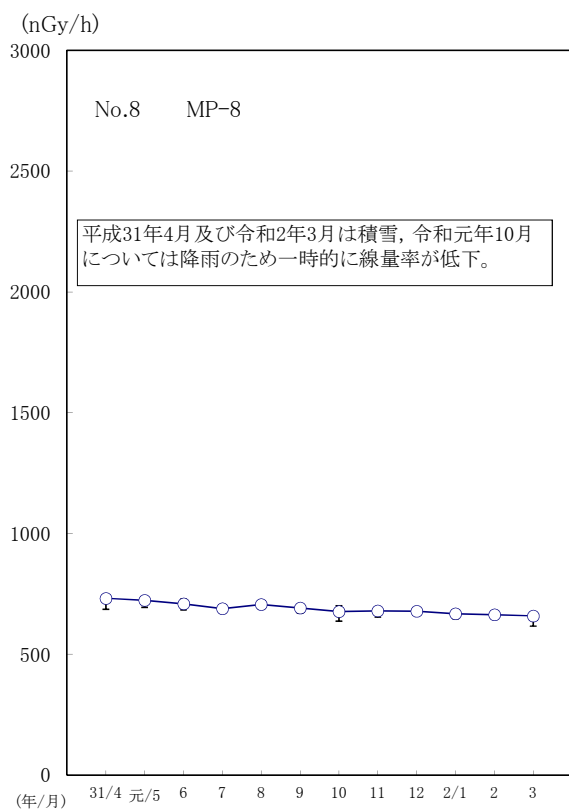
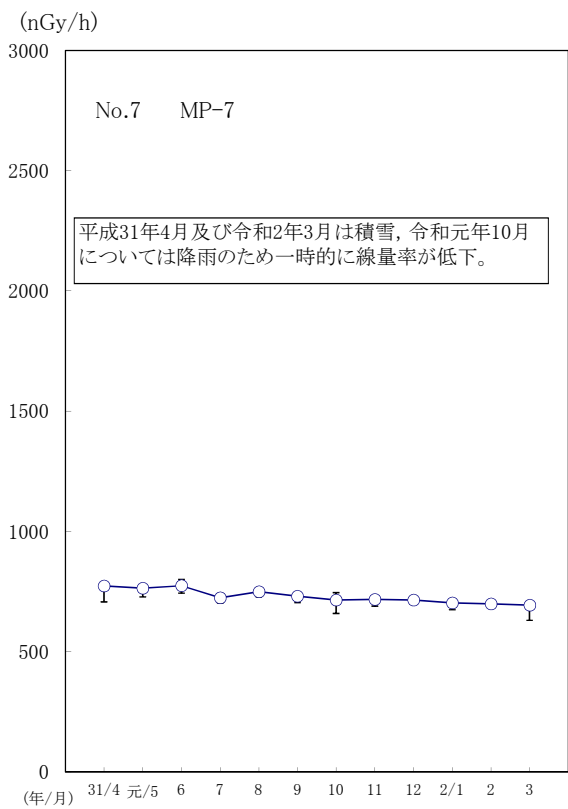
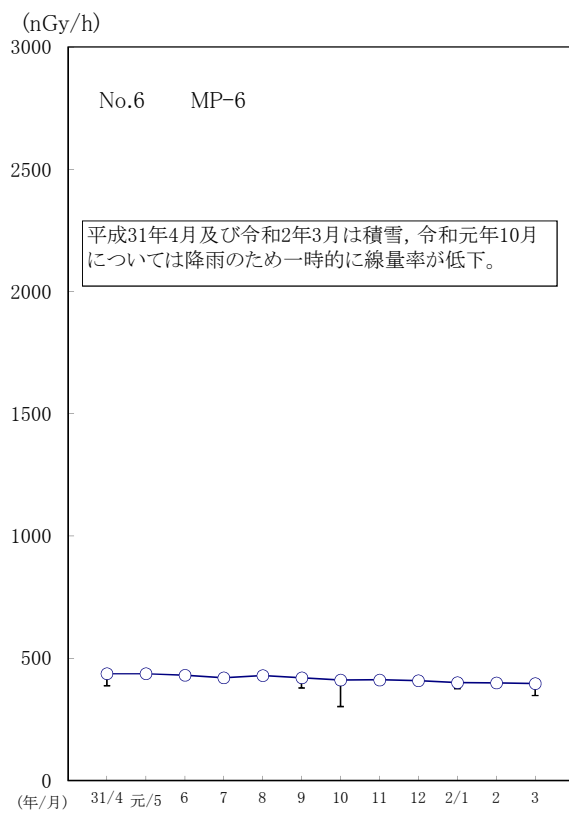
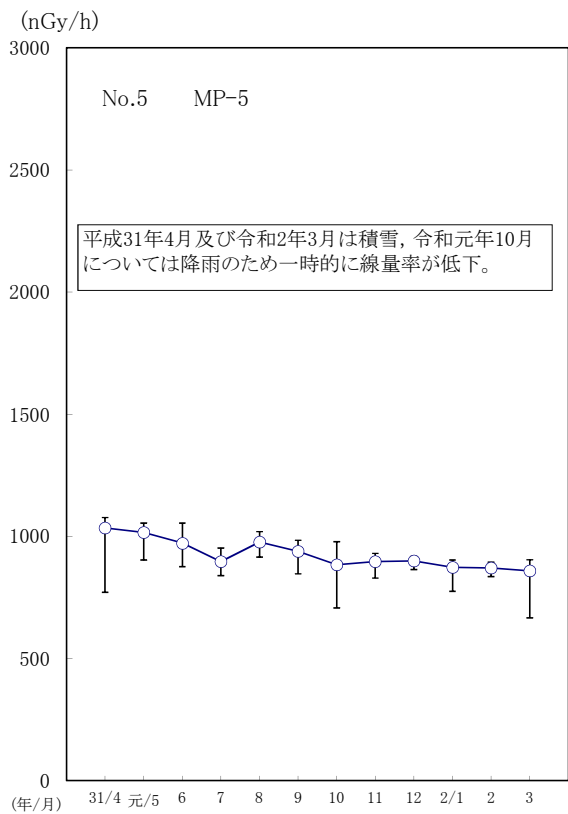
「事故前」は温度補償型検出器への更新後の年度以降の期間であり

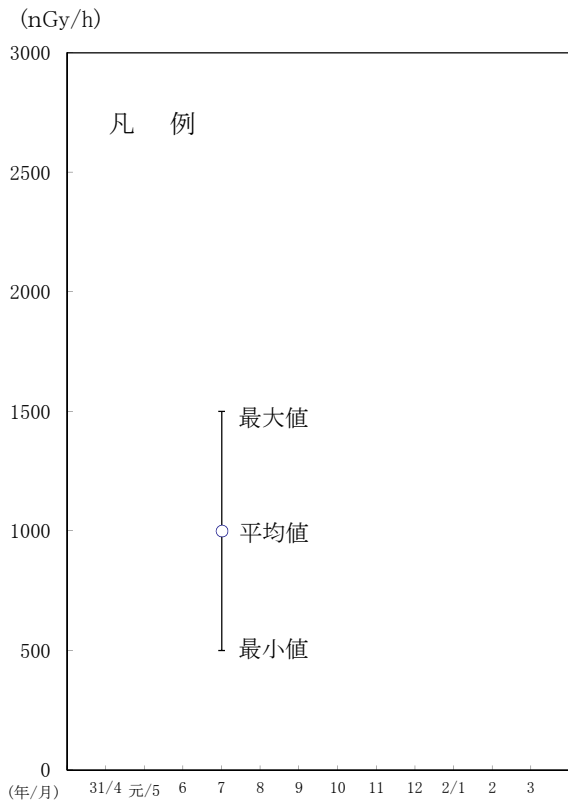
昭和61年度から東日本大震災発生の平成22年度第4四半期（平成23年3月10日時点）まで。

*4 福島第一原子力発電所 MP-7、8については、高線量の環境下にあることから、新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため、検出器廻りに遮へいを設置し、地表面等からの放射線の影響を抑えている。

図2. 2 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移







2-3-1-(2) 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値*1）を表2. 2に示す。
 今年度の測定値は、0.94mGy（浪江町北棚塩総合集会所）から35mGy（MP-8）であった。
 今年度の測定値は、事故前の測定値を大きく上回っていた。
 なお、四半期毎の各地点の測定値は、年月の経過とともに減少傾向にあった。
 今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図2. 3に示す。

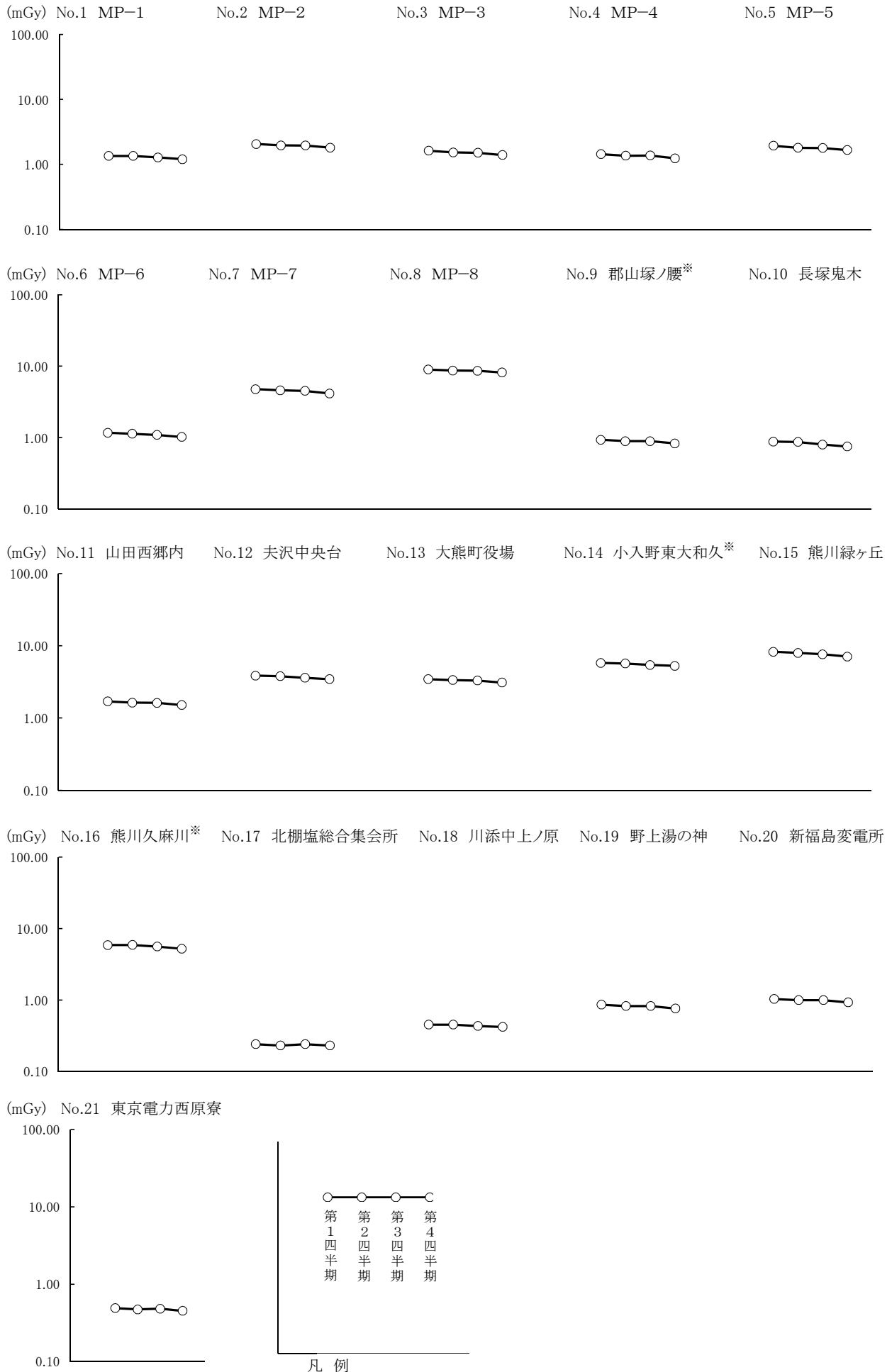
表2. 2 空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位：mGy）

*5 No.	測定地点名				今年度測定値	過去の測定値の範囲			
						平成26年度～*2	事故直後*3	事故前*4	
1	M	P	-	1	5.2	5.9 ~ 11	14 ~ 32	0.47 ~ 0.48	
2	M	P	-	2	7.9	8.9 ~ 22	30 ~ 130	0.48 ~ 0.49	
3	M	P	-	3	6.1	7.2 ~ 27	37 ~ 100	0.47 ~ 0.48	
4	M	P	-	4	5.5	6.5 ~ 15	20 ~ 67	0.48 ~ 0.49	
5	M	P	-	5	7.3	8.6 ~ 23	36 ~ 140	0.42 ~ 0.44	
6	M	P	-	6	4.5	5.2 ~ 13	29 ~ 260	0.47 ~ 0.48	
7	M	P	-	7	18	21 ~ 89	130 ~ 680	0.51 ~ 0.52	
8	M	P	-	8	35	39 ~ 120	180 ~ 660	0.47 ~ 0.48	
9	双葉町	郡山	つか	の	こし	3.6	4.0 ~ 4.8	-	-
10	双葉町	なが	つか	おに	き	3.4	4.0 ~ 8.6	11 ~ 24	0.47 ~ 0.48
11	双葉町	やま	だ	さい	ごう	6.6	7.4 ~ 16	25 ~ 54	0.47 ~ 0.48
12	大熊町	おつと	ざわ	ちゅう	おう	15	17 ~ 120	150 ~ 420	0.52 ~ 0.56
13	大熊町	役場			13	15 ~ 28	35 ~ 100	0.45 ~ 0.47	
14	大熊町	こ	いり	の	ひがし	22	44 ~ 82	86 ~ 240	0.50 ~ 0.52
15	大熊町	くま	がわ	みどり	が	31	36 ~ 77	86 ~ 220	0.47 ~ 0.48
16	大熊町	くま	がわ	く	ま	23	30 ~ 57	60 ~ 160	0.51 ~ 0.52
17	浪江町	きた	たな	しお	そう	0.94	1.0 ~ 1.6	1.9	-
18	浪江町	かわ	ぞえ	なか	うえ	1.8	1.9 ~ 6.6	8.1	-
19	大熊町	の	がみ	ゆ	の	3.3	3.7 ~ 6.5	8.0	-
20	富岡町	しん	ふく	しま	へん	4.0	4.4 ~ 8.1	9.5	-
21	富岡町	とうきょう	でんりょく	にしはら	りょう	1.9	2.1 ~ 5.9	8.4	-

- (注) *1 年間相当値は、各四半期の測定値の和を365日相当に換算し、有効数字2桁で表示。
 *2 平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
 *3 事故直後の測定値は、平成22年度第4四半期から平成25年度まで。
 *4 事故前の測定値は、平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、平成15年度から東日本大震災発生の平成22年度 第3四半期まで。
 *5 No9地点は郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ平成28年第3四半期より地点変更
 *6 No14:東大和久およびNo16:久麻川地点については令和元年度第1四半期より測定地点変更
 (*5・*6は国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更)
 No. 17～No. 21地点は、平成25年度第2四半期から測定を開始した。

図2.3 空間積算線量(90日換算値*)の推移



(注) *1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算した。

※No9地点は郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ平成28年第3四半期より地点変更。

※No14地点の東大和久及びNo16地点の久麻川については令和元年度第1四半期より地点変更

2-3-2 環境試料

2-3-2-(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表2.3に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は、0.011～0.015Bq/m³、最大値は0.096～0.13Bq/m³であり、全ベータ放射能の平均値は0.036～0.052Bq/m³、最大値は0.17～0.65Bq/m³であった。

全アルファ放射能については事故前の測定値と同程度で、全ベータ放射能については、平均値・最大値とも事故前の測定値を若干上回ったが、発電所周辺土壌の舞い上がりなど事故の影響と思われる。

表2.3 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

(単位：Bq/m³)

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲		
					平成26年度～*3	事故直後*4	事故前*5
			平均値*1	最大値*2	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	M P - 3※	全アルファ放射能	0.015	0.13	0.017～0.018 (0.17)	— (—)	0.016～0.022 (0.15)
		全ベータ放射能	0.052	0.65	0.044～0.047 (0.40)	— (—)	0.031～0.039 (0.20)
2	M P - 8※	全アルファ放射能	0.011	0.096	0.012～0.014 (0.11)	— (—)	0.014～0.020 (0.17)
		全ベータ放射能	0.036	0.17	0.039～0.040 (0.19)	— (—)	0.028～0.037 (0.24)

(注) *1 平均値は、6時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して算出。

*2 最大値は、6時間ごとの測定値の最大値。

*3 MP-3は平成28年10月、MP-8は平成29年10月からの測定値。

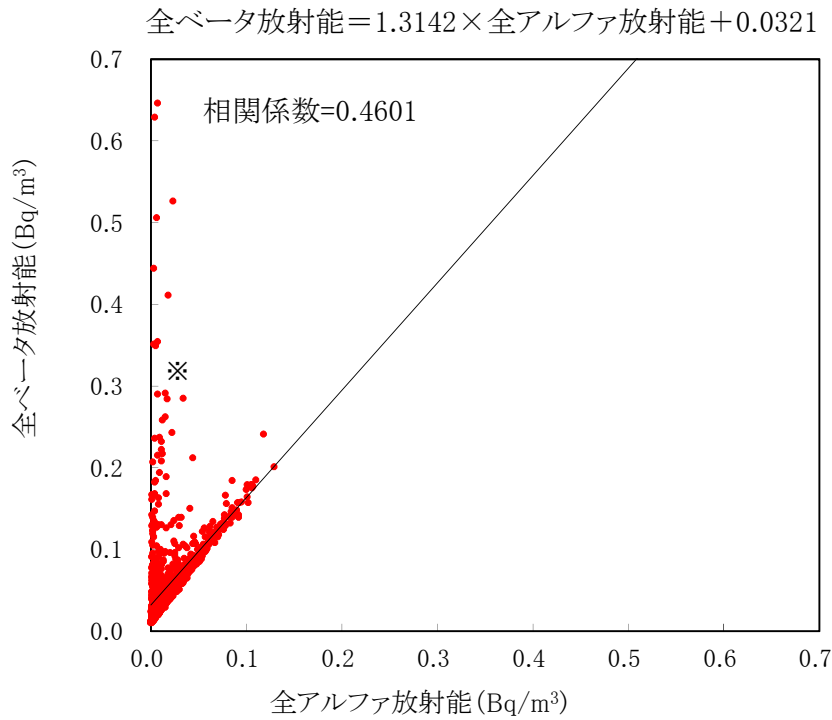
*4 測定値なし。(MP-3は平成28年10月、MP-8は平成29年10月より運用開始したため。)

*5 事故前の測定値は機器更新後の平成13年9月から東日本大震災発生の前日の平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

※ 福島第一原子力発電所のダストモニタ(2地点)については、機器本体及びダスト吸入配管等の取り替えが完了し、MP3地点は平成28年10月から全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を開始し、MP8地点については、平成29年10月から全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を開始した。

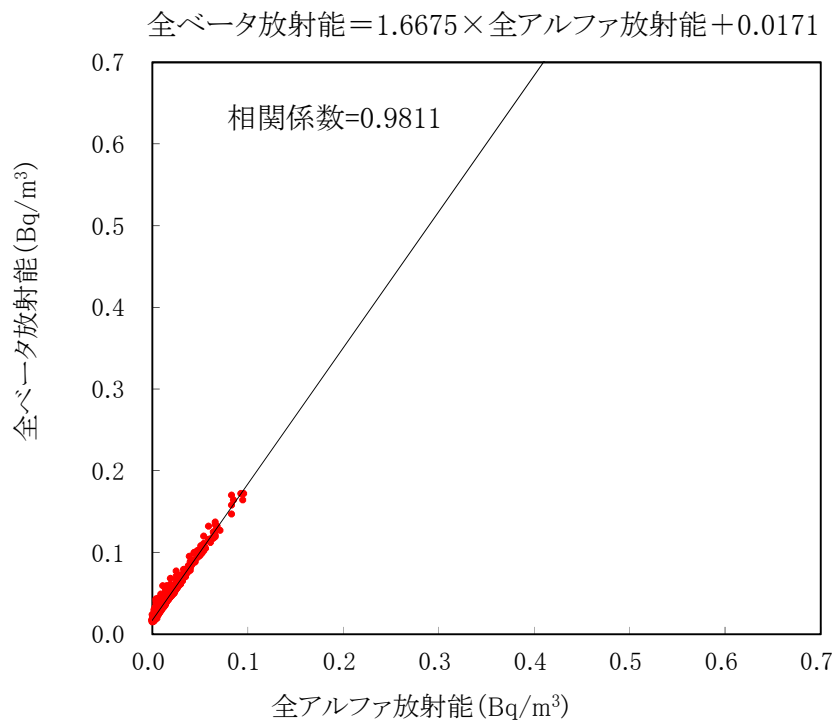
図2.4 全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

No.1 MP-3



※: 全アルファ・全ベータの相関から外れた試料については個別に核種濃度を測定している。この結果、Cs-134とCs-137が検出され、その他の核種は検出されていないことを確認している。

No.2 MP-8



2-3-2-(2) 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表2.4, 2.5に示す。

大気浮遊じん、土壌、海水、海底土、松葉から、事故前の過去の測定値の範囲を上回るセシウム-134及びセシウム-137の人工放射性核種が検出されたが、年月の経過とともに減少傾向にある。

また、海水のトリチウムにおいては、事故前の過去の測定値の範囲と同程度のトリチウムが検出された。

表2.4 環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
大気浮遊じん	24	mBq/m ³	セシウム-134	0.061 ～ 5.4	0.060 ～ 18	1.7 ～ 88	ND
			セシウム-137	0.84 ～ 76	0.65 ～ 57	2.6 ～ 200	ND
土壌	8	Bq/kg乾	セシウム-134	180 ～ 22,000	360 ～ 110,000	1,400 ～ 330,000	ND
			セシウム-137	2,800 ～ 310,000	4,100 ～ 460,000	2,600 ～ 680,000	2.4 ～ 28
海水	12	Bq/l	セシウム-134	0.003 ～ 0.023	ND ～ 6.0	ND ～ 76	ND
			セシウム-137	0.036 ～ 0.33	0.036 ～ 18	ND ～ 110	ND ～ 0.003
海底土	8	Bq/kg乾	セシウム-134	9.9 ～ 30	13 ～ 350	110 ～ 1,200	ND
			セシウム-137	130 ～ 500	140 ～ 1,100	210 ～ 1,800	ND ～ 1.2
松葉	8	Bq/kg生	セシウム-134	9.8 ～ 53	12 ～ 2,100	890 ～ 220,000	ND
			セシウム-137	140 ～ 750	90 ～ 5,900	1,600 ～ 310,000	ND ～ 0.14
ほんだわら	1	Bq/kg生	セシウム-134	0.74	※	※	ND
			セシウム-137	11	※	※	ND

※は測定値なし（令和元年度より測定再開）

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
 2. NDは、検出限界未満。
 3. 「過去の測定値の範囲」は、
 平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
 事故直後は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
 事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。
 4. 土壌及び海底土の測定時試料状態。
 ・平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成25年度まで:湿(Bq/kg湿)
 ・事故前及び平成26年度～:乾(Bq/kg乾)
 5. 松葉の測定時試料状態。
 ・事故前:乾(Bq/kg乾)
 ・事故直後及び平成26年度～:生(Bq/kg生)

表2.5 環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
				平成26年度～	事故直後	事故前
海水	12	Bq/l	ND～0.73	ND ～ 340	ND ～ 180	ND ～ 0.67

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
 2. NDは、検出限界未満。
 3. 「過去の測定値の範囲」は、
 平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
 事故直後は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
 事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

2-3-2-(3) 環境試料中の放射性ストロンチウム濃度

今年度の測定結果を表2.6に示す。

土壌、海水、海底土から、事故前の過去の測定値の範囲を上回るストロンチウム-90の人工放射性核種が検出されたが、事故直後と比較すると概ね横ばい傾向、または減少傾向にある。

なお、ストロンチウム-90については、事故後から平成24年度まで欠測。

表2.6 環境試料中の放射性ストロンチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	ストロンチウム-90	5.6～71	2.9～210	4.1～160	0.77～2.1
海水	3	Bq/l	ストロンチウム-90	ND～0.005	ND～21	0.005～21	0.001～0.003
海底土	2	Bq/kg乾	ストロンチウム-90	1.9～2.0	0.29～9.1	19～22	ND～0.17

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計である。
 2. NDは、検出限界未満。
 3. 「過去の測定値の範囲」は、
 平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
 事故直後は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
 事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

2-3-2-(4) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度

今年度の測定結果を表2.7に示す。

土壌から、プルトニウム-239+240が検出され、事故後概ね横ばい傾向にある。

また、プルトニウム-238については検出されなかった。

なお、プルトニウムについては、事故後に測定を開始した。

表2.7 環境試料中のプルトニウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	プルトニウム-238	ND～0.03	ND～0.07	ND～0.11	—
			プルトニウム-239+240	0.08～0.29	0.12～0.43	0.19～0.39	—

- (注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
 平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
 事故直後は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
 事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

2-3-2-(5) 環境試料中のアメリカシウム放射能濃度

今年度の測定結果を表2.8に示す。

土壌から、アメリカシウム-241が検出され、事故後概ね横ばい傾向にある。
なお、アメリカシウムについては、事故後に測定を開始した。

表2.8 環境試料中のアメリカシウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度 試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土 壌	4	Bq/kg乾	アメリカシウム-241	0.04～0.13	0.05 ～ 0.19	0.45 ～ 1.2	—

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
事故直後は事故後の平成23年3月11日以降から平成25年度まで。
事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

2-3-2-(6) 環境試料中のキュリウム放射能濃度

今年度の測定結果を表2.9に示す。

土壌のキュリウム-244は検出されなかった。
なお、キュリウムについては、事故後に測定を開始したが今年度は検出されず、減少傾向にある。

表2.9 環境試料中のキュリウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度 試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土 壌	4	Bq/kg乾	キュリウム-244	ND～0.01	ND ～ 0.03	ND ～ 0.05	—

(注) 1. 「過去の測定値の範囲」は、
平成26年度～は平成26年度から前年度まで。
事故直後は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
事故前は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

2-4 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

2-4-1 空間放射線
2-4-1-1 空間線量率

単位：
線量率：nGy/h
測定時間：h

上段：平均値
中段：(最大値)
下段：(最小値)

測定年月 測定 地点名	H31.4		R元.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
	NaI																							
1 M P - 1	762 (787) (596)	720	756 (782) (703)	744	745 (777) (700)	720	721 (746) (693)	744	763 (787) (734)	744	738 (760) (708)	720	715 (761) (656)	744	718 (739) (678)	720	712 (728) (691)	740	697 (709) (664)	743	694 (711) (671)	695	686 (719) (544)	744
2 M P - 2	1,113 (1,161) (831)	720	1,100 (1,139) (1,002)	744	1,063 (1,130) (985)	720	1,015 (1,062) (967)	744	1,079 (1,114) (1,008)	744	1,039 (1,079) (972)	720	1,007 (1,085) (891)	744	1,029 (1,063) (955)	720	1,025 (1,048) (981)	738	994 (1,025) (906)	744	994 (1,029) (953)	693	982 (1,037) (753)	744
3 M P - 3	770 (799) (627)	720	757 (783) (701)	744	731 (779) (684)	720	689 (721) (649)	744	746 (772) (711)	744	718 (744) (681)	720	677 (747) (516)	744	679 (701) (647)	710	688 (704) (666)	743	662 (690) (607)	744	653 (666) (635)	694	658 (684) (531)	744
4 M P - 4	1,423 (1,487) (1,184)	720	1,384 (1,436) (1,267)	744	1,323 (1,414) (1,218)	720	1,250 (1,303) (1,190)	744	1,328 (1,381) (1,267)	744	1,282 (1,329) (1,203)	720	1,243 (1,330) (1,076)	744	1,272 (1,316) (1,189)	711	1,288 (1,322) (1,237)	743	1,249 (1,292) (1,153)	741	1,233 (1,270) (1,176)	696	1,206 (1,264) (1,035)	744
5 M P - 5	1,034 (1,077) (771)	720	1,016 (1,054) (903)	744	972 (1,054) (876)	720	897 (952) (839)	744	977 (1,019) (915)	744	938 (984) (846)	720	883 (978) (707)	744	897 (930) (829)	710	899 (918) (864)	744	873 (903) (775)	740	870 (894) (835)	696	859 (904) (666)	744
6 M P - 6	437 (449) (388)	720	437 (446) (421)	744	431 (445) (418)	720	421 (432) (411)	744	430 (438) (419)	744	420 (431) (379)	720	411 (429) (303)	744	412 (422) (400)	711	409 (417) (398)	744	401 (409) (376)	742	400 (412) (390)	696	397 (408) (348)	744
7 M P - 7	773 (788) (707)	720	764 (777) (727)	744	748 (774) (717)	720	724 (742) (703)	744	749 (766) (727)	744	731 (746) (704)	720	714 (745) (659)	744	717 (730) (689)	711	715 (724) (703)	742	703 (714) (674)	741	699 (710) (685)	696	693 (709) (630)	744
8 M P - 8	732 (745) (686)	720	723 (733) (694)	744	709 (729) (684)	720	689 (705) (671)	744	706 (719) (688)	744	691 (703) (670)	720	677 (701) (637)	744	680 (690) (654)	711	678 (686) (667)	744	668 (678) (647)	744	664 (673) (651)	695	659 (672) (617)	744

・震災後MP-6, 7, 8については、高線量率の環境下にあることから、新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくなるため、検出器廻りに遮へいを設置し、地表面等からの放射線の影響を抑えていた。

尚、MP-6については事務棟工事などにより周辺環境の線量率が低下したことから、平成25年7月に検出器廻りの遮へいを撤去している。

2-4-1-1-(2) 空間積算線量

(単位：mGy)

No.	測定地点名	H31.4.4 測定期間 測定項目		R元.7.4 測定日数		R元.10.3 測定日数		R2.1.9 測定日数	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	M P - 1	1.36 (1.35)	91	1.36 (1.35)	91	1.39 (1.28)	98	1.21 (1.20)	91
2	M P - 2	2.08 (2.06)	91	1.98 (1.96)	91	2.12 (1.95)	98	1.83 (1.81)	91
3	M P - 3	1.64 (1.62)	91	1.55 (1.53)	91	1.64 (1.51)	98	1.41 (1.39)	91
4	M P - 4	1.46 (1.44)	91	1.38 (1.36)	91	1.49 (1.37)	98	1.25 (1.24)	91
5	M P - 5	1.96 (1.94)	91	1.82 (1.80)	91	1.95 (1.79)	98	1.68 (1.66)	91
6	M P - 6	1.18 (1.17)	91	1.14 (1.13)	91	1.19 (1.09)	98	1.03 (1.02)	91
7	M P - 7	4.81 (4.76)	91	4.65 (4.60)	91	4.91 (4.51)	98	4.19 (4.14)	91
8	M P - 8	9.09 (8.99)	91	8.77 (8.67)	91	9.39 (8.62)	98	8.25 (8.16)	91
9*	双葉町郡山塚ノ腰	0.94 (0.93)	91	0.90 (0.89)	91	0.97 (0.89)	98	0.84 (0.83)	91
10	双葉町長塚鬼ノ木	0.89 (0.88)	91	0.88 (0.87)	91	0.87 (0.80)	98	0.76 (0.75)	91
11	双葉町山田西郷内	1.72 (1.70)	91	1.65 (1.63)	91	1.76 (1.62)	98	1.53 (1.51)	91
12	大熊町茨沢中央台	3.90 (3.86)	91	3.83 (3.79)	91	3.92 (3.60)	98	3.49 (3.45)	91
13	大熊町役場	3.49 (3.45)	91	3.39 (3.35)	91	3.59 (3.30)	98	3.12 (3.09)	91
14*	大熊町小入野東大和久	5.85 (5.79)	91	5.74 (5.68)	91	5.90 (5.42)	98	5.33 (5.27)	91
15	大熊町熊川緑ヶ丘	8.35 (8.26)	91	8.05 (7.96)	91	8.31 (7.63)	98	7.17 (7.09)	91
16*	大熊町熊川久麻川	5.92 (5.85)	91	5.97 (5.90)	91	6.06 (5.57)	98	5.27 (5.21)	91
17	浪江町北棚塩総合会所	0.24 (0.24)	91	0.23 (0.23)	91	0.26 (0.24)	98	0.23 (0.23)	91
18	浪江町川添中上ノ原	0.45 (0.45)	91	0.45 (0.45)	91	0.47 (0.43)	98	0.42 (0.42)	91
19	大熊町野上湯の神	0.87 (0.86)	91	0.83 (0.82)	91	0.89 (0.82)	98	0.77 (0.76)	91
20	富岡町新福島変電所	1.04 (1.03)	91	1.00 (0.99)	91	1.08 (0.99)	98	0.93 (0.92)	91
21	富岡町東京電力西原寮	0.50 (0.49)	91	0.48 (0.47)	91	0.52 (0.48)	98	0.45 (0.45)	91

(注) 1. () 内は、90日換算値。

※No9:郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ地点変更 (国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更：平成28年度第3四半期より)

※No14:東大和久およびNo16:久麻川地点については測定地点変更 (国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更：令和元年度第1四半期より)

2-4-2 環境試料
2-4-2-1 (1) 大気浮遊じん、全アルファ及び全ベータ放射能

測定値: Bq/m³ 上段: 平均値
単位: 測定時間: h 下段: (最大値)

測定年月	H31.4		R元.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
	測定項目	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間		
1 MP-3*	全アルファ放射能	0.018 (0.12)	720	0.022 (0.13)	744	0.013 (0.10)	720	0.008 (0.090)	720	0.024 (0.11)	744	0.018 (0.088)	720	0.012 (0.11)	744	0.014 (0.070)	718	0.017 (0.070)	744	0.009 (0.036)	744	0.011 (0.051)	696	0.012 (0.084)	744
	全ベータ放射能	0.059 (0.24)	720	0.077 (0.41)	744	0.091 (0.63)	720	0.052 (0.65)	720	0.052 (0.18)	744	0.043 (0.15)	720	0.041 (0.35)	744	0.045 (0.13)	718	0.042 (0.12)	744	0.041 (0.15)	744	0.040 (0.10)	696	0.038 (0.14)	744
2 MP-8*	全アルファ放射能	0.013 (0.083)	720	0.017 (0.096)	744	0.009 (0.068)	720	0.007 (0.062)	720	0.019 (0.095)	744	0.015 (0.065)	720	0.010 (0.093)	744	0.011 (0.040)	718	0.011 (0.039)	743	0.007 (0.023)	744	0.008 (0.031)	696	0.009 (0.048)	744
	全ベータ放射能	0.039 (0.17)	720	0.045 (0.17)	744	0.032 (0.13)	720	0.028 (0.12)	720	0.046 (0.16)	744	0.042 (0.13)	720	0.034 (0.17)	744	0.035 (0.082)	718	0.038 (0.095)	743	0.030 (0.059)	744	0.031 (0.071)	696	0.033 (0.10)	744

* 福島第一原子力発電所のダストモニタ : MP3については、平成28年10月より本運用開始。
: MP8については、平成29年10月より本運用開始。

2-4-2-(2) 大気浮遊じん中の核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
1	MP-3	H31. 4. 1 ~ H31. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	32	ND
		R元. 5. 1 ~ R元. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	31	ND
		R元. 6. 1 ~ R元. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.4	74	ND
		R元. 7. 1 ~ R元. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	76	ND
		R元. 8. 1 ~ R元. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	5.7	ND
		R元. 9. 1 ~ R元. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	6.1	ND
		R元. 10. 1 ~ R元. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.93	14	ND
		R元. 11. 1 ~ R元. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	18	ND
		R元. 12. 1 ~ R元. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.56	8.9	ND
		R2. 1. 1 ~ R2. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	19	ND
		R2. 2. 1 ~ R2. 2. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.89	15	ND
		R2. 3. 1 ~ R2. 3. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.99	18	ND
2	MP-8	H31. 4. 1 ~ H31. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	3.3	ND
		R元. 5. 1 ~ R元. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	1.5	ND
		R元. 6. 1 ~ R元. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.061	0.84	ND
		R元. 7. 1 ~ R元. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	1.5	ND
		R元. 8. 1 ~ R元. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.080	1.1	ND
		R元. 9. 1 ~ R元. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.085	1.2	ND
		R元. 10. 1 ~ R元. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.072	1.2	ND
		R元. 11. 1 ~ R元. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	1.3	ND
		R元. 12. 1 ~ R元. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.079	1.2	ND
		R2. 1. 1 ~ R2. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	1.6	ND
		R2. 2. 1 ~ R2. 2. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	1.9	ND
		R2. 3. 1 ~ R2. 3. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.092	1.6	ND

(注) 1. 「ND」は検出限界未満である。

第3 東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分

3-1 測定項目

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図3-1に示す。

3-1-1 空間放射線

3-1-1-1 空間線量率

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	連続	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

3-1-1-2 空間積算線量

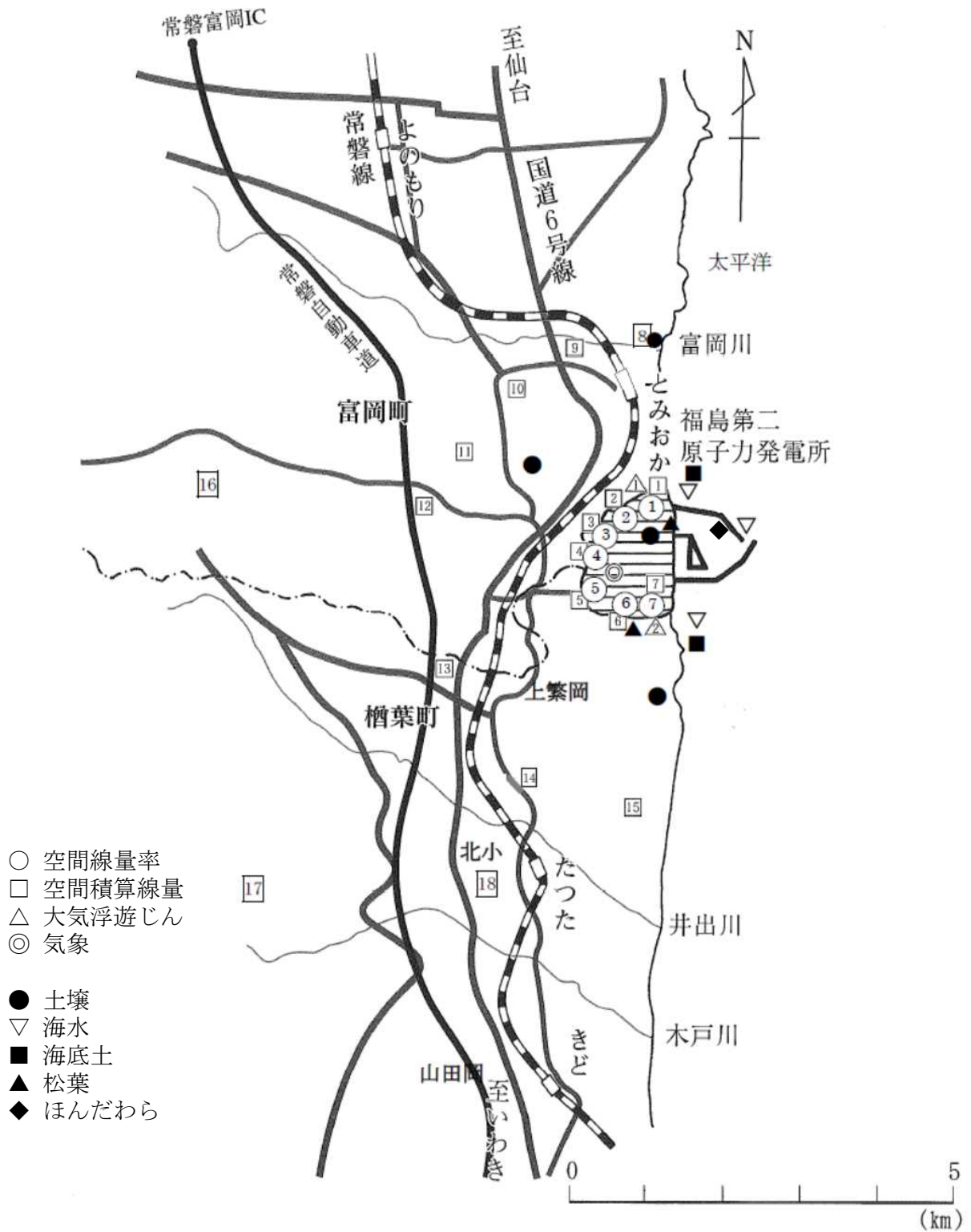
測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	3か月積算	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所
発電所敷地外	11地点		

3-1-2 環境試料

3-1-2-1 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん (地表上約3m)	発電所敷地南境界付近	連続	約90m ³ /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所
		発電所敷地北境界付近	12回/年	1ヶ月分の集じんの紙	ガンマ線放出核種濃度	
土壌	土壌 (表土, 0~5cm)	敷地内	2回/年	1Kg	ガンマ線放出核種濃度	
		檜葉町波倉	1回/年	0.5Kg	ストロンチウム-90 プルトニウム-238, 239+240 アメリカシウム-241 キュリウム-244	
		富岡町小浜				
海水	海水 (表面水)	発電所取水口	4回/年	30ℓ	ガンマ線放出核種濃度	
		発電所南放水口		2ℓ	トリチウム濃度	
		発電所北放水口	1回/年	40ℓ	ストロンチウム-90	
海底土	海底土 (海砂又は海底土)	発電所南放水口	4回/年	1Kg	ガンマ線放出核種濃度	
		発電所北放水口	1回/年	1Kg	ストロンチウム-90	
指標植物	松葉 (葉)	発電所敷地南境界付近 発電所敷地北境界付近	4回/年	0.1Kg	ガンマ線放出核種濃度	
指標海洋生物	ほんだわら (葉茎)	発電所港湾内	1回/年	2kg	ガンマ線放出核種濃度	

図 3 - 1 環境放射能等測定地点



3-2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：2"φ×2"NaI (Tl) シンチレーション検出器 (富士電機, 温度補償・エネルギー補償回路付) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Cs-137及びRa-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計, 旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	大気中の浮遊粒子状物質及び放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん, 6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式, 使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m ³ /6時間 検出器：ZnS (Ag) シンチレータとプラスチックシンチレータのはり合わせ検出器 (Aloka ADC-121R2) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U ₃ O ₈
	核種濃度	Ge半導体検出装置 ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 大気浮遊じんは, 1ヶ月の集じんろ紙を全てU8容器に入れ測定。 土壌, 海底土は, 乾燥後に測定。 指標植物(松葉)は, 生試料により測定。 海水は, リンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガンを共沈法で処理後測定。 海水のトリチウムは蒸留後測定。 ほんだわら(指標海洋生物)は乾燥試料により測定。 測定器：Ge半導体検出器 (ORTEC GEM35-76-LB-A-S型 他9台) 波高分析器 (SEIKO EG&G MCA-7シリーズ(4096ch) 10台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (Aloka LSC-LB7)
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうちイオン交換法(平成15年改訂) 測定器：Aloka LBC-420, LBC-420B 校正線源：Sr-90
	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性プルトニウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析
アメリカシウム-241 キュリウム-244濃度	シリコン半導体検出器	測定法：文部科学省編「放射性アメリカシウム分析法」のうちイオン交換法(平成2年改訂) 測定器：ORTEC Alpha Duo 第三者機関(株)化研にて分析	

3-3 測定結果

3-3-1 空間放射線

3-3-1-1 (1) 空間線量率

今年度の測定結果を表3.1に示す。

各測定地点の年間平均値は88~282nGy/h、最小値は78~226nGy/h、最大値は135~321nGy/hであった。

年間平均値及び最大値は、事故前の年間平均値及び最大値を上回っていた。

なお、各地点における測定値は、年月の経過とともに減少傾向にあった。

各測定地点における空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移を図3.2に示す。

表3.1 空間線量率の測定結果（年間平均値及び最小値、最大値）

(単位：nGy/h)

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値の範囲		
		平均値	最小値	最大値	平成26年度～	事故直後	事故前
					平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	M P - 1	187	160	212	281 ~ 636 (761)	854 ~ 13,353 (130,000)	38 ~ 40 (142)
2	M P - 2	169	154	205	194 ~ 427 (542)	587 ~ 7,481 (31,428)	45 ~ 47 (134)
3	M P - 3	282	226	321	314 ~ 669 (795)	863 ~ 13,695 (182,000)	38 ~ 39 (79)
4	M P - 4	264	196	301	300 ~ 609 (728)	804 ~ 9,950 (145,000)	38 ~ 40 (91)
5	M P - 5	262	214	301	285 ~ 600 (672)	752 ~ 9,368 (157,000)	43 ~ 44 (108)
6	M P - 6	143	121	177	156 ~ 278 (329)	371 ~ 8,693 (26,418)	46 ~ 48 (145)
7	M P - 7	88	78	135	96 ~ 244 (289)	309 ~ 4,513 (19,100)	46 ~ 47 (162)

(注) 1. 平均値は、年間の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求めた。

2. 最小値と最大値は、1時間値の最小と最大の値を示す。

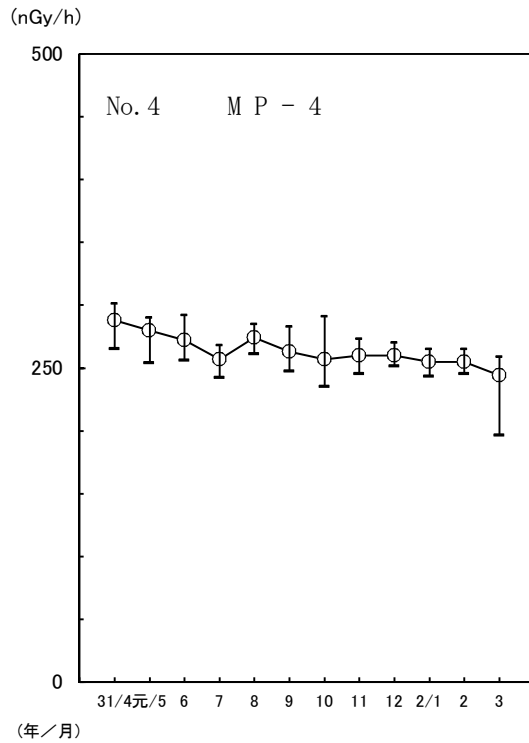
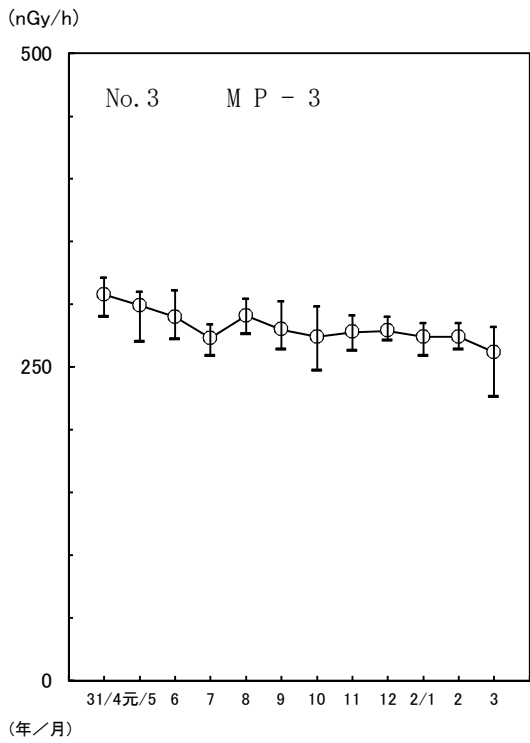
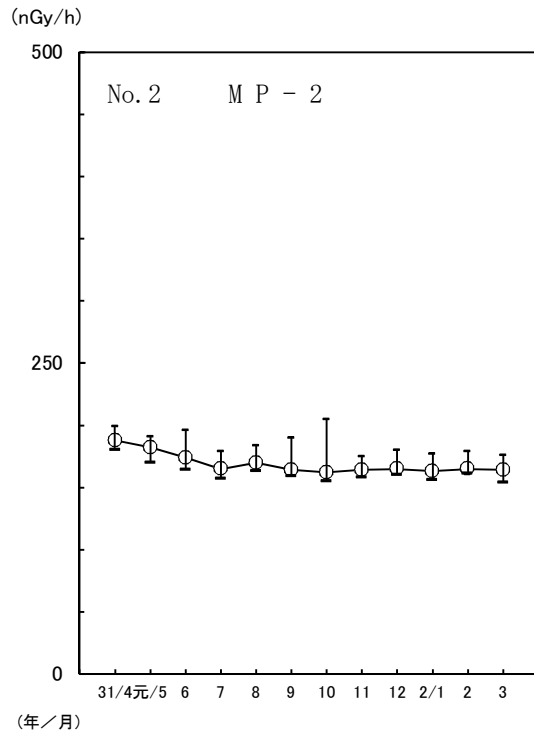
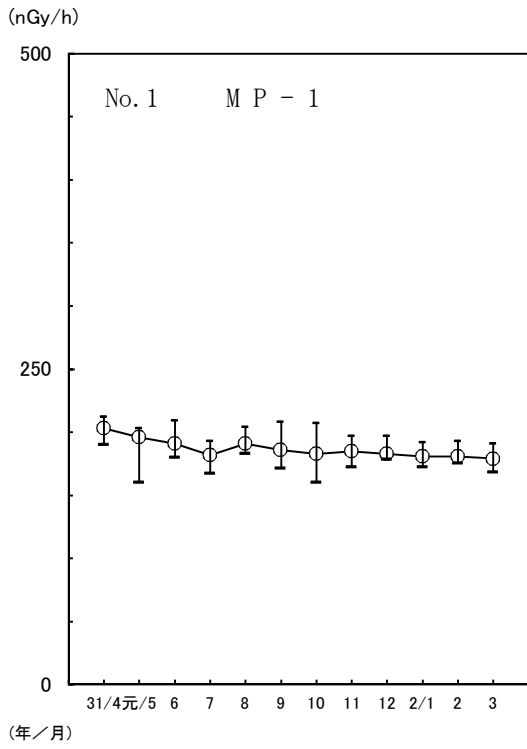
3. 「過去の測定値の範囲」は、

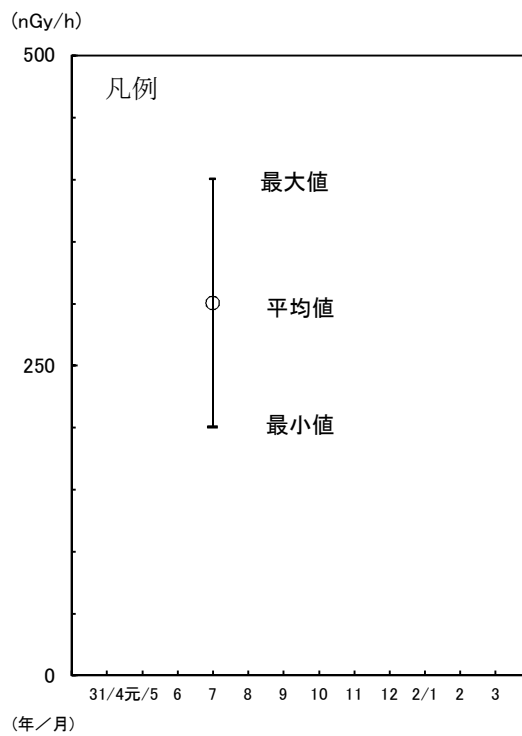
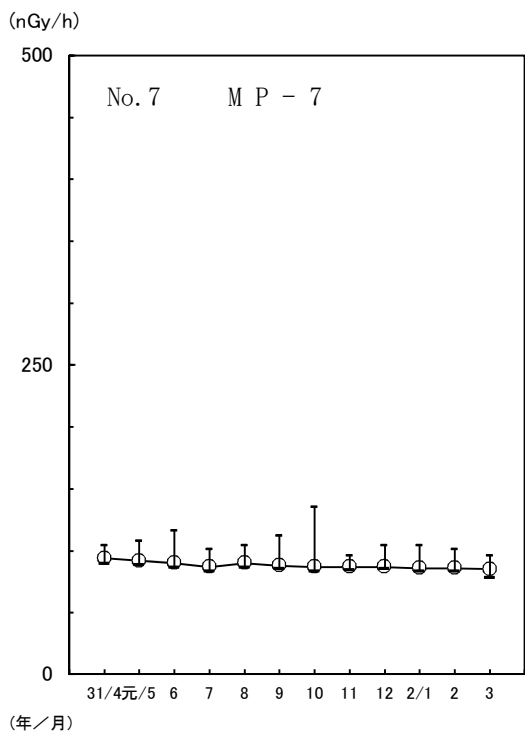
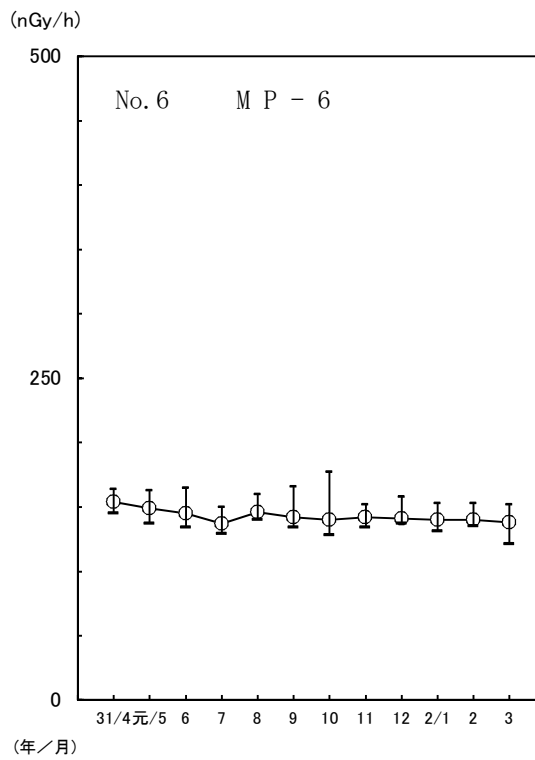
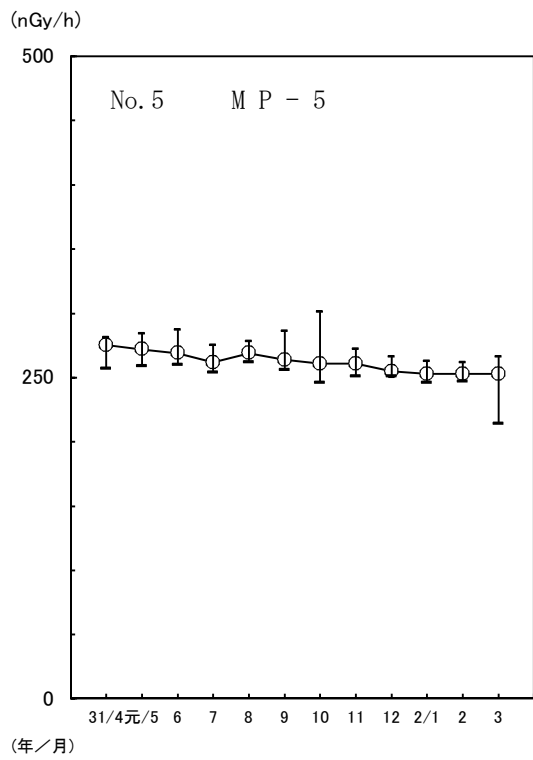
平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：事故直後（平成23年3月11日以降）から平成25年度まで。

事故前：機器更新後の年度以降の期間であり、平成12年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日時点）まで。

図 3. 2 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移





3-3-1-(2) 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値^{*1}）を表3. 2に示す。

今年度の測定値は、0.78mGy（MP-7）から2.8mGy（MP-3）であった。

今年度の測定値は、事故前の測定値を上回っていた。

なお、四半期毎の各地点の測定値は、年月の経過とともに減少傾向にあった。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図3. 3に示す。

表3. 2 空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位：mGy）

No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値の範囲 ^{*2}		
			平成26年度～	事故直後	事故前
1	M P - 1	2.2	3.0～6.2	7.4～16	0.49～0.52
2	M P - 2	1.7	1.9～3.6	4.7～11	0.52～0.56
3	M P - 3	2.8	3.2～6.5	7.9～16	0.46～0.50
4	M P - 4	2.5	2.7～4.9	5.8～14	0.45～0.48
5	M P - 5	2.5	2.7～5.1	5.3～12	0.52～0.54
6	M P - 6	1.3	1.4～2.4	3.1～7.8	0.54～0.59
7	M P - 7	0.78	0.82～1.6	2.0～8.9	0.53～0.56
8	富岡町小こはま浜	1.9	2.0～6.5	— *3	— *3
9	富岡町富岡第一中学校	1.5	1.6～4.6	8.3～39	0.49～0.59
10	富岡町上(の)町社宅	1.8	2.0～11	12～29	0.50～0.53
11	富岡町上郡山清水	2.0	2.1～12	11～29	0.48～0.52
12	富岡町上郡山上郡	2.3	2.5～8.5	9.9～25	0.49～0.53
13	檜葉町上しげおかやまね根	2.0	2.3～4.4	5.6～15	0.47～0.51
14	檜葉町井でじょう浄光がし東	1.8	2.0～3.7	5.2～12	0.47～0.52
15	檜葉町下しげおかいつちょうつぼ	1.9	2.1～3.8	4.7～12	0.44～0.47
16	富岡町上郡山岩井戸	1.9	2.1～7.3	9.7	— *4
17	檜葉町井出はちこく石	1.0	1.1～1.7	3.6	— *4
18	檜葉町檜葉中学校	0.81	0.82～1.9	3.8	— *4

*1 年間相当値は、各四半期の測定値の和を365日相当に換算し、有効数字2桁で表示。

*2 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

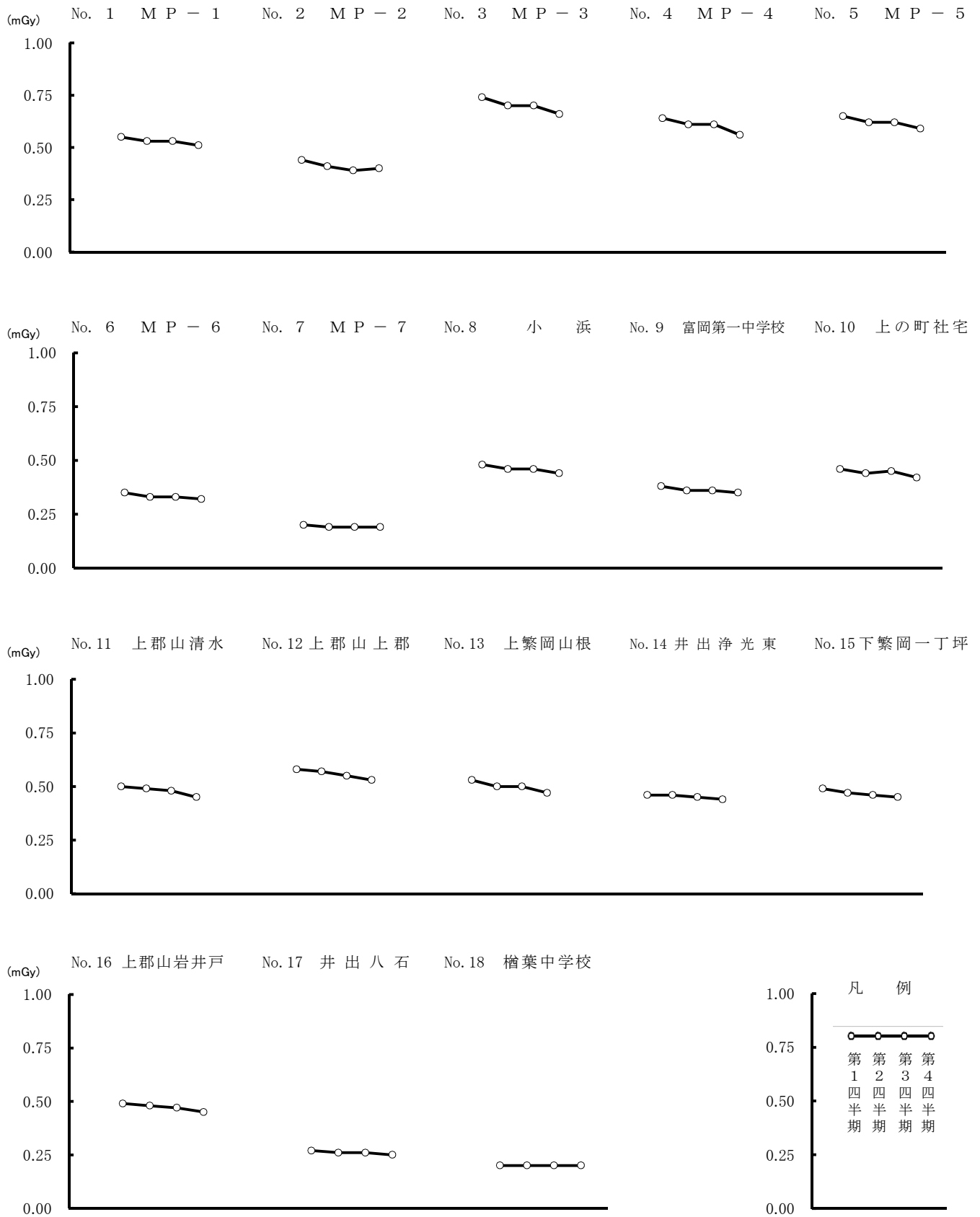
事故直後：平成22年度第4四半期から平成25年度まで。

事故前：平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、平成15年度から平成22年度第3四半期まで。

*3 平成26年度より測定を開始した。

*4 平成25年度より測定を開始した。

図3.3 空間積算線量（90日換算値*1）の推移



(注) *1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算した。

3-3-2 環境試料

3-3-2-(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表3.3に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は、0.014～0.015Bq/m³、最大値は0.12～0.16Bq/m³であり、全ベータ放射能の平均値は0.030～0.033Bq/m³、最大値は0.17～0.25Bq/m³であった。

いずれも事故前の値の範囲内でした。

表3.3 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

(単位：Bq/m³)

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲		
			平均値	最大値	平成26年度～	事故直後	事故前
					平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	M P - 1	全アルファ放射能	0.015	0.16	0.015～0.019 (0.14)	0.014～0.015 (0.14)	0.006～0.030 (0.20)
		全ベータ放射能	0.033	0.25	0.030～0.035 (0.21)	0.030～0.033 (0.23)	0.020～0.058 (0.29)
2	M P - 7	全アルファ放射能	0.014	0.12	0.015～0.018 (0.13)	0.015～0.016 (0.11)	0.005～0.026 (0.15)
		全ベータ放射能	0.030	0.17	0.031～0.034 (0.20)	0.031 (0.17)	0.019～0.049 (0.21)

(注) 1. 平均値は、6時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して求めた。

2. 最大値は、6時間ごとの測定値の最大を示す。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

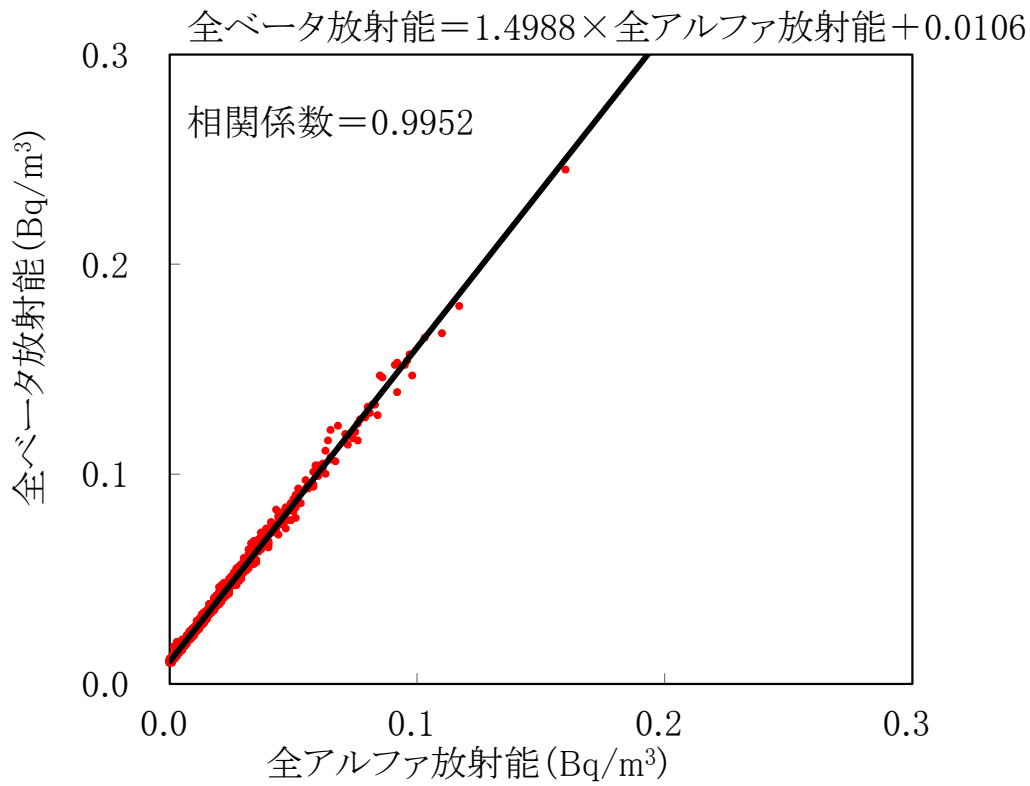
平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：測定を開始した平成24年度から平成25年度まで。

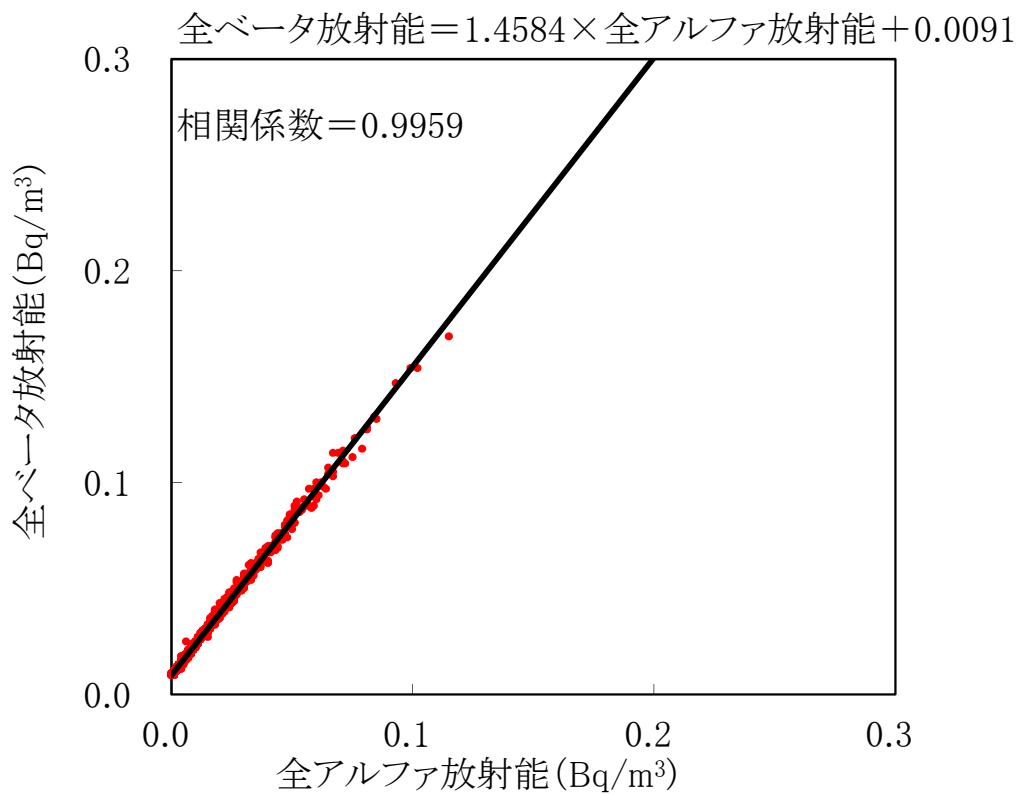
事故前：機器更新後の平成13年9月から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

図3.4 全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

No.1 MP-1



No.2 MP-7



3-3-2-(2) 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表3.4, 3.5に示す。

大気浮遊じん、土壌、海水、海底土、松葉、ほんだわらから事故前の測定値の範囲を上回るセシウム-134及びセシウム-137の人工放射性核種が検出されたが、年月の経過とともに減少傾向にある。

また、海水のトリチウムについては、検出されなかった。

表3.4 環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
大気浮遊じん	24	mBq/m ³	セシウム-134	ND	ND～0.066	ND～0.75	ND
			セシウム-137	0.008 ～ 0.030	ND～0.20	ND～1.1	ND
土 壌	8	Bq/kg乾	セシウム-134	5.1 ～ 320	7.3～2,800	490～9,000	ND
			セシウム-137	130 ～ 4,500	53～7,900	900～15,000	1.1～15
海 水	12	Bq/l	セシウム-134	ND ～ 0.006	ND～0.043	ND～0.36	ND
			セシウム-137	0.009 ～ 0.12	ND～0.11	0.079～1.1	ND～0.003
海 底 土	8	Bq/kg乾	セシウム-134	3.6 ～ 8.2	4.8～74	50～200	ND
			セシウム-137	52 ～ 110	53～220	120～360	ND～1.5
松 葉	8	Bq/kg生	セシウム-134	ND	ND～120	60～17,160	ND
			セシウム-137	19 ～ 48	18～330	130～22,840	ND～0.06
ほんだわら	1	Bq/kg生	セシウム-134	ND	※	12～35	ND
			セシウム-137	1.8	※	22～54	ND～0.06

※は測定値なし（令和元年度より測定再開）

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計である。

2. NDは、検出限界未満。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

表3.5 環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
海 水	12	Bq/l	トリチウム	ND	ND	ND	ND

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計である。

2. NDは、検出限界未満。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

3-3-2-(3) 環境試料中の放射性ストロンチウム濃度

今年度の測定結果を表3.6に示す。

土壌から、ストロンチウム-90の人工放射性核種が検出されたが、事故直後と比較すると、概ね横ばいから減少傾向にある。

なお、ストロンチウム-90については、事故後、平成24年度まで欠測。

表3.6 環境試料中の放射性ストロンチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	ストロンチウム-90	ND ~ 3.9	ND~5.5	2.4~3.9	1.4~2.4
海水	3	Bq/l	ストロンチウム-90	ND	ND~0.005	0.011~0.014	0.001~0.003
海底土	2	Bq/kg乾	ストロンチウム-90	ND	ND~0.36	ND	ND~0.16

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。

2. NDは、検出限界未満。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

3-3-2-(4) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度

今年度の測定結果を表3.7に示す。

土壌から、プルトニウム-239+240が検出され、事故後概ね横ばい傾向にある。

また、プルトニウム-238については、検出されなかった。

なお、プルトニウムについては事故後に測定を開始した。

表3.7 環境試料中の放射性プルトニウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	プルトニウム238	ND	ND	ND	-
			プルトニウム239+240	0.03 ~ 0.33	0.03~0.37	0.11~0.28	-

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。

2. NDは、検出限界未満。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

3-3-2-(5) 環境試料中のアメリカシウム放射能濃度

今年度の測定結果を表3.8に示す。

土壌から、アメリカシウム-241が検出され、事故後概ね横ばい傾向にある。

なお、アメリカシウムについては事故後に測定を開始した。

表3.8 環境試料中の放射性アメリカシウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	アメリカシウム-241	0.02 ～ 0.13	0.01～0.15	0.36～0.53	-

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。

2. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

3-3-2-(6) 環境試料中のキュリウム放射能濃度

今年度の測定結果を表3.9に示す。

土壌のキュリウム-244は検出されなかった。

なお、キュリウムについては事故後に測定を開始したが、測定開始以降、検出されていない。

表3.9 環境試料中の放射性キュリウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲		
					平成26年度～	事故直後	事故前
土壌	4	Bq/kg乾	キュリウム-244	ND	ND	ND	-

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。

2. NDは、検出限界未満。

3. 「過去の測定値の範囲」は、

平成26年度～：平成26年度から前年度まで。

事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

3-4 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覽表

3-4-1 空間放射線
3-4-1-1 (1) 空間線量率

單位：線量率：nGy/h
測定時間：h
上段：平均值
中段：(最大值)
下段：(最小值)

測定年月 測定項目 測定地点名 No.	H31.4		R1.5		R1.6		R1.7		R1.8		R1.9		R1.10		R1.11		R1.12		R2.1		R2.2		R2.3	
	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	203 (212) (190)	710	196 (203) (160)	744	191 (209) (180)	720	182 (193) (167)	744	191 (204) (183)	744	186 (208) (171)	720	183 (207) (160)	744	185 (197) (172)	719	183 (197) (178)	744	181 (192) (172)	744	181 (193) (175)	696	179 (191) (168)	739
2	188 (199) (180)	710	182 (191) (170)	744	174 (196) (164)	720	165 (179) (157)	744	170 (184) (163)	744	164 (190) (159)	720	162 (205) (155)	744	164 (175) (158)	719	165 (180) (160)	744	163 (177) (156)	740	165 (179) (161)	696	164 (176) (154)	740
3	308 (321) (290)	720	299 (310) (270)	734	290 (311) (272)	720	273 (284) (259)	744	291 (304) (276)	744	280 (302) (264)	720	274 (298) (247)	744	278 (291) (263)	719	279 (290) (271)	744	274 (285) (259)	744	274 (285) (264)	696	262 (282) (226)	738
4	288 (301) (265)	720	280 (290) (254)	734	272 (292) (256)	720	257 (268) (242)	744	274 (285) (261)	744	263 (283) (247)	720	257 (291) (235)	744	260 (273) (245)	719	260 (270) (251)	744	255 (265) (243)	744	255 (265) (245)	696	244 (259) (196)	740
5	275 (281) (257)	720	272 (284) (259)	734	269 (287) (260)	720	262 (275) (254)	744	269 (278) (262)	744	264 (286) (256)	720	261 (301) (246)	744	261 (272) (251)	719	255 (266) (251)	744	253 (263) (246)	744	253 (262) (247)	696	253 (266) (214)	740
6	154 (164) (145)	720	149 (163) (137)	734	145 (165) (134)	720	137 (150) (129)	744	146 (160) (140)	744	142 (166) (134)	720	140 (177) (128)	744	142 (152) (134)	719	141 (158) (137)	744	140 (153) (131)	744	140 (153) (135)	696	138 (152) (121)	742
7	94 (104) (89)	720	92 (108) (88)	734	90 (116) (86)	720	87 (101) (83)	744	90 (104) (86)	744	88 (112) (85)	720	87 (135) (83)	744	87 (96) (84)	719	87 (104) (85)	744	86 (104) (83)	744	86 (101) (83)	696	85 (96) (78)	737

3-4-1-1(2) 空間積算線量

(単位: mGy)

No.	測定地点名	H31.4.4 測定期間 ～ R元.7.4		R元.7.4 ～ R元.10.3		R元.10.3 ～ R2.1.9		R2.1.9 ～ R2.4.9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	M P - 1	0.56 (0.55)	91	0.54 (0.53)	91	0.58 (0.53)	98	0.52 (0.51)	91
2	M P - 2	0.44 (0.44)	91	0.41 (0.41)	91	0.43 (0.39)	98	0.40 (0.40)	91
3	M P - 3	0.75 (0.74)	91	0.71 (0.70)	91	0.76 (0.70)	98	0.67 (0.66)	91
4	M P - 4	0.65 (0.64)	91	0.62 (0.61)	91	0.66 (0.61)	98	0.57 (0.56)	91
5	M P - 5	0.66 (0.65)	91	0.63 (0.62)	91	0.67 (0.62)	98	0.60 (0.59)	91
6	M P - 6	0.35 (0.35)	91	0.33 (0.33)	91	0.36 (0.33)	98	0.32 (0.32)	91
7	M P - 7	0.20 (0.20)	91	0.19 (0.19)	91	0.21 (0.19)	98	0.19 (0.19)	91
8	富岡町小 ^こ は ^ま 浜 ^浜	0.49 (0.48)	91	0.46 (0.46)	91	0.50 (0.46)	98	0.44 (0.44)	91
9	富岡町 ^{とみおか} 富岡 ^{だいいち} 第一 ^{ちゅうがっこう} 中学校	0.38 (0.38)	91	0.36 (0.36)	91	0.39 (0.36)	98	0.35 (0.35)	91
10	富岡町 ^{うす} 上 ^(の) 町 ^{まち} 社 ^{しゃ} 宅 ^{たく}	0.47 (0.46)	91	0.44 (0.44)	91	0.49 (0.45)	98	0.42 (0.42)	91
11	富岡町 ^{かみ} 上 ^{こおり} 郡 ^{やま} 山 ^{しみず} 清水	0.51 (0.50)	91	0.50 (0.49)	91	0.52 (0.48)	98	0.46 (0.45)	91
12	富岡町 ^{かみ} 上 ^{こおり} 郡 ^{やま} 山 ^{かみこおり} 上 ^郡	0.59 (0.58)	91	0.58 (0.57)	91	0.60 (0.55)	98	0.54 (0.53)	91
13	檜葉町 ^{かみ} 上 ^{しげ} 繁 ^お 岡 ^か 山 ^{やま} 根 ^ね	0.54 (0.53)	91	0.51 (0.50)	91	0.54 (0.50)	98	0.48 (0.47)	91
14	檜葉町 ^{はよう} 井 ^い 出 ^し 浄 ^{じやう} 光 ^{ひかり} 東	0.47 (0.46)	91	0.46 (0.46)	91	0.49 (0.45)	98	0.44 (0.44)	91
15	檜葉町 ^{しげ} 下 ^か 繁 ^お 岡 ^か 一 ^{いち} 丁 ^{ちやう} 坪 ^{つぼ}	0.50 (0.49)	91	0.47 (0.47)	91	0.50 (0.46)	98	0.45 (0.45)	91
16	富岡町 ^{かみ} 上 ^{こおり} 郡 ^{やま} 山 ^い 岩 ^{いわ} 井 ^い 戸 ^と	0.50 (0.49)	91	0.49 (0.48)	91	0.51 (0.47)	98	0.46 (0.45)	91
17	檜葉町 ^は 井 ^い 出 ^し 八 ^{はち} 岩 ^{いわ}	0.27 (0.27)	91	0.26 (0.26)	91	0.28 (0.26)	98	0.25 (0.25)	91
18	檜葉町 ^な 檜 ^ら 葉 ^は 中 ^{ちゅう} 学 ^{がく} 校 ^{こう}	0.20 (0.20)	91	0.20 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98	0.20 (0.20)	91

(注) 1 () 内は、90日換算値。

3-4-2 環境試料
3-4-2-1(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

測定値: Bq/m³ 上段: 平均値
単位: 測定時間: h 下段: (最大値)

No.	測定地点名	測定年月		H31.4		R元.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定項目	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
1	MP-1	全アルファ放射能	0.019 (0.097)	294	0.022 (0.16)	744	0.011 (0.084)	696	0.009 (0.092)	744	0.018 (0.077)	720	0.011 (0.091)	744	0.013 (0.039)	684	0.015 (0.059)	744	0.009 (0.035)	720	0.011 (0.058)	696	0.009 (0.035)	720	0.011 (0.058)	696	0.011 (0.063)	732
		全ベータ放射能	0.040 (0.16)	294	0.045 (0.25)	744	0.027 (0.13)	696	0.024 (0.14)	744	0.038 (0.13)	720	0.028 (0.15)	744	0.031 (0.072)	684	0.034 (0.10)	744	0.025 (0.064)	720	0.027 (0.10)	696	0.025 (0.064)	720	0.027 (0.10)	696	0.028 (0.11)	732
2	MP-7	全アルファ放射能	0.017 (0.10)	720	0.020 (0.093)	744	0.011 (0.071)	708	0.010 (0.079)	744	0.017 (0.067)	696	0.008 (0.032)	678	0.013 (0.039)	720	0.016 (0.052)	744	0.009 (0.037)	744	0.011 (0.060)	696	0.009 (0.037)	744	0.011 (0.060)	696	0.012 (0.054)	708
		全ベータ放射能	0.034 (0.15)	720	0.038 (0.15)	744	0.025 (0.11)	708	0.023 (0.12)	744	0.034 (0.11)	696	0.022 (0.061)	678	0.028 (0.069)	720	0.032 (0.091)	744	0.023 (0.065)	744	0.026 (0.092)	696	0.023 (0.065)	744	0.026 (0.092)	696	0.026 (0.087)	708

※MP-1については、高倉移設工事に伴い、平成31年2月12日より平成31年4月17日まで欠測した。

3-4-2-(2) 大気浮遊じんの核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
1	MP-1※1	H31. 4. 18 ~ H31. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R元. 5. 1 ~ R元. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 6. 1 ~ R元. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 7. 1 ~ R元. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 8. 1 ~ R元. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 9. 1 ~ R元. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 10. 1 ~ R元. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 11. 1 ~ R元. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R元. 12. 1 ~ R元. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R2. 1. 1 ~ R2. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R2. 2. 1 ~ R2. 2. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R2. 3. 1 ~ R2. 3. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	MP-7※2	H31. 4. 1 ~ H31. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 5. 1 ~ R元. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 6. 1 ~ R元. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 7. 1 ~ R元. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 8. 1 ~ R元. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 9. 1 ~ R元. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 10. 1 ~ R元. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 11. 1 ~ R元. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R元. 12. 1 ~ R元. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2. 1. 1 ~ R2. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2. 2. 1 ~ R2. 2. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R2. 3. 1 ~ R2. 3. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

注) 「ND」は検出限界未満である。
 ※1: 局舎移設工事に伴い、平成31年2月12日から平成31年4月17日まで欠測しました。欠測期間中、1日1回のサンプリングで核種が検出されなかったことを確認しました。
 ※2: 電源設備点検に伴い、令和元年9月30日から令和元年10月3日まで欠測しました。欠測期間中、1日1回のサンプリングで核種が検出されなかったことを確認しました。

第4 参考資料

4-1 原子力発電所の運転状況等

4-1-1 福島県の原子力発電所一覧

発電所名	所在地	認可出力 (MW)(注)	原子炉設置 許可年月日	工事認可 年月日	運転開始 年月日	
東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所	(1号機)	廃止措置	S41.12.1	S42.9.29	S46.3.26	
	(2号機)	〃	S43.3.29	S44.5.27	S49.7.18	
	(3号機)	〃	S45.1.23	S45.10.17	S51.3.27	
	(4号機)	〃	S47.1.13	S47.5.8	S53.10.12	
	(5号機)	双葉郡双葉町	〃	S46.9.23	S46.12.22	S53.4.18
	(6号機)	〃	〃	S47.12.12	S48.3.16	S54.10.24
東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所	(1号機)	1,100	S49.4.30	S50.8.21	S57.4.20	
	(2号機)	1,100	S53.6.26	S54.1.23	S59.2.3	
	(3号機)	1,100	S55.8.4	S55.11.10	S60.6.21	
	(4号機)	1,100	S55.8.4	S55.11.10	S62.8.25	

(注) 1MW=1,000kW

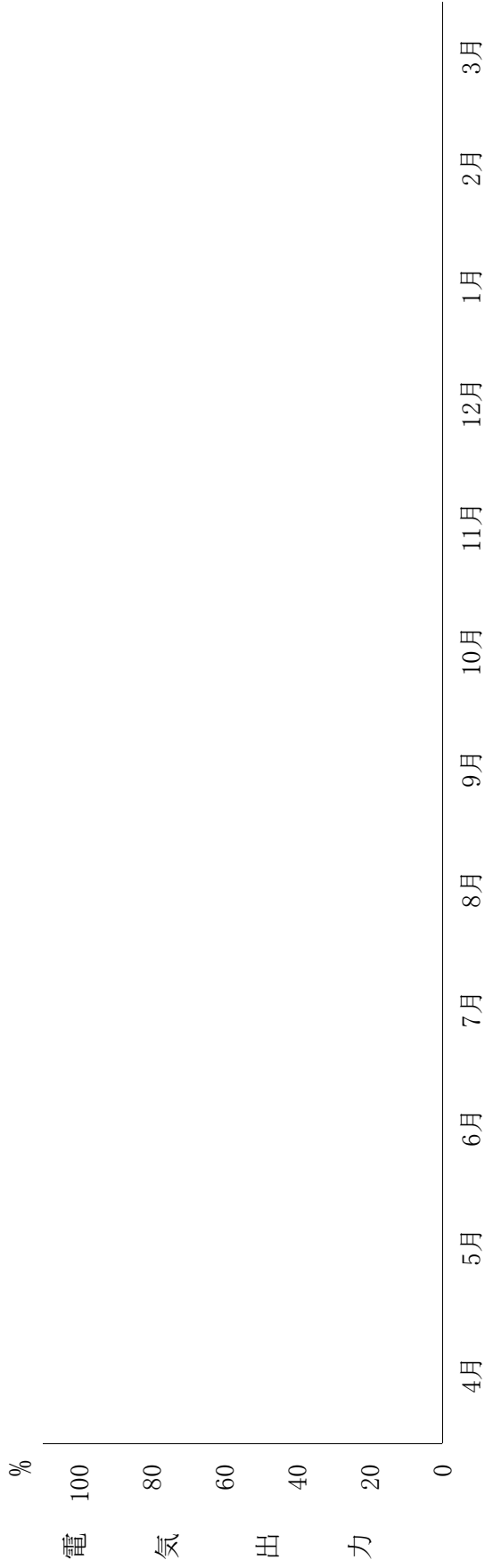
4-1-2 令和元年度設備利用率(月別)

発電所名	年月 認可 出力(MW)	H31.4	R元.5	6	7	8	9	10	11	12	R2.1	2	3	計
		東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所	1号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6号機	廃止措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
※ 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所	1号機	1,100	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	2号機	1,100	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	3号機	1,100	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	4号機	1,100	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—

※令和元年9月30日より廃止

(注) 設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{許可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100 (\%)$

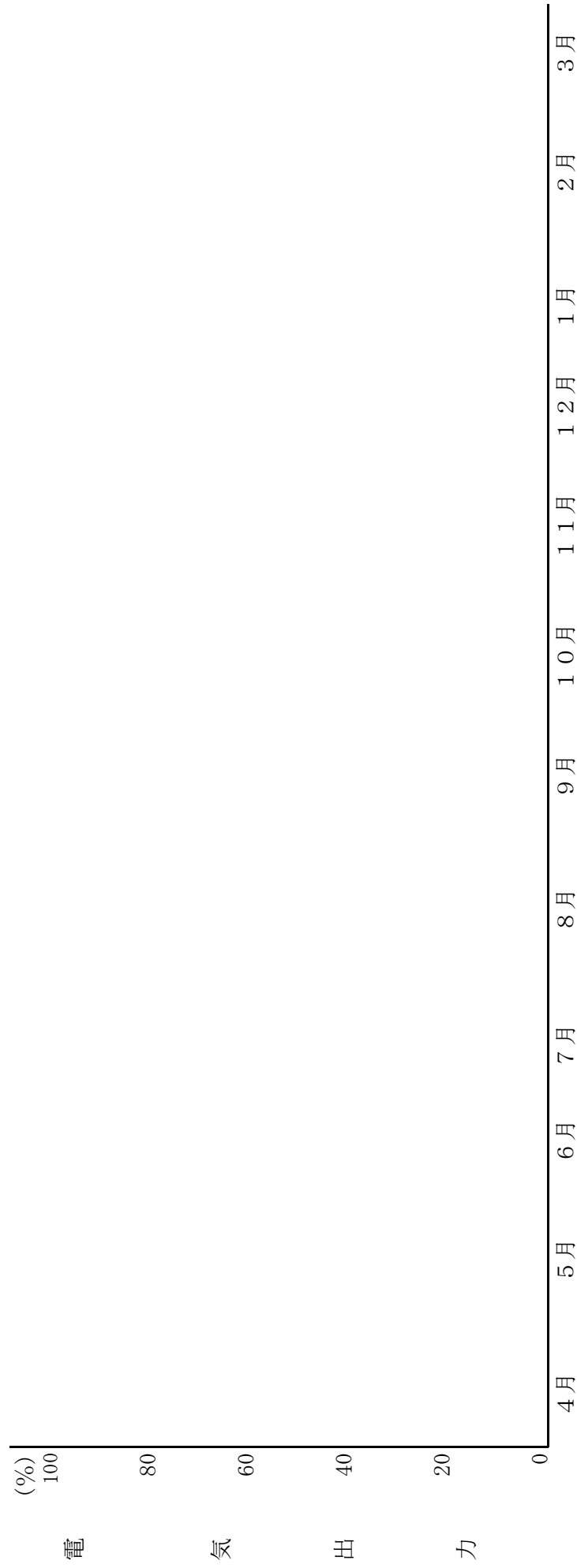
4-1-1-(3) 運転状況
 福島第一原子力発電所 令和元年度



1号機～6号機
 廃止措置

記 事

福島第二原子力発電所 令和元年度



<p>記</p>	<p>1号機, 2号機, 3号機, 4号機 H23. 3. 11 (平成22年度) ~ R元. 9. 29 東日本大震災に伴う停止 R元. 9. 30 廃止</p>
<p>事</p>	

4-1-1 (4) 放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出状況(令和元年度)

ア 福島第一原子力発電所測定分

(ア) 気体廃棄物の放出量(1~4号機)

1~4号機原子炉建屋及び1~3号機格納容器からの追加放出量

	粒子状物質		備考	
	^{134}Cs	^{137}Cs		
1~4号機合計※1			「福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画」において、「1~4号機原子炉建屋及び1~3号機原子炉格納容器以外からの追加的放出は、極めて少ないと考えられる」と評価されていることから、1~4号機における気体廃棄物の放出量としては、1~4号機原子炉建屋及び1~3号機格納容器から放出される ^{134}Cs 及び ^{137}Cs を対象としている。 月1回以上の試料採取により得られた放射能濃度(Bq/cm ³)に排気設備風量又は風量推定値(m ³ /h)を乗ずることによって放出率(Bq/h)を求め、その放出率に報告対象期間の時間(h)を乗ずることによって、追加放出量を求めている。	
内訳	1号機	7.2×10^7		2.6×10^8
	2号機	2.4×10^6		9.9×10^6
	3号機	1.8×10^7		1.2×10^8
	4号機※2	4.1×10^7		1.2×10^8
年間放出管理目標値 (年間)	4.3×10^{10}	4.3×10^{10}		

(単位:Bq)

※1 四捨五入の関係より、「号機毎の合計値」と「1~4号機合計」が合わない場合がある。

※2 4号機はCs-134,Cs-137どちらも検出されておらず検出限界値を用いて放出量を算出している。

(イ) 放射性気体廃棄物の放出量(5・6号機及びその他)

(単位:Bq)

	全希ガス	¹³¹ I	全粒子状物質	³ H	備考
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	4.7×10 ²	8.4×10 ¹⁰	放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm ³)に排気量(m ³)を乗じて求めている。なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス:2×10 ⁻² (Bq/cm ³) ¹³¹ I:7×10 ⁻⁹ (Bq/cm ³) 全粒子状物質:4×10 ⁻⁹ (Bq/cm ³) ³ H:4×10 ⁻⁵ (Bq/cm ³) (¹³⁷ Csで代表した)
5, 6号機共用排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	7.1×10 ¹⁰	
※2 排気筒 別内訳 焼却炉建屋排気筒	——	検出されず	検出されず	検出されず	
大型機器除染設備排気口 及び 汚染拡大防止ハウス排気口	——	——	4.7×10 ²	——	
使用済燃料共用プール排気口	検出されず	検出されず	検出されず	1.4×10 ¹⁰	
年間放出管理目標値 ^{※1}	2.8×10 ¹⁵	1.4×10 ¹¹	——	——	

※1 特定原子力施設に係わる実施計画値(5, 6号機の合計値)。

※2 汚染拡大防止ハウス排気口は排気設備停止中。

(ウ)放射能液体廃棄物の放出量

(単位:Bq)

	全核種 (³ Hを除く)	核種別					
		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I
原子炉施設合計	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値	7.4×10 ¹⁰						

(続き)

	核種別			³ H	備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他		
原子炉施設合計	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	・ 1～4号機排水口は、閉塞済み。
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値	7.4×10 ¹²				

イ 福島第二原子力発電所測定分

(ア) 放射性気体廃棄物の放出量

(単位:Bq)

	全希ガス	¹³¹ I	全粒子状物質	³ H	備考
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	検出されず	1.8×10 ¹¹	放射性気体廃棄物の放出放射エネルギー(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm ³)に排気量(m ³)を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射エネルギー(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス: 2×10 ⁻² (Bq/cm ³) ¹³¹ I: 7×10 ⁻⁹ (Bq/cm ³) 全粒子状物質: 4×10 ⁻⁹ (Bq/cm ³) (⁶⁰ Coで代表した) その他排気筒(内訳) ・焼却設備排気筒 ・サイトシンカ建屋排気筒
1号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	3.8×10 ¹⁰	
2号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	3.6×10 ¹⁰	
3号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	4.4×10 ¹⁰	
4号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	5.7×10 ¹⁰	
廃棄物処理建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	5.5×10 ⁹	
その他排気筒	—	検出されず	検出されず	—	
年間放出管理目標値 *1	5.5×10 ¹⁵	2.3×10 ¹¹	—	—	

*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射エネルギーである。

(イ) 放射性液体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

	全核種 (³ Hを除く)	核種別						
		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	2号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値 *1	1.4 × 10 ¹¹							

(続き)

	核種別			³ H	備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他		
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	検出されず	2.9 × 10 ⁹	放射性液体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排水中の放射性物質の濃度 (Bq/cm ³) に排水量 (m ³) を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能 (Bq) の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全核種 (³ Hを除く): 2 × 10 ⁻² (Bq/cm ³) (⁶⁰ Coで代表した) ³ H: 2 × 10 ⁻¹ (Bq/cm ³)
排水口 別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	検出されず	検出されず	2.9 × 10 ⁹	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値 *1				1.4 × 10 ¹³ *2	

*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射能量である。

*2 トリチウムについては、放出管理の年間基準値を記載。

トリチウムは公衆への影響が比較的小さく、上記指針に定められた線量目標値が100倍の値を年間の放出放射能量として設定したものである。

4-2 試料採取時の付帯データ集

4-2-(1) 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分

ア 環境試料

(ア) 海水

採取地点名	採取年月日	気温(℃)	水温(℃)	pH	Cl ⁻ (%)
第一(発)取水口	R元. 5.15	19.0	12.1	8.1	19.2
	R元. 8.23	27.5	23.4	8.1	18.7
	R元. 11.14	18.7	16.7	8.1	18.6
	R2 . 2.14	13.7	10.2	8.2	18.8
第一(発)南放水口	R元. 5.16	19.6	12.0	8.0	19.0
	R元. 8.21	29.2	23.1	8.1	18.5
	R元. 11.13	22.1	17.3	8.1	18.3
	R2 . 2.13	12.0	9.5	8.2	18.3
第一(発)北放水口	R元. 5.16	18.1	12.3	8.1	19.2
	R元. 8.21	31.1	24.5	8.1	18.5
	R元. 11.13	17.9	17.1	8.0	18.2
	R2 . 2.13	11.6	10.0	8.1	18.2

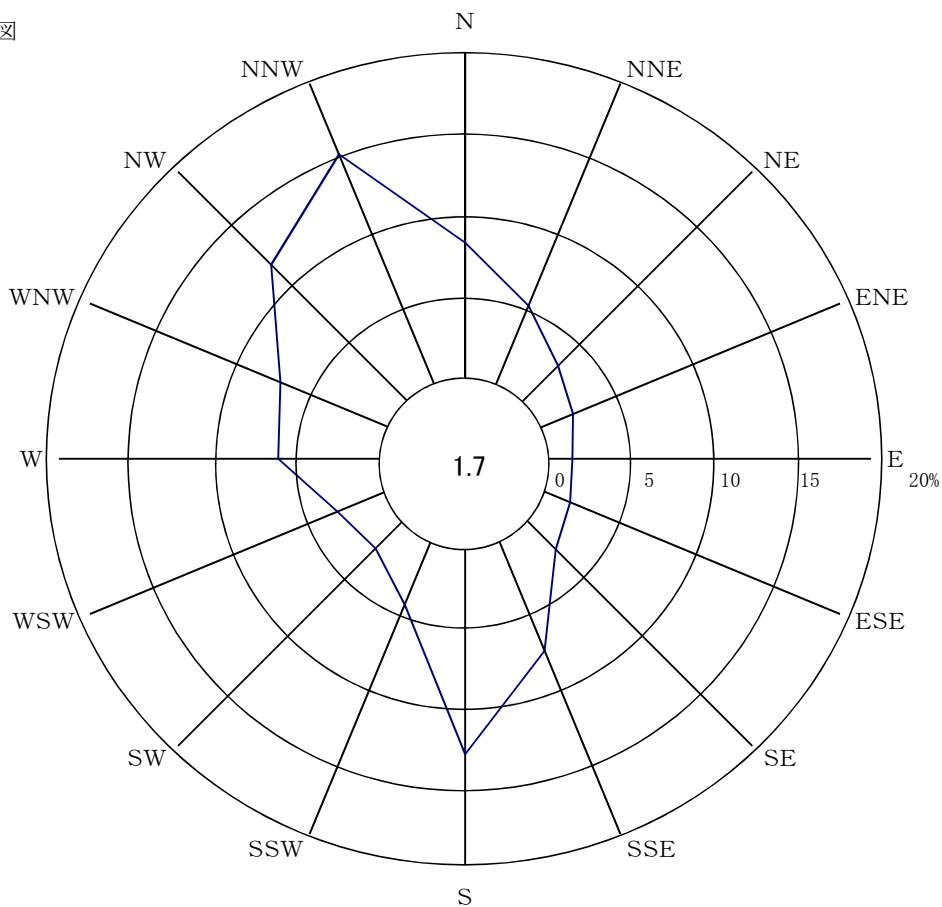
イ 気象測定結果

(ア) 風向, 風速, 気温, 降雨雪量, 大気安定度の月別記録

測定年月	測定項目	風向※ (最多)	風速(m/sec) ※		気温(°C)			降雨雪		大気安定度 (最多)
			最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日数	
平成31年	4月	S	21.2	6.1	22.9	-0.3	10.4	65.0	8	D
令和元年	5月	S	17.5	5.4	29.7	6.5	16.7	116.5	8	D
	6月	S	18.3	5.0	28.2	12.4	18.9	198.5	18	D
	7月	S	14.9	4.4	33.2	15.8	22.1	223.5	19	D
	8月	SSE	16.6	3.8	37.8	21.1	25.9	64.0	9	D
	9月	NNW	22.7	3.9	31.6	15.0	22.7	139.0	11	D
	10月	NNW	19.4	4.6	28.6	9.7	17.8	562.0	14	D
	11月	NNW	20.6	4.4	23.5	0.1	11.3	52.0	6	F
	12月	NW	18.4	4.3	18.9	0.3	7.2	16.0	5	F
令和2年	1月	NW	18.2	4.8	15.6	-0.7	5.5	107.5	7	F
	2月	W	19.9	4.7	16.2	-3.5	5.5	29.0	7	F
	3月	S	22.9	5.6	19.1	-0.3	8.0	94.5	9	D

※ 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

(イ) 風配図



(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

4-2-(2) 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所測定分

ア 環境試料

(ア) 海水

採取地点名	採取年月日	気温(°C)	水温(°C)	pH	Cl ⁻ (%)
第二(発)取水口	R元. 5.16	14.4	11.3	8.0	19.2
	R元. 8.26	23.9	23.4	8.1	18.5
	R元. 11.15	14.5	16.2	8.2	18.8
	R2. 2.14	12.0	10.0	8.0	18.7
第二(発)南放水口	R元. 5.16	18.0	11.2	8.0	19.0
	R元. 8.26	27.3	24.4	8.1	18.6
	R元. 11.15	11.3	14.3	8.2	18.5
	R2. 2.14	13.5	10.6	8.2	18.6
第二(発)北放水口	R元. 5.16	14.7	12.7	8.0	19.0
	R元. 8.26	26.4	24.2	8.1	18.5
	R元. 11.15	12.0	16.3	8.1	18.3
	R2. 2.14	12.3	10.4	8.2	18.5

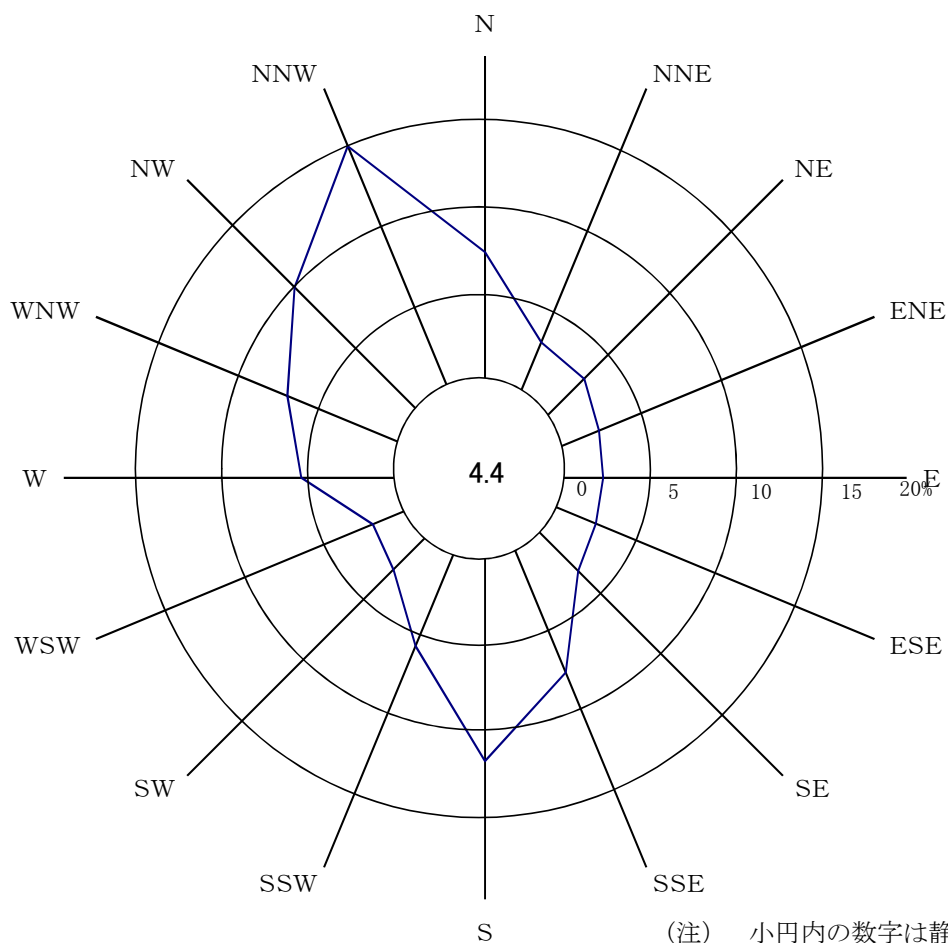
イ 気象測定結果

(ア) 風向, 風速, 気温, 降雨雪量, 大気安定度の月別記録

測定年月	測定項目	風向※ (最多)	風速(m/sec) ※		気温(℃)			降雨雪		大気安定度(最)
			最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日数	
平成31年	4月	S	20.4	6.1	24.0	-1.3	10.3	61.5	8	D
令和元年	5月	S	16.3	5.2	28.7	5.9	16.3	122.5	8	D
	6月	S	13.4	5.0	28.7	11.2	18.6	175.0	17	D
	7月	S	12.6	4.0	31.0	15.2	21.6	208.0	19	D
	8月	S	14.6	3.2	35.0	19.2	24.8	49.0	10	D
	9月	NNW	17.8	3.5	30.7	13.6	21.6	160.0	11	D
	10月	NNW	22.3	4.6	27.7	8.6	16.9	596.5	14	D
	11月	NNW	19.5	4.6	23.1	-1.2	10.4	67.5	7	D
	12月	SSW	19.0	4.5	18.6	-1.1	6.8	25.5	6	D
令和2年	1月	NW	17.4	5.2	15.7	-1.9	5.1	122.0	7	D
	2月	NNW	18.8	4.7	15.8	-4.7	5.2	31.5	7	D
	3月	NNW	21.4	5.4	18.7	-1.9	7.5	115.5	10	D

※ 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

(イ) 風配図



4-3 環境試料測定日

4-3-1 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β放射能	γ
大気浮遊じん	MP-3	H31. 4. 1~H31. 4. 30	連続	R元. 5. 14
		R元. 5. 1~R元. 5. 31	連続	R元. 6. 10
		R元. 6. 1~R元. 6. 30	連続	R元. 7. 15
		R元. 7. 1~R元. 7. 31	連続	R元. 8. 15
		R元. 8. 1~R元. 8. 31	連続	R元. 9. 19
		R元. 9. 1~R元. 9. 30	連続	R元. 10. 15
		R元. 10. 1~R元. 10. 31	連続	R元. 11. 12
		R元. 11. 1~R元. 11. 30	連続	R元. 12. 16
		R元. 12. 1~R元. 12. 31	連続	R2. 1. 20
		R2. 1. 1~R2. 1. 31	連続	R2. 2. 6
		R2. 2. 1~R2. 2. 29	連続	R2. 3. 10
		R2. 3. 1~R2. 3. 31	連続	R2. 4. 7
MP-8	MP-8	H31. 4. 1~H31. 4. 30	連続	R元. 5. 14
		R元. 5. 1~R元. 5. 31	連続	R元. 6. 11
		R元. 6. 1~R元. 6. 30	連続	R元. 7. 15
		R元. 7. 1~R元. 7. 31	連続	R元. 8. 19
		R元. 8. 1~R元. 8. 31	連続	R元. 9. 19
		R元. 9. 1~R元. 9. 30	連続	R元. 10. 11
		R元. 10. 1~R元. 10. 31	連続	R元. 11. 12
		R元. 11. 1~R元. 11. 30	連続	R元. 12. 18
		R元. 12. 1~R元. 12. 31	連続	R2. 1. 21
		R2. 1. 1~R2. 1. 31	連続	R2. 2. 11
		R2. 2. 1~R2. 2. 29	連続	R2. 3. 19
		R2. 3. 1~R2. 3. 31	連続	R2. 4. 7

(注)「/」は測定対象外。

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日							
			γ	³ H	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	
土壌	敷地内	R元. 5. 17	R元. 5. 20		R元. 8. 8	R元. 9. 24	R元. 9. 24	R元. 10. 16	R元. 10. 16	
		R元. 11. 21	R元. 12. 3							
	大熊町下の野上	R元. 5. 17	R元. 5. 20		R元. 8. 8	R元. 9. 25	R元. 9. 25	R元. 10. 16	R元. 10. 16	
		R元. 11. 21	R元. 11. 28							
	大熊町熊川	R元. 5. 17	R元. 5. 20		R元. 8. 8	R元. 9. 18	R元. 9. 18	R元. 10. 15	R元. 10. 15	
		R元. 11. 21	R元. 11. 26							
	双葉町郡山	R元. 5. 17	R元. 5. 20		R元. 8. 8	R元. 9. 18	R元. 9. 18	R元. 10. 15	R元. 10. 15	
		R元. 11. 21	R元. 11. 28							
	取水	水口	R元. 5. 15	R元. 6. 12	R元. 6. 7	R元. 7. 5				
			R元. 8. 23	R元. 9. 23	R元. 8. 26					
			R元. 11. 14	R元. 12. 5	R元. 11. 28					
			R2. 2. 14	R2. 3. 4	R2. 2. 27					
R元. 5. 16			R元. 6. 6	R元. 6. 8	R元. 7. 5					
R元. 8. 21			R元. 9. 25	R元. 8. 27						
R元. 11. 13			R元. 12. 10	R元. 11. 29						
R2. 2. 13			R2. 3. 19	R2. 2. 28						
R元. 5. 16			R元. 6. 12	R元. 6. 7	R元. 7. 5					
R元. 8. 21			R元. 9. 23	R元. 8. 26						
R元. 11. 13			R元. 12. 11	R元. 11. 28						
R2. 2. 13			R2. 3. 12	R2. 2. 27						
海水	南放水	R元. 5. 16	R元. 5. 20		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
		R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
		R元. 5. 16	R元. 5. 21		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
	北放水	R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
		R元. 5. 16	R元. 5. 21		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
		R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
海底土	南放水	R元. 5. 16	R元. 5. 20		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
		R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
		R元. 5. 16	R元. 5. 21		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
	北放水	R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
		R元. 5. 16	R元. 5. 21		R元. 7. 25					
		R元. 8. 21	R元. 8. 22							
		R元. 11. 13	R元. 11. 22							
		R2. 2. 13	R2. 2. 17							
松葉	MP-3付近	R元. 5. 10	R元. 5. 14							
		R元. 8. 8	R元. 8. 12							
		R元. 11. 20	R元. 11. 25							
		R2. 2. 20	R2. 2. 27							
		R元. 5. 10	R元. 5. 14							
		R元. 8. 8	R元. 8. 12							
	環境管理棟付近	R元. 11. 20	R元. 11. 25							
		R2. 2. 20	R2. 2. 27							
		R元. 5. 10	R元. 5. 14							
		R元. 8. 8	R元. 8. 12							
		R元. 11. 20	R元. 11. 25							
		R2. 2. 20	R2. 2. 20							
ほんだわら	港湾内	R元. 5. 22	R元. 5. 30							

(注)「/」は測定対象外。

4-3-2 東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所測定分

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日								
			全放	α	β	γ	^3H	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239,240}\text{Pu}$	^{241}Am
土	敷地内	R \bar{Y} . 5.15	R \bar{Y} . 6.1	R \bar{Y} . 7.5	R \bar{Y} . 9.17	R \bar{Y} . 9.17	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18
		R \bar{Y} . 11.13	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28
		R \bar{Y} . 5.15	R \bar{Y} . 6.1	R \bar{Y} . 7.5	R \bar{Y} . 9.19	R \bar{Y} . 9.19	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18
	櫛葉町波倉	R \bar{Y} . 11.13	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28
		R \bar{Y} . 5.15	R \bar{Y} . 6.1	R \bar{Y} . 7.5	R \bar{Y} . 9.12	R \bar{Y} . 9.12	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18
		R \bar{Y} . 11.13	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28
		R \bar{Y} . 5.15	R \bar{Y} . 6.1	R \bar{Y} . 7.5	R \bar{Y} . 9.10	R \bar{Y} . 9.10	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18	R \bar{Y} . 10.18
	福岡町下郡山	R \bar{Y} . 11.13	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28	R \bar{Y} . 11.28
		R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 6.21	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.16	R \bar{Y} . 9.16	R \bar{Y} . 9.16	R \bar{Y} . 9.16	R \bar{Y} . 9.16
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.16	R \bar{Y} . 12.19	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.19	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 12.5
海	取水口	R2. 2.14	R2. 3.18	R2. 2.27	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 7.2	R \bar{Y} . 6.5	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11
		R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 6.21	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.17	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.24	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.20	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6
	水南放水口	R2. 2.14	R2. 3.17	R2. 2.28	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 6.24	R \bar{Y} . 6.5	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11	R \bar{Y} . 7.11
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.17	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.17	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30	R \bar{Y} . 8.30
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.20	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.20	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6	R \bar{Y} . 12.6
		R2. 2.14	R2. 3.16	R2. 2.28	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
	北放水口	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.5	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.5	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.5	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14
		R2. 2.14	R2. 3.3	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.3	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.3	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
海底沈積物	南放水口	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14
		R2. 2.14	R2. 3.2	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
	北放水口	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14
		R2. 2.14	R2. 3.2	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14
	敷地の南境界付近	R2. 2.4	R2. 2.12	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
		R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.26	R \bar{Y} . 9.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
		R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.15	R \bar{Y} . 12.3	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14
		R2. 2.4	R2. 2.12	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25
松	敷地の北境界付近	R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 5.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 5.30	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	
		R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	
		R2. 2.4	R2. 2.12	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	
		R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	
ほんだわら敷地港湾内	敷地の北境界付近	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	
		R2. 2.4	R2. 2.12	R2. 2.12	R \bar{Y} . 5.16	R \bar{Y} . 5.23	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	R \bar{Y} . 7.25	
		R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.7	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12	
		R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.26	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	R \bar{Y} . 11.14	

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日		
			全放	α	β
大気 浮遊じん	MP-1	H31. 4.18~H31. 4.30	連続	R \bar{Y} . 5.31	R \bar{Y} . 5.31
		R \bar{Y} . 5.1~R \bar{Y} . 5.31	連続	R \bar{Y} . 6.18	R \bar{Y} . 6.18
		R \bar{Y} . 6.1~R \bar{Y} . 6.30	連続	R \bar{Y} . 7.16	R \bar{Y} . 7.16
		R \bar{Y} . 7.1~R \bar{Y} . 7.31	連続	R \bar{Y} . 8.8	R \bar{Y} . 8.8
		R \bar{Y} . 8.1~R \bar{Y} . 8.31	連続	R \bar{Y} . 9.12	R \bar{Y} . 9.12
		R \bar{Y} . 9.1~R \bar{Y} . 9.30	連続	R \bar{Y} . 10.16	R \bar{Y} . 10.16
		R \bar{Y} . 10.1~R \bar{Y} . 10.31	連続	R \bar{Y} . 11.13	R \bar{Y} . 11.13
		R \bar{Y} . 11.1~R \bar{Y} . 11.30	連続	R \bar{Y} . 12.17	R \bar{Y} . 12.17
		R \bar{Y} . 12.1~R \bar{Y} . 12.31	連続	R2. 1.17	R2. 1.17
		R2. 1.1~R2. 1.31	連続	R2. 2.10	R2. 2.10
		R2. 2.1~R2. 2.29	連続	R2. 3.26	R2. 3.26
R2. 3.1~R2. 3.31	連続	R2. 4.30	R2. 4.30		
MP-7	MP-7	H31. 4.1~H31. 4.30	連続	R \bar{Y} . 5.31	R \bar{Y} . 5.31
		R \bar{Y} . 5.1~R \bar{Y} . 5.31	連続	R \bar{Y} . 6.13	R \bar{Y} . 6.13
		R \bar{Y} . 6.1~R \bar{Y} . 6.30	連続	R \bar{Y} . 7.16	R \bar{Y} . 7.16
		R \bar{Y} . 7.1~R \bar{Y} . 7.31	連続	R \bar{Y} . 8.12	R \bar{Y} . 8.12
		R \bar{Y} . 8.1~R \bar{Y} . 8.31	連続	R \bar{Y} . 9.11	R \bar{Y} . 9.11
		R \bar{Y} . 9.1~R \bar{Y} . 9.30	連続	R \bar{Y} . 10.21	R \bar{Y} . 10.21
		R \bar{Y} . 10.1~R \bar{Y} . 10.31	連続	R \bar{Y} . 11.11	R \bar{Y} . 11.11
		R \bar{Y} . 11.1~R \bar{Y} . 11.30	連続	R \bar{Y} . 12.19	R \bar{Y} . 12.19
		R \bar{Y} . 12.1~R \bar{Y} . 12.31	連続	R2. 1.15	R2. 1.15
		R2. 1.1~R2. 1.31	連続	R2. 2.11	R2. 2.11
		R2. 2.1~R2. 2.29	連続	R2. 3.26	R2. 3.26
R2. 3.1~R2. 3.31	連続	R2. 4.27	R2. 4.27		

(注) 「/」: 測定対象外核種
 ※局舎移設工事に伴い、平成31年2月12日より4月17日まで欠測。

4-4 環境試料の核種濃度の検出限界について
 4-4-1 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所測定分

区分名	試料名 (部位)	単位	測定容器	前処理方法	測定時間	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	⁴⁰ K	
大気浮遊じん	大気浮遊じん	mBq/m ³	U8容器	1ヶ月分	80,000秒	0.60	0.010	0.015	0.026	0.008	0.030	0.026	0.27	0.15	0.034	0.19	/	/	/	/	/	/	/	0.084	
土	壤表土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	1,000秒 3,600秒	2,600 510	51 12	66 12	110 23	35 8.0	130 25	79 14	1,600 420	190 46	190 40	1,200 280	/	/	/	/	/	0.013	0.012	/	290 56
海	水表面	Bq/l	U8容器	生	80,000秒	/	0.001	0.002	0.004	0.001	0.003	0.003	0.022	0.002	0.002	0.016	0.39	/	0.001	/	/	/	/	/	
海底	土海砂又は海底土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	80,000秒	9.4	0.61	0.93	1.2	0.58	1.3	0.94	7.4	0.87	0.91	6.8	/	/	0.20	/	/	/	/	6.1	
松	葉	Bq/kg生	U8容器	生	10,000秒	65	5.3	5.2	11	6.4	9.6	7.0	58	7.3	6.8	45	/	13	/	/	/	/	/	62	
ほんだわら	葉	Bq/kg生	U8容器	生	80,000秒	2.1	0.21	0.21	0.51	0.25	0.41	0.28	1.6	0.18	0.21	1.4	/	/	/	/	/	/	/	2.2	

(注) 1. 「/」は対象核種外である。
 2. 検出限界値については、令和元年度の値の中で最も高い数値を掲げた。

4-4-2 東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所測定分

福島第二原子力発電所

区分名	試料名 (部位)	単位	測定容器	前処理方法	測定時間	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	⁴⁰ K
大気浮遊じん	大気浮遊じん	mBq/m ³	U8容器	1ヶ月分	80,000秒	0.28	0.011	0.015	0.032	0.012	0.032	0.028	0.12	0.014	0.012	0.11	/	/	/	/	/	/	/	/
土	表土	Bq/kg乾	U8容器	乾	3,600秒	180	6.1	6.7	13	6.4	16	11	110	13	14	83	/	/	0.22	0.014	0.013	0.012	0.013	56
海	表面水	Bq/l	U8容器	生	80,000秒	/	0.002	0.002	0.005	0.001	0.004	0.004	0.018	0.002	0.002	0.014	0.37	/	0.001	/	/	/	/	/
海底沈積物	海砂または 海底土	Bq/kg乾	U8容器	乾	80,000秒	10	0.66	0.69	1.7	0.66	1.5	1.3	6.1	0.68	0.79	5.6	/	/	0.19	/	/	/	/	6.5
松	葉	Bq/kg生	U8容器	生	10,000秒	67	5.2	5.1	12	7.3	9.1	8.3	50	5.9	6.2	47	/	17	/	/	/	/	/	64
ほんだわら	葉莖	Bq/kg生	U8容器	生	80,000秒	1.1	0.13	0.13	0.32	0.15	0.26	0.17	1.0	0.11	0.14	0.87	/	/	/	/	/	/	/	1.2

(注) 1 「/」は対象外核種である。

2 検出限界については、令和元年度の値の中で、最も高い数値を掲げた。

4-5 空間線量率等の変動グラフ 令和元年度

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所

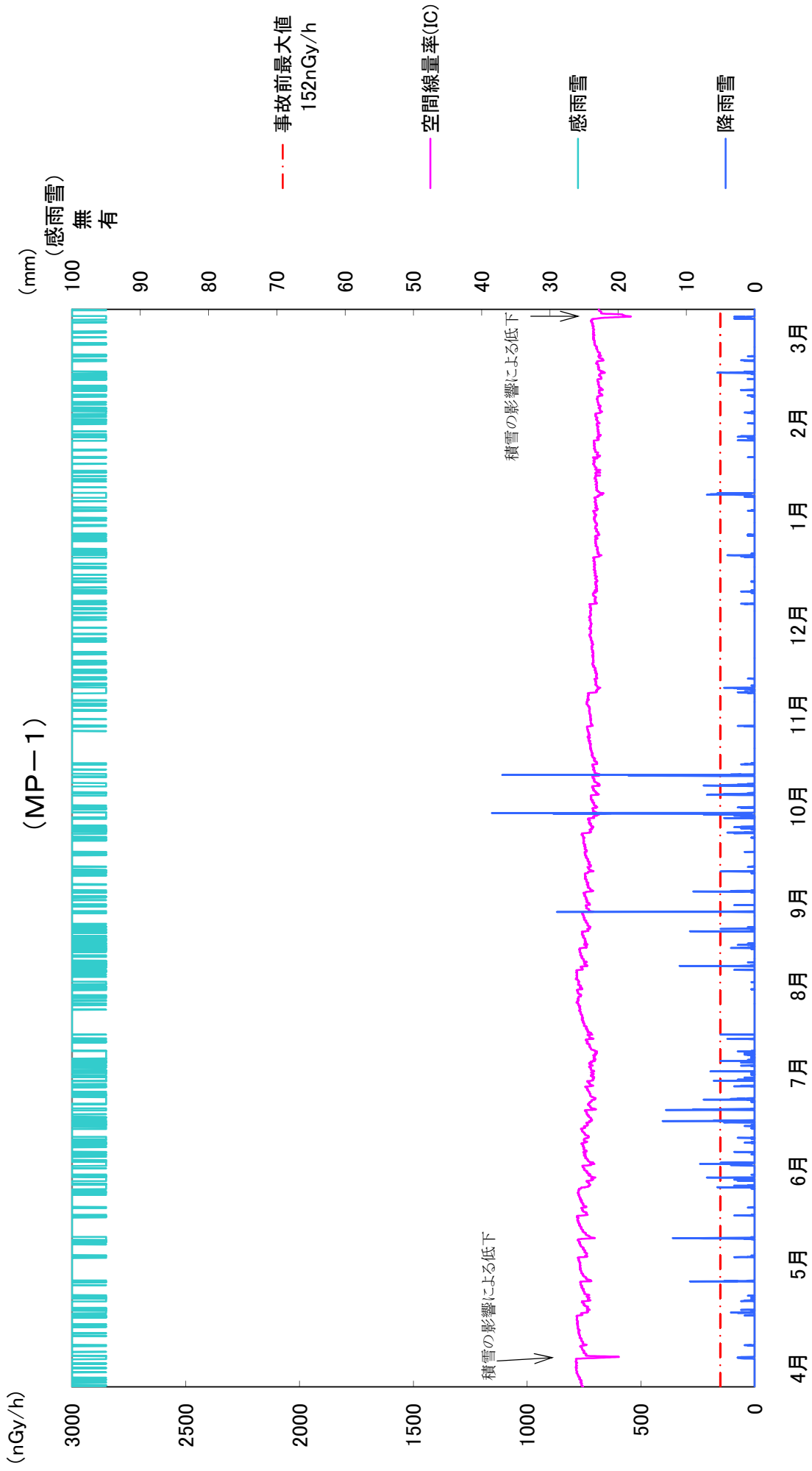
福島第二原子力発電所

目次

空間線量率	大気浮遊じん (推移)
1 福島第一原子力発電所 MP-1 . . . 58	1 福島第一原子力発電所 MP-3 . . . 73
2 福島第一原子力発電所 MP-2 . . . 59	2 福島第一原子力発電所 MP-8 . . . 74
3 福島第一原子力発電所 MP-3 . . . 60	3 福島第二原子力発電所 MP-1 . . . 75
4 福島第一原子力発電所 MP-4 . . . 61	4 福島第二原子力発電所 MP-7 . . . 76
5 福島第一原子力発電所 MP-5 . . . 62	
6 福島第一原子力発電所 MP-6 . . . 63	
7 福島第一原子力発電所 MP-7 . . . 64	
8 福島第一原子力発電所 MP-8 . . . 65	
9 福島第二原子力発電所 MP-1 . . . 66	
10 福島第二原子力発電所 MP-2 . . . 67	
11 福島第二原子力発電所 MP-3 . . . 68	
12 福島第二原子力発電所 MP-4 . . . 69	
13 福島第二原子力発電所 MP-5 . . . 70	
14 福島第二原子力発電所 MP-6 . . . 71	
15 福島第二原子力発電所 MP-7 . . . 72	

空間線量率の変動グラフ

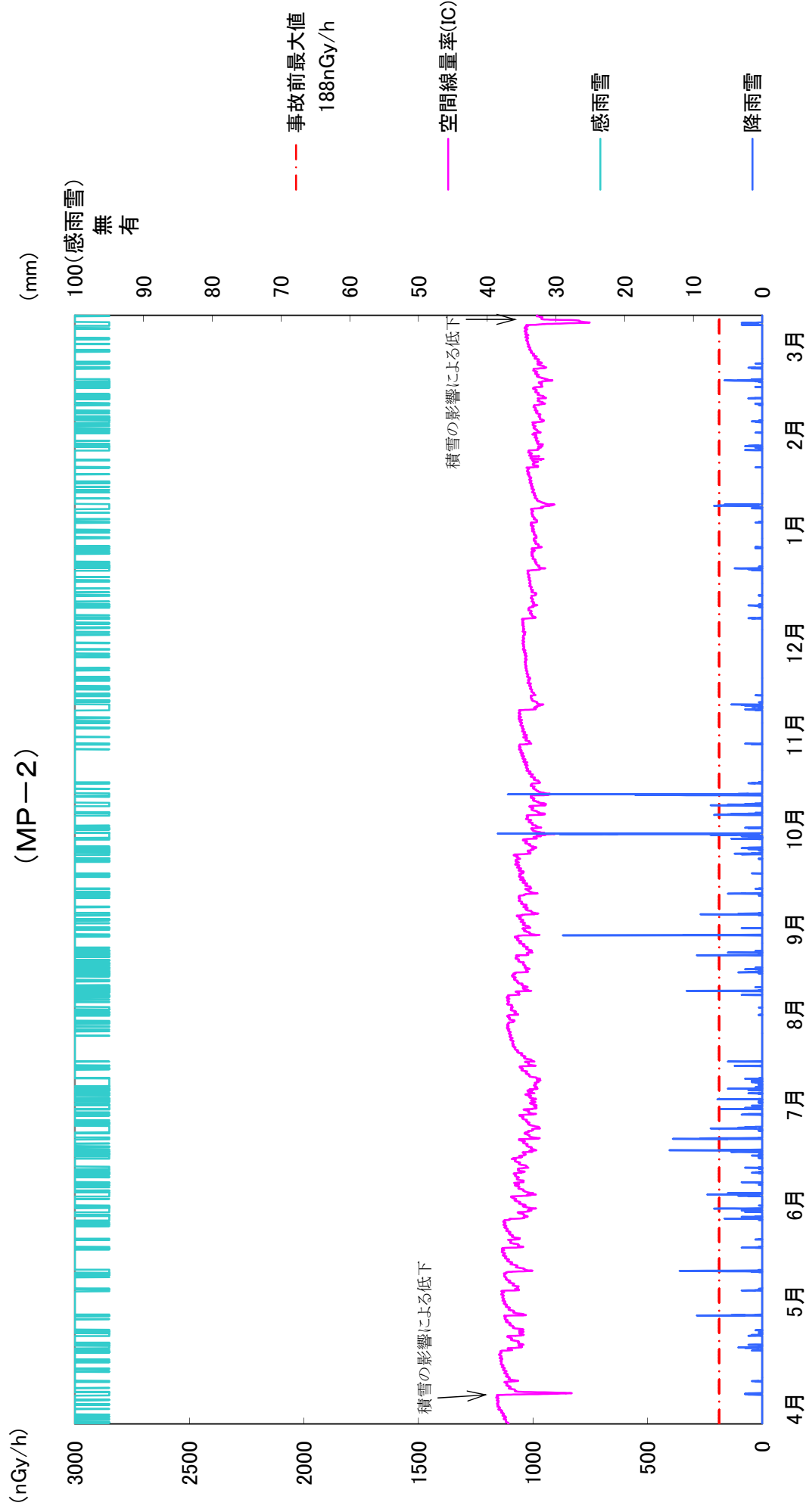
福島第一原子力発電所



点検に伴う欠測: 12月3日・4日, 1月17日, 2月4日・12日
 欠測時には, 代替測定器にて測定し, 指示値に異常がないことを確認している。
 ※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより, 測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

福島第一原子力発電所



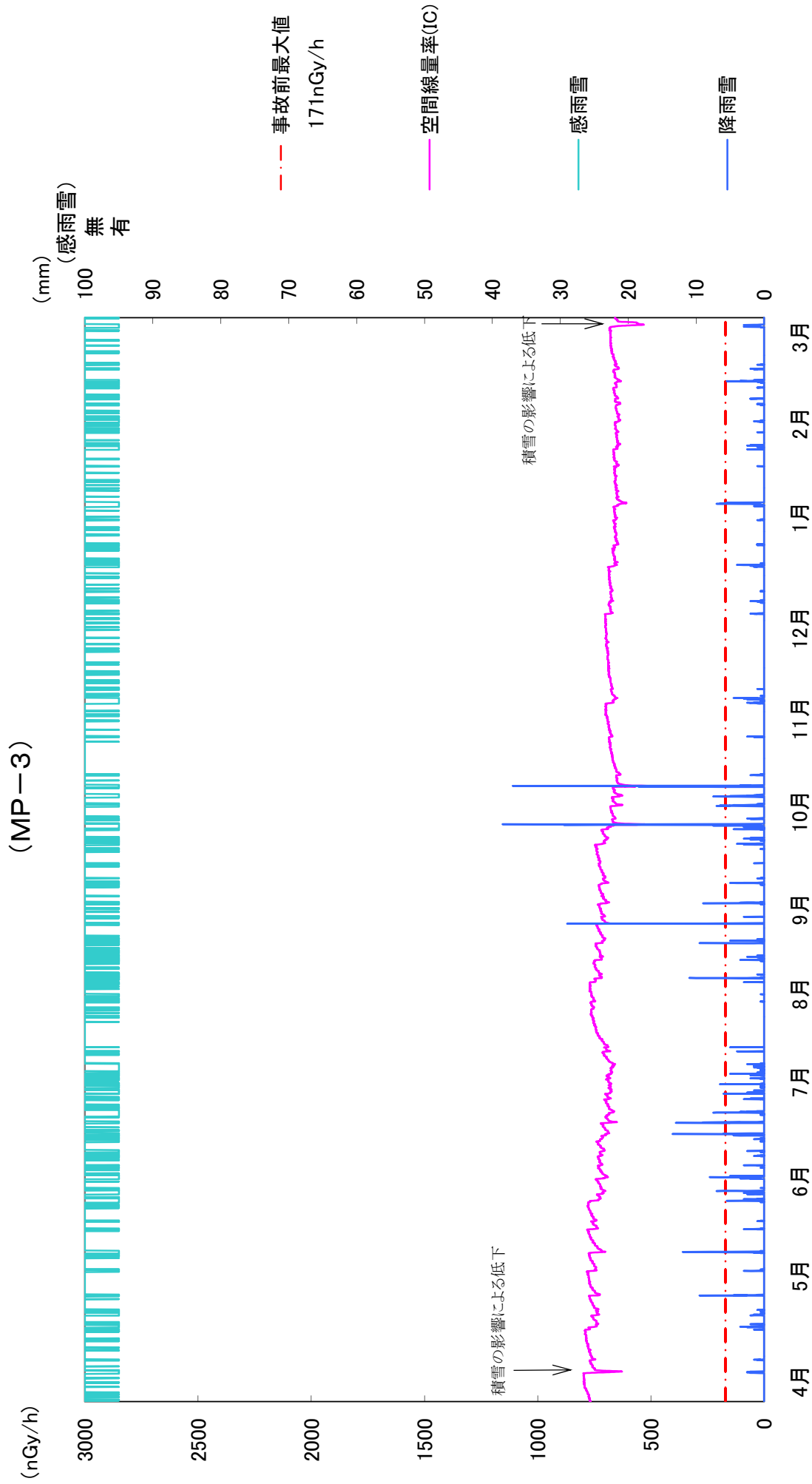
点検に伴う欠測: 12月5日・6日, 2月12日・18日

欠測時には, 代替測定器にて測定し, 指示値に異常がないことを確認している。

※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより, 測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

福島第一原子力発電所

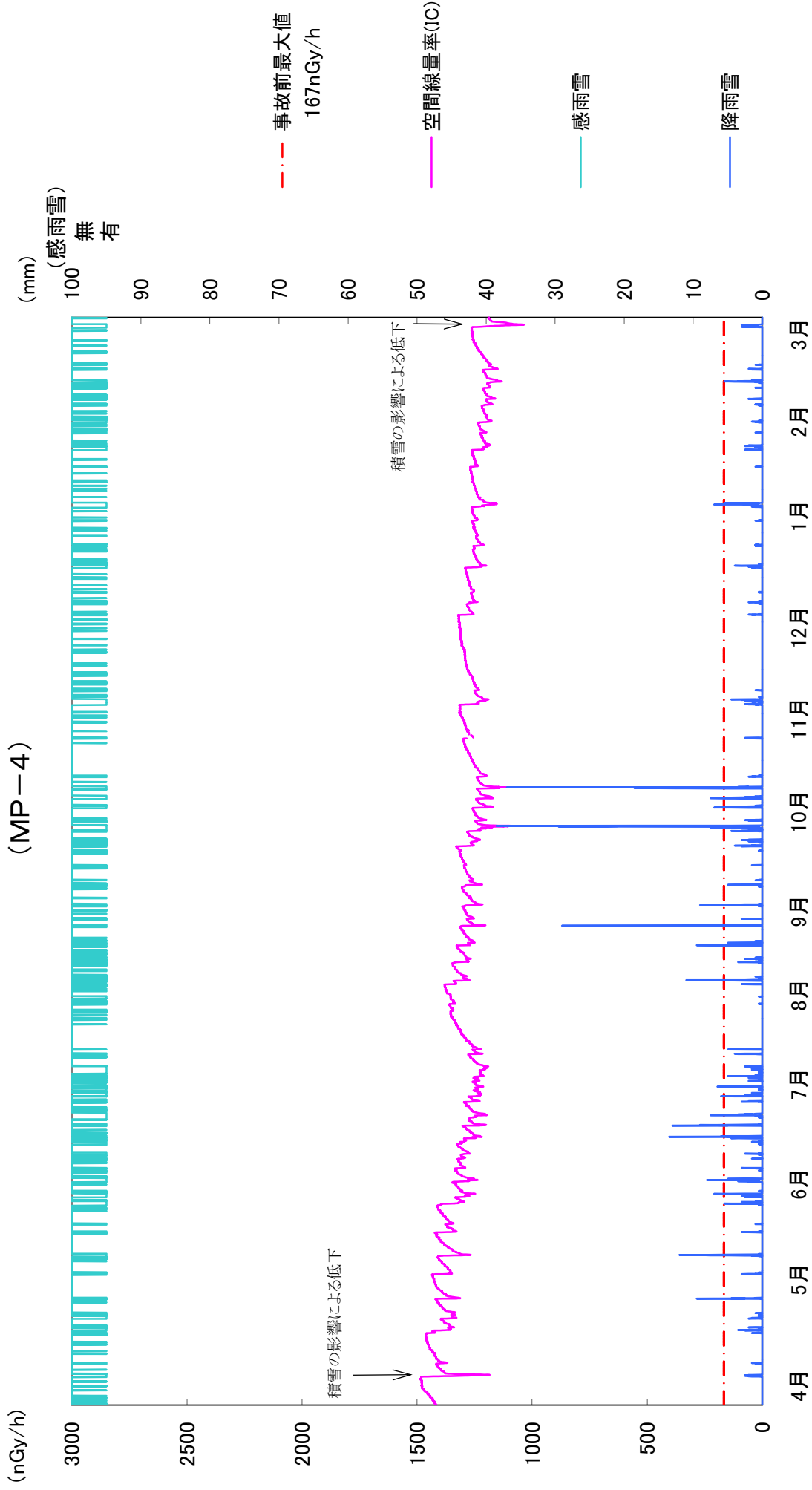


点検に伴う欠測：11月6日・7日、12月17日、2月4日

欠測時には、代替測定器にて測定し、指示値に異常がないことを確認している。

※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより、測定を電離箱式検出器(IC)に行っている。

空間線量率の変動グラフ

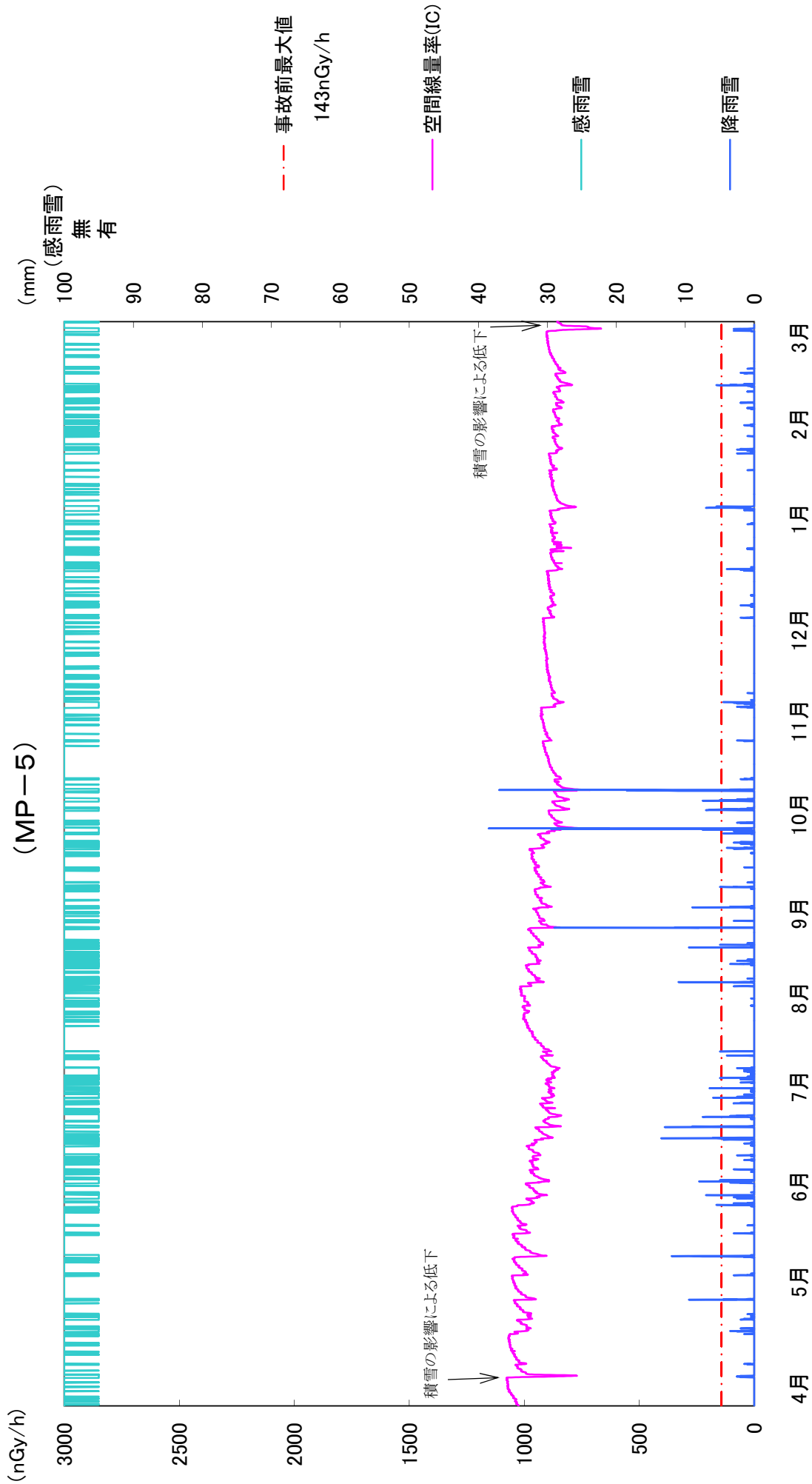


点検に伴う欠測：11月11日・12日，12月17日，1月28日・31日

欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。

※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

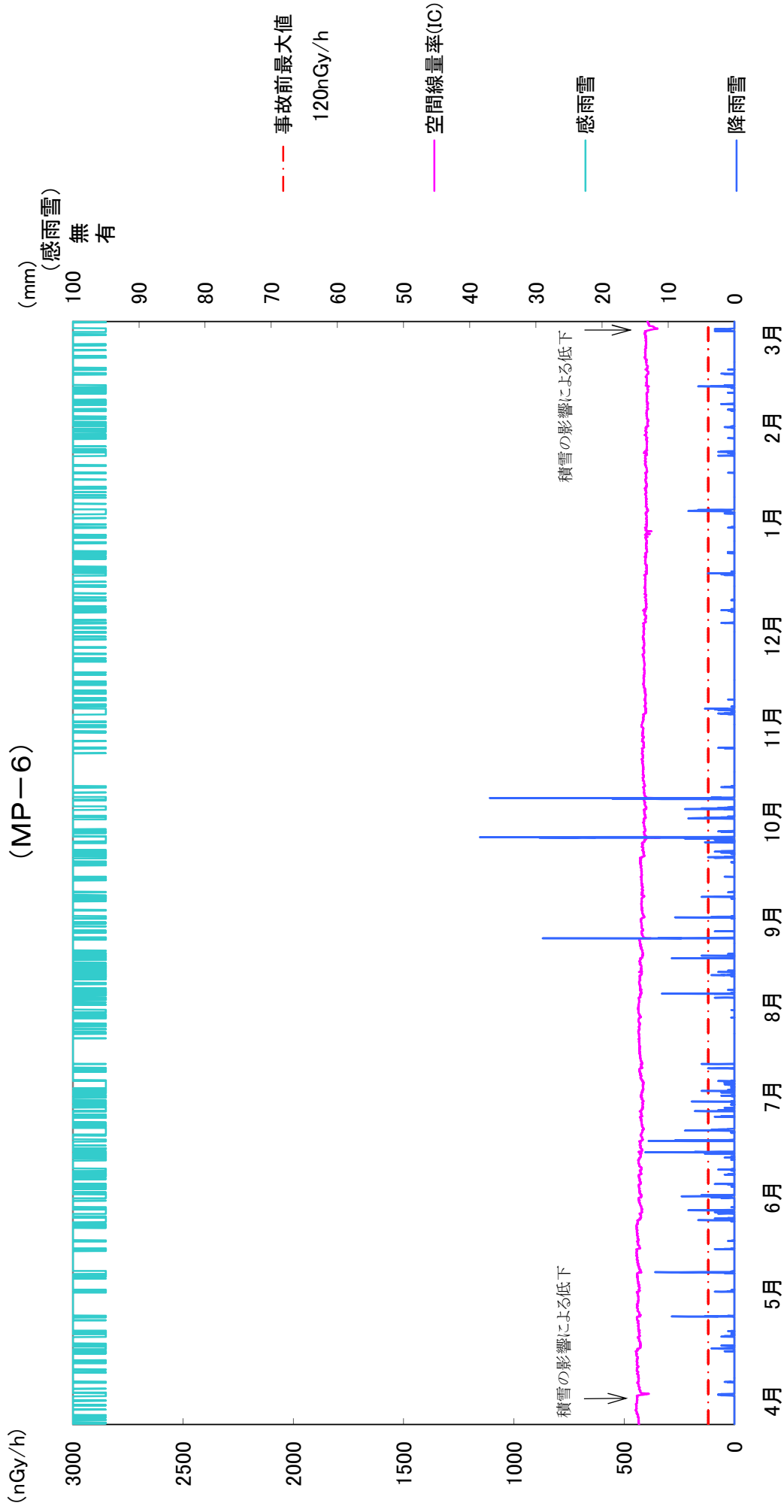


点検に伴う欠測：11月14日・15日、1月10日・20日

欠測時には、代替測定器にて測定し、指示値に異常がないことを確認している。

※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより、測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

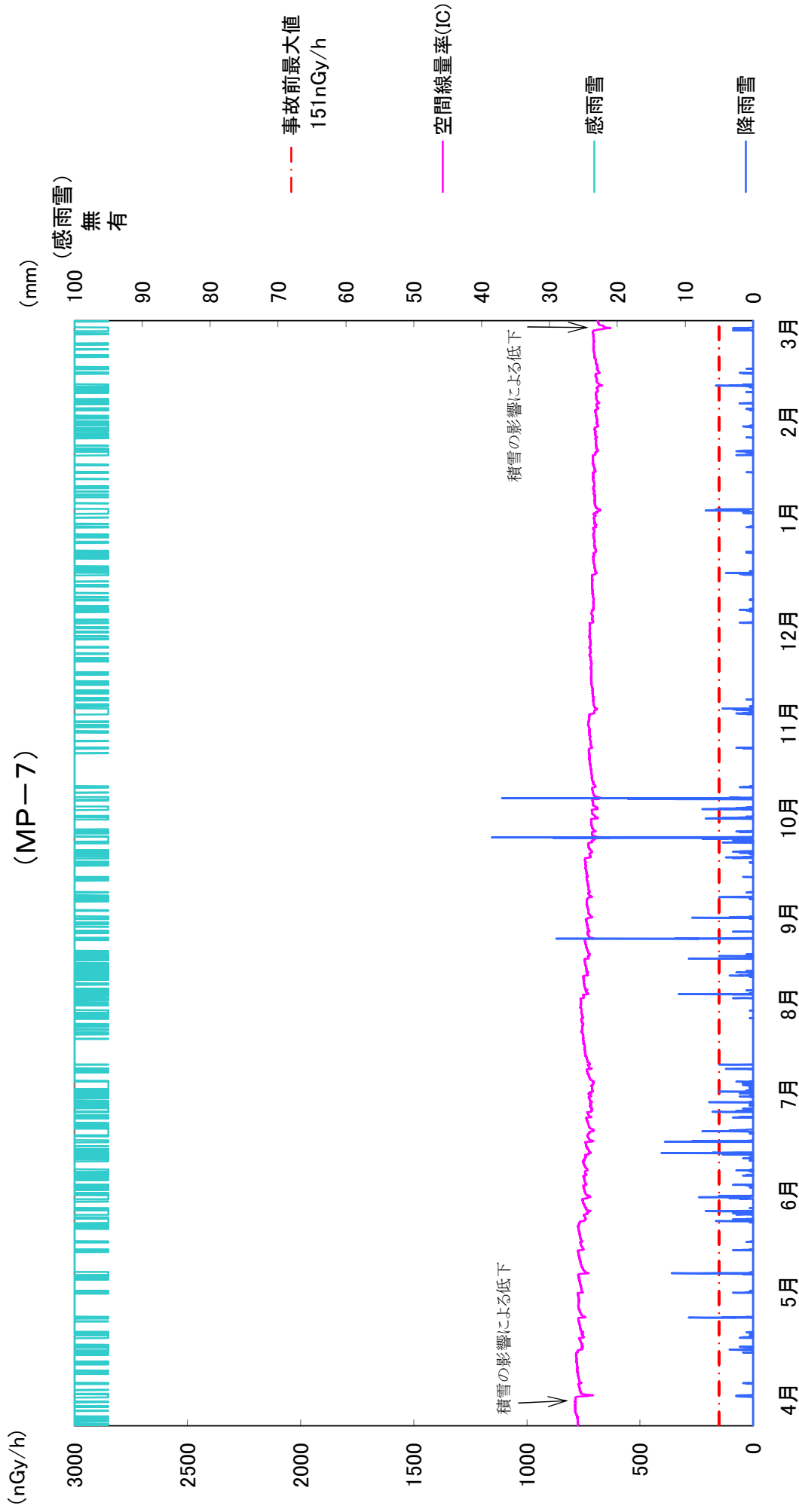


点検に伴う欠測：11月19日・20日、1月20日・23日

欠測時には、代替測定器にて測定し、指示値に異常がないことを確認している。

※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより、測定を電離箱式検出器(IC)に行っている。

空間線量率の変動グラフ



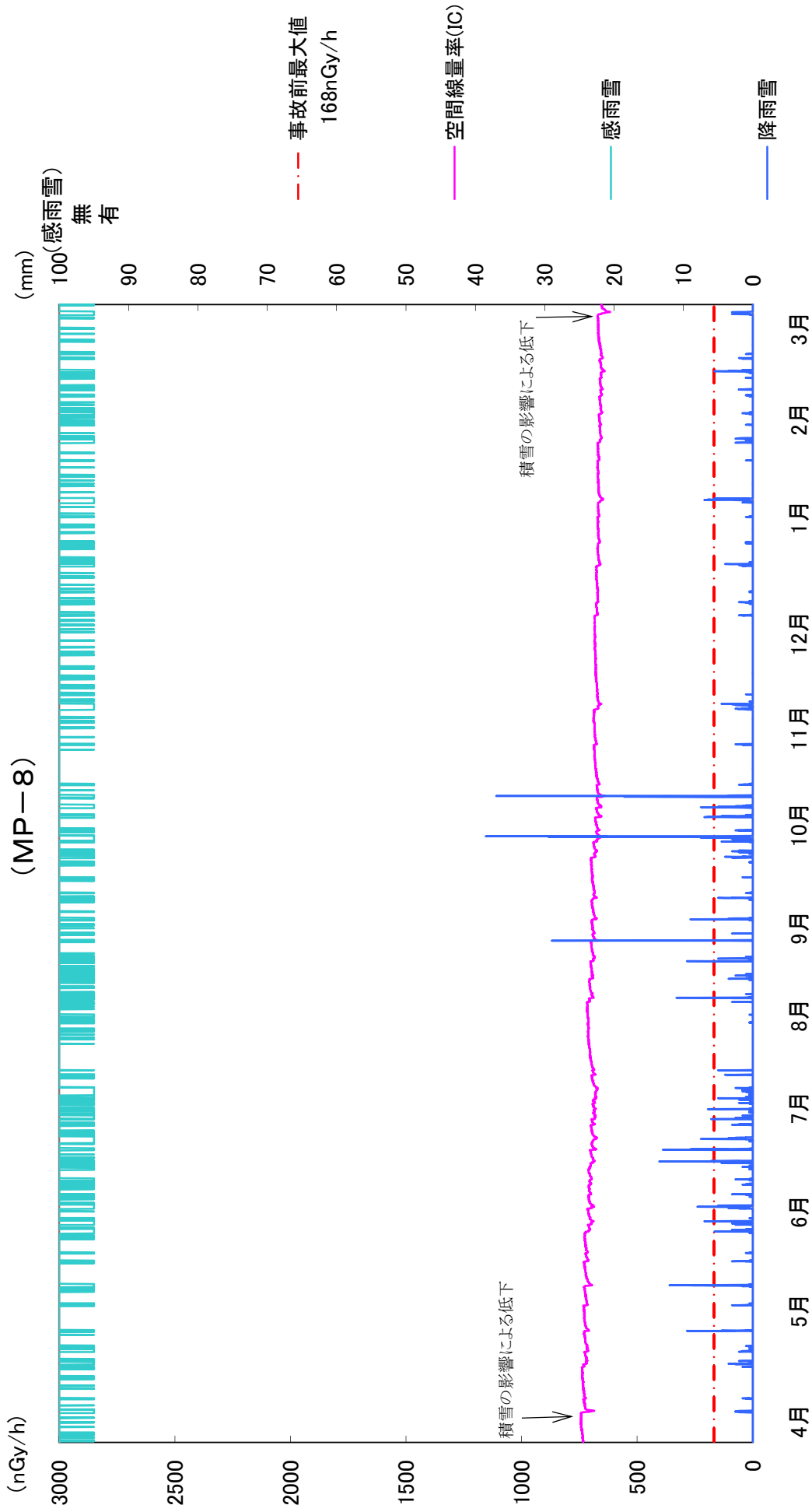
点検に伴う欠測: 11月25日・26日, 12月19日, 1月23日・28日

欠測時には, 代替測定器にて測定し, 指示値に異常がないことを確認している。

MP-7, 8については, 高線量率の環境下にあることから, 新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため, 検出器廻りに遮へいを設置し, 地表面等からの放射線の影響を抑えている。

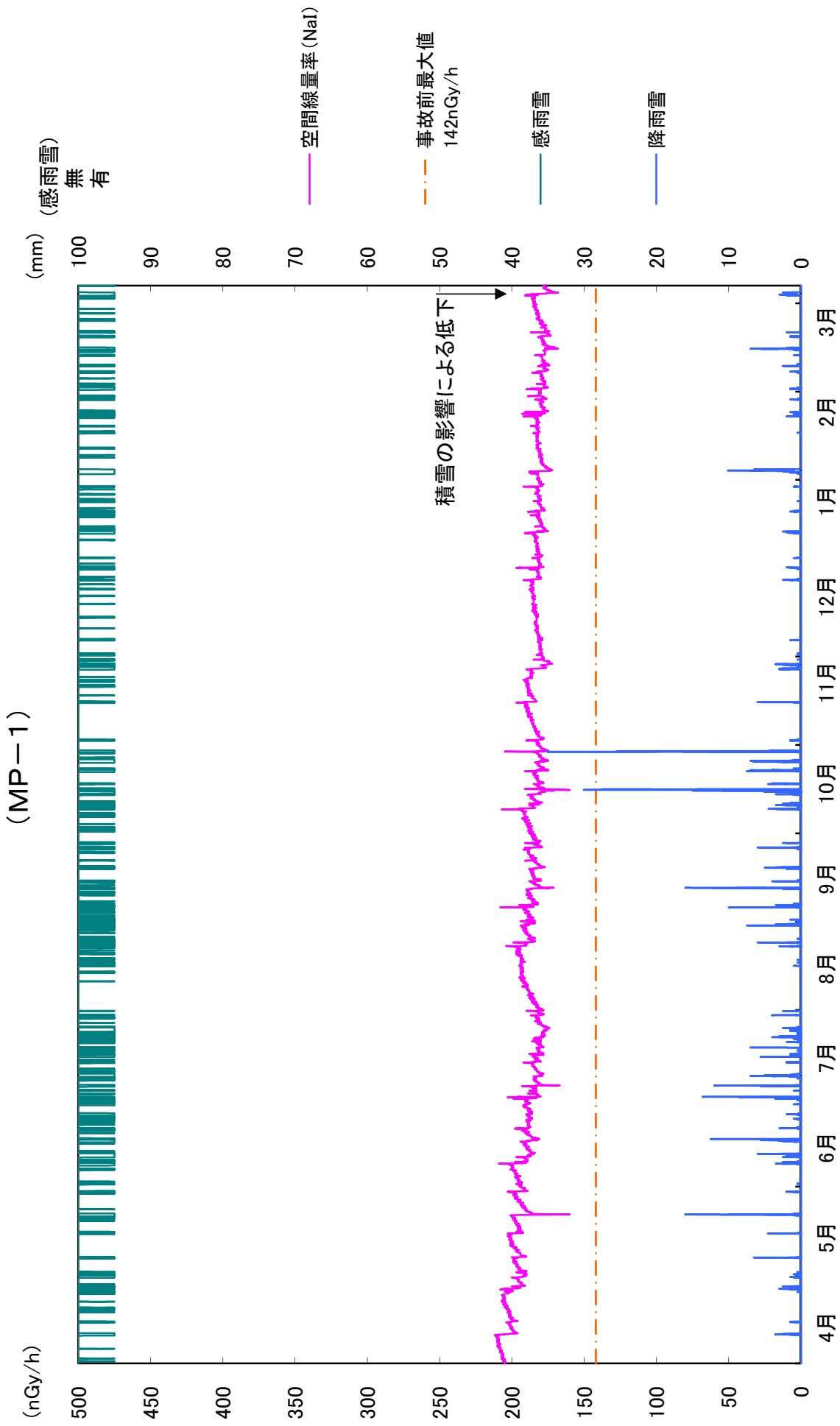
※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより, 測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ



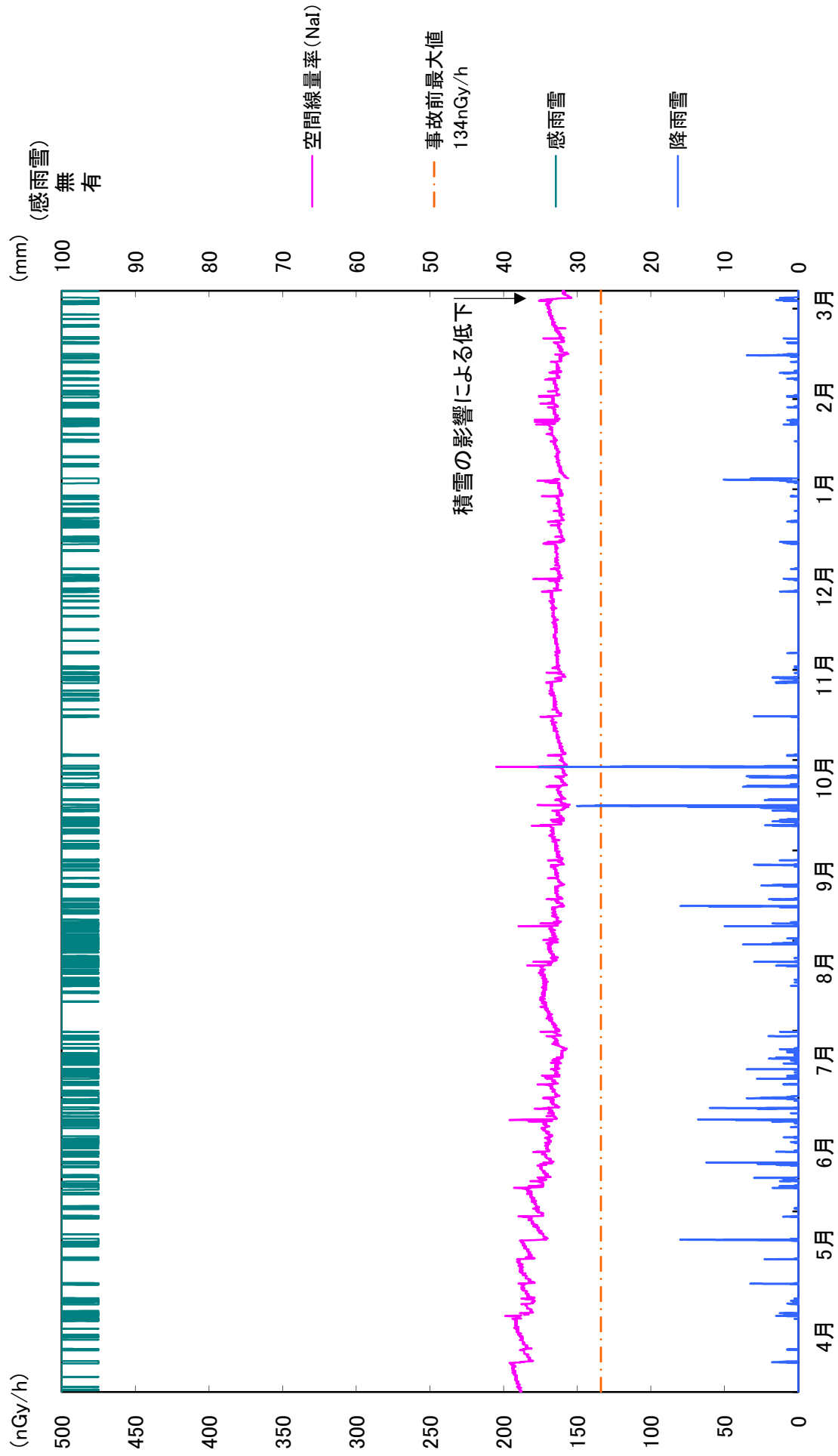
点検に伴う欠測:11月28日・29日, 2月18日・25日
 欠測時には, 代替測定器にて測定し, 指示値に異常がないことを確認している。
 MP-7, 8については, 高線量率の環境下にあることから, 新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため,
 検出器廻りに遮へいを設置し, 地表面等からの放射線の影響を抑えている。
 ※周辺環境線量率のバックグラウンドが事故の影響で上昇したことにより, 測定を電離箱式検出器(IC)にて行っている。

空間線量率の変動グラフ



※点検校正等に伴う欠測: 4月23日, 24日, 11月19日, 3月17日
なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

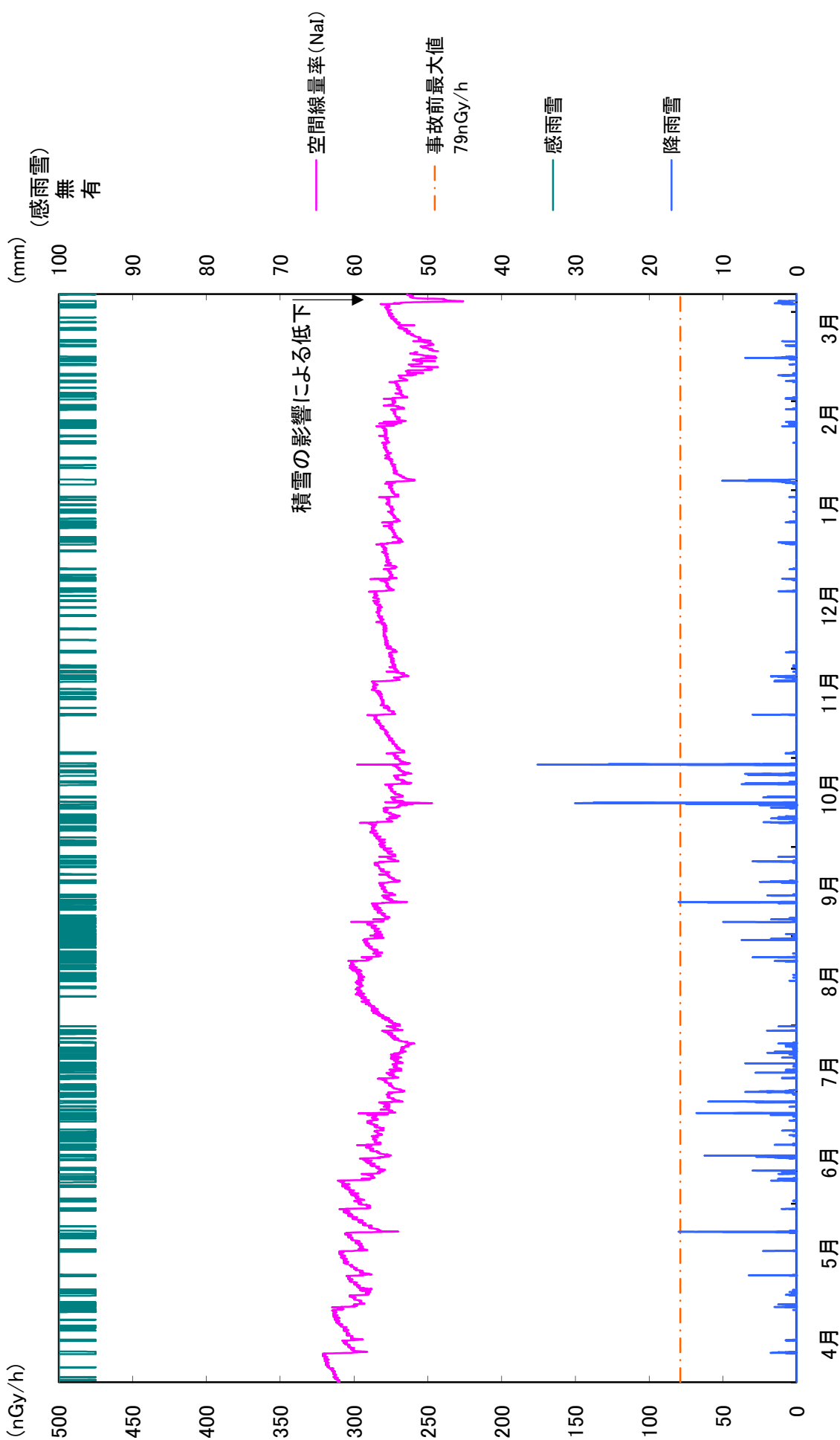
空間線量率の変動グラフ
(MP-2)



※点検校正等に伴う欠測: 4月25日, 26日, 11月20日, 1月29日, 3月11日

なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

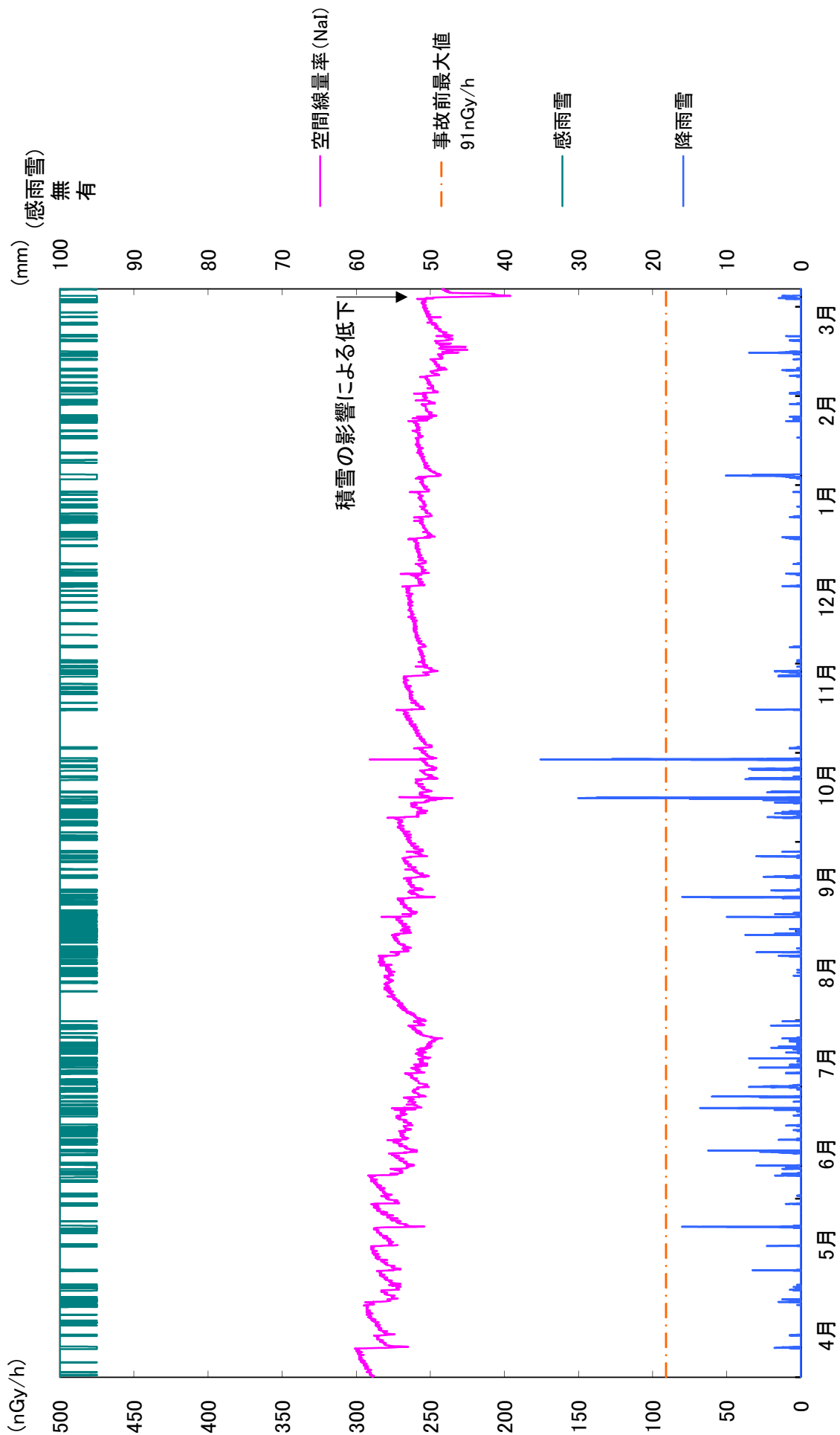
空間線量率の変動グラフ
(MP-3)



※点検校正等に伴う欠測:5月9日,10日,11月21日,3月12日
なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ (MP-4)

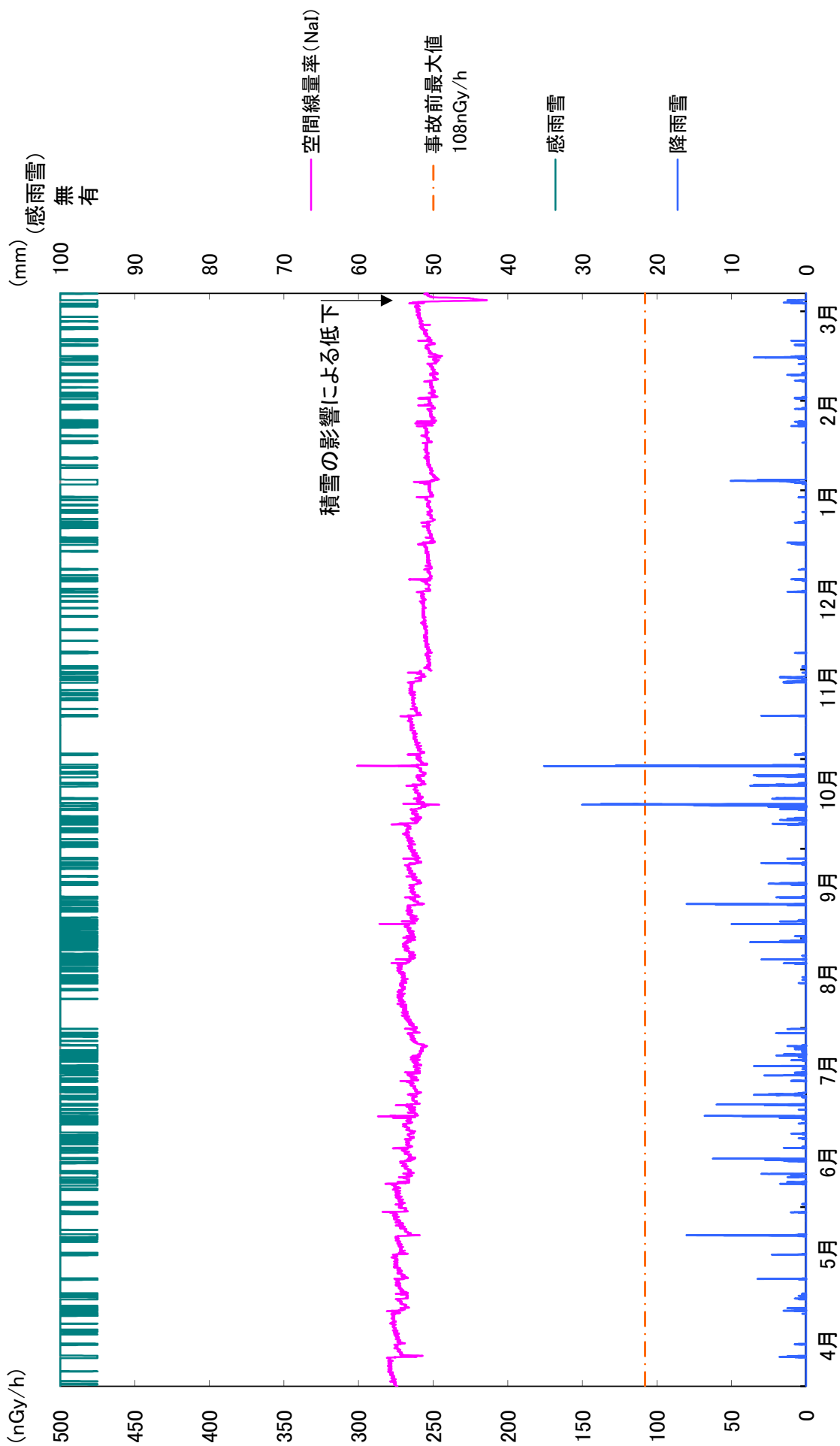
福島第二原子力発電所



※点検校正等に伴う欠測: 5月14日, 15日, 11月22日, 3月13日

なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

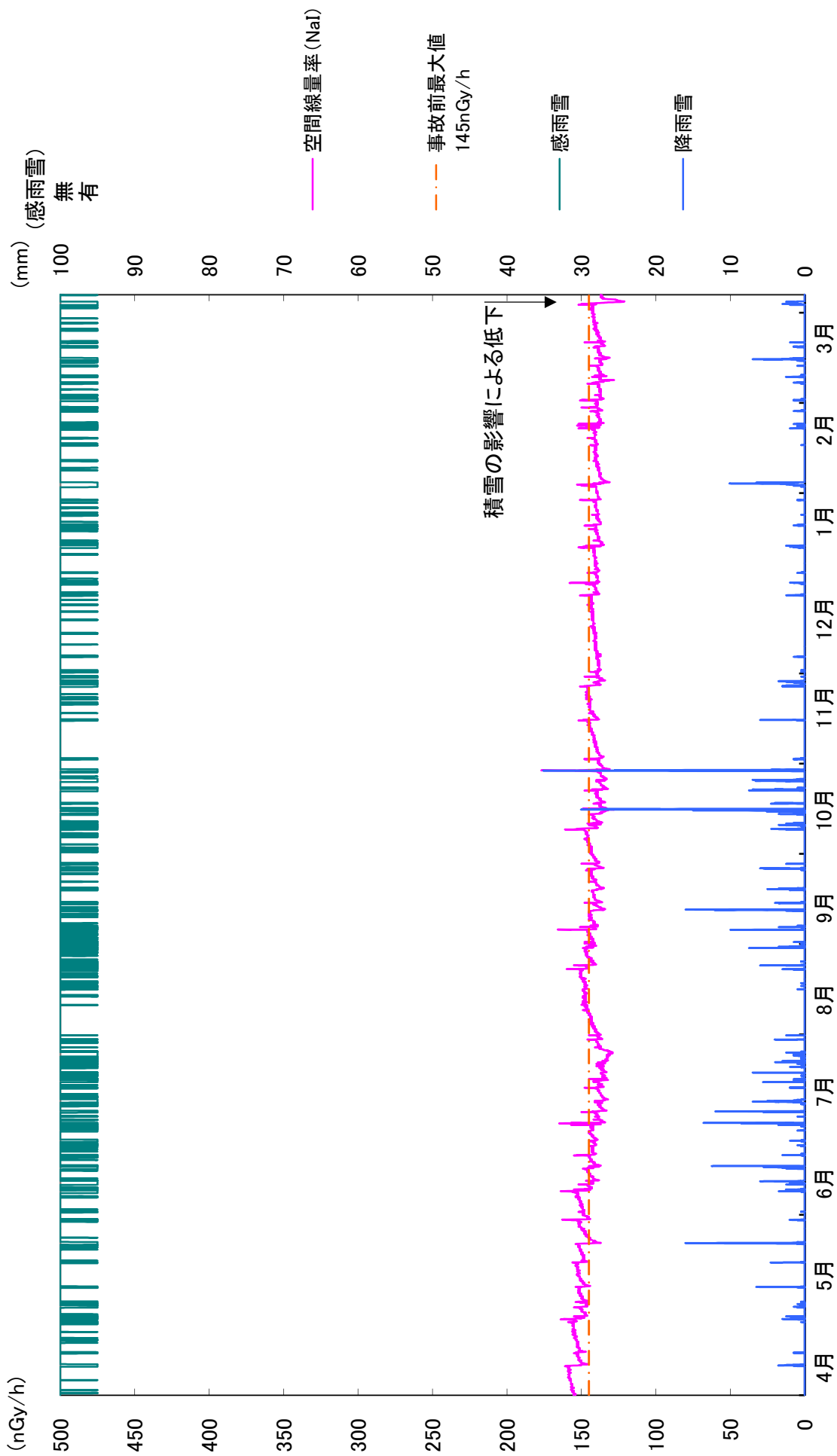
空間線量率の変動グラフ
(MP-5)



※点検校正等に伴う欠測:5月16日,17日,11月26日,3月10日

なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

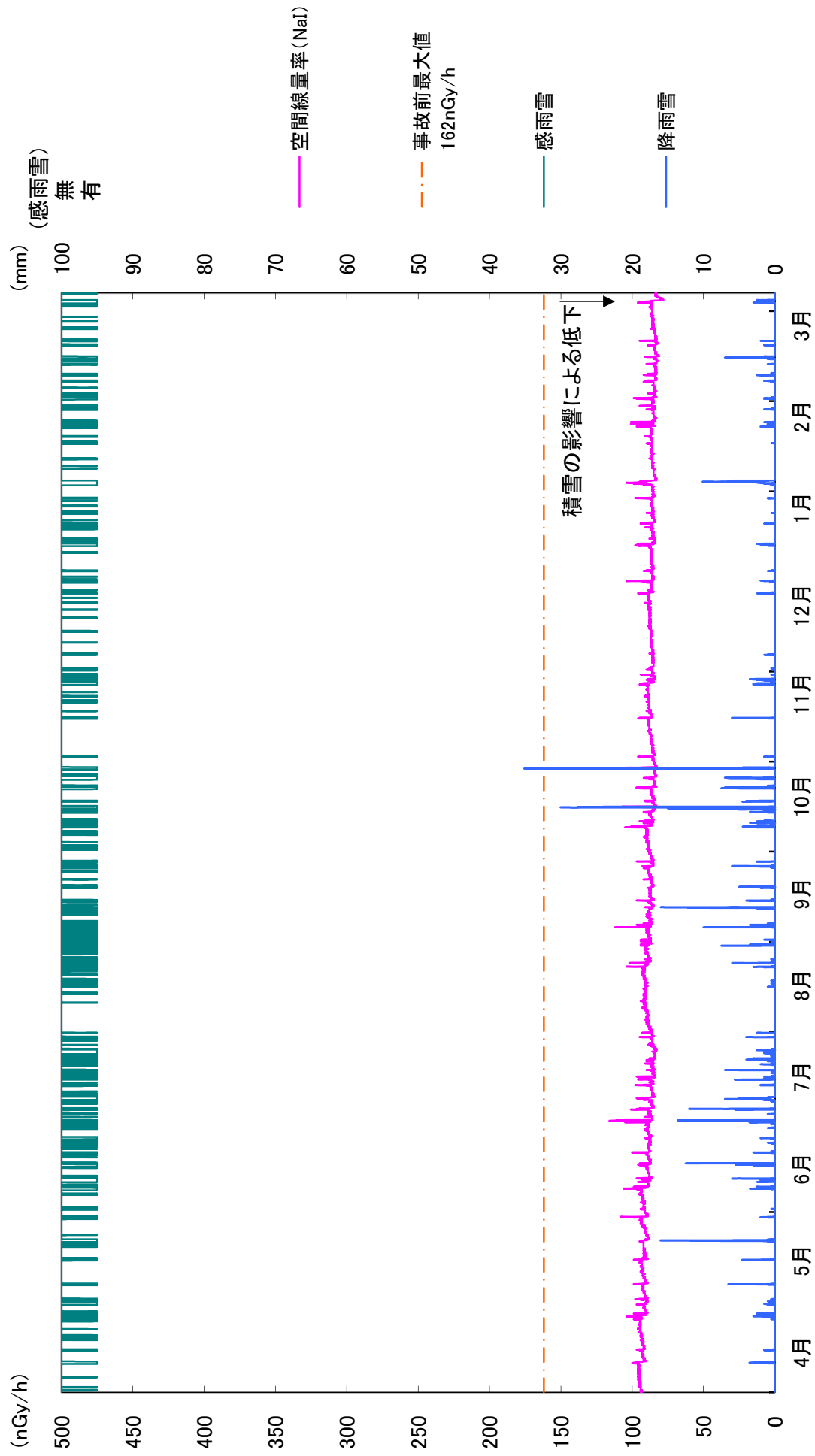
空間線量率の変動グラフ
(MP-6)



※点検校正等に伴う欠測:5月22日,28日,11月27日,3月16日

なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
(MP-7)



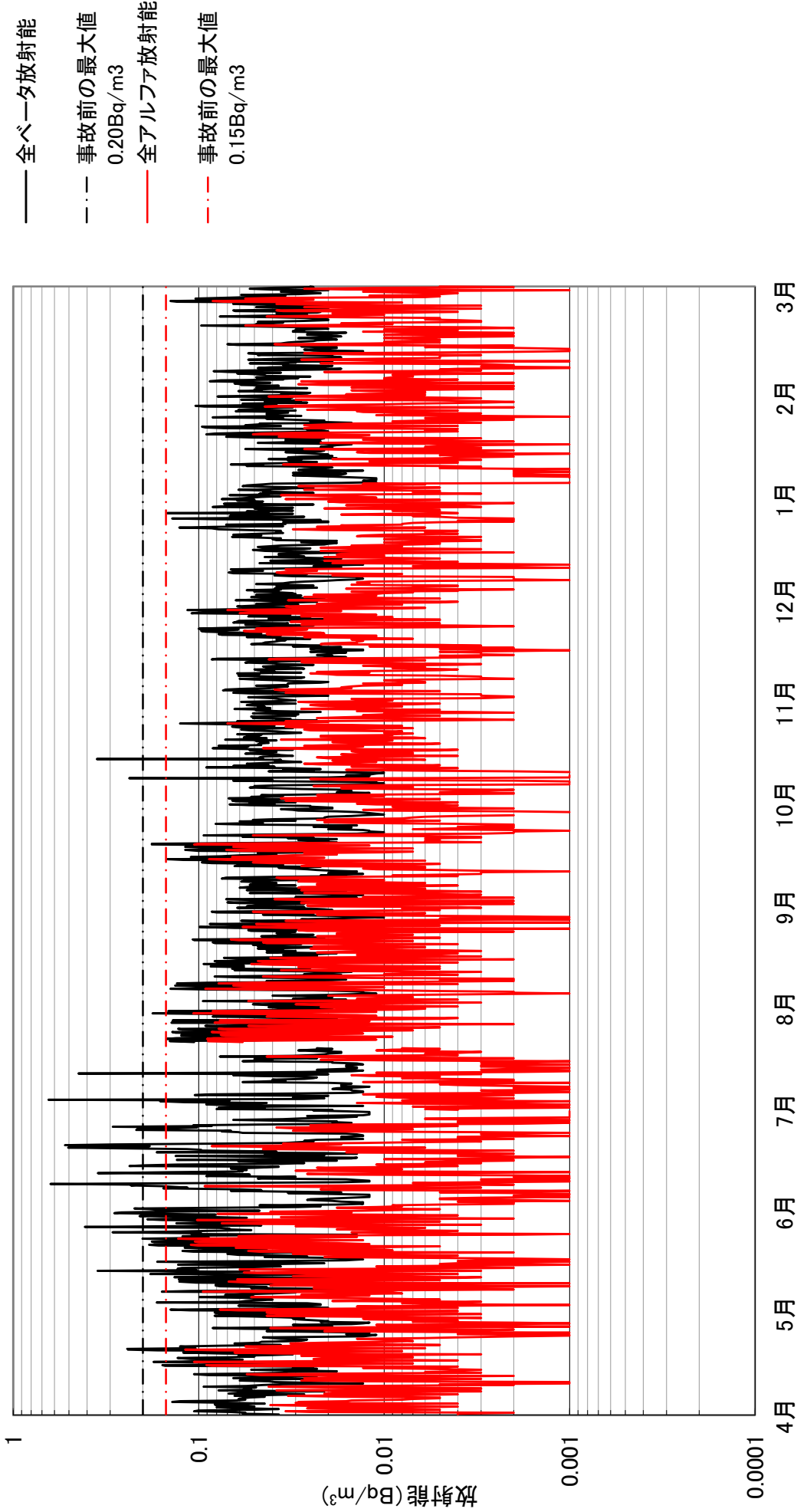
※点検校正等に伴う欠測:5月23日,24日,11月28日,3月9日

なお、欠測時には、可搬型モニタリングポストを設置し、指示値に異常がないことを確認している

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP-3

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

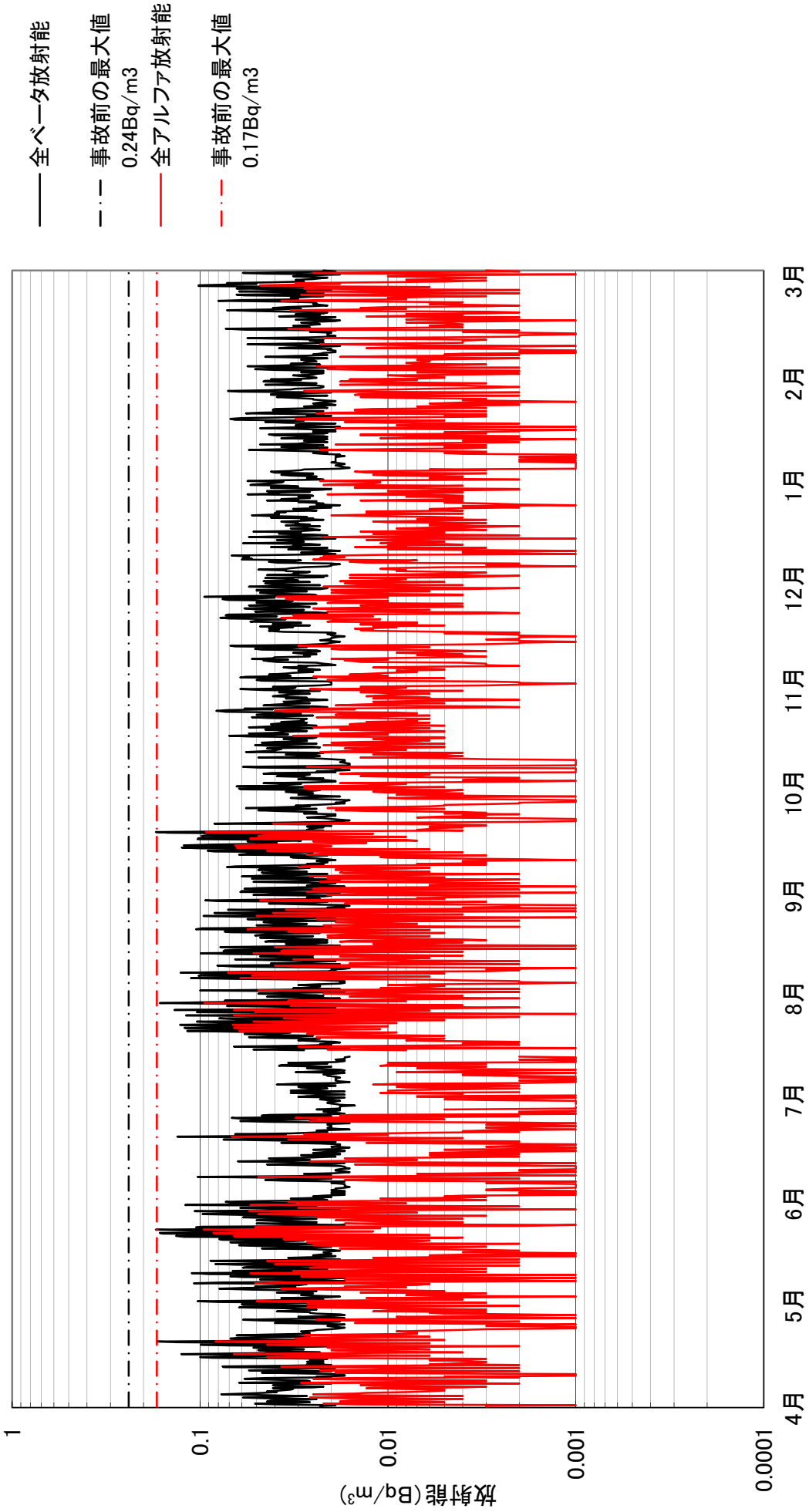


7月29日・30日、11月21日については点検に伴う欠測。
 欠測時は、敷地境界付近(MP1～MP8)に設置した連続ダストモニタにて指示値に異常がないことを確認している。
 注)全アルファ放射能は 0.001Bq/m³ より小さい場合は 0Bq/m³ となるため対数グラフに表示されない。

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP-8

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

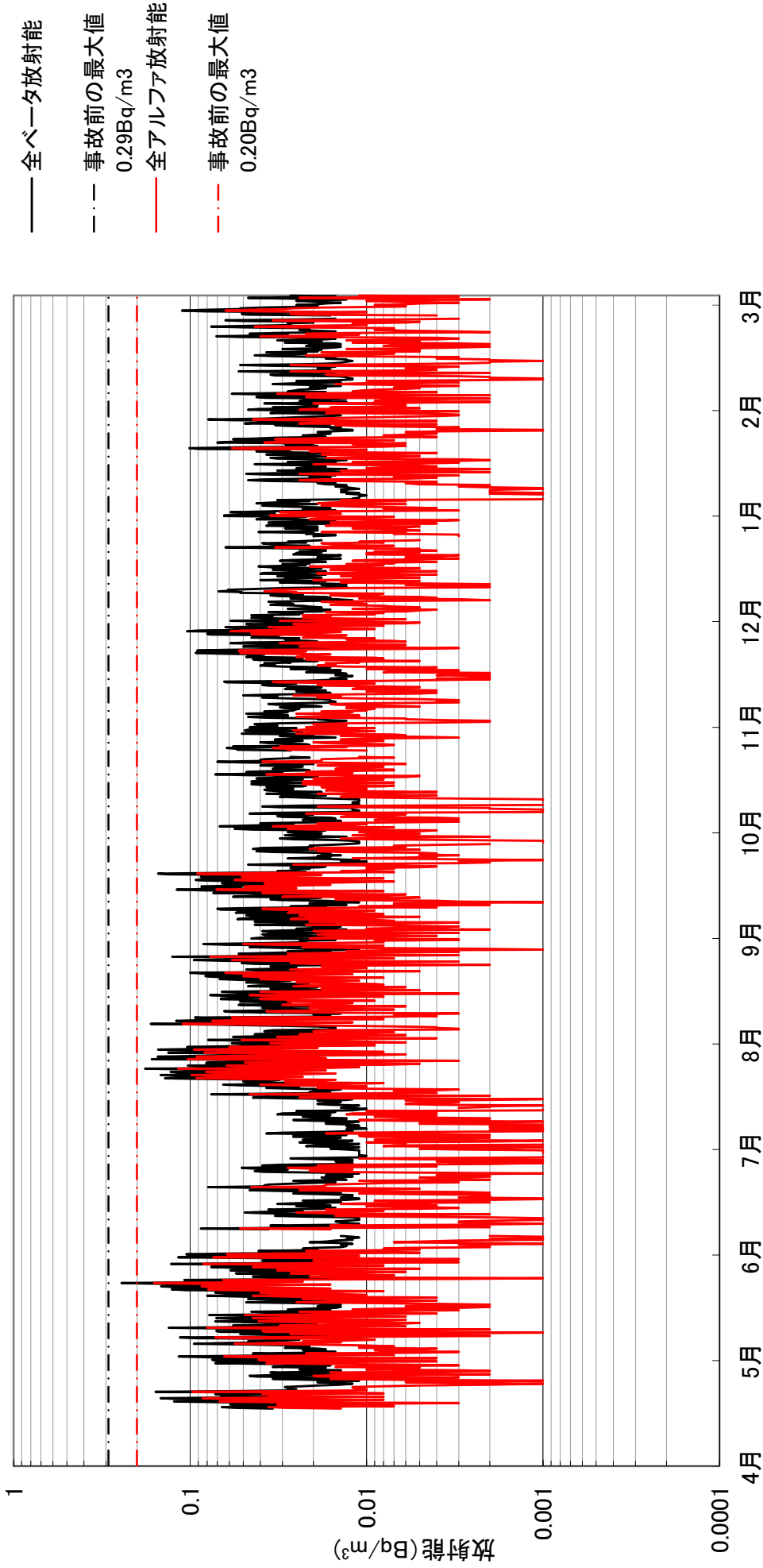


7月23日・24日、11月20日、12月6日については点検に伴う欠測。
欠測時は、敷地境界付近(MP1～MP8)に設置した連続ダストモニタにて指示値に異常がないことを確認している。
注) 全アルファ放射能は 0.001Bq/m³ より小さい場合には 0Bq/m³ となるため対数グラフに表示されない。

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP-1

(平成31年4月1日～令和元年3月31日)



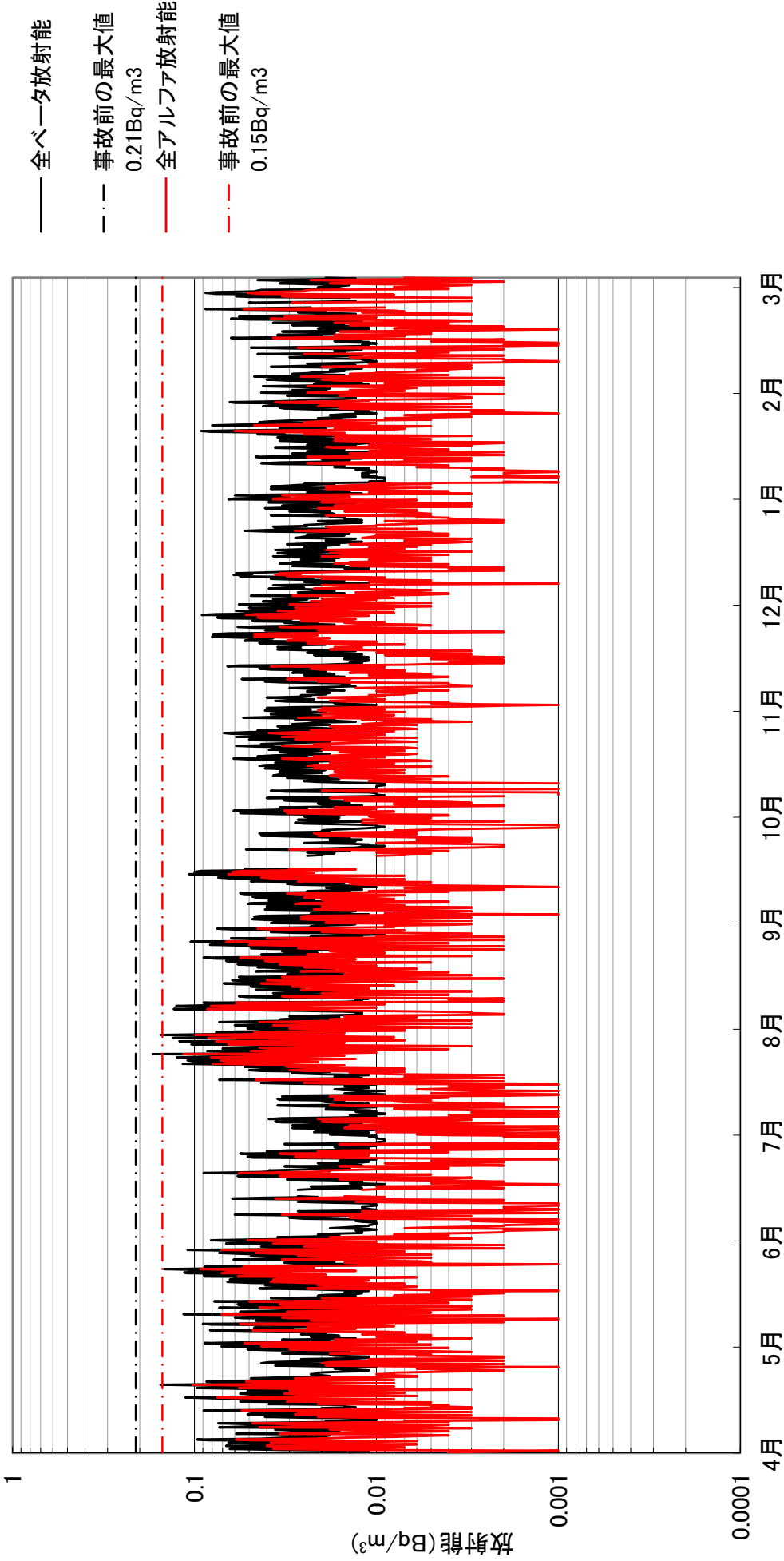
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

点検に伴う欠測: 令和元年6月12日,13日,11月9日,10日,令和2年1月16日,3月25日
 平成31年2月12日から4月17日までは、局舎移設工事に伴い欠測。
 欠測時には、モニタリングポスト指示値、スタックモニタ指示値に異常がないこと、及びプラントに放射性物質の放出に係る事象が発生していないことを確認している。
 注) 全アルファ放射能は0.001Bq/m³より小さい場合には0Bq/m³となるため対数グラフに表示されない。

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP-7

(平成31年4月1日～令和元年3月31日)



点検に伴う欠測：H30年6月20日,21日,9月29日,30日,10月1日～3日,3月23日,25日

欠測時には, モニタリングポスト指示値, スタックモニタ指示値に異常がないこと, 及びプラントに放射性物質の放出に係る事象が発生していないことを確認している。

注) 全アルファ放射能は0.001Bq/m³より小さい場合には0Bq/m³となるため対数グラフに表示されない。

＜参考＞地下水バイパスの評価
(年間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	核種別			備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	
地下水バイパス	ND	ND	ND	排水放射エネルギー(Bq)は、排水中の放射性物質濃度(Bq/L) [排水前のタンクの分析結果] に排水量(L)を乗じて求めている。 ⁹⁰ Srは全βでの評価値である。 なお、排水中の放射性物質濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 ¹³⁴ Cs、 ¹³⁷ Csの検出限界値は1Bq/L未満、全βの検出限界値は5Bq/L未満または1Bq/L未満(10日に1回程度)である。 排水量は85.476m ³ である。

＜参考＞サブドレン他浄化設備の処理済水の評価

(年間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	核種別			備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	
サブドレン他 浄化設備の処理済水	ND	ND	ND	排水放射エネルギー(Bq)は、排水中の放射性物質濃度(Bq/L) [排水前のタンクの分析結果] に排水量(L)を乗じて求めている。 ⁹⁰ Srは全βでの評価値である。 なお、排水中の放射性物質濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 ¹³⁴ Cs、 ¹³⁷ Csの検出限界値は1Bq/L未満、全βの検出限界値は3Bq/L未満または1Bq/L未満(10日に1回程度)である。 排水量は204.597m ³ である。

＜参考＞地下水バイパス及びサブドレン他浄化設備の処理済水の排水毎の運用目標値

	核種別			備考
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	
地下水バイパス	1Bq/L未満	1Bq/L未満	5Bq/L未満 (10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること)	³ H 1500Bq/L未満
サブドレン他 浄化設備の処理済水	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満 (10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること)	1500Bq/L未満

<参考>地下水バイパス排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量[m ³]	セシウム134[Bq/L]	セシウム137[Bq/L]	全ベータ[Bq/L]	トリチウム[Bq/L]
4月4日	1712	<0.59	<0.53	<0.73	110
4月11日	1692	<0.69	<0.63	<0.68	110
4月18日	1641	<0.46	<0.53	<0.70	110
4月25日	1626	<0.40	<0.63	<0.69	120
4月28日	1155	<0.71	<0.63	<0.76	110
5月11日	1664	<0.66	<0.53	<0.66	120
5月16日	1624	<0.58	<0.63	<0.69	110
5月23日	1685	<0.62	<0.69	<0.63	110
5月30日	1589	<0.74	<0.71	<0.83	110
6月6日	1601	<0.69	<0.71	<0.66	110
6月13日	1665	<0.74	<0.63	<0.64	98
6月20日	1664	<0.68	<0.63	<0.69	100
6月27日	1661	<0.58	<0.63	<0.76	100
7月4日	1392	<0.54	<0.63	<0.74	120
7月11日	1724	<0.65	<0.63	<0.73	110
7月18日	1745	<0.49	<0.66	<0.65	110
7月25日	1774	<0.54	<0.71	<0.68	120
8月1日	1690	<0.69	<0.68	<0.64	120
8月8日	1796	<0.60	<0.75	<0.72	120
8月15日	1513	<0.70	<0.75	<0.78	130
8月23日	2073	<0.71	<0.75	<0.65	120
8月29日	1796	<0.60	<0.78	<0.70	130
9月5日	1939	<0.70	<0.71	<0.81	110
9月12日	1741	<0.40	<0.58	<0.80	130
9月19日	1758	<0.70	<0.63	<0.72	120
9月26日	1814	<0.62	<0.75	<0.66	120
10月3日	1822	<0.54	<0.63	<0.74	120
10月10日	1782	<0.76	<0.68	<0.69	120
10月17日	1713	<0.52	<0.53	<0.69	120
10月24日	1836	<0.74	<0.58	<0.68	120
10月31日	1882	<0.74	<0.63	<0.60	150
11月7日	1387	<0.52	<0.58	<0.71	160
11月14日	659	<0.59	<0.63	<0.80	250
11月21日	544	<0.52	<0.53	<0.65	260
12月13日	2031	<0.67	<0.58	<0.64	160
12月18日	1995	<0.62	<0.71	<0.68	210
12月25日	1817	<0.63	<0.63	<0.71	230
12月28日	1294	<0.58	<0.74	<0.66	150
1月11日	1911	<0.67	<0.70	<0.59	140
1月15日	2076	<0.65	<0.58	<0.65	130
1月22日	2149	<0.62	<0.68	<0.56	120

<参考>地下水バイパス排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量【m ³ 】	セシウム134【Bq/L】	セシウム137【Bq/L】	全ベータ【Bq/L】	トリチウム【Bq/L】
1月25日	1245	<0.76	<0.63	<0.65	120
2月1日	1709	<0.60	<0.53	<0.67	110
2月7日	1560	<0.51	<0.58	<0.67	110
2月13日	1576	<0.69	<0.63	<0.52	120
2月20日	1757	<0.52	<0.53	<0.63	120
2月27日	1713	<0.62	<0.90	<0.62	130
3月5日	1664	<0.66	<0.60	<0.58	110
3月12日	1807	<0.62	<0.70	<0.65	150
3月19日	1616	<0.50	<0.68	<0.59	120
3月28日	2197	<0.69	<0.58	<0.67	130

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量[m ³]	セシウム134[Bq/L]	セシウム137[Bq/L]	全ベータ[Bq/L]	トリチウム[Bq/L]
4月1日	752	<0.83	<0.63	<2.2	800
4月2日	841	<0.63	<0.46	<2.2	810
4月4日	617	<0.49	<0.71	<2.2	790
4月8日	567	<0.76	<0.58	<0.68	790
4月9日	865	<0.71	<0.68	<2.0	790
4月10日	542	<0.50	<0.68	<2.4	790
4月18日	506	<0.68	<0.53	<0.74	830
4月19日	526	<0.57	<0.71	<2.5	800
4月20日	503	<0.83	<0.63	<2.7	790
4月22日	798	<0.48	<0.58	<2.2	720
4月23日	526	<0.67	<0.53	<2.4	770
4月24日	682	<0.52	<0.53	<0.55	750
4月25日	747	<0.81	<0.58	<2.4	710
4月26日	722	<0.56	<0.58	<2.6	720
4月29日	667	<0.66	<0.71	<2.1	720
4月30日	623	<0.71	<0.53	<0.65	740
5月2日	574	<0.62	<0.63	<2.4	750
5月7日	641	<0.59	<0.53	<0.66	700
5月8日	660	<0.71	<0.68	<2.5	700
5月9日	668	<0.81	<0.68	<2.1	710
5月10日	720	<0.60	<0.53	<2.2	700
5月12日	681	<0.52	<0.46	<2.2	690
5月16日	796	<0.52	<0.71	<2.4	690
5月18日	771	<0.52	<0.58	<2.6	860
5月20日	734	<0.49	<0.63	<2.3	900
5月21日	664	<0.54	<0.71	<0.65	720
5月22日	639	<0.62	<0.46	<0.79	570
5月24日	671	<0.54	<0.58	<2.6	460
5月26日	831	<0.89	<0.58	<2.2	760
5月28日	723	<0.40	<0.68	<0.71	740
5月30日	1003	<0.56	<0.68	<2.4	730
6月1日	1016	<0.64	<0.58	<2.4	700
6月3日	1010	<0.74	<0.53	<2.4	690
6月5日	1005	<0.68	<0.63	<2.3	770
6月7日	1002	<0.56	<0.68	<0.68	970
6月9日	969	<0.56	<0.58	<2.7	1000
6月11日	846	<0.74	<0.68	<2.4	980
6月13日	611	<0.71	<0.68	<2.5	950
6月14日	552	<0.74	<0.53	<0.66	1000
6月16日	688	<0.49	<0.46	<2.2	950
6月17日	706	<0.71	<0.68	<2.4	940

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量【m ³ 】	セシウム134【Bq/L】	セシウム137【Bq/L】	全ベータ【Bq/L】	トリチウム【Bq/L】
6月19日	889	<0.66	<0.71	<2.4	850
6月20日	1002	<0.67	<0.63	<2.3	980
6月22日	986	<0.68	<0.46	<0.71	1000
6月24日	814	<0.56	<0.46	<2.5	960
6月25日	818	<0.60	<0.58	<2.2	960
6月26日	870	<0.47	<0.53	<2.0	1000
6月27日	826	<0.59	<0.58	<2.2	1100
6月28日	784	<0.40	<0.63	<2.3	1100
6月29日	996	<0.79	<0.58	<2.7	1000
6月30日	825	<0.56	<0.58	<0.64	1000
7月1日	615	<0.54	<0.46	<2.3	1000
7月2日	575	<0.81	<0.63	<2.2	1000
7月4日	519	<0.64	<0.58	<2.1	1100
7月5日	524	<0.81	<0.68	<2.4	1100
7月6日	558	<0.52	<0.68	<0.73	1000
7月7日	530	<0.56	<0.46	<2.6	990
7月8日	732	<0.67	<0.68	<2.6	950
7月9日	1007	<0.72	<0.63	<2.1	950
7月10日	663	<0.81	<0.58	<2.2	850
7月12日	607	<0.44	<0.58	<2.3	780
7月13日	829	<0.74	<0.62	<2.2	690
7月14日	983	<0.58	<0.84	<0.80	690
7月15日	1009	<0.94	<0.57	<2.1	730
7月16日	1014	<0.56	<0.66	<2.2	730
7月17日	1001	<0.54	<0.57	<2.1	790
7月18日	870	<0.49	<0.74	<2.4	790
7月19日	998	<0.51	<0.78	<2.2	750
7月20日	992	<0.54	<0.63	<2.4	740
7月21日	942	<0.49	<0.63	<2.0	680
7月22日	920	<0.89	<0.53	<0.66	660
7月23日	994	<0.64	<0.78	<2.3	690
7月24日	669	<0.63	<0.58	<2.2	700
7月25日	970	<0.63	<0.71	<2.3	810
7月26日	907	<0.58	<0.78	<2.3	810
7月27日	891	<0.58	<0.63	<2.1	830
7月28日	917	<0.57	<0.46	<2.4	830
7月29日	1006	<0.62	<0.58	<2.2	840
7月30日	1001	<0.58	<0.58	<0.69	820
7月31日	853	<0.56	<0.82	<2.4	790
8月1日	984	<0.49	<0.63	<2.4	710
8月2日	849	<0.74	<0.63	<2.4	700

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量[m ³]	セシウム134[Bq/L]	セシウム137[Bq/L]	全ベータ[Bq/L]	トリチウム[Bq/L]
8月3日	853	<0.60	<0.71	<2.3	830
8月4日	816	<0.52	<0.68	<2.4	930
8月5日	805	<0.52	<0.75	<2.3	950
8月6日	923	<0.71	<0.68	<0.76	920
8月7日	721	<0.62	<0.58	<2.4	930
8月8日	668	<0.62	<0.68	<2.3	1000
8月9日	689	<0.71	<0.53	<2.6	980
8月10日	747	<0.69	<0.53	<2.2	940
8月11日	722	<0.75	<0.53	<2.0	930
8月12日	570	<0.51	<0.71	<1.9	890
8月13日	657	<0.40	<0.68	<2.0	950
8月14日	663	<0.64	<0.68	<0.74	970
8月15日	671	<0.54	<0.58	<2.0	830
8月16日	672	<0.62	<0.63	<2.3	940
8月17日	640	<0.54	<0.71	<2.1	930
8月18日	613	<0.65	<0.78	<2.0	880
8月19日	588	<0.54	<0.71	<2.2	940
8月20日	564	<0.52	<0.78	<2.2	970
8月21日	546	<0.64	<0.82	<0.74	940
8月22日	542	<0.57	<0.78	<2.1	950
8月23日	526	<0.60	<0.68	<2.0	970
8月24日	524	<0.64	<0.58	<2.3	970
8月25日	489	<0.43	<0.68	<1.9	990
8月26日	485	<0.55	<0.75	<1.9	980
8月27日	452	<0.62	<0.63	<1.9	1000
8月28日	456	<0.66	<0.75	<2.2	1000
8月29日	456	<0.80	<0.58	<2.3	1000
8月30日	562	<0.65	<0.63	<0.57	960
8月31日	580	<0.55	<0.68	<1.9	980
9月1日	548	<0.58	<0.71	<2.1	970
9月2日	521	<0.62	<0.58	<2.0	990
9月3日	485	<0.54	<0.63	<2.1	1000
9月4日	479	<0.71	<0.46	<2.0	1000
9月5日	488	<0.60	<0.63	<2.1	1000
9月6日	477	<0.81	<0.53	<0.73	930
9月7日	526	<0.52	<0.68	<2.1	980
9月8日	491	<0.62	<0.53	<2.2	920
9月9日	482	<0.60	<0.58	<2.0	980
9月10日	451	<0.57	<0.58	<2.0	1000
9月11日	466	<0.62	<0.71	<1.7	970
9月12日	377	<0.58	<0.75	<2.2	960

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量【m ³ 】	セシウム134【Bq/L】	セシウム137【Bq/L】	全ベータ【Bq/L】	トリチウム【Bq/L】
9月13日	471	<0.54	<0.58	<2.1	930
9月14日	540	<0.60	<0.68	<2.0	940
9月15日	527	<0.69	<0.78	<0.77	930
9月16日	509	<0.52	<0.58	<1.9	930
9月17日	608	<0.56	<0.71	<2.0	950
9月18日	776	<0.65	<0.68	<1.7	820
9月19日	761	<0.63	<0.58	<2.2	850
9月20日	723	<0.62	<0.68	<1.9	910
9月21日	670	<0.40	<0.68	<2.0	950
9月22日	656	<0.70	<0.75	<2.2	940
9月23日	622	<0.63	<0.78	<0.75	950
9月24日	623	<0.67	<0.68	<1.8	920
9月25日	643	<0.40	<0.68	<2.1	890
9月26日	629	<0.68	<0.63	<1.8	920
9月27日	608	<0.62	<0.68	<2.0	930
9月28日	590	<0.60	<0.63	<2.1	990
9月29日	568	<0.44	<0.58	<2.0	990
9月30日	551	<0.40	<0.46	<2.0	970
10月1日	574	<0.48	<0.53	<0.71	990
10月2日	573	<0.58	<0.63	<2.0	940
10月3日	562	<0.79	<0.68	<2.1	910
10月4日	560	<0.49	<0.58	<2.1	1000
10月5日	568	<0.52	<0.63	<2.1	970
10月6日	532	<0.66	<0.63	<0.72	990
10月7日	513	<0.57	<0.58	<2.0	1000
10月9日	457	<0.64	<0.58	<2.3	1000
10月9日	428	<0.67	<0.78	<1.9	1100
10月10日	391	<0.56	<0.68	<2.0	1100
10月11日	460	<0.68	<0.58	<2.0	1100
10月12日	502	<0.60	<0.58	<2.1	960
10月13日	462	<0.66	<0.58	<2.4	980
10月15日	463	<0.70	<0.58	<0.66	1000
10月19日	686	<0.49	<0.63	<2.3	860
10月19日	566	<0.58	<0.68	<2.3	890
10月20日	430	<0.40	<0.68	<1.9	930
10月21日	713	<0.67	<0.63	<2.2	820
10月21日	1016	<0.76	<0.71	<0.78	560
10月22日	999	<0.40	<0.71	<2.1	700
10月22日	606	<0.57	<0.58	<2.3	720
10月23日	1016	<0.58	<0.68	<0.75	690
10月24日	1024	<0.74	<0.85	<2.3	630

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量[m ³]	セシウム134【Bq/L】	セシウム137【Bq/L】	全ベータ【Bq/L】	トリチウム【Bq/L】
10月25日	1025	<0.70	<0.68	<2.2	630
10月26日	1017	<0.62	<0.53	<2.2	600
10月27日	995	<0.57	<0.63	<2.0	890
10月27日	1014	<0.55	<0.82	<2.0	770
10月28日	1009	<0.44	<0.63	<2.1	820
10月29日	1006	<0.66	<0.71	<1.8	880
10月29日	1016	<0.57	<0.53	<2.1	930
10月30日	1022	<0.68	<0.58	<0.69	900
10月31日	1018	<0.63	<0.68	<1.8	910
11月1日	1000	<0.60	<0.58	<2.0	980
11月2日	1000	<0.56	<0.58	<2.0	910
11月3日	998	<0.64	<0.58	<2.2	850
11月4日	1002	<0.65	<0.68	<2.3	760
11月4日	1018	<0.71	<0.63	<2.3	820
11月5日	555	<0.72	<0.63	<2.0	780
11月6日	1006	<0.65	<0.58	<0.78	810
11月7日	1004	<0.71	<0.68	<2.2	710
11月8日	1013	<0.83	<0.68	<1.9	550
11月9日	1000	<0.54	<0.58	<1.9	570
11月9日	1010	<0.58	<0.68	<1.9	660
11月10日	1009	<0.62	<0.63	<2.2	720
11月10日	1018	<0.44	<0.58	<2.2	790
11月11日	1003	<0.52	<0.68	<1.8	760
11月12日	914	<0.68	<0.58	<2.1	700
11月13日	1001	<0.44	<0.71	<2.0	720
11月14日	1001	<0.65	<0.68	<1.9	690
11月15日	1009	<0.52	<0.46	<0.64	710
11月16日	1008	<0.94	<0.53	<1.9	730
11月17日	1004	<0.60	<0.68	<2.0	660
11月18日	1000	<0.40	<0.53	<1.8	610
11月19日	996	<0.74	<0.68	<1.8	610
11月20日	995	<0.62	<0.63	<1.8	660
11月21日	606	<0.68	<0.75	<2.0	690
11月22日	1014	<0.40	<0.63	<2.1	710
11月23日	822	<0.52	<0.58	<1.7	660
11月24日	780	<0.66	<0.53	<0.69	640
11月25日	716	<0.71	<0.53	<1.8	610
11月26日	695	<0.52	<0.68	<1.8	650
11月27日	1003	<0.46	<0.58	<1.8	670
11月28日	728	<0.54	<0.75	<1.9	660
11月29日	570	<0.65	<0.63	<2.0	640

<参考>サブドレン排水実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

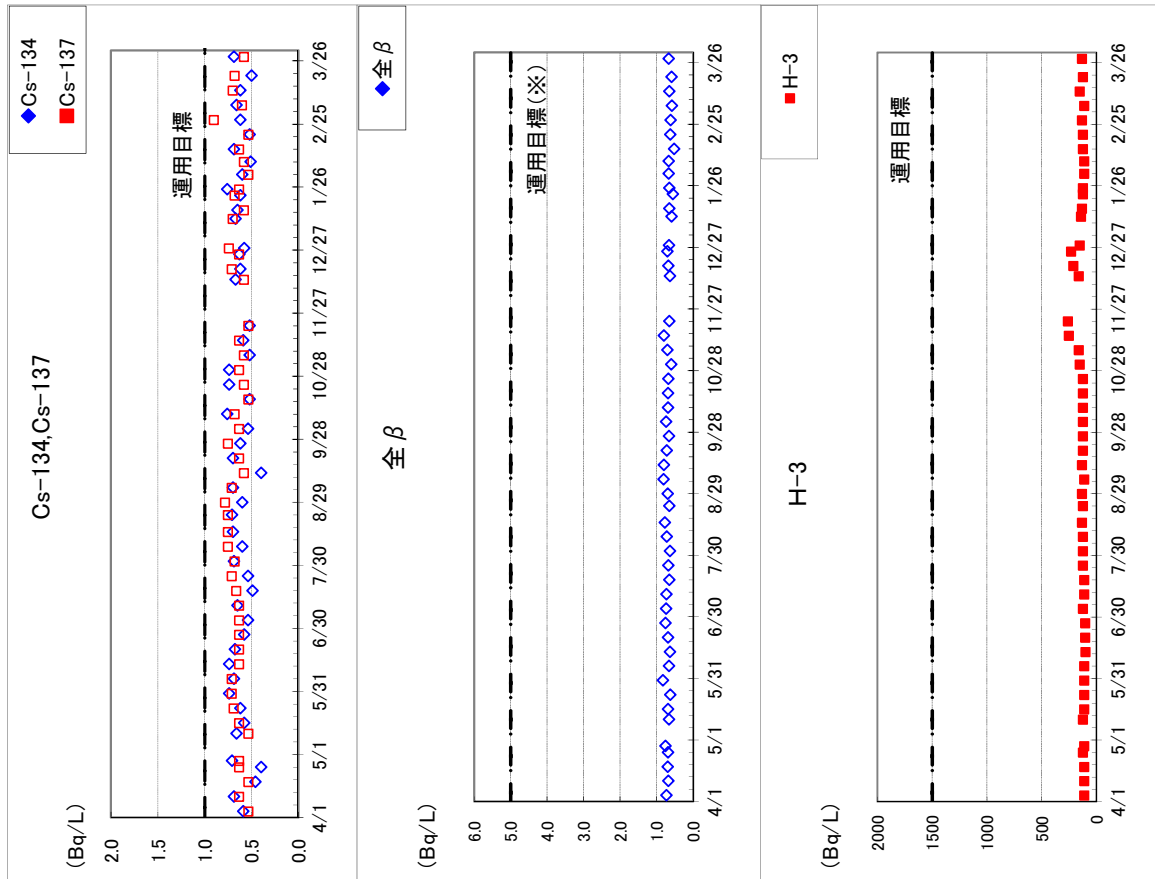
排水日	排水量[m ³]	セシウム134[Bq/L]	セシウム137[Bq/L]	全ベータ[Bq/L]	トリチウム[Bq/L]
11月30日	585	<0.65	<0.53	<2.0	650
12月1日	596	<0.76	<0.58	<2.0	790
12月2日	645	<0.63	<0.63	<1.9	680
12月4日	639	<0.76	<0.53	<0.65	780
12月5日	598	<0.79	<0.58	<1.8	740
12月6日	614	<0.62	<0.75	<0.64	720
12月7日	658	<0.62	<0.68	<1.8	770
12月8日	655	<0.76	<0.46	<1.8	810
12月9日	676	<0.63	<0.58	<2.0	680
12月10日	630	<0.44	<0.53	<1.8	800
12月14日	601	<0.68	<0.63	<0.62	760
12月15日	588	<0.52	<0.58	<1.9	790
12月16日	843	<0.80	<0.69	<2.0	810
12月17日	809	<0.67	<0.58	<1.8	830
12月18日	844	<0.62	<0.68	<1.7	840
12月20日	767	<0.54	<0.53	<1.9	820
12月21日	754	<0.72	<0.58	<1.7	860
12月23日	707	<0.57	<0.71	<0.65	900
12月24日	1008	<0.65	<0.75	<1.9	860
12月25日	569	<0.79	<0.60	<1.9	830
12月26日	854	<0.53	<0.70	<1.8	930
12月28日	879	<0.62	<0.68	<1.9	880
12月30日	853	<0.80	<0.65	<1.8	910
1月1日	915	<0.69	<0.82	<0.64	950
1月3日	954	<0.40	<0.58	<1.8	950
1月5日	993	<0.60	<0.53	<2.0	890
1月7日	995	<0.62	<0.78	<0.65	910
1月9日	882	<0.66	<0.58	<1.9	980
1月11日	771	<0.66	<0.46	<1.6	980
1月13日	730	<0.49	<0.58	<0.67	1000
1月17日	826	<0.63	<0.82	<1.9	930
1月18日	694	<0.83	<0.58	<1.9	1000
1月19日	874	<0.68	<0.63	<1.9	1000
1月21日	820	<0.81	<0.68	<0.58	1100
1月23日	762	<0.63	<0.58	<1.9	1100
1月25日	758	<0.66	<0.58	<2.0	1000
1月27日	734	<0.67	<0.71	<2.1	1000
1月31日	409	<0.83	<0.58	<0.65	1100
2月1日	423	<0.48	<0.53	<1.9	1200
2月2日	492	<0.68	<0.58	<1.9	970
2月5日	678	<0.76	<0.58	<1.9	910

<参考>サブドレン排水実績

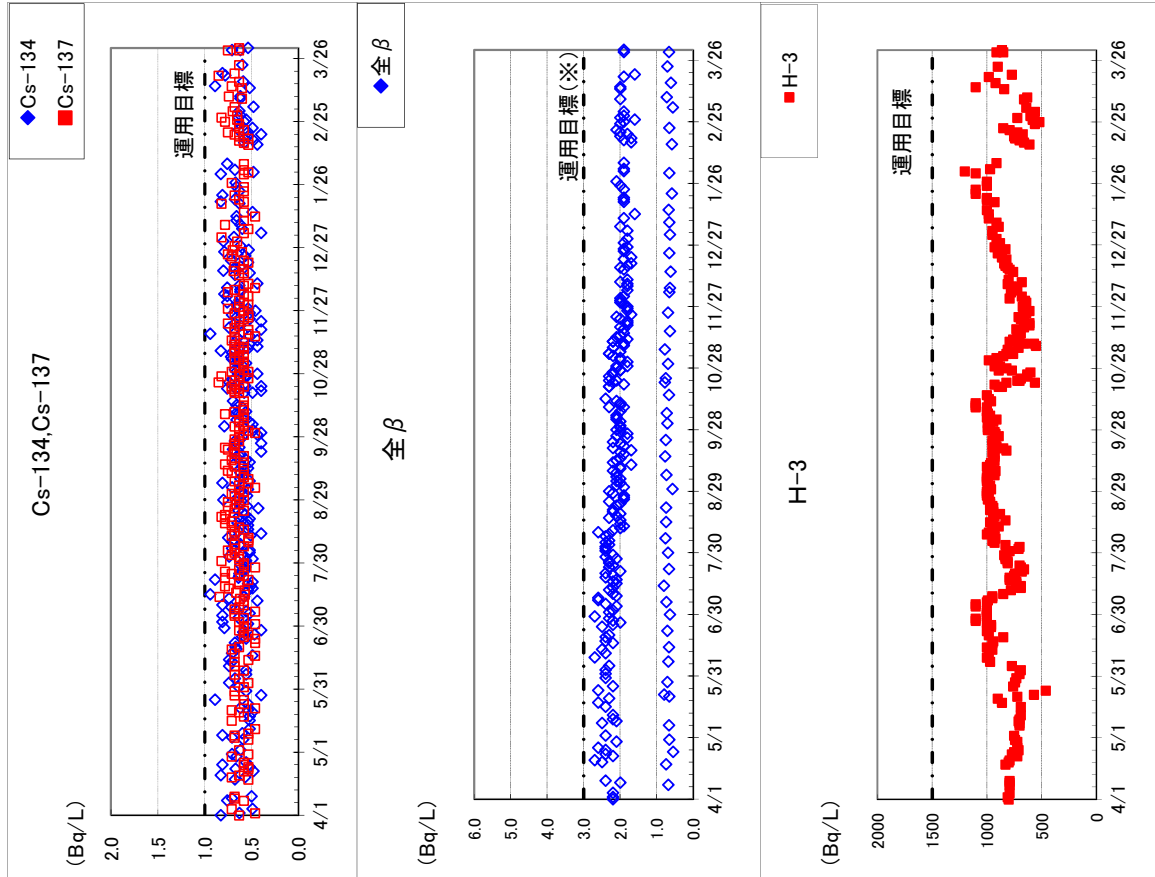
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

排水日	排水量【m ³ 】	セシウム134【Bq/L】	セシウム137【Bq/L】	全ベータ【Bq/L】	トリチウム【Bq/L】
2月14日	423	<0.44	<0.53	<0.58	610
2月15日	1014	<0.58	<0.58	<1.7	660
2月16日	994	<0.48	<0.63	<1.9	700
2月17日	776	<0.58	<0.53	<1.7	740
2月18日	703	<0.54	<0.63	<2.0	750
2月19日	738	<0.40	<0.68	<1.8	670
2月20日	595	<0.54	<0.75	<2.0	720
2月21日	572	<0.64	<0.58	<2.1	790
2月22日	995	<0.49	<0.63	<0.65	850
2月24日	836	<0.63	<0.63	<2.0	560
2月25日	894	<0.58	<0.78	<1.9	520
2月26日	780	<0.56	<0.65	<1.6	580
2月27日	351	<0.64	<0.82	<2.0	720
2月28日	1036	<0.62	<0.65	<1.9	600
3月1日	982	<0.63	<0.70	<1.9	560
3月3日	1023	<0.48	<0.68	<0.56	640
3月7日	1000	<0.62	<0.60	<2.0	660
3月8日	978	<0.62	<0.74	<0.72	630
3月12日	822	<0.52	<0.60	<2.0	840
3月13日	779	<0.89	<0.71	<2.0	1100
3月15日	927	<0.59	<0.63	<0.61	920
3月18日	669	<0.78	<0.85	<1.9	980
3月19日	722	<0.81	<0.68	<1.6	770
3月23日	1015	<0.60	<0.63	<0.71	900
3月30日	828	<0.62	<0.63	<1.9	850
3月30日	961	<0.71	<0.75	<0.66	910
3月31日	911	<0.54	<0.63	<1.9	860

地下水バイパス排水実績(平成31年4月～令和2年3月)



サブドレン排水実績(平成31年4月～令和2年3月)



*: 白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ※: 10日に1回程度の分析では、検出限界値を1Bq/Lに下げて実施

モニタリングポスト周辺環境改善対策について(結果報告)

事故で環境中に放出され敷地内に沈積した放射性物質の影響により、空間放射線量が上昇(事故前の 100 ~10,000 倍)しており、モニタリングポストの指示値が高い状態となっている。このため、放射性物質の異常な放出があった場合、線量率の上昇や自然界からの影響の程度によっては監視が困難な状況にある。

したがって、早期にプラントからの異常放出を検知できることを目的に、モニタリングポスト(以下「MP」という。)周辺の環境改善対策を実施した。(工期:平成 24 年 2 月 10 日 ~ 4 月 18 日)

1. 対策内容

MP の設置場所はそれぞれ周辺環境が異なるため、環境改善対策は各 MP に応じて作業を実施。



MP-2



MP-8

- ・MP-3~7は周囲を森林に囲まれており、森林からの影響が大きい
- ・MP-2、8は地表からの影響が大きい(MP-8は近傍の展望台斜面の影響が大きい)

《計画》

改善目標として、各 MP の指示値が $10 \mu\text{Sv/h}$ 以下となるように対策を実施。

比較的線量が高い MP-2 については、検出器から半径 30m 以内にある森林を伐採し表土を除去する。比較的線量が低い MP-3~5 については、検出器から半径 20m 以内にある森林を伐採し、柵内の表土を除去する。MP-6~7 については、表土除去及び森林伐採が広範囲となる恐れがあるため、検出器から半径 20m 以内にある森林を伐採し、柵内の表土を除去するとともに、検出器周囲に遮へい壁を設置する。MP-8 については、周囲に森林等が少いため伐採は行わず、柵内の表土を除去するとともに、検出器周囲に遮へい壁を設置する。MP-1 については指示値が $4 \mu\text{Sv/h}$ であるため、対策は不要とした。

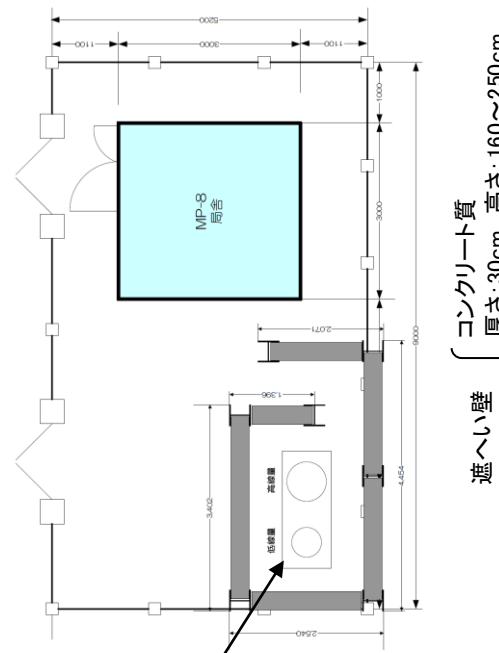
(※通常時のモニタリングポストの指示値は、降雨時に土壌からの放射線が雨により遮へいされる影響で 10% 程度の変動がある。 $10 \mu\text{Sv/h}$ であれば、 $1 \mu\text{Sv/h}$ 程度の変動幅を超えて異常放出を検出することが可能。)

《対策例》

森林伐採、表土除去の例(MP-2)

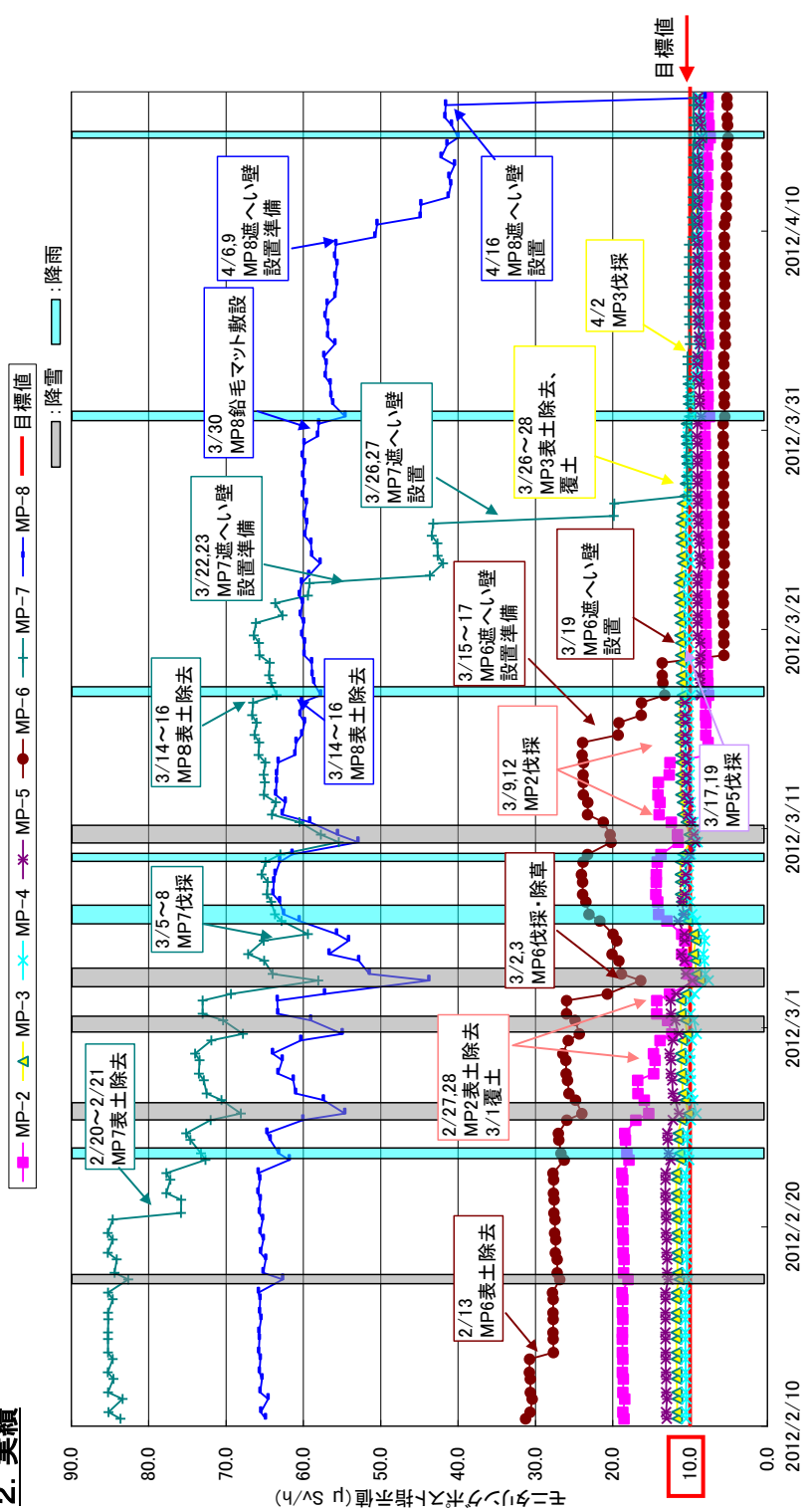


遮へい壁設置の例(MP-8)



なお、MP-7については、モニタリングポスト間の地上付近を通過するブルームの検出性を高めるため、隣接するモニタリングポスト(MP-6、MP-8)側の遮へい壁をできる限り低くすることとした。

2. 実績



(※降雨・降雪による MP 指示値の変動あり)

MP	MP 指示値 [単位: $\mu\text{Sv/h}$]		対策実績
	対策前(2/10)	対策後(達成日)	
MP-2	18.5	7.9 (3/14)	・森林伐採面積: 約 690m^2 (半径 30m 以内) ・表土除去面積: 約 1450m^2 (半径 30m 以内)
MP-3	11.7	9.1 (4/2)	・森林伐採面積: 約 580m^2 (半径 20m 以内) ・表土除去面積: 約 35m^2 (フェンス内)
MP-4	10.5	8.9 (4/2)	・表土除去面積: 約 27m^2 (フェンス内)
MP-5	13.0	9.0 (3/19)	・森林伐採面積: 約 1020m^2 (半径 20m 以内) ・表土除去面積: 約 36m^2 (フェンス内)
MP-6	31.3	5.7 (3/19)	・森林伐採面積: 約 700m^2 (半径 20m 以内) ・表土除去面積: 約 14m^2 (フェンス内) ・遮へい壁を設置: 四方向とも 160cm
MP-7	83.6	9.7 (4/9)	・森林伐採面積: 約 1160m^2 (半径 20m 以内) ・表土除去面積: 約 15m^2 (フェンス内) ・遮へい壁を設置: 南北方向 250cm、東西方向 160cm
MP-8	64.9	8.0 (4/16)	・表土除去面積: 約 14m^2 (フェンス内) ・遮へい壁を設置: 四方向とも 220cm

目標値 ($10 \mu\text{Sv/h}$) を達成したため、現状では原子炉施設に起因する $1 \mu\text{Sv/h}$ を超える放射線の影響を適切に把握できるものと考ええる。

3. 今後の予定

今後、各対策における効果を評価し、次の段階の低減目標及びそのための方策を検討していく。